

令和8年度 長泉町文化センター大規模改修工事

令和8年度 長泉町文化センター大規模改修工事 図面リスト (建築工事)

図面番号	図面名称	縮尺 (A3)	図面番号	図面名称	縮尺 (A3)	図面番号	図面名称	縮尺 (A3)
AT-1	建築工事改修特記仕様書 -1	-	A-37	(大規模改修) B1階改修天井伏図 -2 [改修前]	1:50 (1:100)	ST-1	建築工事特記仕様書 (構造) -1	-
AT-2	建築工事改修特記仕様書 -2	-	A-38	(大規模改修) B1階改修天井伏図 -2 [改修後]	1:50 (1:100)	ST-2	建築工事特記仕様書 (構造) -2	-
AT-3	建築工事改修特記仕様書 -3	-	A-39	(大規模改修) B1階改修天井伏図 -3 [改修前]	1:50 (1:100)			
AT-4	建築工事改修特記仕様書 -4	-	A-40	(大規模改修) B1階改修天井伏図 -3 [改修後]	1:50 (1:100)	S-1	大規模改修 防音壁構造図	1:50 (1:100)
AT-5	建築工事改修特記仕様書 -5	-	A-41	(大規模改修) B1階改修天井伏図 -4 [改修前・後]	1:50 (1:100)	S-2	大規模改修 配筋基準図-1	-
AT-6	建築工事改修特記仕様書 -6	-	A-42	(大規模改修) 1階改修天井伏図 -1 [改修前]	1:50 (1:100)	S-3	大規模改修 配筋基準図-2	-
AT-7	建築工事改修特記仕様書 -7	-	A-43	(大規模改修) 1階改修天井伏図 -1 [改修後]	1:50 (1:100)	S-4	大規模改修 配筋基準図-3	-
AT-8	建築工事改修特記仕様書 -8	-	A-44	(大規模改修) 1階改修天井伏図 -2 [改修前]	1:50 (1:100)	S-5	特定天井改修 補強鉄骨軸組図	1:50 (1:100)
AT-9	建築工事改修特記仕様書 -9	-	A-45	(大規模改修) 1階改修天井伏図 -2 [改修後]	1:50 (1:100)	S-6	特定天井改修 新設キャットウォーク 伏図・軸組図	1:50 (1:100)
AT-10	施工条件特記仕様書	-	A-46	(大規模改修) 1階改修天井伏図 -3 [改修前]	1:50 (1:100)	S-7	特定天井改修 鉄骨リスト他	1:20 (1:40)
			A-47	(大規模改修) 1階改修天井伏図 -3 [改修後]	1:50 (1:100)	S-8	特定天井改修 鉄骨詳細図	1:10 (1:20)
A-1	工事概要・配置図 [改修前]	1:300 (1:600)	A-48	(大規模改修) 2階改修天井伏図 -1 [改修前]	1:50 (1:100)	S-9	特定天井改修 溶接基準図・仕口基準図	-
A-2	配置図 [改修後]	1:300 (1:600)	A-49	(大規模改修) 2階改修天井伏図 -1 [改修後]	1:50 (1:100)	S-10	特定天井改修 鉄骨標準図詳細図-1	-
A-3	仕上表 -1	-	A-50	(大規模改修) 2階改修天井伏図 -2 [改修前]	1:50 (1:100)	S-11	既存図面 ホール 屋根伏図	-
A-4	仕上表 -2	-	A-51	(大規模改修) 2階改修天井伏図 -2 [改修後]	1:50 (1:100)	S-12	既存図面 ホール 軸組図-1	-
A-5	仕上表 -3	-	A-52	(大規模改修) 開口補強リスト・側廊 (3) 改修詳細図	1:50 (1:100)	S-13	既存図面 ホール 軸組図-2	-
A-6	仕上表 -4	-	A-53	(大規模改修) 1階応接室・第一会議室 改修展開図	1:50 (1:100)	S-14	既存図面 ホール 第1シーリングスポット梁伏図	-
A-7	B1階平面図 [改修前]	1:150 (1:300)	A-54	(大規模改修) B1階連絡通路 参考図	1:50 (1:100)	S-15	既存図面 ホール 第1シーリングスポット軸組図	-
A-8	B1階平面図 [改修後]	1:150 (1:300)	A-55	(大規模改修) B1階廊下 (1) 参考図	1:50 (1:100)	S-16	既存図面 ホール 第1シーリングスポット詳細図-1	-
A-9	1階平面図 [改修前]	1:150 (1:300)	A-56	(大規模改修) ドレイン改修図 -1	1:200 (1:400)	S-17	既存図面 ホール 第1シーリングスポット詳細図-2	-
A-10	1階平面図 [改修後]	1:150 (1:300)	A-57	(大規模改修) ドレイン改修図 -2	1:200 (1:400)	S-18	既存図面 ホール 第2シーリングスポット梁伏図	-
A-11	2階平面図 [改修前]	1:150 (1:300)	A-58	(大規模改修) ドレイン改修図 -3	1:50 (1:100)	S-19	既存図面 ホール 第2シーリングスポット軸組図	-
A-12	2階平面図 [改修後]	1:150 (1:300)	A-59	(大規模改修) ドレイン改修図 -4	1:50 (1:100)	S-20	既存図面 ホール 第2シーリングスポット詳細図	-
A-13	3階平面図 [改修前]	1:150 (1:300)	A-60	(大規模改修) ドレイン改修図 -5	1:5 (1:10)			
A-14	3階平面図 [改修後]	1:150 (1:300)	A-61	(大規模改修) 室外機置場 平面図・外構図 [改修前]	1:50 (1:100)			
A-15	屋根伏図 [改修前・改修後]	1:150 (1:300)	A-62	(大規模改修) 室外機置場 平面図・外構図 [改修後]	1:50 (1:100)			
A-16	立面図 [改修前・後]	1:150 (1:300)	A-63	(大規模改修) 室外機置場 立面図・断面図・詳細図	1:50 (1:100)			
A-17	断面図 [改修前・後]	1:150 (1:300)	A-64	(大規模改修) 第1シーリングスポット室 改修図 [改修前・後]	1:50 (1:100)			
A-18	(大規模改修) B1階F/M-WC (1) [改修前]	1:50 (1:100)	A-65	(ホール改修) ホール天井地下 平面詳細図 [既設・新設]	1:50 (1:100)			
A-19	(大規模改修) B1階F/M-WC (1) [改修後]	1:50 (1:100)	A-66	(ホール改修) ホール天井地下 断面詳細図 [既設]	1:50 (1:100)			
A-20	(大規模改修) B1階F/M-WC (2) [改修前]	1:50 (1:100)	A-67	(ホール改修) ホール天井地下 天井落下防止改修詳細図 -1	-			
A-21	(大規模改修) B1階F/M-WC (2) [改修後]	1:50 (1:100)	A-68	(ホール改修) ホール天井地下 天井落下防止改修詳細図 -2	-			
A-22	(大規模改修) B1階F/M-WC (3) [改修前]	1:50 (1:100)	A-69	(ホール改修) ホール天井地下 天井落下防止改修詳細図 -3	-			
A-23	(大規模改修) B1階F/M-WC (3) [改修後]	1:50 (1:100)	A-70	(ホール改修) ホール天井地下 天井落下防止改修詳細図 -4	-			
A-24	(大規模改修) 1階F/M-WC (4) [改修前]	1:50 (1:100)	A-71	(ホール改修) ホール天井地下 天井落下防止改修詳細図 -5	-			
A-25	(大規模改修) 1階F/M-WC (4) [改修後]	1:50 (1:100)	A-72	(ホール改修) ホール天井地下 天井落下防止改修詳細図 -6	-			
A-26	(大規模改修) 1階F/M-WC (5) [改修前]	1:50 (1:100)	A-73	(ホール改修) ホール天井地下 天井落下防止改修詳細図 -7	-			
A-27	(大規模改修) 1階F/M-WC (5) [改修後]	1:50 (1:100)	A-74	(ホール改修) ホール天井地下 天井落下防止改修詳細図 -8	-			
A-28	(大規模改修) 2階F/M-WC (6) (7) [改修前] -1	1:50 (1:100)	A-75	(ホール改修) キャットウォーク詳細図 -1	1:50 (1:100)			
A-29	(大規模改修) 2階F/M-WC (6) (7) [改修前] -2	1:50 (1:100)	A-76	(ホール改修) キャットウォーク詳細図 -2	1:50 (1:100)			
A-30	(大規模改修) 2階F/M-WC (6) (7) [改修後] -1	1:50 (1:100)	A-77	(ホール改修) 3階外壁改修① 改修詳細図	1:50 (1:100)			
A-31	(大規模改修) 2階F/M-WC (6) (7) [改修後] -2	1:50 (1:100)	A-78	家具・備品等移動リスト	-			
A-32	(大規模改修) 便所改修建具表 (トイレブース)	1:50 (1:100)	A-79	仮設計画図 -1 配置図	1:300 (1:600)			
A-33	(大規模改修) 便所改修詳細図・断面詳細図	1:50 (1:100)	A-80	仮設計画図 -2 B1階平面図	1:150 (1:300)			
A-34	(大規模改修) 便所改修工事区分一覧・詳細図	-	A-81	仮設計画図 -3 1階平面図	1:150 (1:300)			
A-35	(大規模改修) B1階改修天井伏図 -1 [改修前]	1:50 (1:100)	A-82	仮設計画図 -4 2階平面図	1:150 (1:300)			
A-36	(大規模改修) B1階改修天井伏図 -1 [改修後]	1:50 (1:100)	A-83	仮設計画図 -5 3階平面図	1:150 (1:300)			

○ 28 公共事業労働費調査に対する協力
 受注者は、当該工事が発注者の実施する公共事業労働費調査の対象工事となった場合には、以下の各号に掲げる協力をしなければならない。また、工期経過後においても同様とする。
 (1) 調査票等に必要事項を正確に記入し、発注者に提出する等必要な協力をしなければならない。
 (2) 調査票等を提出した事業所を発注者が、事後に訪問して行う調査・指導の対象になった場合には、その実施に協力しなければならない。
 (3) 正確な調査票等の提出が行えるよう、労働基準法等に従い就業規則を作成すると共に賃金台帳を調製・保存する等、日頃より使用している現場労働者の賃金時間管理を適切に行わなければならない。
 (4) 対象工事の一部について下請契約を締結する場合には、当該下請負工事の受注者（当該下請工事の一部に係る二次以降の下請負人を含む。）が前号と同様の義務を負う旨を定めなければならない。

○ 29 建設発生土の処理 [3.2.5]
 ○ 場外指定場所に搬出し、監督員へ搬出先の受入を証明する資料を提出する。
 搬出場所（ 施工者提案による ）
 受入条件（ ）
 搬出距離（ ）
 仮置き場（ ）
 なお、搬出場所、受入条件等は、設計図書作成時点のものであり、受注者は作成した施工計画や実施計画により、搬出予定時期の受入条件等を確認し、結果を監督員と協議する。施工計画の作成時には、工事現場から50kmの範囲内に建設発生土を利用する他の建設工事があるか静岡県建設発生土マテリアルバンク等により検討を行い、利用先がある場合はこちらを優先とする。また、確認の結果、受入条件等の変更により搬出が困難な場合は、近隣の受入先を調査の上、搬出場所、受入条件等が確認できる資料を監督員に提出する。監督員は、提出された資料をふまえて受注者と協議の上、新たな搬出場所等を指定するとともに、必要に応じて設計変更を行う。
 土壌汚染のおそれ ・ 無 ・ 有
 該当有害物質： ・ 無 ・ 有
 分析調査 ・ 無 ・ 有
 物質の種類
 ・ クロロエチレン ・ ベンゼン ・ チオベンカカブ
 ・ 四塩化炭素 ・ カドミウム及びその化合物 ・ チウラム
 ・ 1,2-ジクロロエタン ・ シアノロム化合物 ・ ポリ塩化ビフェニル
 ・ 1,1-ジクロロエチレン ・ シアン化合物 ・ 有機リン化合物（パラチオン、メチルパラチオン、メチルジメトン及びEPNに限る。以下同じ。）
 ・ 1,2-ジクロロエチレン ・ 水銀及びその化合物 ・ 銅
 ・ 1,3-ジクロロプロパン ・ セン及びその化合物 ・ 1,4-ジオキサン
 ・ ジクロロメタン ・ 鉛及びその化合物 ・ ダイオキシン類
 ・ テトラクロロエチレン ・ ひ素及びその化合物 ・ ほう素及びその化合物
 ・ 1,1,1-トリクロロエタン ・ 1,1,2-トリクロロエタン ・ トリクロロエチレン
 ・ トリクロロエチレン
 ・ 場内指定場所に敷き均し
 ・ 示す
 ・ 場内指定場所に堆積
 ・ 示す

2章 仮設工事
○ 1 足場その他 (2.1.3) (2.2.1) (表2.2.1)
 内部足場の種別 ※ 脚立、足場板等 ○ くさび緊結式足場
 外部足場の種別 ※ 枠組足場 ○ くさび緊結式足場 ・ 単管本足場
 手すり先行足場の設置 ※ 行う ・ 行わない
 工事で設置する足場については、標準仕様書2.2.4(2)によるほか、「手すり先行工法等に関するガイドライン」（厚生労働省令和5年12月）により、「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中さん及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組立てや解体等の作業は「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」の(2)の手すり据置き方式、又は(3)手すり先行専用足場方式により行うこと。屋根面からの墜落事故防止対策として、必要に応じて、JIS A8971（屋根工事用足場及び施工方法）に基づき、建方作業台や墜落防護さく等を設置する。
 ○ 外部足場の防護ネットによる養生
 ・ 養生ネット ○ Ⅰ型 ・ Ⅱ型 ・ ネット状養生シート（ ・ Ⅰ型 ・ Ⅱ型 ）
 騒音・粉じん等の対策 ○ 防音シート ・ 防音パネル ・ 設置範囲 ・ 示す ○ 3階機械室外壁改修部

○ 2 材料、撤去材等の運搬 (2.2.1) (表2.2.1)
 種別 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ○ D種 ・ E種
 C種 利用可能なエレベーター（ ・ 示すによる ）
 D種 利用可能な階段（ ・ 示すによる ）

○ 3 既存部分の養生 (2.3.1)
 ○ 既存部分の養生方法 ※ ビニールシート、合板等
 ○ 既存家具、既存設備等の養生方法 ※ ビニールシート等
 ○ 工事用通路の養生方法 ※ ビニールシート等
 ○ 固定された備品、机、ロッカー等の移動 ※ 示す
 ○ 既存ガラス、窓枠等の養生 ※ 示す
 既存部分に汚染又は損傷を与えるおそれのある場合は養生を行う。また、万一損傷等を与えた場合は、受注者の責任において速やかに修復等の処置を行う。

4 仮設間仕切り (2.3.2)
 仮設間仕切り及び仮設扉の設置箇所 ・ 示す
 仮設間仕切りの種別と材質等

種別	仕上げ(厚さmm)	塗装	充填
・ A種	・ せつこうボード 種別 厚さ ・ 9.5mm	・ 無し ・ 片面	ガラス等※32K厚さ50mm以上
・ B種	・ 合板 種別 厚さ ・ 9mm		
・ C種	防炎シート		

 仮設間仕切りに設ける扉の材質等

材質	仕上げ	塗装	設置箇所
※ 木製	※ 合板張り程度	・ 無し ・ 片面	・ 箇所 ・ 示す

5 監督員事務所 (2.4.1)
 規模、仕様 ・ 10㎡程度 ・ 既存建物利用
 備品等（標準仕様書によるほか下記による）
 ・ 机 ・ 椅子 ・ ゴム長靴 ・ 雨がっぱ ・ 保安帽 ・ 墜落制止用器具 ・ 更衣ロッカー
 以上は監督員1人分
 ・ 書籍 ・ 白板 ・ 排時計 ・ 寒暖計 ・ 懐中電灯 ・ 受注者加入電話の予備機 ・ 消火器
 ・ 冷暖房機器 ・ バッタン（インターネット接続）
 以上は各1ヶ

○ 6 監理事務所
 規模、仕様 ・ 10㎡程度 ・ 既存建物利用 ○ 20㎡程度
 備品等
 ○ 机 ○ 椅子 ・ ゴム長靴 ・ 雨がっぱ ・ 保安帽 ○ 墜落制止用器具 ○ 更衣ロッカー
 以上は 5 人分
 ○ 書籍 ○ 白板 ・ 排時計 ・ 寒暖計 ・ 懐中電灯 ・ 受注者加入電話の予備機 ・ 消火器
 ○ 冷暖房機器 ・ バッタン（インターネット接続）
 以上は各1ヶ

○ 7 工事用水
 構内既存の施設 ・ 利用できない
 ○ 利用できる（ ※ 有償 ・ 無償 ※ 利用可能口径 φ mm ）

○ 8 工事用電力
 構内既存の施設 ・ 利用できない
 ○ 利用できる（ ※ 有償 ・ 無償 ※ 利用可能電力 W 回路 ）

3章 防水改修工事 (1.6.2, 3)
1 施工数量調査
 調査範囲 ・ 示す ・ 防水改修範囲
 調査方法 ・ 示す
 既存部分の破壊を行った場合の補修方法 ・ 示す
 調査報告書 提出部数 ・ 2部

2 降雨等に対する養生方法(とい共) (3.1.3)
 ※ 改修標準仕様書3.1.3(5) (7)~(9)による

3 既存防水の処理 (3.1.4) (3.2.3, 4, 6)
 ・ 既存保護層の撤去 範囲 ・ 示す
 ・ 既存防水層の撤去 範囲 ・ 示す
 ・ 既存露出防水層表面の仕上げ塗装の除去（ ・ MAAS ・ MAASI ・ M4C ・ M4DI ・ L4X ）

4 既存下地の処理 (3.2.6)
 既存下地の補修箇所の形状、長さ、数量等 ・ 示す
 POS工法及びPOSII工法（機械的固定方法）の既存保護層を撤去し防水層を非撤去とした立上り部等の処理 ※ 改修標準仕様書3.2.6(4) (7) (g) (9)による
 設備機器架台、配管受部、バネ台、貫通パイプ回り、手すり・丸環の取付け部、塔屋出入口部等の欠損部及び防水層末端部の納まり部の処理
 ・ 示す ※ 監職員と協議する

5 アスファルト防水 (3.3.2~5)

改修工法	種別	施工箇所	断熱材[G]	絶縁シート	
・ P2A	・ A-1 ・ A-2 ・ A-3	示す	/	※ 30kg/m ² 以上 又はアラキアックス 70kg/m ² 程度	
・ P1B	・ B-1 ・ B-2 ・ B-3				
・ P2A1	・ AI-1 ・ AI-2 ・ AI-3			(種類) JISA9521に基づく押出法ガラス纤 纤断熱材3種A(※厚み付き) (厚さ)mm	※ フタクトン※70g/m ² 程度
・ P1B1	・ BI-1 ・ BI-2				

 改質アスファルトフィニッシュの種別及び厚さ
 ※ 標準仕様書表3.3.3から表3.3.9による
 ・ JIS A 6013に基づく種別及び厚さ
 用途による区分 ・ 露出単層防水用 ・ 露出複層防水用
 ・ 非露出単層防水用 ・ 非露出複層防水用
 材料による区分 ※ R種 mm以上
 厚さ () mm以上
 部分粘着層付改質アスファルトフィニッシュの種別及び厚さ
 ※ 標準仕様書表3.3.3から表3.3.8及び表3.3.9による
 ・ JIS A 6013に基づく種別及び厚さ
 用途による区分 ・ 露出単層防水用 ・ 露出複層防水用
 ・ 非露出単層防水用 ・ 非露出複層防水用
 材料による区分 ※ R種 mm以上
 厚さ () mm以上
 平場の保護コンクリートの厚さ ・ こて仕上げ ※ 水下80mm以上
 ・ 床タイル張り ※ 水下60mm以上

立上り部の保護工法
 ・ 乾式保護材（品質、性能、試験方法）建築材料等品質性能表による
 営業系※Ⅰ類（厚さ（mm）幅（mm））
 ・ れんが押え（※ JIS R 1250）
 ・ コンクリート押え
 ・ モルタル押え（屋内）

屋根露出防水

工法	種別	施工箇所	断熱材[G]	仕上塗料		高日射反射率防水の適用[G]	備考		
				種類	使用量				
・ M4C	・ C-1 ・ C-2 ・ C-3 ・ C-4	示す	/	・ アスファルトフィニッシュ の製造所の仕様による	・ アスファルトフィニッシュ の製造所の仕様による				
・ M3D ・ POD	・ D-1 ・ D-2			・ アスファルトフィニッシュ の製造所の仕様による	・ アスファルトフィニッシュ の製造所の仕様による	・ 脱気装置 ・ 設ける ・ 設けない 改修用ドレン ・ 設ける ・ 設けない			
・ POD1 ・ N4DI	・ DI-1 ・ DI-2			改修標準仕様書 3.3.2(9) (種類) (厚さ)	・ アスファルトフィニッシュ の製造所の仕様による	・ アスファルトフィニッシュ の製造所の仕様による	・ 脱気装置 ・ 設ける ・ 設けない 改修用ドレン ・ 設ける ・ 設けない		
改質アスファルトフィニッシュの種別及び厚さ ※ 改修標準仕様書表3.3.3から表3.3.9による ・ JIS A 6013に基づく種別及び厚さ 用途による区分 ・ 露出単層防水用 ・ 露出複層防水用 ・ 非露出単層防水用 ・ 非露出複層防水用 材料による区分 ※ R種 mm以上 厚さ () mm以上									

部分粘着層付改質アスファルトフィニッシュの種別及び厚さ
 ※ 標準仕様書表3.3.3から表3.3.9による
 ・ JIS A 6013に基づく種別及び厚さ
 用途による区分 ・ 露出単層防水用 ・ 露出複層防水用
 ・ 非露出単層防水用 ・ 非露出複層防水用
 材料による区分 ※ R種 mm以上
 厚さ () mm以上
 屋根露出防水絶縁工法及び屋根露出防水絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量
 種類 ※ アスファルトフィニッシュの製造所の指定
 脱気装置 ※ アスファルトフィニッシュの製造所の指定
 屋根露出防水絶縁断熱工法の場合の、パイプ回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置 ※ 示す

屋内防水

工法	種別	施工箇所	保護層
・ PIE ・ P2E	・ E-1 ・ E-2		・ 設ける（ ※ 示す ） ・ 設けない

 E-1の工法3を行う部位 ※ 貯水槽、浴槽等常時水に接する部位
 押え金物の材質、形状及び寸法 ※ 70kg/m²製 L-30×15×2.0mm程度 ※ 示す

6 改質アスファルトシート防水 (3.4.2, 3)
 屋根露出防水(既存)
 新設防水層の種別

工法	種別	施工箇所	断熱材[G]	仕上塗料		高日射反射率防水の適用[G]	備考	
				種類	使用量			
・ M4AS	・ AS-T1 ・ AS-T2 ・ AS-J2	示す	/	・ 改質アスファルト 製造所の仕様 による	※ 改質アスファルト 製造所の仕様 による			
・ M3AS	・ AS-T3 ・ AS-T4 ・ AS-J1			・ 改質アスファルト 製造所の仕様 による	※ 改質アスファルト 製造所の仕様 による	・ 脱気装置 ・ 設ける ・ 設けない 改修用ドレン ・ 設ける ・ 設けない		
・ POAS	・ AS-T3 ・ AS-T4 ・ AS-J1 ・ AS-J3			・ 改質アスファルト 製造所の仕様 による	※ 改質アスファルト 製造所の仕様 による	・ 脱気装置 ・ 設ける ・ 設けない 改修用ドレン ・ 設ける ・ 設けない		
・ M3ASI	・ ASI-T1 ・ ASI-J1			改修標準仕様書 による	・ 改質アスファルト 製造所の仕様 による	※ 改質アスファルト 製造所の仕様 による	・ 脱気装置 ・ 設ける ・ 設けない 改修用ドレン ・ 設ける ・ 設けない	

 改質アスファルトフィニッシュの種別及び厚さ
 ※ 標準仕様書表3.4.1から表3.4.3による
 ・ JIS A 6013に基づく種別及び厚さ
 用途による区分 ・ 露出単層防水用 ・ 露出複層防水用
 ・ 非露出単層防水用 ・ 非露出複層防水用
 材料による区分 ※ R種 mm以上
 厚さ () mm以上
 粘着層付改質アスファルトの種別及び厚さ
 ※ 改修標準仕様書表3.4.1から表3.4.3による
 ・ JIS A 6013に基づく種別及び厚さ
 用途による区分 ・ 露出単層防水用 ・ 露出複層防水用
 ・ 非露出単層防水用 ・ 非露出複層防水用
 材料による区分 ※ R種 mm以上
 厚さ () mm以上
 部分粘着層付改質アスファルトフィニッシュの種別及び厚さ
 ※ 改修標準仕様書表3.4.1から表3.4.3による
 ・ JIS A 6013に基づく種別及び厚さ
 用途による区分 ・ 露出単層防水用 ・ 露出複層防水用
 ・ 非露出単層防水用 ・ 非露出複層防水用
 材料による区分 ※ R種 mm以上
 厚さ () mm以上
 立上り部の押え金物の材質、形状及び寸法
 ※ 70kg/m²製 L-30×15×2.0mm程度

屋根露出防水絶縁工法及び屋根露出防水絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量
 種類 ※ 改質アスファルト製造所の指定
 設置数量 ※ 改質アスファルト製造所の指定 ・ 個

絶縁断熱工法の防風用シートの設置
 ・ 設置する ・ 設置しない

7 合成高分子ルーフィング防水 (3.5.2~4) (表3.5.1~3)
 新設防水層の種別

工法	種別	施工箇所	断熱材[G]	仕上塗料		高日射反射率防水の適用[G]	備考
				種類	使用量		
・ POS ・ S4S	・ S-F1	示す	/	・ ルーフィングシート製造所の仕様による	・ ルーフィングシート製造所の仕様による	・ 適用 ・ する	・ 脱気装置 ・ 設ける ・ 設けない 改修用ドレン ・ 設ける ・ 設けない
	・ S-F2			・ ルーフィングシート製造所の仕様による	・ ルーフィングシート製造所の仕様による	・ 適用 ・ する	
	・ S-M1			・ ルーフィングシート製造所の仕様による	・ ルーフィングシート製造所の仕様による	・ 適用 ・ する	
	・ S-M2			・ ルーフィングシート製造所の仕様による	・ ルーフィングシート製造所の仕様による	・ 適用 ・ する	
	・ S-F1			・ ルーフィングシート製造所の仕様による	・ ルーフィングシート製造所の仕様による	・ 適用 ・ する	・ 脱気装置 ・ 設ける ・ 設けない
・ S3S	・ S-F1	示す	/	・ ルーフィングシート製造所の仕様による	・ ルーフィングシート製造所の仕様による	・ 適用 ・ する	・ 脱気装置 ・ 設ける ・ 設けない
	・ S-F2			・ ルーフィングシート製造所の仕様による	・ ルーフィングシート製造所の仕様による	・ 適用 ・ する	
・ M4S	・ S-M1	示す	/	・ ルーフィングシート製造所の仕様による	・ ルーフィングシート製造所の仕様による	・ 適用 ・ する	・ 脱気装置 ・ 設ける ・ 設けない
	・ S-M2			・ ルーフィングシート製造所の仕様による	・ ルーフィングシート製造所の仕様による	・ 適用 ・ する	
・ S3SI	・ SI-F1	示す	/	改修標準仕様書 3.5.2(3) (a) (b) (種類) (厚さ) ・ 25mm ・ 50mm	・ ルーフィングシート製造所の仕様による	・ 適用 ・ する	・ 脱気装置 ・ 設ける ・ 設けない 改修用ドレン ・ 設ける ・ 設けない
	・ SI-F2			改修標準仕様書 3.5.2(3) (a) (種類) (厚さ) ・ 25mm ・ 50mm	・ ルーフィングシート製造所の仕様による	・ 適用 ・ する	
	・ SI-M1			改修標準仕様書 3.5.2(3) (a) (種類) (厚さ) ・ 25mm ・ 50mm	・ ルーフィングシート製造所の仕様による	・ 適用 ・ する	
	・ SI-M2			改修標準仕様書 3.5.2(3) (a) (種類) (厚さ) ・ 25mm ・ 50mm	・ ルーフィングシート製造所の仕様による	・ 適用 ・ する	

 ・ S-F1, S-M1, S-F2, S-M2の仕様 ※ 非歩行仕様 ・ 歩行仕様
 ・ S-M1及びSI-M2の場合の防風用70kg/m²の設置

屋内防水

種別	施工箇所	保護層	
		平場の防水層厚	立上り部の保護層厚
・ S-C1			※ 7mm以下
・ PIS			

 床塗りの場合の床の目地
 目地割り（ ・ ※ 2㎡程度（最大目地間隔3m程度））
 目地の種類（ ・ ※ 押し目地 ）
 ルーフィングシートの種類及び厚さ
 ※ 改修標準仕様書表3.5.1から表3.5.3による
 ・ JIS A 6008に基づく種別及び厚さ
 種類
 厚さ mm以上
 絶縁シート ※ 発泡ポリスチレン
 固定金具の材質及び寸法形状
 ※ 厚さ0.4mm以上の防錆処理した鋼板、ステン鋼板又はそれらの鋼板の片面若しくは両面に樹脂を積層加工したもの
 接着工法の場合の脱気装置の種類及び設置数量
 種類 ※ ルーフィングシート製造所の仕様による
 設置数量 ※ ルーフィングシート製造所の仕様による ・ 個
 接着工法の場合のプレキャストコンクリート部材下地の目地処理
 ・ 示すによる
 プレキャスト部材の入隅部の増張り（種別SI-F1, SI-F1の場合）
 ・ 行う（ ・ 示す ） ・ 行わない
 機械的固定工法の場合の一般部のルーフィングシートの張付け
 1章 適用区分による風圧力の（ ・ 1 ・ 1.15 ・ 1.3 ） 倍の風圧力に対応した工法

8 塗膜防水 (3.6.2, 3)
 新設防水層の種別

工法	種別	施工箇所	仕上塗料		高日射反射率防水の適用[G]	備考	
			種類	使用量			
・ POX	・ X-1 ・ X-2 ・ X-1H ・ X-2H	示す	/	・ 主材料の製造所の仕様による	※ 主材料の製造所の仕様による	・ 脱気装置 ・ 設ける ・ 設けない 改修用ドレン ・ 設ける ・ 設けない	
・ L4X	・ X-1 ※ X-2 ・ X-1H ・ X-2H			・ 主材料の製造所の仕様による	※ 主材料の製造所の仕様による	・ 脱気装置 ・ 設ける ・ 設けない	
別添資料※塗膜防水X-1(絶縁工法)の脱気装置の種類及び設置数量 種類 ・ 主材料の製造所の仕様による 設置数量 ・ 個 ※ 主材料の製造所の仕様による							

工法	種別	施工箇所	工務数及び各工務の使用量	保護層
・ PIY	※ Y-2		・ ※ 主材料の製造所の仕様による	・ 設ける ・ 設けない
・ P2Y	※ Y-2		・ ※ 主材料の製造所の仕様による	・ 設ける ・ 設けない

○9 シーリング (3.1.4)(3.7.2~8)

シーリング 改修工法の種類
 ・シーリング 充填工法
 ・シーリング 再充填工法
 ・拡幅シーリング 再充填工法
 ・アラッジ 工法
 ・ボンドブレーカー 張り
 ・エッジング 材張り

シーリング 材の種類、施工箇所
 下記以外は(表3.7.7.)による

施工箇所	シーリング 材の種類(記号)
ひび割れ誘発目地	PL-2

仕上げを行わない施工箇所
 シーリング 材の目地寸法
 目地位置
 シーリング 材の試験

○10 とい (3.8.2、3)(表3.8.1)

といその他の材質
 ・配管用銅管
 ・表面処理鋼板(表面及び裏面の塗膜の種類)
 ・鋼管製といの防露巻き

とい受金物
 材質
 形状
 取付け間隔

足金物
 材質
 形状
 取付け間隔

多雪地域の適用
 防露材の敷設量
 鋼管製といの防露巻き

種類	呼び	施工箇所
ろく量根用たて形1型	ねじ込み式	80 ・ 100 ・ 125 ・ 150
ろく量根用横形1型	ねじ込み式	80 ・ 100 ・ 125 ・ 150
パルコー中継用	ねじ込み式	50 ・ 80 ・ 100
パルコー用	ねじ込み式	50 ・ 80 ・ 100
	ねじ込み式	50 ・ 75 ・ 100

たてとい受金物の取付け
 ルーフドレンの取付け

11 アルミニウム製笠木 (3.9.2、3)

種類
 表面処理
 既存笠木等の撤去
 地下補修の工法
 板材折曲げ形の笠木の取付方法
 笠木の固定金具の工法等

4章 外壁改修工事(共通事項・材料) (1.6.2、3)

1 施工数量調査 (1.6.2、3)

調査範囲
 調査内容

ひび割れ
 浮き
 剥離・剥落
 塗り仕上げ
 既存部分の破壊を行った場合の補修方法
 調査報告書の部数
 報告書の内容

調査者(氏名、資格等)、調査日、調査結果一覧表、図面、写真等

4-1章 外壁改修工事(コンクリート打放し仕上げ外壁改修) (4.1.4)(4.2.4~8)

1 ひび割れ部改修工法 (4.1.4)(4.2.4~8)

工法の種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)
※自動式低圧球 樹脂注入工法	0.2以上~1.0以下	※200~300	・130
・手動式球 樹脂注入工法	0.2以上~0.3未満	・50~100	・40
・機械式球 樹脂注入工法	0.3以上~0.5未満	・100~200	・70
	0.5以上~1.0以下	・150~250	・130

注入状況の確認方法
 抜き取り回数
 抜き取り部の補修方法

2 欠損部改修工法 (4.1.4)(4.2.4、7)

3 浮き部改修工法 (4.1.4)(4.2.9、10)

4-2章 外壁改修工事(モルタル塗り仕上げ外壁改修)

1 既存モルタル塗りの撤去 (4.1.4)(4.3.5~8)

2 ひび割れ部改修工法 (4.1.4)(4.3.5~8)

工法の種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)
※自動式低圧球 樹脂注入工法	0.2以上~1.0以下	※200~300	・130
・手動式球 樹脂注入工法	0.2以上~0.3未満	・50~100	・40
・機械式球 樹脂注入工法	0.3以上~0.5未満	・100~200	・70
	0.5以上~1.0以下	・150~250	・130

注入状況の確認方法
 抜き取り回数
 抜き取り部の補修方法

3 欠損部改修工法 (4.1.4)(4.2.9、10)

4 浮き部改修工法 (4.1.4)(4.3.11~16)

工法の種類	フオケビンの本数(本/㎡)		注入口の箇所数(箇所/㎡)		注入量(ml/箇所)
	一般部	指定部	一般部	指定部	
・フオケビンが部分球 樹脂注入工法	※16	※25			※25
・フオケビンが全面球 樹脂注入工法	※13	※20	※12	※20	※25
・フオケビンが全面球 樹脂注入工法	※13	※20	※12	※20	※50
・注入口付フオケビンが部分球 樹脂注入工法	※9	※16			※25
・注入口付フオケビンが全面球 樹脂注入工法	※9	※16	※9	※16	※25
・注入口付フオケビンが全面球 樹脂注入工法	※9	※16	※9	※16	※50
・充填工法					
・樹脂塗替え工法					

フオケビンの材質
 注入口付フオケビンの材質
 注入工法用材料
 広がり速度
 充填工法用材料
 樹脂塗替え工法用材料
 既製目地材
 仕上厚又は全塗厚が25mmを超える場合の処置

4-3章 外壁改修工事(タイル張り仕上げ外壁改修) (4.1.4)(4.4.5、7)

○1 既存タイル張りの撤去 (4.1.4)(4.4.5、6)

○行う (※外装タイル張り全面) (※ひび割れ範囲) (※範囲) (※範囲)
 撤去範囲 ※下地タイルまで ※張付けタイルまで ※タイルのみ

撤去後の処置
 ・「4-1.1ひび割れ部改修工法」の後、「4-3.3欠損部改修」を行う。
 ・「4-2.2ひび割れ部改修工法」の後、「4-3.3欠損部改修」を行う。

タイルの形状、寸法

施工箇所	種類	形状/寸法(mm)	再生材の適用[G]	吸水率による区分			うわぐすり	役物	色	耐凍害性	耐滑り性	備考
				I類	II類	III類						
北面	磁器質	45*45	・	○	・	・	○	・	○	○	○	・

標準的な曲がりの役物は一体成形とする。
 ○見本焼き (施工箇所 北面45*45タイル) (試験張り (範囲、仕様等は図示による))

2 ひび割れ部改修工法 (4.1.4)(4.4.5、6)

工法の種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)
※自動式低圧球 樹脂注入工法	0.2以上~1.0以下	※200~300	・130
・手動式球 樹脂注入工法	0.2以上~0.3未満	・50~100	・40
・機械式球 樹脂注入工法	0.3以上~0.5未満	・100~200	・70
	0.5以上~1.0以下	・150~250	・130

注入状況の確認方法
 抜き取り回数
 抜き取り部の補修方法

3 欠損部改修工法 (4.1.4)(4.4.5、7、8)

1か所当たりの張替え面積が0.25㎡を超える場合の工法 (※図示による)

・タイル部分張替え工法
 接着剤の種類
 ・樹脂塗替え工法
 張替え用材料
 ・接着剤: JIS A 5557Iに基づく一液反応硬化形成変成シリコン樹脂系
 ・張付けタイル (現場調査材料・既調査タイル)

伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地
 ※改修標準仕様書表4.4.2による (※図示による)

・外装タイル張り下地等の下地タイル及び下地調整材塗りの接着力試験

タイル張りの工法
 ・外装タイル張り下地等の下地タイル及び下地調整材塗りの接着力試験

タイル張りの工法
 ・外装タイル張り下地等の下地タイル及び下地調整材塗りの接着力試験

有機系接着剤によるタイル (タイル) 張り
 タイル塗りを行うコンクリート素地面の処理
 ・目荒らし工法 (改修標準仕様書4.3.10)による

シーリング 材の種類
 打継ぎ目地、ひび割れ誘発目地
 伸縮調整目地その他の目地
 シーリングのその他事項は、改修特記仕様書3章 防水改修工事による

4 浮き部改修工法 (4.1.4)(4.4.5)(4.5.9~15)

工法の種類	フオケビンの本数(本/㎡)		注入口の箇所数(箇所/㎡)		注入量(ml/箇所)
	一般部	指定部	一般部	指定部	
・フオケビンが部分球 樹脂注入工法	※16	※25			※25
・フオケビンが全面球 樹脂注入工法	※13	※20	※12	※20	※25
・フオケビンが全面球 樹脂注入工法	※13	※20	※12	※20	※50
・注入口付フオケビンが部分球 樹脂注入工法	※9	※16			※25
・注入口付フオケビンが全面球 樹脂注入工法	※9	※16	※9	※16	※25
・注入口付フオケビンが全面球 樹脂注入工法	※9	※16	※9	※16	※50
・充填工法					
・樹脂塗替え工法					

フオケビンの材質
 注入口付フオケビンの材質
 注入工法用材料
 広がり速度
 充填工法用材料
 樹脂塗替え工法用材料
 既製目地材
 仕上厚又は全塗厚が25mmを超える場合の処置

タイル部分張替え工法
 接着剤の種類
 ・樹脂塗替え工法
 張替え用材料
 ・接着剤: JIS A 5557Iに基づく一液反応硬化形成変成シリコン樹脂系
 ・張付けタイル (現場調査材料・既調査タイル)

伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地
 位置 ※改修標準仕様書表4.5.11による (※図示による)

・外装タイル張り下地等の下地タイル及び下地調整材塗りの接着力試験

タイル張りの工法
 ・外装タイル張り下地等の下地タイル及び下地調整材塗りの接着力試験

有機系接着剤によるタイル (タイル) 張り
 タイル塗りを行うコンクリート素地面の処理
 ・目荒らし工法 (改修標準仕様書4.3.10)による

シーリング 材の種類
 打継ぎ目地、ひび割れ誘発目地
 伸縮調整目地その他の目地
 シーリングのその他事項は、改修特記仕様書3章 防水改修工事による

目地詰め ※行う (※範囲) (※範囲)

5 目地改修工法 (4.1.4)(4.4.16)

目地改修工法
 ・目地ひび割れ部改修工法
 ・伸縮調整目地改修工法
 ・伸縮調整目地の位置及び寸法 (※図示による)

シーリングは、改修特記仕様書3章 防水改修工事による

4-4章 外壁改修工事(塗り仕上げ外壁改修) (4.5.4)

○1 既存塗膜等の除去、下地処理及び下地調整 (4.5.4)

工法	処理範囲	下地面の補修
・ワダー工法	※既存仕上面全体 (※図示)	・ひび割れ部改修工法 ・浮き部改修工法 ・欠損部改修工法
○高圧水洗工法	※既存仕上面全体 (※図示)	・ひび割れ部改修工法 ・浮き部改修工法 ・欠損部改修工法
・塗膜はく離工法	※既存仕上面全体 (※図示)	・ひび割れ部改修工法 ・浮き部改修工法 ・欠損部改修工法
・水洗い工法	※ワダー工法、高圧水洗工法、塗膜はく離工法の処理範囲以外の既存仕上面全面 (※図示)	

2 下地調整塗材 (4.5.2)

下地調整 ※下地調整塗材 (※改修標準仕様書表4.5.1による)

3 仕上げ塗材仕上げ (4.1.5)(4.5.2)(表4.5.1)

新規仕上げ塗材の種類

種類(呼び名)	仕上げの形状	工法	上塗り	防火材料
薄付け仕上塗材				
種別(呼び名)	仕上げの形状	工法	上塗り	防火材料
			適用する	適用する
			適用する	適用する

厚付け仕上塗材

種類(呼び名)	仕上げの形状	工法	上塗り	防火材料
			適用する	適用する
			適用する	適用する

複層仕上げ塗材

種類(呼び名)	仕上げの形状	工法	上塗り	防火材料
			適用する	適用する
			適用する	適用する

可とう形改修用仕上げ塗材

種類(呼び名)	仕上げの形状	工法	上塗り	防火材料
			適用する	適用する
			適用する	適用する

株式会社石本建築事務所

管理建築士 本村 雅昭
 一級建築士登録 第340068号

概算 概算 日付

建設工事名

令和8年度 長泉町文化センター大規模改修工事

建築工事改修特記仕様書-3

図番 AT-3

5章 建具改修工事 (5.1.3) (5.1.6)

○1 改修工法

建具の種類	かぶせ工法	撤去工法	適用箇所
○アルミ製建具	※ 図示	○	・ 建具表による ○ 3階機械室外壁がけ
・ 樹脂製建具	※ 図示	・	・ 建具表による
・ 鋼製建具	・ 外部	・	・ 建具表による
	・ 内部	・	・ 建具表による
○ 鋼製軽量建具	※ 図示	○	○ 各階便所廻り
・ ステンレス製建具	※ 図示	・	・ 建具表による
・ 木製建具	※ 図示	・	・ 建具表による

新規に建具を設ける場合
壁部分の開口の開け方 ※ 図示
新規建具周囲の補修工法及び範囲 ※ 図示
建具周囲のシールドは、改修特記仕様書3章防水改修工事による
・ 再使用 (・ プラインドボックス)

2 防火戸 (5.1.4)
・ 指定する 適用箇所 (・ 建具表による)
・ 指定しない
防火戸の自動閉鎖機構及びヒューズ装置、熱感知器又は煙感知器との連動
・ 連動させる (・ 建具表による)
・ 連動させない

3 見本の製作等 (5.1.5)
・ 建具見本の製作 建具符号：
・ 建具見本の目的等
・ 特殊な建具の仮組 建具符号：

4 防犯建物部品 (5.1.7)
・ 適用する (※ 建具表による) ・ 適用しない

○5 アルミニウム製建具 (5.2.2~5) (表5.2.2)
性能値等
耐風圧性の等級 (・)
(建具符号 ・ 建具表による)
気密性の等級 (・)
(建具符号 ・ 建具表による)
水密性の等級 (・)
(建具符号 ・ 建具表による)
外部に面する建具の種類
・ A種 (建具符号 ・ 建具表による)
・ B種 (建具符号 ・ 建具表による)
・ C種 (建具符号 ・ 建具表による)
枠の見込み寸法
(・ 建具表による ○ 70)
防音ドア・防音サッシ
遮音性の等級 (・)
(建具符号 ・ 建具表による)
断熱ドア・断熱サッシ[G]
断熱性の等級 (・)
(建具符号 ・ 建具表による)
材料
ステンレス鋼板 ※ SUS304、SUS430J1L又はSUS443J1
ステンレス製のくつずりの仕上げ ※ HL
形状及び仕上げ
表面処理
外部に面する建具
種別 ・ BB-1 ・ BB-2(改修標準仕様書5.2.2)
着色 ・ 標準色 ・ 特注色
屋内の建具
種別 ・ BC-1 ・ BC-2(改修標準仕様書5.2.2)
着色 ・ 標準色 ・ 特注色
結露水の処理方法
・ 水貯め式 ・ 排水式
工法
水切り板、ぜん板 ※ 図示による

網戸等 (5.2.3) (5.3.3)

種類	材質	網径	網目
・ 防虫網	※ 合成樹脂製 ・ ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ ステンレス (SUS316) 製	※ 0.25mm以上	※ 16~18メッシュ
・ 防鳥網	ステンレス (SUS304) 線材	1.5mm	網目寸法 15mm

6 樹脂製建具 (5.2.2) (5.3.2~5)
性能値等
耐風圧性の等級 (・)
気密性の等級 (・)
水密性の等級 (・)
外部に面する建具の種類
・ A種 (建具符号 ・ 建具表による)
・ B種 (建具符号 ・ 建具表による)
・ C種 (建具符号 ・ 建具表による)
防音ドア・防音サッシ
遮音性の等級 (・ T-1 ・ T-2)
(建具符号 ・ 建具表による)
断熱ドア・断熱サッシ[G]
断熱性の等級 (・ H-4 ・ H-5 ・ H-6 ・ H-7 ・ H-8)
(建具符号 ・ 建具表による)
外部に面する建具の日射熱取得性の等級
・
枠の見込み寸法
・ 建具表による
材料
ガラス ※ 複層ガラス
ステンレス製のくつずりの仕上げ ※ HL
形状及び仕上げ
表面色 ・ 標準色 ・ 特注色
工法
水切り板、ぜん板 ※ 図示による

7 鋼製建具 (5.2.2) (5.4.2~4) (表5.4.2)
性能値等
簡易気密型ドアレット
・ 適用する (建具符号 ・ 建具表による)
・ 適用しない
外部に面する鋼製建具の耐風圧性 耐風圧性の等級 (・)
(建具符号 ・ 建具表による)
防音ドア・防音サッシ
遮音性の等級 (・)
(建具符号 ・ 建具表による)
断熱ドア・断熱サッシ[G]
断熱性の等級 (・)
(建具符号 ・ 建具表による)
耐震性能
建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による

材料
ステンレス製くつずりの仕上げ ※ HL
ステンレス鋼板 ※ SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1
形状及び仕上げ
鋼板の厚さ ※ 改修標準仕様書5.4.2による mm
標準型鋼製建具の形式及び寸法
※ 建具表による

○8 鋼製軽量建具 (5.2.2) (5.5.2~4)
性能値等
簡易気密型ドアレット
・ 適用する (建具符号 ・ 建具表による)
・ 適用しない
防音ドア・防音サッシ
遮音性の等級 (・)
(建具符号 ・ 建具表による)
断熱ドア・断熱サッシ[G]
断熱性の等級 (・)
(建具符号 ・ 建具表による)
耐震性能
建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による

材料
鋼板の種類 ・ 亜鉛めっき鋼板 ・ ビニール被覆鋼板 ・ 彩鋼板 ・ ステンレス鋼板
ステンレス鋼板 ※ SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1
重合せ、縦小口包み板の材質 ※ 鋼板
ステンレス製のくつずりの仕上げ ※ HL
形状及び仕上げ
鋼板の厚さ (mm)
鋼板の厚さ ※ 改修標準仕様書5.5.1による
mm 使用箇所 ()
防音性能を求める戸
・ 適用する (建具符号 ・ 建具表による)
防音充填剤 ・ グラスウール ・ ロックウール
標準型鋼製建具の形式及び寸法
※ 建具表による

9 ステンレス製建具 (5.2.2) (5.4.2) (5.6.2~5)
性能値等
簡易気密型ドアレット
・ 適用する (適用箇所 ※ 図示)
・ 適用しない
外部に面する建具の耐風圧性 耐風圧性の等級 (・)
(建具符号 ・ 建具表による)
防音ドア・防音サッシ
遮音性の等級 (・)
(建具符号 ・ 建具表による)
断熱ドア・断熱サッシ[G]
断熱性の等級 (・)
(建具符号 ・ 建具表による)
耐震性能
建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による

材料
ステンレス鋼板 ※ SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1
ステンレス製のくつずりの仕上げ ※ HL
形状及び仕上げ
表面仕上げ ・ 鏡面仕上げ
工法
ステンレス鋼板の曲げ加工 ※ 普通曲げ ・ 角出し曲げ

10 木製建具 (5.7.2~4)
建具材の加工、組立時の含水率 ※ A種
建物内部の木製建具に使用する接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆
・ フラッシュ戸
表面材のホルムアルデヒド放散量等 ※ 改修標準仕様書5.7.2(2) (f) (a) による

表面材の合板の種類

合板の種類	規格等	備考
・ 普通合板[G]	表面の樹種 (・) 板面の品質 (※ 広葉樹1等) 接着の程度 (・ 1種 ・ 2種)	
・ 天然木化粧合板[G]	樹種名 (・) 接着の程度 (・ 1種 ・ 2種)	
・ 特殊加工化粧合板[G]	化粧加工の方法 ※ プリント ・ ポリエステル化粧合板 ・ メラミン化粧合板 接着の程度 (・ 1種 ・ 2種)	
・ MDF[G]	表面面の状態による区分 () 曲げ強さによる区分 () 耐水性による区分 () 難燃性による区分 ()	

表面板の厚さ ※ 改修標準仕様書5.7.6による
・ 引戸の召合わせかまちのいもうけの適用

・ かまち戸 樹種 () 鏡板樹種 ()
見込み寸法 ※ 36mm ・ 建具表による
張りの種別 (・ I形 ・ II形)
・ ふすま 上張り (押入等の裏側以外) ・ 鳥の子 ・ 新鳥の子又はビニール紙程度
縁仕上 ・ 塗り縁 ・ 生地縁 (素地) ・ 生地縁 (ウレタンや塗装)
見込み寸法 ※ 19.5mm ・ 建具表による
・ 戸ぶすま 表面板の仕上げ ・ 建具表による
見込み寸法 ※ 30mm ・ 建具表による
見込み寸法 ※ 30mm ・ 建具表による
・ 紙張り障子 見込み寸法 ※ 30mm ・ 建具表による

枠、くつずりの材料 ・ 建具表による

○11 建具用金物 (5.8.2、3)
金物の種類・見え掛りの材質等 ※ 改修標準仕様書5.8.1による
金属製建具用丁番の枚数及び大きさ ※ 改修標準仕様書5.8.2による
樹脂製建具用丁番の枚数及び大きさ ※ 改修標準仕様書5.8.3による
木製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ ※ 改修標準仕様書5.8.4による
木製建具に使用する戸車及びレール ※ 改修標準仕様書5.8.5による
握り玉、レバーヘッド、押板類、バルブの取付位置 ・ 建具表による
○ 錠前類 【シリンダ錠及びピン錠本錠り錠】 別表による
○ キー類 別表による

○12 錠 (5.8.4)
マスター ・ 製作する ・ 既存のマスターに合わせる ○ 製作しない
その他の錠の製作本数 ※ 3本1組(室名札付き) ・
錠箱 ・ 有 ・ 無

13 自動ドア閉鎖装置 (5.9.2、3)
戸の開閉方式
・ 建具表による
・ 引き戸用駆動装置
性能値
※ 改修標準仕様書5.9.11による (・ 防錆の適用)
・ 以下による
種類 開閉方式 ()
耐電圧 ()
温度上昇 ()
耐久性(材料) ()
防錆 ()
電源 ()
・ 車椅子使用者用便所出入口引き戸用駆動装置
性能値
※ 改修標準仕様書5.9.21による (・ 防錆の適用)
・ 以下による
耐電圧 ()
温度上昇 ()
耐久性(材料) ()
防錆 ()
電源 ()
・ 引き戸用検出装置
性能値
※ 改修標準仕様書5.9.31による (・ 防錆の適用)
・ 以下による
耐電圧 ()
温度上昇 ()
耐久性(材料) ()
防錆 ()
電源 ()
引き戸用検出装置の種類 改修標準仕様書5.8.4
・ 建具表による

14 自閉式上吊り引戸装置 (5.10.3)
性能値等
※ 改修標準仕様書5.10.1による
・ 以下による
自動開き力 ()
自動閉じ力 ()
閉じ速度の調整 ()
制御区間 ()
開閉繰り返し ()
耐衝撃性 ()

15 重量シャッター (5.11.2、3)
シャッターの種類 ・ 管理用シャッター
・ 外壁用防火シャッター
・ 屋内用防火シャッター
・ 防煙シャッター
外壁開口部に設ける重量シャッターの耐風圧強度 () Pa
開閉方式の種類 ※ 電動式(手動併用) ・ 手動式
安全装置
電動シャッターの急降下停止装置、急降下制動装置 (設置箇所 ・ 建具表による)
電動シャッターの障害物感知装置
※ 設ける (設置箇所 ・ 建具表による)
・ 設けない
屋内用防火シャッター若しくは防煙シャッターの危害防止機構
※ 設ける (設置箇所 ・ 建具表による)
・ 設けない
管理用シャッターのシャッターケース
・ 設ける ・ 設けない
スリット及びシャッター用鋼板
鋼板の種類
・ JIS G 3302(溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯)
・ JIS G 3312(塗装溶融亜鉛めっき鋼板鋼帯)
めっきの付着量
※ Z12またはF12
がけレール、まぐさ、雨掛りに用いる座板及び座板のカバー、雨掛りに用いるスリット類のふたの材質
ステンレス鋼板
※ SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1

16 重量シャッター (5.12.2~4)
開閉方式の種類 ※ 手動式 ・ 電動式(手動併用)
耐風圧強度 () Pa
安全装置(電動シャッター)
・ 急降下停止装置 ・ 設ける (設置箇所 ・ 建具表による)
・ 設けない
※ 障害物感知装置 (設置箇所 ・ 建具表による)
スリットの材質の種類 ・ JIS G 3312(塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯)
めっきの付着量 (※ Z06またはF06)
・ JIS G 3322(塗装溶融55%Zn-0.01%Al-亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯)
めっきの付着量 (※ AZ90)
スリットの形状 ・ インロック形 ・ オペレーション形

17 オーバーヘッドドア (5.13.2、3)
ガラス材料による区分
風圧性による強さの区分
開閉方式による区分
収納形式による区分
がけレールの材料

※ ガラス ・ アルミ複層ガラス ・ フライバーグガラス	・ 50 ・ 75 ・ 100 ・ 125	※ ペアス式 ・ チェーン式 ・ 電動式	・ スクワート形 ・ ロケット形 ・ ハッチ形 ・ ペア形	※ 溶融亜鉛めっき鋼板 ・ ステンレス鋼板
------------------------------------	--------------------------------	----------------------------	--	--------------------------

電動式オーバーヘッドドアの障害物感知装置 (設置箇所 ・ 建具表による)

18 ガラス (5.14.2~4)
・ ガラスの種類及び厚さの呼びによる種類 ※ 建具表による
・ 型板ガラスの厚さによる種類 ※ 建具表による
・ 網入板ガラス及び網入板ガラスの網又は線の形状、板の表面の状態及び厚さの呼びによる種類 ※ 建具表による
・ 合わせガラス
材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びにガラスの合計厚さ及び特性による種類 ※ 建具表による
落球衝撃はく離特性並びにショットパッチ衝撃特性による種類
・ I類 ・ II-1類 ・ II-2類 ・ III類
・ 強化ガラス
形状による種類、材料板ガラスの種類、厚さの呼びによる種類及び特性による種類 ※ 建具表による
破片の状態及びショットパッチ衝撃特性による種類
・ I類 ・ III類
・ 熱線吸収板ガラス
板ガラスの種類、厚さによる種類 ※ 建具表による
性能による種類
・ 1種 ・ 2種
・ 複層ガラス
材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに複層ガラスの厚さ ※ 建具表による
断熱性による区分 ・ T1 ・ T2 ・ T3 ・ T4 ・ T5 ・ T6
日射取得性、日射遮蔽性による区分 ・ G ・ S
乾燥気体の種類 ・ 空気 ・ フロン
・ 熱線反射ガラス
材料板ガラスの種類及び厚さによる種類 ※ 建具表による
日射遮蔽性による区分 ・ 1種 ・ 2種 ・ 3種
耐久性による区分 (日射遮蔽性による区分が2種の場合) ・ A類 ・ B類
・ 強化ガラスの種類及び厚さによる種類 ※ 建具表による

ガラスの留め材及び溝の大きさ

建具の種類	ガラス留め材	ガラス溝の大きさ(mm)
アルミ製	・ シーリング材 ・ グレイン/ツグ/ガラス	・ 図示 ・ 建具の製造所の仕様による
鋼製及び鋼製軽量	・ シーリング材	・ 図示 ・ 建具の製造所の仕様による
ステンレス製	・ シーリング材	・ 図示 ・ 建具の製造所の仕様による
樹脂製	・ グレイン/ツグ/ガラス	・ 図示 ・ 建具の製造所の仕様による

・ ガラス端部で枠にのみ込まない部分の小口処理(建具表による)
仕上げの程度 ・

19 ガラスロック (5.14.5)
呼び寸法(mm) 厚さ(mm) 色調 目地幅(mm) 伸縮調整目地位置(mm) 防火性能

・ 160×160	・ 95				
・ 200×200	・ 95				

壁用金属枠及び補強材 ※ 図示
力骨 材質 ※ ステンレス鋼(SUS304)
寸法 ※ 5.5mm
形状 ※ はしご形状複筋及び単筋
化粧目地の色 (・ 白)
シーリングの種類 ・ SR-1 ・ グレー
金属製化粧カバー 材質 ・ ステンレス製 ・ 7%Zn製
寸法 ※ 図示
形状 ※ 図示
目地部の横力骨の納まり ※ ガラスロック製造所の仕様による
・ 図示
工法 適用区分による風圧力の (・ 1 ・ 1.15 ・ 1.3) 倍の風圧力に対応した工法

20 ガラス用フィルム

種類	記号	性能等
・ 日射調整フィルム[G]	内貼り用 ・ SC-1 ・ SC-2	
・ 低放射フィルム	・ LE	
・ 衝撃破壊対応ガラス飛散防止フィルム	・ GI-1 ・ GI-2	
・ 相関変位破壊対応ガラス飛散防止フィルム	・ GD-1 ・ GD-1	
・ ガラス通過防止フィルム	・ SF	

品質 JIS A 5759による。

6章 内装改修工事 (6.1.3)

6.1 改修範囲

6.2 既存床の撤去及び下地補修

6.3 既存壁の撤去及び下地補修

6.4 木下地等の表面仕上げ

6.5 木材の施工一般

6.6 製材 [G]

7 造作用集材材 [G]

7.1 JAS 1152に基づく造作用集材材

7.2 JAS 1152以外の造作用集材材

7.3 JAS 1152以外の化粧ばり造作用集材材

8 造作用単板積層材 [G]

9 合板等

9.1 JAS 0233に基づく普通合板[G]

9.2 JAS 0233に基づく構造用合板[G]

9.3 JAS 0233に基づく特殊加工化粧合板[G]

9.4 JIS A 5908に基づく「パーティクルボード」[G]

9.5 JAS 0360に基づく構造用合板

9.6 JIS A 5905に基づくMDF[G]

10 接合具等

11 接着剤

12 防腐・防蟻・防虫処理等

13 内部間仕切軸組及び床組み

14 窓、出入り口その他

15 床板張り

16 壁及び天井下地

17 経量鉄骨天井下地

18 経量鉄骨壁下地

19 ビール床シート [G]

20 接着材

21 ビール床タイル[G]

22 特殊機能床材

23 ビール幅木

24 ゴム床タイル

25 カーベット敷き

26 合成樹脂塗床

27 フローリング張り

<p>5 断熱・防露改修工事 [G] (9.3.2~4)</p> <p>フェノール系断熱材又は保溫材、接着剤の$84A747^{\circ}$td放出量 ※F☆☆☆☆ 開口部等補修のための張付け用の接着剤の$84A747^{\circ}$td放出量 ※F☆☆☆☆</p> <p>工法</p> <ul style="list-style-type: none"> 断熱材打込み工法 <ul style="list-style-type: none"> 断熱材 JIS A 9521に基づく発砲アラマク断熱材 種類 厚さ(mm) 施工箇所 断熱材現場発泡工法 <ul style="list-style-type: none"> 断熱材の種類 ・ A種1 ・ A種1H 吹付け厚さ(mm) ・ 25 ・ 30 施工箇所 ・ 図示 断熱材後張り工法 <ul style="list-style-type: none"> 断熱材 JIS A 9521に基づく発砲アラマク断熱材 種類 厚さ(mm) 断熱材にせっこうボード等を張り付けたパネ 材質 厚さ(mm) 張り付け工法 断熱材の張り付け工法 断熱材へのボードの張り付け工法 	<p>標準仕様書 20章 ユニット及びその他工事 (20.2.2)</p> <p>1 フリーアクセスフロア (20.2.2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>工法</th> <th>寸法(mm)</th> <th>高さ(mm)</th> <th>耐震性能</th> <th>所定荷重(N)</th> <th>表面仕上材</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>・ 置敷式 ・ 支柱調整式</td> <td>・ 500×500</td> <td></td> <td>・ 1.0G ・ 0.6G</td> <td>・ 3000 ・ 5000</td> <td>・ 帯電防止床材 ・ タイタペット</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>寸法精度 ※ 標準仕様書20.2.2(2)(4) (a)~(c)による ・ 以下による ・ パネ長さの寸法精度 : ・ パネの平面形状(角度)の寸法精度 : ・ 階高の寸法精度 : 帯電防止性能 ・ 評価値(U) ≧ 0.6以上 ・ 評価値(U) ≧ 1.2以上 帯電防止性能 ・ 漏えい抵抗(R) ≧ 1×10⁶Ω (品質・性能、試験方法は別表による)</p> <p>2 可動間仕切 (20.2.3)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>構造形式による種類</th> <th>構成基材の種類</th> <th>パネ表面仕上げ</th> <th>遮音性 (db/500Hz)</th> <th>防火性能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ スラット式(内蔵)</td> <td>・ スラット</td> <td>・ パネ</td> <td>・ 0 ・ 12</td> <td>・ 不燃</td> </tr> <tr> <td>・ スラット式(露出)</td> <td></td> <td>・ フリ樹脂接着又は ・ フリ樹脂接着 ・ 壁紙張り</td> <td>・ 0 ・ 28 ・ 36</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ スラットパネ式</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ パネ式</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>パネ内に取付ける建具 ・ あり ・ なし ※ 図示</p> <p>パネ内に取り付ける家具のドアカーテン、丁番、錠前、上げ落としては、標準仕様書16章8節の建具用金物に対応する材質とする。 表面仕上げ材を壁紙張りとする場合の品質、性能は標準仕様書19章による。 パネ材料の$84A747^{\circ}$td放出量 ※F☆☆☆☆</p> <p>3 移動間仕切 (20.2.4)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">走行方向</th> <th rowspan="2">操作方法による種類</th> <th rowspan="2">パネ圧接装置の操作方法</th> <th rowspan="2">総厚さ(mm)</th> <th colspan="2">パネ表面材</th> <th rowspan="2">遮音性 (db/500Hz)</th> </tr> <tr> <th>材質</th> <th>仕上げ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ 平行方向移動式</td> <td>・ 手動式</td> <td>・ アジャスト式</td> <td rowspan="2">・ 鋼板</td> <td>・ 焼付塗装</td> <td rowspan="2">・ 36未満</td> <td rowspan="2">・ 36以上</td> </tr> <tr> <td>・ 二方向移動式</td> <td>・ 電動式</td> <td>・ ハンドル式</td> <td>・ 壁紙張り</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 部分電動式</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>パネ表面仕上げ材の壁紙張りの品質、性能は標準仕様書19章による。 パネの下の取付け下地の補強 ※ 取付け全重量の5倍以上の荷重に対して、使用上支障のない耐力及び変形量となるように補強する ※ 図示</p> <p>パネをランに取り付ける部品 ※ ランに加わる重量の5倍以上の荷重に耐えられるもの</p> <p>パネの取り付け及びラン ※ パネ重量の5倍の荷重を、パネ1枚に使用するラン数で除した値に対して、耐力及び変形量が使用上支障のないもの (品質・性能は別表による)</p> <p>4 トイレブース (20.2.5)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">表面材の材料</th> <th colspan="2">脚部</th> <th rowspan="2">ドアタイプ</th> </tr> <tr> <th>種類</th> <th>材質</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○ フリ樹脂系化粧板 ・ 合成樹脂系化粧板</td> <td>○ 幅木タイプ</td> <td>○ 製造所の仕様による ・ フリ系樹脂系化粧板 ・ スチール製</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(品質・性能、試験方法は別表による)</p> <p>5 手すり (20.2.6)</p> <p>材料の種類及び仕上げ</p> <ul style="list-style-type: none"> SUS304 表面処理 ※ HJ程度 鋼製 表面処理 溶融亜鉛めっき 表面処理(標準仕様書表14.2.2による種別) 7×30mm 表面処理(標準仕様書表14.2.1による種別) 色合等 標準色 : 特注色 : <p>手すりの種別部分</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>材質</th> <th>表面仕上げ</th> <th>直径(mm)</th> <th>取付箇所</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ 集成材</td> <td>・ グラフター</td> <td>・ 35程度</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 鋼製</td> <td>・ 鋼製黒板</td> <td>・ 45程度</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ ビニール製</td> <td></td> <td>・ 35程度</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・ 45程度</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>6 階段滑り止め (20.2.7)</p> <p>材質 ・ スチール製 ・ 黄銅製押出型材 ・ フリ系樹脂製押出型材 形状 ※ 44型(44の材質:FRP又は合成樹脂) ・ 44型 端部の形状 ・ フラットあり ・ フラットなし 寸法(幅) ・ 35mm程度 ・ 40mm程度 ・ 50mm程度 取付け工法 ※ 接着工法 ・ 埋め込み工法</p> <p>7 黒板及びホワイトボード (20.2.9)</p> <ul style="list-style-type: none"> 黒板 <ul style="list-style-type: none"> 区分 焼き付け 種類 色 初付ボード <p>8 鏡 (20.2.10)</p> <p>取付箇所 : 寸法(mm) ※ 図示 厚さ(mm) ※ 5</p> <p>9 表示 (20.2.11)</p> <p>衝突防止表示</p> <ul style="list-style-type: none"> 設置する 設置場所 ※ 図示 形状・寸法 材質 ※ 設置しない 誘導標識、非常用進入口等の表示 消防法に適合する市販品 	施工箇所	工法	寸法(mm)	高さ(mm)	耐震性能	所定荷重(N)	表面仕上材	備考		・ 置敷式 ・ 支柱調整式	・ 500×500		・ 1.0G ・ 0.6G	・ 3000 ・ 5000	・ 帯電防止床材 ・ タイタペット		構造形式による種類	構成基材の種類	パネ表面仕上げ	遮音性 (db/500Hz)	防火性能	・ スラット式(内蔵)	・ スラット	・ パネ	・ 0 ・ 12	・ 不燃	・ スラット式(露出)		・ フリ樹脂接着又は ・ フリ樹脂接着 ・ 壁紙張り	・ 0 ・ 28 ・ 36		・ スラットパネ式					・ パネ式					走行方向	操作方法による種類	パネ圧接装置の操作方法	総厚さ(mm)	パネ表面材		遮音性 (db/500Hz)	材質	仕上げ	・ 平行方向移動式	・ 手動式	・ アジャスト式	・ 鋼板	・ 焼付塗装	・ 36未満	・ 36以上	・ 二方向移動式	・ 電動式	・ ハンドル式	・ 壁紙張り		・ 部分電動式						表面材の材料	脚部		ドアタイプ	種類	材質	○ フリ樹脂系化粧板 ・ 合成樹脂系化粧板	○ 幅木タイプ	○ 製造所の仕様による ・ フリ系樹脂系化粧板 ・ スチール製		材質	表面仕上げ	直径(mm)	取付箇所	備考	・ 集成材	・ グラフター	・ 35程度			・ 鋼製	・ 鋼製黒板	・ 45程度			・ ビニール製		・ 35程度					・ 45程度		
施工箇所	工法	寸法(mm)	高さ(mm)	耐震性能	所定荷重(N)	表面仕上材	備考																																																																																																	
	・ 置敷式 ・ 支柱調整式	・ 500×500		・ 1.0G ・ 0.6G	・ 3000 ・ 5000	・ 帯電防止床材 ・ タイタペット																																																																																																		
構造形式による種類	構成基材の種類	パネ表面仕上げ	遮音性 (db/500Hz)	防火性能																																																																																																				
・ スラット式(内蔵)	・ スラット	・ パネ	・ 0 ・ 12	・ 不燃																																																																																																				
・ スラット式(露出)		・ フリ樹脂接着又は ・ フリ樹脂接着 ・ 壁紙張り	・ 0 ・ 28 ・ 36																																																																																																					
・ スラットパネ式																																																																																																								
・ パネ式																																																																																																								
走行方向	操作方法による種類	パネ圧接装置の操作方法	総厚さ(mm)	パネ表面材		遮音性 (db/500Hz)																																																																																																		
				材質	仕上げ																																																																																																			
・ 平行方向移動式	・ 手動式	・ アジャスト式	・ 鋼板	・ 焼付塗装	・ 36未満	・ 36以上																																																																																																		
・ 二方向移動式	・ 電動式	・ ハンドル式		・ 壁紙張り																																																																																																				
	・ 部分電動式																																																																																																							
表面材の材料	脚部		ドアタイプ																																																																																																					
	種類	材質																																																																																																						
○ フリ樹脂系化粧板 ・ 合成樹脂系化粧板	○ 幅木タイプ	○ 製造所の仕様による ・ フリ系樹脂系化粧板 ・ スチール製																																																																																																						
材質	表面仕上げ	直径(mm)	取付箇所	備考																																																																																																				
・ 集成材	・ グラフター	・ 35程度																																																																																																						
・ 鋼製	・ 鋼製黒板	・ 45程度																																																																																																						
・ ビニール製		・ 35程度																																																																																																						
		・ 45程度																																																																																																						
<p>6 屋上緑化改修工事 [G] (9.4.2~4)</p> <p>植栽基盤及び材料</p> <ul style="list-style-type: none"> 屋上緑化軽量スラブ 芝及び地被類の種類等 ※ 図示 見切り材、舗装材、排水管、マッドゲル材等 ※ 図示 工法 適用区分による風圧力の (1、1.15、1.3) 倍の風圧力に対応した工法 かん水装置 ・ 設置する (種類 :) ・ 設置しない 既存保護層の撤去 ・ 行う ・ 行わない 新植した芝及び地被類の枯保障の期間 ※ 引渡しの日から1年 	<p>27 フェンス (20.3.3)</p> <p>フェンスの種類 ・ ビニール被覆スチールフェンス ○ 樹脂塗装アルミフェンス ・ 鋼管フェンス ・ アルミフェンス 高さ ○ 1,000 ○ PC基礎(250×250×500)、片側扉w1,000</p> <p>28 ブレキャストコンクリート (20.3.3) (20.3.4)</p> <p>コンクリートの設計基準強度 ※ 水セメント比55%以下、単位セメント量の最小値300kg/m³を満足する割合強度 ※ 図示</p> <p>配筋 ※ 配筋を定めた計算書を監督官に提出する ※ 図示 取付け方法 ※ 図示</p> <p>29 間知石及びコンクリート間知石ブロック積み</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>種類</th> <th>質量区分</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ 間知石</td> <td>・ 花崗岩 ・ 凝灰岩</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ コンクリート間知石</td> <td></td> <td>・ A ・ B</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>積み方 ※ 谷積み ・ 布積み 目塗り ・ 図示 伸縮調整目地 材質 ・ 図示 厚さ ・ 図示</p> <p>30 鋼製書架及び物品棚</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>規格等</th> <th>JISによる種類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ 鋼製書架</td> <td>JIS S 1039の規格による</td> <td>・ 1種 ・ 2種 ・ 3種</td> </tr> <tr> <td>・ 鋼製物品棚</td> <td></td> <td>・ 4種 ・ 5種 ・ 6種</td> </tr> </tbody> </table> <p>31 屋内掲示板</p> <p>枠の材質 ※ FRP製 表面の材質 ※ 塩ビ発泡シート張り</p> <p>32 洗面カウンター</p> <p>材質 ・ フリ樹脂化粧板張り(芯材:集成材) ○ 樹脂製(樹脂一体型) 奥行き(mm) ・ 約450 ○ 約600</p> <p>33 防煙垂れ壁</p> <p>固定式</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>材質</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>高さ(mm)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※ 網入り磨き板ガラス</td> <td>※ 6.8</td> <td>※ 500</td> <td>フリ製枠付き</td> </tr> <tr> <td>・ 網入り磨き板ガラス</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>可動式</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>材質</th> <th>高さ(mm)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ 垂直降下式(巻取り型)</td> <td>・ 不燃布(不燃認定品)</td> <td>・ 500 ・ 800</td> <td>カバー付 ※ 固定式(壁埋込型) ・ 可動式(天井収納型)</td> </tr> <tr> <td>・ 回転降下式</td> <td>鋼板製又はFRP製</td> <td>・ 500 ・ 800</td> <td>表面仕上げ ※ 天井材張り</td> </tr> </tbody> </table> <p>降下機構 煙感知器連動及び手動開放装置(埋込型)</p> <p>34 屋外掲示板</p> <p>照明器具 ※ 有り ・ 無し 施錠 ※ 有り ・ 無し 製造所</p> <p>35 収納家具</p> <p>合板類、MDF及びビニール化粧ボードの$84A747^{\circ}$tdの放出量 ※F☆☆☆☆ 材質、形状、寸法 ※ 図示</p> <p>36 その他</p> <p>○ 音響測定</p> <p>○ ホール天井ビス止め調査 ホール天井改修後に音響測定専門業者(ヤマハ音響事業本部)による音響測定を行う。 音響測定:室内音響測定、設備騒音測定、電気音響測定、遮音測定、報告書編成</p> <p>○ ホール天井ビス止め調査 ホール天井改修に先立ち、四角天井部のビス止め施工状況調査(レントゲン撮影等)を行う。</p>	種類	種類	質量区分	備考	・ 間知石	・ 花崗岩 ・ 凝灰岩			・ コンクリート間知石		・ A ・ B		種類	規格等	JISによる種類	・ 鋼製書架	JIS S 1039の規格による	・ 1種 ・ 2種 ・ 3種	・ 鋼製物品棚		・ 4種 ・ 5種 ・ 6種	材質	厚さ(mm)	高さ(mm)	備考	※ 網入り磨き板ガラス	※ 6.8	※ 500	フリ製枠付き	・ 網入り磨き板ガラス				種類	材質	高さ(mm)	備考	・ 垂直降下式(巻取り型)	・ 不燃布(不燃認定品)	・ 500 ・ 800	カバー付 ※ 固定式(壁埋込型) ・ 可動式(天井収納型)	・ 回転降下式	鋼板製又はFRP製	・ 500 ・ 800	表面仕上げ ※ 天井材張り																																																										
種類	種類	質量区分	備考																																																																																																					
・ 間知石	・ 花崗岩 ・ 凝灰岩																																																																																																							
・ コンクリート間知石		・ A ・ B																																																																																																						
種類	規格等	JISによる種類																																																																																																						
・ 鋼製書架	JIS S 1039の規格による	・ 1種 ・ 2種 ・ 3種																																																																																																						
・ 鋼製物品棚		・ 4種 ・ 5種 ・ 6種																																																																																																						
材質	厚さ(mm)	高さ(mm)	備考																																																																																																					
※ 網入り磨き板ガラス	※ 6.8	※ 500	フリ製枠付き																																																																																																					
・ 網入り磨き板ガラス																																																																																																								
種類	材質	高さ(mm)	備考																																																																																																					
・ 垂直降下式(巻取り型)	・ 不燃布(不燃認定品)	・ 500 ・ 800	カバー付 ※ 固定式(壁埋込型) ・ 可動式(天井収納型)																																																																																																					
・ 回転降下式	鋼板製又はFRP製	・ 500 ・ 800	表面仕上げ ※ 天井材張り																																																																																																					

<p>株式会社石本建築事務所</p>	<p>管理建築士 本村 雅昭 一級建築士登録 第340068号</p>	<p>図面 作成 日付</p>
<p>株式会社石本建築事務所</p>	<p>管理建築士 本村 雅昭 一級建築士登録 第340068号</p>	<p>建設工事名 令和8年度 長泉町文化センター大規模改修工事</p>

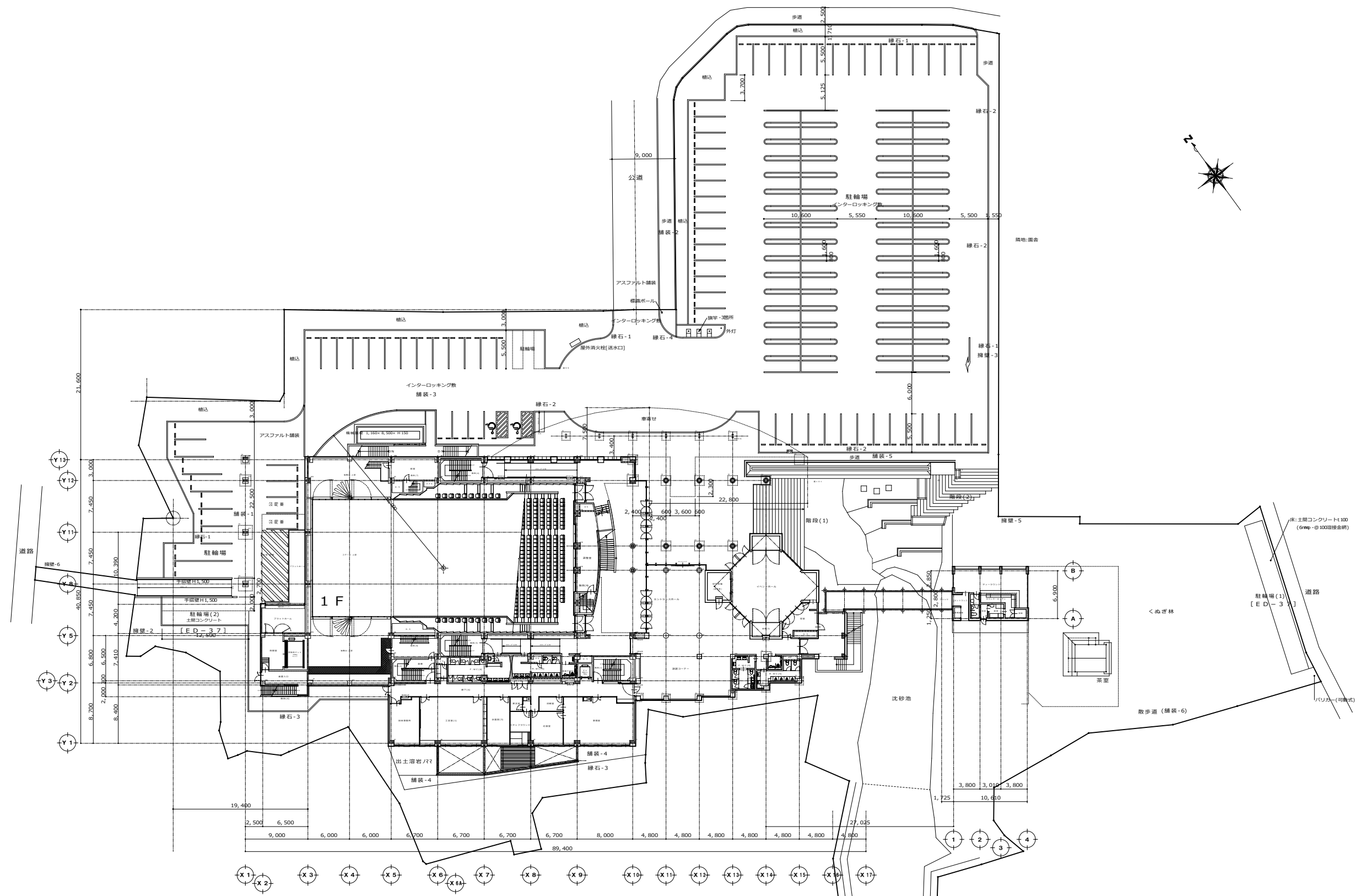
<p>23 流し台ユニット</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">材質</th> <th colspan="3">寸法(mm)</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>W</th> <th>D</th> <th>H</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ 流し台</td> <td>・ 1200 ・ 1500 ・ 1800</td> <td>・ 550 ・ 600 ・ 650</td> <td>・ 800 ・ 850</td> <td>市販品 トップ付き 天板スチール製</td> </tr> <tr> <td>・ コック台</td> <td>・ 600</td> <td>・ 550 ・ 600 ・ 650</td> <td>・ 620 ・ 670</td> <td>市販品 バックボード有り 天板スチール製</td> </tr> <tr> <td>・ つり戸棚</td> <td>・ 1200 ・ 900</td> <td>・ 450</td> <td>・ 500 ・ 700</td> <td>市販品</td> </tr> <tr> <td>・ 水切り</td> <td>・ 1200 ・ 900 ・ 600</td> <td></td> <td></td> <td>市販品 スチール製 ・ 1段式</td> </tr> </tbody> </table> <p>品質・性能 外観は、JIS A 4420「キッチン設備の構成材」の4.1による。 構成材は、JIS A 4420の8により試験を行ったとき、表1の規定による。</p> <p>形状 ※ 図示</p> <p>24 旗竿</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>材質</th> <th>形式</th> <th>高さ(m)</th> <th>操作方法</th> <th>固定方法</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ アルミニウム合金製</td> <td>・ テーパー式 ・ 同一断面式</td> <td></td> <td>・ ハンドル式 ・ ロープ式</td> <td>・ 埋込式 ・ ペース式 ・ ハンド式</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>25 旗竿受金物</p> <ul style="list-style-type: none"> スチール製(SUS304) <p>26 車止め</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>形式</th> <th>材質</th> <th>柱径、肉厚(mm)</th> <th>高さ(m)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ 上下式鎖内蔵式</td> <td>・ 標準品</td> <td>・ スチール製</td> <td>・ GL+700</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ スチール式</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>27 フェンス (20.3.3)</p> <p>フェンスの種類 ・ ビニール被覆スチールフェンス ○ 樹脂塗装アルミフェンス ・ 鋼管フェンス ・ アルミフェンス 高さ ○ 1,000 ○ PC基礎(250×250×500)、片側扉w1,000</p> <p>28 ブレキャストコンクリート (20.3.3) (20.3.4)</p> <p>コンクリートの設計基準強度 ※ 水セメント比55%以下、単位セメント量の最小値300kg/m³を満足する割合強度 ※ 図示</p> <p>配筋 ※ 配筋を定めた計算書を監督官に提出する ※ 図示 取付け方法 ※ 図示</p> <p>29 間知石及びコンクリート間知石ブロック積み</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>種類</th> <th>質量区分</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ 間知石</td> <td>・ 花崗岩 ・ 凝灰岩</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ コンクリート間知石</td> <td></td> <td>・ A ・ B</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>積み方 ※ 谷積み ・ 布積み 目塗り ・ 図示 伸縮調整目地 材質 ・ 図示 厚さ ・ 図示</p> <p>30 鋼製書架及び物品棚</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>規格等</th> <th>JISによる種類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ 鋼製書架</td> <td>JIS S 1039の規格による</td> <td>・ 1種 ・ 2種 ・ 3種</td> </tr> <tr> <td>・ 鋼製物品棚</td> <td></td> <td>・ 4種 ・ 5種 ・ 6種</td> </tr> </tbody> </table> <p>31 屋内掲示板</p> <p>枠の材質 ※ FRP製 表面の材質 ※ 塩ビ発泡シート張り</p> <p>32 洗面カウンター</p> <p>材質 ・ フリ樹脂化粧板張り(芯材:集成材) ○ 樹脂製(樹脂一体型) 奥行き(mm) ・ 約450 ○ 約600</p> <p>33 防煙垂れ壁</p> <p>固定式</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>材質</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>高さ(mm)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※ 網入り磨き板ガラス</td> <td>※ 6.8</td> <td>※ 500</td> <td>フリ製枠付き</td> </tr> <tr> <td>・ 網入り磨き板ガラス</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>可動式</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>材質</th> <th>高さ(mm)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ 垂直降下式(巻取り型)</td> <td>・ 不燃布(不燃認定品)</td> <td>・ 500 ・ 800</td> <td>カバー付 ※ 固定式(壁埋込型) ・ 可動式(天井収納型)</td> </tr> <tr> <td>・ 回転降下式</td> <td>鋼板製又はFRP製</td> <td>・ 500 ・ 800</td> <td>表面仕上げ ※ 天井材張り</td> </tr> </tbody> </table> <p>降下機構 煙感知器連動及び手動開放装置(埋込型)</p> <p>34 屋外掲示板</p> <p>照明器具 ※ 有り ・ 無し 施錠 ※ 有り ・ 無し 製造所</p> <p>35 収納家具</p> <p>合板類、MDF及びビニール化粧ボードの$84A747^{\circ}$tdの放出量 ※F☆☆☆☆ 材質、形状、寸法 ※ 図示</p> <p>36 その他</p> <p>○ 音響測定</p> <p>○ ホール天井ビス止め調査 ホール天井改修後に音響測定専門業者(ヤマハ音響事業本部)による音響測定を行う。 音響測定:室内音響測定、設備騒音測定、電気音響測定、遮音測定、報告書編成</p> <p>○ ホール天井ビス止め調査 ホール天井改修に先立ち、四角天井部のビス止め施工状況調査(レントゲン撮影等)を行う。</p>	材質	寸法(mm)			備考	W	D	H	・ 流し台	・ 1200 ・ 1500 ・ 1800	・ 550 ・ 600 ・ 650	・ 800 ・ 850	市販品 トップ付き 天板スチール製	・ コック台	・ 600	・ 550 ・ 600 ・ 650	・ 620 ・ 670	市販品 バックボード有り 天板スチール製	・ つり戸棚	・ 1200 ・ 900	・ 450	・ 500 ・ 700	市販品	・ 水切り	・ 1200 ・ 900 ・ 600			市販品 スチール製 ・ 1段式	材質	形式	高さ(m)	操作方法	固定方法	備考	・ アルミニウム合金製	・ テーパー式 ・ 同一断面式		・ ハンドル式 ・ ロープ式	・ 埋込式 ・ ペース式 ・ ハンド式		形式	材質	柱径、肉厚(mm)	高さ(m)	・ 上下式鎖内蔵式	・ 標準品	・ スチール製	・ GL+700		・ スチール式			種類	種類	質量区分	備考	・ 間知石	・ 花崗岩 ・ 凝灰岩			・ コンクリート間知石		・ A ・ B		種類	規格等	JISによる種類	・ 鋼製書架	JIS S 1039の規格による	・ 1種 ・ 2種 ・ 3種	・ 鋼製物品棚		・ 4種 ・ 5種 ・ 6種	材質	厚さ(mm)	高さ(mm)	備考	※ 網入り磨き板ガラス	※ 6.8	※ 500	フリ製枠付き	・ 網入り磨き板ガラス				種類	材質	高さ(mm)	備考	・ 垂直降下式(巻取り型)	・ 不燃布(不燃認定品)	・ 500 ・ 800	カバー付 ※ 固定式(壁埋込型) ・ 可動式(天井収納型)	・ 回転降下式	鋼板製又はFRP製	・ 500 ・ 800	表面仕上げ ※ 天井材張り
材質		寸法(mm)				備考																																																																																											
	W	D	H																																																																																														
・ 流し台	・ 1200 ・ 1500 ・ 1800	・ 550 ・ 600 ・ 650	・ 800 ・ 850	市販品 トップ付き 天板スチール製																																																																																													
・ コック台	・ 600	・ 550 ・ 600 ・ 650	・ 620 ・ 670	市販品 バックボード有り 天板スチール製																																																																																													
・ つり戸棚	・ 1200 ・ 900	・ 450	・ 500 ・ 700	市販品																																																																																													
・ 水切り	・ 1200 ・ 900 ・ 600			市販品 スチール製 ・ 1段式																																																																																													
材質	形式	高さ(m)	操作方法	固定方法	備考																																																																																												
・ アルミニウム合金製	・ テーパー式 ・ 同一断面式		・ ハンドル式 ・ ロープ式	・ 埋込式 ・ ペース式 ・ ハンド式																																																																																													
形式	材質	柱径、肉厚(mm)	高さ(m)																																																																																														
・ 上下式鎖内蔵式	・ 標準品	・ スチール製	・ GL+700																																																																																														
	・ スチール式																																																																																																
種類	種類	質量区分	備考																																																																																														
・ 間知石	・ 花崗岩 ・ 凝灰岩																																																																																																
・ コンクリート間知石		・ A ・ B																																																																																															
種類	規格等	JISによる種類																																																																																															
・ 鋼製書架	JIS S 1039の規格による	・ 1種 ・ 2種 ・ 3種																																																																																															
・ 鋼製物品棚		・ 4種 ・ 5種 ・ 6種																																																																																															
材質	厚さ(mm)	高さ(mm)	備考																																																																																														
※ 網入り磨き板ガラス	※ 6.8	※ 500	フリ製枠付き																																																																																														
・ 網入り磨き板ガラス																																																																																																	
種類	材質	高さ(mm)	備考																																																																																														
・ 垂直降下式(巻取り型)	・ 不燃布(不燃認定品)	・ 500 ・ 800	カバー付 ※ 固定式(壁埋込型) ・ 可動式(天井収納型)																																																																																														
・ 回転降下式	鋼板製又はFRP製	・ 500 ・ 800	表面仕上げ ※ 天井材張り																																																																																														

<p>建築工事改修特記仕様書-7</p>	<p>図章 AT-7</p>
----------------------	--------------------

<p>8章 耐震改修工事 ※天井改修に適用する。</p> <p>共通事項</p> <p>○1 適用範囲</p> <ul style="list-style-type: none"> 改修標準仕様書 第8章 耐震改修工事 改修標準仕様書において第8章耐震改修工事以外の改修工事で第8章を引用している部分 <p>工事内容</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事 鉄骨工事 <ul style="list-style-type: none"> 柱補強工事(溶接金網巻き工法又は溶接閉鎖7φ巻き付け工法) 柱補強工事(鋼板巻き工法又は帯板巻き付け工法) 連続繊維補強工事 耐震リフト新設工事 免震改修工事 制震改修工事 土工事及び地業工事 <p>2 既存部分の処理等 (8.21.2、3)(8.22.2、3)(8.23.2、3)(8.24.4)(8.25.2)(8.28.2)</p> <p>既存構造体の撤去</p> <ul style="list-style-type: none"> 撤去範囲 <ul style="list-style-type: none"> はつり出した鉄筋及び鉄骨の処理 既存構造体コンクリートの目荒しの程度 <ul style="list-style-type: none"> 既存柱、梁面 <ul style="list-style-type: none"> 打継ぎ面の15～30%程度に、平均深さ2～5mm(最大7mm)程度の凹凸を全体にわたってつける 既存壁 <ul style="list-style-type: none"> 打継ぎ面の10～15%程度に、平均深さ2～5mm(最大7mm)程度の凹凸を全体にわたってつける 既存杭の撤去等 <ul style="list-style-type: none"> 撤去範囲及び撤去方法 杭頭部の処理 既存杭の補強 既存杭の健全性を確認する試験 <p>8-1 鉄筋工事 (8.2.1)</p> <p>1 鉄筋</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類の記号</th> <th>呼び径 (mm)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・SD295</td> <td>※ D16以下</td> <td>JIS G 3112</td> </tr> <tr> <td>・SD345</td> <td>※ D19以上</td> <td>JIS G 3112</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table> <p>加工 ・折曲げ角度が90°未満も折曲げの内法直径(D) () 以上</p> <p>2 溶接金網 (8.2.2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>種類の記号</th> <th>鉄線の形状、網目、寸法、鉄線の径(mm)</th> <th>適用箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・溶接金網</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>3 鉄筋の継手 (8.3.4、8.4.2、3)</p> <p>鉄筋の継手の方法等</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>部位</th> <th>継手方法</th> <th>呼び径 (mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>柱、梁の主筋</td> <td>・ 1'圧接 ・ 溶接継手 ・ 重ね継手</td> <td>・ 機械式継手 ・ 重ね継手</td> </tr> <tr> <td>耐力壁の鉄筋</td> <td>・ 重ね継手</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>その他の鉄筋 ()</td> <td>・ 重ね継手</td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table> <p>継手位置 柱及び梁の主筋の重ね継手の長さ 耐力壁の重ね継手の長さ</p> <p>4 鉄筋の定着 (8.3.4)</p> <p>鉄筋の定着長さ 機械式定着工法 適用箇所 種類 工法 必要定着長さ 補強筋形状 かぶり厚さ 品質確認 検査</p> <p>5 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔(溶接金網含む) (8.3.5)</p> <p>最小かぶり厚さ 軽量コンクリートを採用する場合 形状 耐久性上不利な箇所がある場合(塩害等を受けるおそれのある部分等)</p> <p>6 圧接完了後の圧接部の試験 (8.3.8)</p> <p>超音波探傷試験 ※ 行う(全圧接部)</p>	種類の記号	呼び径 (mm)	備考	・SD295	※ D16以下	JIS G 3112	・SD345	※ D19以上	JIS G 3112	・	・	・	・	・	・	種類	種類の記号	鉄線の形状、網目、寸法、鉄線の径(mm)	適用箇所	・溶接金網				・				・				部位	継手方法	呼び径 (mm)	柱、梁の主筋	・ 1'圧接 ・ 溶接継手 ・ 重ね継手	・ 機械式継手 ・ 重ね継手	耐力壁の鉄筋	・ 重ね継手	・	その他の鉄筋 ()	・ 重ね継手	・	<p>7 機械式継手 (8.3.5)(8.4.2)</p> <p>適用箇所 ※ 図示による</p> <p>性能 (H12建告第1463号に適合するもの) ・ A級</p> <p>種類</p> <ul style="list-style-type: none"> ねじ式鉄筋継手 <ul style="list-style-type: none"> 充填方式 ・ 無機グラウト方式 ・ 有機グラウト方式 端部ねじ加工継手 モルタル充填継手 ・ <p>工法</p> <p>鉄筋相互のあき 品質の確認 検査 施工完了後の継手部の試験</p> <p>試験対象 全数 試験項目及び可否判定 ※ 改修標準仕様書 表8.4.1～表8.4.3による</p> <p>不合格となった場合の措置 改修標準仕様書8.4.2(5)(7)(a)～(c)による</p> <p>・ 超音波測定試験 試験対象 ・ 抜取り ロット ・ 1組の作業班が1日に行った継手箇所で、最大200箇所程度とする</p> <p>試験箇所数 ・ 1ロットに対して () 箇所 試験項目 ※ 挿入長さ 不合格となった場合の措置</p> <p>8 溶接継手 (8.3.5)(8.4.3)</p> <p>適用箇所 ※ 図示による</p> <p>性能 (H12建告第1463号に適合するもの) ・ A級</p> <p>溶接継手の工法 鉄筋相互のあき</p> <p>品質の確認 検査 施工完了後の継手部の試験</p> <p>試験対象 全数 試験項目 ※ 挿入長さ 試験対象 ※ 全数</p> <p>9 割製補強筋 (8.21.6)(8.22.7)</p> <ul style="list-style-type: none"> スパイラル筋 ・ SD235またはSWM-P ・ 図示による 	<p>8-2 コンクリート工事</p> <p>1 レディーミクストコンクリート工場 (8.1.3)</p> <p>※ 1類(コンクリートの種類) ※ 1類(JIS A 5308への適合を認証されたコンクリート) ※ Ⅱ類(1類以外でJIS A 5308に適合したコンクリート)</p> <p>2 コンクリート種類 (8.1.3)</p> <p>コンクリートの種類</p> <p>※ 1類(JIS A 5308への適合を認証されたコンクリート) ・ Ⅱ類(1類以外でJIS A 5308に適合したコンクリート)</p> <p>3 コンクリートの気乾単位容積質量による種類及び強度等 (8.1.3、4)(8.2.5)(8.9.2)</p> <p>普通コンクリート</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>設計基準強度 (N/mm²)</th> <th>スラップ</th> <th>気乾単位容積質量(t/m³)</th> <th>適用箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ 24</td> <td>・</td> <td>2.3程度</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 21</td> <td>・</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>構造体強度補正值 ※ 改修標準仕様書表8.2.4による</p> <p>軽量コンクリート</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>設計基準強度 (N/mm²)</th> <th>スラップ</th> <th>気乾単位容積質量(t/m³)</th> <th>種類</th> <th>適用箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・</td> <td>※ 21</td> <td></td> <td>・ 1種 ・ 2種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>構造体強度補正值 ※ 改修標準仕様書表8.2.4による</p> <p>4 セメント (8.2.5)</p> <p>種類</p> <p>※ 普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シライトセメントA種又はフライアッシュセメントA種 (普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R 5210に示された規定の他、水和熱が7日目で352J/g以下、かつ28日目で402J/g以下のものとする。)</p> <p>適用箇所 () 高炉セメントB種[G] 適用箇所 () フライアッシュセメントB種[G] 適用箇所 ()</p> <p>5 骨材 (8.2.5)</p> <p>形状及び反応性による区分 ※ A ・ B</p> <p>6 混和材料 (8.2.5)</p> <p>・ 混和剤の種類 ※ 改修標準仕様書8.2.5(4)(a)による ・ 混和材 混和剤の種類 ※ 改修標準仕様書8.2.5(4)(b)による</p> <p>7 構造体用モルタル (8.2.6)</p> <p>圧縮強度 () f_{pr}値 ()</p> <p>8 暑中コンクリート (8.10.2)</p> <p>スラップ ※ 21cm 構造体強度補正值(S) ※ 6N/mm²</p> <p>9 マスコンクリート [6.13.1、2]</p> <p>適用箇所 ※ 図示による</p> <p>セメントの種類</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 普通ポルトランドセメント ・ 中濃熱ポルトランドセメント ・ 低熱ポルトランドセメント ・ シライトセメント ・ 高炉セメントB種[G] ・ フライアッシュセメントB種[G] <p>混和材料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 混和剤 混和剤の種類 ※ 標準仕様書6.13.2(2)(7)による ・ 混和材 混和剤の種類 ※ 標準仕様書6.13.2(2)(4)による <p>スラップ ※ 15cm 構造体強度補正值 ※ 標準仕様書6.13.1による</p> <p>10 無筋コンクリート (8.11.1)</p> <p>コンクリートの種類 ※ 普通コンクリート</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>設計基準強度 (N/mm²)</th> <th>スラップ</th> <th>セメントの種類</th> <th>適用箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※ 18</td> <td>※ 15又は18</td> <td>・ 普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シライトセメントA種又はフライアッシュセメントA種 ・ 高炉セメントB種[G] ・ フライアッシュセメントB種[G]</td> <td>・ 図示</td> </tr> </tbody> </table> <p>11 流動化コンクリート (標準仕様書6.15.1)</p> <p>適用箇所 ・ 図示による 空気量 ※ 4.5%</p> <p>12 高流動コンクリート (標準仕様書6.16.1)</p> <p>適用箇所 ・ 図示による 材料及び割合 スラップ 7φ以上 ・ 図示による 空気量 ※ 4.5% 単位粗骨材かさ容積 ※ 0.500m³/m³以上</p> <p>13 打継ぎの位置、ひび割れ誘発目地、打継目地 (標準仕様書6.6.4、6.8.1、9.7.3)</p> <p>打継ぎの位置 ・ 図示による 目地寸法 ・ 標準仕様書9.7.3(1)(7)による ・ 図示による ひび割れ誘発目地の間隔、位置、形状、寸法 ※ 図示による</p> <p>14 構造体コンクリートの仕上り (8.1.4)</p> <p>合板せき板を用いるコンクリートの打放し仕上げ</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>適用箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ A種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ B種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ C種</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>コンクリート仕上りの平たんさ</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>適用箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ a種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ b種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ c種</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>15 打増し厚さ(打放し仕上げ部) (8.7.8)</p> <p>・ 打放し仕上げの打増し厚さ(外部に面する部分に限る) ・ 20mm ・ 打放し仕上げの打増し厚さ(内部に面する部分に限る) ・ 10mm ・ 20mm</p>	設計基準強度 (N/mm ²)	スラップ	気乾単位容積質量(t/m ³)	適用箇所	・ 24	・	2.3程度		・ 21	・			・	・			設計基準強度 (N/mm ²)	スラップ	気乾単位容積質量(t/m ³)	種類	適用箇所	・	※ 21		・ 1種 ・ 2種		・	・				・	・				設計基準強度 (N/mm ²)	スラップ	セメントの種類	適用箇所	※ 18	※ 15又は18	・ 普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シライトセメントA種又はフライアッシュセメントA種 ・ 高炉セメントB種[G] ・ フライアッシュセメントB種[G]	・ 図示	種別	適用箇所	・ A種		・ B種		・ C種		種別	適用箇所	・ a種		・ b種		・ c種		<p>16 型枠 (8.2.7)</p> <p>せき板の材料及び厚さ ・ 合板[G] (・ 12mm) ・ 断熱材の兼用 使用箇所 (・ 図示による) ・ スコアの材種 ※ 図示</p> <p>17 型枠の加工及び組立 (8.7.8)</p> <p>ジョイントをベレークとして使用 適用箇所 ・ 図示による</p> <p>18 コンクリートの打込み工法等 (8.21.8)(8.23.5～7)</p> <p>コンクリート打設工法の種類</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>補強工事</th> <th>工法の種類</th> <th>適用箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ 現場打ちコンクリート壁の増設工事</td> <td>・ 工法指定なし ・ 流込み工法8.21.8(1)(7)、(2) ・ 圧入工法8.21.8(1)(4)、(3)</td> <td>・ 全ての増設壁 ・ 図示による ・ 全ての増設壁 ・ 図示による ・ 全ての増設壁 ・ 図示による ・ 図示による</td> </tr> <tr> <td>・ 柱補強工事(溶接金網巻き及び溶接閉鎖7φ巻き工法)</td> <td>・ 工法指定なし ・ 流込み工法8.21.8(1)(7)、(2) ・ 圧入工法8.21.8(1)(4)、(3)</td> <td>・ 全ての柱補強部分 ・ 図示による ・ 全ての柱補強部分 ・ 図示による ・ 全ての柱補強部分 ・ 図示による ・ 図示による</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・ 工法指定なし ・ 流込み工法8.21.8(1)(7)、(2) ・ 圧入工法8.21.8(1)(4)、(3)</td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table> <p>鋼板巻き工法及び帯板巻き付け工法での型枠等 柱頭及び柱脚の隙間の寸法 柱頭及び柱脚の隙間部間の型枠 既存柱外周部あと打ちコンクリート又は構造用モルタルの厚さ 補強後の仕上げ</p> <p>19 コンクリートの単位水量測定</p> <p>・ 行う ・ 行わない</p> <p>レディーミクストコンクリート単位水量測定要領 (1) 単位水量の測定は、150mlに1回以上及び荷下し時に品質の異常が認められた時に実施する。 (2) 単位水量の上限値は、共通仕様書6.3.2(4)(c)による。 (3) 単位水量の管理目標値は次のとおりとして、施工する。 1) 測定した単位水量が、計画調査書の設計値(以下、「設計値」という。)±15kg/m³の範囲にある場合は、そのまま施工する。 2) 測定した単位水量が、設計値±15を超え±20kg/m³の範囲にある場合は、水量変動の原因を調査するとともに生コン製造者に改善を指示し、その運搬車の生コンは打設する。その後設計値±15kg/m³以内で安定するまで、運搬車の3台毎に1回、単位水量の測定を行う。 3) 設計値±20kg/m³を超える場合は、生コンを打ち込まずに持ち帰らせ、水量変動の原因を調査するとともに生コン製造者に改善を指示しなければならない。その後の全運搬車の測定を行い設計値±20kg/m³以内であることを確認する。さらに、設計値±15kg/m³以内で安定するまで、運搬車の3台毎に1回、単位水量の測定を行う。 4) 3)の不合格生コンを確実に持ち帰ったことを確認する。 (4) 単位水量管理についての記録を書面(計画調査書、製造管理記録、打込み時の外気温、コンクリート温度等)と写真により提出する。 (5) 単位水量の測定方法は、高周波誘電加熱乾燥法(電子レンジ法)、エアメータ法又は静電容量測定法による。</p>	補強工事	工法の種類	適用箇所	・ 現場打ちコンクリート壁の増設工事	・ 工法指定なし ・ 流込み工法8.21.8(1)(7)、(2) ・ 圧入工法8.21.8(1)(4)、(3)	・ 全ての増設壁 ・ 図示による ・ 全ての増設壁 ・ 図示による ・ 全ての増設壁 ・ 図示による ・ 図示による	・ 柱補強工事(溶接金網巻き及び溶接閉鎖7φ巻き工法)	・ 工法指定なし ・ 流込み工法8.21.8(1)(7)、(2) ・ 圧入工法8.21.8(1)(4)、(3)	・ 全ての柱補強部分 ・ 図示による ・ 全ての柱補強部分 ・ 図示による ・ 全ての柱補強部分 ・ 図示による ・ 図示による	・	・ 工法指定なし ・ 流込み工法8.21.8(1)(7)、(2) ・ 圧入工法8.21.8(1)(4)、(3)	・
種類の記号	呼び径 (mm)	備考																																																																																																																				
・SD295	※ D16以下	JIS G 3112																																																																																																																				
・SD345	※ D19以上	JIS G 3112																																																																																																																				
・	・	・																																																																																																																				
・	・	・																																																																																																																				
種類	種類の記号	鉄線の形状、網目、寸法、鉄線の径(mm)	適用箇所																																																																																																																			
・溶接金網																																																																																																																						
・																																																																																																																						
・																																																																																																																						
部位	継手方法	呼び径 (mm)																																																																																																																				
柱、梁の主筋	・ 1'圧接 ・ 溶接継手 ・ 重ね継手	・ 機械式継手 ・ 重ね継手																																																																																																																				
耐力壁の鉄筋	・ 重ね継手	・																																																																																																																				
その他の鉄筋 ()	・ 重ね継手	・																																																																																																																				
設計基準強度 (N/mm ²)	スラップ	気乾単位容積質量(t/m ³)	適用箇所																																																																																																																			
・ 24	・	2.3程度																																																																																																																				
・ 21	・																																																																																																																					
・	・																																																																																																																					
設計基準強度 (N/mm ²)	スラップ	気乾単位容積質量(t/m ³)	種類	適用箇所																																																																																																																		
・	※ 21		・ 1種 ・ 2種																																																																																																																			
・	・																																																																																																																					
・	・																																																																																																																					
設計基準強度 (N/mm ²)	スラップ	セメントの種類	適用箇所																																																																																																																			
※ 18	※ 15又は18	・ 普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シライトセメントA種又はフライアッシュセメントA種 ・ 高炉セメントB種[G] ・ フライアッシュセメントB種[G]	・ 図示																																																																																																																			
種別	適用箇所																																																																																																																					
・ A種																																																																																																																						
・ B種																																																																																																																						
・ C種																																																																																																																						
種別	適用箇所																																																																																																																					
・ a種																																																																																																																						
・ b種																																																																																																																						
・ c種																																																																																																																						
補強工事	工法の種類	適用箇所																																																																																																																				
・ 現場打ちコンクリート壁の増設工事	・ 工法指定なし ・ 流込み工法8.21.8(1)(7)、(2) ・ 圧入工法8.21.8(1)(4)、(3)	・ 全ての増設壁 ・ 図示による ・ 全ての増設壁 ・ 図示による ・ 全ての増設壁 ・ 図示による ・ 図示による																																																																																																																				
・ 柱補強工事(溶接金網巻き及び溶接閉鎖7φ巻き工法)	・ 工法指定なし ・ 流込み工法8.21.8(1)(7)、(2) ・ 圧入工法8.21.8(1)(4)、(3)	・ 全ての柱補強部分 ・ 図示による ・ 全ての柱補強部分 ・ 図示による ・ 全ての柱補強部分 ・ 図示による ・ 図示による																																																																																																																				
・	・ 工法指定なし ・ 流込み工法8.21.8(1)(7)、(2) ・ 圧入工法8.21.8(1)(4)、(3)	・																																																																																																																				
株式会社石本建築事務所	管理建築士 本村 雅昭 一級建築士登録 第340068号	検図	作図	日付	建設工事名 令和8年度 長泉町文化センター大規模改修工事	図書 建築工事改修特記仕様書-8	図番 AT-8																																																																																																															

<p>8-3 鉄骨工事</p> <p>○1 鉄骨の製作工場 (8.1.5) ※ 建築基準法第68条の25に基づき国土交通大臣から構造方法等の認定を取得している鉄骨製作工場又は同等以上の能力のある工場 ・ ()以上 ・ 監督員の承諾する製作工場</p> <p>○2 鉄骨製作工場における施工管理技術者 (8.1.6) ○ 配置する ・ 配置しない</p> <p>○3 鋼材 (8.2.8) (8.2.14)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類等</th> <th>種類の記号</th> <th>適用箇所(主要な部分)</th> <th>規格</th> </tr> <tr> <td></td> <td>SN400B</td> <td>補強材接合部</td> <td>○ JIS規格による ・</td> </tr> <tr> <td></td> <td>STR400</td> <td>補強材</td> <td>○ JIS規格による ・</td> </tr> </table> <p>板厚方向に引張力を受ける鋼板の試験 ・ 行う 適用箇所() ・ 行わない</p> <p>○4 高力ボルト (8.2.9) (8.13.2) (8.14.2) (8.14.7) ㊦の種類の ○ ㊦形高力㊦ ㊦ JIS形高力㊦ ㊦の縁端距離、㊦の間隔、㊦等 ○ 図示による ・ 摩擦面の処理方法 ○ 改修標準仕様書8.14.2(1)による ・ すべり試験の実施 ・ すべり係数試験 ・ すべり耐力試験 すべり試験を実施する場合、改修標準仕様書8.14.2(1)(イ)による摩擦面の確認は、本試験で作成した対比試験片で行うこと。 JIS形高力㊦の補付け(本締め) ㊦回転法の場合で、㊦の長さがネジの呼びの5倍を超える場合の回転量 ・ 図示</p> <p>○5 普通ボルト (8.13.2)(標準仕様書7.2.3) ボルト及びナットの材料 ・ JIS B 1180(六角㊦)及びJIS B 1181(六角㊦)による ○ JIS B 1180(六角㊦)付属書JA(規定)及びJIS B 1181(六角㊦)付属書JA(規定)による ボルトの縁端距離、ボルト間隔、㊦等 ※ 図示による ・ 母屋又は胴縁の取付けに使用するボルトの孔径 ※ ねじの呼び径+1.0mm ・</p> <p>6 溶融亜鉛めっき高力ボルト (8.13.2) (8.14.2) (8.20.5) ㊦の縁端距離、㊦の間隔、㊦等 ・ 図示による 摩擦面の処理方法 ・ アブラ処理 (表面粗度50 μm Rz以上) ・ りん酸塩処理 ・ すべり試験の実施 ・ すべり係数試験 ・ すべり耐力試験 すべり試験を実施する場合、改修標準仕様書8.20.5(1)(イ)又は(イ)による摩擦面の確認は、同一の作業条件のもとで作成した対比試験片により行うこと。</p> <p>○7 アンカーボルト (標準仕様書7.2.4、7.3.2) ○ 構造用アンカーボルト 種類 ○ 図示 ・ ABR400 ・ ABR490 ・ 建方用アンカーボルト 種類 ・ SS400 ㊦㊦及び㊦のねじの公差域㊦及び仕上げの程度 ※ 標準仕様書7.2.3による ・ 標準仕様書7.2.4以外のアンカーボルト 適用箇所 ○ 図示 () 種類 ・ SS400 ㊦㊦及び㊦のねじの公差域㊦及び仕上げの程度 ※ 標準仕様書7.2.3による ㊦の縁端距離、㊦の間隔、㊦等 ・ 図示による</p> <p>○8 溶接材料 (8.2.10) 溶接材料 ○ 改修標準仕様書8.2.10(1)(2)による。</p> <p>9 スタッド (8.2.11)</p> <table border="1"> <tr> <th>呼び名</th> <th>呼び長さ(mm)</th> <th>適用箇所</th> </tr> <tr> <td>・ 16</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 19</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 22</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>○10 製作精度 (8.13.3) 鉄骨の製作精度は、JASS 6 付則6【鉄骨精度検査基準】に加えて、次による 通し㊦の突合せ継手の食い違いの寸法 ※ H12建告第1464号第二号イ(2)による ・ ㊦の寸法 ※ H12建告第1464号第二号イ(3)による ・ 食い違い・仕口のずれの検査方法及び補強方法 ○ 「突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強㊦」による ・</p> <p>11 仮組 (8.13.10) 仮組を行う範囲 ・ 図示による ・</p> <p>12 溶接作業を行う技能資格者の技量付加試験 (8.15.3) 試験の要領 ・ 図示による</p> <p>13 溶接施工 (8.15.4、7) 開先の形状 ・ 図示による ・ 鋼製㊦を切断する部分 切断する箇所 ・ 図示による ・ 切断範囲 ・ 鋼製㊦、裏当て金等は、梁㊦の端から5mm以下を残して直線上に切断する。 なお、切断線が交差する場合は、交差部を㊦状に加工する ・ 切断面の仕上げ ・ 改修標準仕様書8.15.7(1)(㊦)(㊦)による ・ ㊦の形状 ・ 図示による ・ 固形㊦の使用 固形㊦を使用する場合は、鉄骨製作工場に十分な実績があり、AW検定協会による代替㊦ 技量認定資格者又は日本㊦協会の実施する施工講習終了者(溶接技能者 A級以上)が施工することとし、監督員の承諾を受けること。</p> <p>低応力高㊦疲労をうける部位 ・ 有り 位置 ※ 図示 ・</p> <p>14 入熱、バス温度の溶接条件 (8.15.7) (8.15.10) 鋼材と溶接材料の組合せと溶接条件 ・ 図示による 適用箇所 ・ 図示による ・ 柱、梁、ブレースのフランジ端部の完全溶け込み溶接部</p>	種類等	種類の記号	適用箇所(主要な部分)	規格		SN400B	補強材接合部	○ JIS規格による ・		STR400	補強材	○ JIS規格による ・	呼び名	呼び長さ(mm)	適用箇所	・ 16			・ 19			・ 22			<p>○15 溶接部の試験 (8.15.12) 平12建告第1464号第二号に関する外観試験方法 ○ 「突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強㊦」3.5.2 受入検査による ・ 抜き取り検査① ※ 抜き取り検査② JASS 6 付則 6【鉄骨精度検査基準】の付表3「溶接」に関する試験方法等 ○ JASS 6 10.4【受入検査】e.溶接部の外観検査(1)から(5)までによる。ただし、完全溶込み溶接部の外観検査の抜き取り検査は、超音波探傷試験の抜き取り検査と同一とする。外観試験の不具合箇所は、すべて標準仕様書7.6.13による補修を行い、再試験する 完全溶込み溶接部の超音波探傷試験 ・ 工場溶接の場合 ※ 全数 ・ 工場現場溶接の場合 ※ 全数</p> <p>○16 錆止め塗装 (標準仕様書7.3.3) (8.17.2、4) 塗料の種類 耐火被覆材の接着する面の塗装範囲 ・ 図示による ・ 耐火被覆材の接着する面以外の塗装範囲 ※ 改修標準仕様書8.17.2(1)(イ)～(イ)による ・ 図示による</p> <p>塗料の種類 ○ 下記以外の鉄鋼面は、7章【塗装改修工事】による ・ 鉄骨鉄筋コンクリート造の鋼製スリーブで鉄骨に溶接されたものの内側の錆止め塗料の種類 ※ AS種 ・ 耐火被覆材が接着する面の塗料の種類 ・</p> <p>17 耐火被覆 (8.18.2～8) 種類、材料、工法等</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>材料、工法</th> <th>性能(耐火時間)</th> <th>適用箇所(部位・部分)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ 耐火材吹付け</td> <td>・ 乾式吹付け㊦</td> <td>・</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 半乾式吹付け㊦</td> <td>・</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 湿式㊦</td> <td>・</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・</td> <td>・</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 耐火板張り</td> <td>・ 繊維混入入り㊦板</td> <td>・</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・</td> <td>・</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 耐火材巻付け</td> <td>・ 高断熱㊦</td> <td>・</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・</td> <td>・</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ ㊦張り㊦塗り</td> <td>・</td> <td>・</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 耐火塗料</td> <td>・</td> <td>・</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>18 アンカーボルトの設置等 (標準仕様書7.10.3) 構造用アンカーボルトの形状及び寸法 ・ 図示による ・ 構造用アンカーボルトの形状及び寸法 ※ 適切な鋼製アンカーボルト等を設置して固定する方法 ・ 図示による 建方用アンカーボルトの保持及び埋込み工法 種類 ・ A種 ・ B種 柱底均し㊦の厚さ及び工法の種類 厚さ ・ 種類 ※ A種 ・ B種</p> <p>19 鉄骨ブレース設置後の仕上げ (8.22.9) ○ 図示による</p> <p>○20 あと施工アンカー (8.2.4) 材料等 ・ 金属系アンカー ・ 引張耐力 () kN ・ 図示による ・ セン断耐力 () kN ・ 図示による ㊦本体の径及び埋込み長さ () ・ 図示による () セット方式 ※ 本体打込み式改良型 ・ 接合部の種類、径、長さ ○ 有機系 ・ 図示による () ・ 性能確認試験 試験方法及び試験数 ・ 図示による () ○ 接着系アンカー ・ 引張耐力 () kN ・ 図示による ・ セン断耐力 () kN ・ 図示による ㊦の種類 ※ ㊦方式回転打撃式 接着剤の品質 ○ 有機系 ・ 無機系 ○ 図示による ㊦の径及び埋込み長さ ○ 図示による ㊦の種類 ○ 図示による ㊦の新設壁内への定着の長さ ○ 図示による ・ 性能確認試験 試験方法及び試験数 ○ 図示による</p> <p>穿孔 (8.12.14) 埋込み配管等の探査方法 ・ 鉄筋探知機(金属探知機)により探査し、鉄筋、配管類の位置に墨出しを行う ・ はつり出しによる</p> <p>施工確認試験 (8.12.7) 試験方法 ※ 引張試験機による引張試験 確認強度 ・ 図示による</p> <p>○21 柱底均しモルタル及びグラウト材 (8.2.12) 柱底均しモルタル ※ 無収縮㊦ ㊦材 無収縮㊦材の材質等 混和材 セメント(酸化㊦及㊦)及び㊦、㊦、㊦等によって膨張する性質を利用するものとする。 セメント JIS R 5210「㊦」に適合した普通または早強㊦とする。 砂 土木学会㊦標準示方書に定められた品質を有するもので、特に精選されたものを絶対乾燥状態で使用する。ただし、現場調査に使用される砂の乾燥状態については、規定しない。</p> <p>無収縮㊦材の品質及び試験方法 コンプレッション [㊦]による下落時間 練混ぜ完了から3分以内の値：8±2秒 ㊦率 練混ぜ2時間後の㊦率：2.0%以下 凝結時間 凝結開始時間：1時間以上 終結時間：10時間以内 膨張収縮 材齢 7日 収縮しない 圧縮強度 材齢 3日 20.0N/mm²以上 材齢 28日 40.0N/mm²以上 塩化物量 0.30kg/m³以下 ①NEXCO試験方法 試験法 312-2024「無収縮㊦品質管理試験方法」による。 ㊦形状と現場調査形で混和材が同一の場合の試験は㊦形状のみとする。 ②塩化物量の試験は、JIS A1144「㊦中の水の塩化物付着濃度試験方法」による。</p>	種類	材料、工法	性能(耐火時間)	適用箇所(部位・部分)	・ 耐火材吹付け	・ 乾式吹付け㊦	・			・ 半乾式吹付け㊦	・			・ 湿式㊦	・			・	・		・ 耐火板張り	・ 繊維混入入り㊦板	・			・	・		・ 耐火材巻付け	・ 高断熱㊦	・			・	・		・ ㊦張り㊦塗り	・	・		・ 耐火塗料	・	・		<p>22 連続繊維シート (8.2.13) (8.24.6) 連続繊維の材料 ・ 炭素繊維 ・ ㊦繊維 ・</p> <p>引張強度(含浸硬化後) ・ () N/mm² ・ ヤング係数(含浸硬化後) ・ () N/mm² ・</p> <p>・ 下地処理 ・ ひび割れ部改修 範囲 ・ 図示による () ・ 工法の種類 ・ 柱及び梁の隅角部の面取りの大きさ ・ 図示による () ・ 連続繊維補強材の強度試験 ・ 引張強度試験 ※ JIS A 1191(㊦補強用FRPシート)の引張試験方法による 試験数量 ・ 図示による () ・ ・ 付着強度試験 ※ JIS A 6909(建築用仕上塗材)による 試験数量 ・ 図示による () ・</p> <p>23 仕上げ (8.24.7) 補強工事後の仕上げ ・ 図示による () ・</p> <p>24 耐震スリットの方式、幅及び深さ (8.25.2) 方式 ・ 完全スリット ・ 部分スリット 幅及び深さ ・ 図示による () ・ 設置箇所 ・ 図示による () ・</p> <p>25 耐震スリットの施工前の埋込み配管等の探査 (8.12.4) 部分撤去部の埋込み配管等の探査方法 ・ 鉄筋探査機(金属探知機)により探査し、鉄筋、配管類の位置に墨出しを行う ・ はつりだしによる</p> <p>26 耐震スリット充填材の挿入及び周囲補修等 (8.25.2) ・ 耐火材 使用箇所及び仕様 ・ 図示による () ・ ・ 遮音材 使用箇所及び仕様 ・ 図示による () ・ 撤去部の補修 ※ 撤去材と同一材で補修 ・</p> <p>27 埋戻し及び盛土 (8.28.3) 材料及び工法 (8.28.3) ・ 材料 () 工法 () ※ 改修標準仕様書表8.28.11による ・ A種 適用場所 () ・ B種 適用場所 () ・ C種 適用場所 () 土質 () 受渡場所 () ・ D種 適用場所 () (品質 細粒分(75 μm以下)の含有率(重量百分率)の上限を50%未満とする)</p> <p>28 杭地業 (8.2.15) (8.28.4) [4.3.8] 支持層の位置及び土質(基礎ぐいの先端位置含む) ・ 図示による () 杭の材料、工法、寸法、施工法等 ・ 図示による () ・ ・ 試験杭の位置、本数及び寸法並びに施工方法 ・ 図示による () ・ 杭の継手の個数、材料、工法等 ・ 図示による () ・ 杭の溶接接手 技能資格者の技量 ・ 図示による () ・ 溶接部の確認 ・ 図示による () ・ ・ 杭頭の処理 ・ 処理しない ・ 処理する 処理方法(切断にともなう補強方法含む) ・ 図示による () ・ 杭頭の中詰め材料 ・ 基礎の㊦と同調査のもの 杭の精度 水平方法の位置ずれ ・ 杭径の1/4かつ100mm以下 ・ 評定等の評価内容による ・ 建て込み時の杭の鉛直度 ・ 1/100以内 ・ 評定等の評価内容による ・ 記録する施工状況等 ・ 図示による () ・</p> <p>29 砂利地業 (8.2.15) (8.28.4) 材料[G] ・ 再生㊦ ・ 切込砂利又は切込砕石 砂利厚さ ※ 60mm ・</p> <p>30 捨てコンクリート地業 (8.2.15) (8.28.4) 捨てコンクリートの厚さ ※ 50mm コンクリートの種類 ・ I類(JIS A 5308への適合を認証された㊦) ・ II類(I類以外でJIS A 5308に適合した㊦) ※ 普通㊦ コンクリートの種類 ※ 18N/mm² 設計基準強度 ※ 15cm又は18cm スラブ ・</p>	<p>株式会社石本建築事務所</p>	<p>管理建築士 本村 雅昭 一級建築士登録 第340068号</p>	<p>編者</p>	<p>作成</p>	<p>日付</p>	<p>建設工事名</p> <p>令和8年度 長泉町文化センター大規模改修工事</p>	<p>図書</p> <p>建築工事改修特記仕様書-9</p>	<p>AT-9</p>
種類等	種類の記号	適用箇所(主要な部分)	規格																																																																											
	SN400B	補強材接合部	○ JIS規格による ・																																																																											
	STR400	補強材	○ JIS規格による ・																																																																											
呼び名	呼び長さ(mm)	適用箇所																																																																												
・ 16																																																																														
・ 19																																																																														
・ 22																																																																														
種類	材料、工法	性能(耐火時間)	適用箇所(部位・部分)																																																																											
・ 耐火材吹付け	・ 乾式吹付け㊦	・																																																																												
	・ 半乾式吹付け㊦	・																																																																												
	・ 湿式㊦	・																																																																												
	・	・																																																																												
・ 耐火板張り	・ 繊維混入入り㊦板	・																																																																												
	・	・																																																																												
・ 耐火材巻付け	・ 高断熱㊦	・																																																																												
	・	・																																																																												
・ ㊦張り㊦塗り	・	・																																																																												
・ 耐火塗料	・	・																																																																												

施工条件特記仕様書					明示項目	適用項目	明示が必要な場合	明示事項	内容						
下記項目のうち適用項目○印該当欄は、当該工事に関する施工条件として明示するものである。 なお、明示事項に変更が生じた場合は、監督員に報告し、協議するものとする。															
1 工程関係	1	関連工事との調整	○ 他の工事の開始又は完了の時期により、当該工事の施工時期、全体工期等に影響がある場合	影響を受ける部分	荷物用エレベーター、プラットフォーム	6 仮設関係	1	仮設 (土留、足場等)	仮設を他の工事に引き渡す場合及び引き継いで使用する場合	仮設道路の仕様					
				影響を受ける工事内容					仮設の期間						
				関連する工事内容	荷物用エレベーターの更新				仮設の条件						
				関連する工事の開始又は完了の時期	令和9年4月～6月（予定）				仮設の設計条件を指定する場合	設計条件の内容	図示による。				
	2	施工時期、時間の制限	○ 施工時期、施工時間及び施工方法が制限される場合	制限される施工内容											
				制限される施工時期・施工時間											
				制限される施工方法											
	3	関係機関等との協議	○ 当該工事の関係機関等との協議に未成立のものがある場合	制約を受ける内容			7 建設副産物関係	1							
				協議内容											
				協議成立見込時期											
4	地下埋設物及び埋蔵文化財の事前調査	○ 工事着手前に地下埋設物及び埋蔵文化財等の事前調査を必要とする場合	影響を受ける部分		2										
			影響を受ける内容												
5	作業不能日数	○ 地下埋設物等の移設が予定されている場合	調査項目		3										
			調査期間												
6	指定部分	○ 工事の規模（範囲）及び工期について指定した部分がある場合	移設期間												
			休日日数以外の作業不能日数												
7	設備工事との調整	○ 完成時の各種検査までに、別途設備工事の試運転調整等を完了しなければならない場合	当該工事の工期		8 工事支障物件等	1		工事支障物件協議	地上、地下等における占有物件の有無及び占有物件等で工事支障物が存在する場合	支障物件名、管理者名等	支障物件名	管理者名	支障物件の位置		
			当該工事の工期				地上、地下等の占有物件に係る工事期間と重複して施工する場合		工事内容						
9	排水処理	○ 排水の工法、排水処理の方法及び排水の放流先等を指定する場合	試運転調整等の適正期間の確保	設備の試運転調整等を行ううえで、支障のない状態まで完了していること						支障物件の移設時期	工事方法	防護			
			試運転調整等の適正期間の確保	設備の試運転調整等を行ううえで、支障のない状態まで完了していること											
2 用地関係	1	○ 仮用地等として官有地の提供	場所・範囲			9 排水関係	1	排水処理	排水の工法、排水処理の方法及び排水の放流先等を指定する場合	排水工法、排水処理の方法等	排水工法	排水処理の方法	放流先		
			時間・時期												
			使用条件												
			復旧方法												
3 公害関係	1	○ 公害防止（騒音、振動、粉塵、排出ガス等防止）	当該工事の規模（範囲）及び工期について指定した部分がある場合			10 薬液注入関係	2	水替・流入防止施設	水替・流入防止施設が必要な場合	施設の内容					
			当該工事の規模（範囲）及び工期について指定した部分がある場合												
	2	騒音、振動、地盤沈下、地下水枯渇等の防止調査	○ 工事の施工に伴って発生する騒音、振動、地盤沈下、地下水の枯渇等が予測される場合	事前・事後調査の区分			1	薬液注入	薬液注入を行う場合	設計条件、施工工法等	設計条件	施工工法	材料種類		
				調査時期											
	3	電波障害等に起因する事業損失防止調査	○ 電波障害等に起因する事業損失が懸念される場合	未然に防止するための必要な調査方法							予定される排水量	排水の水質基準	放流費用		
				未然に防止するための必要な調査範囲											
4 安全対策関係	1	交通安全施設	電波障害等に起因する事業損失が懸念される場合		11 その他	1	支給品及び買与品	支給材料及び買与品がある場合	設計条件、施工工法等	施工範囲	削孔数量及び延長	注入量及び注入圧			
			事前・事後調査の区分												
	2	近接施工	○ 鉄道、ガス、電気、電話、水道等の施設と近接する工事において施工方法等に制限がある場合	未然に防止するための必要な調査方法											
				未然に防止するための必要な調査範囲											
	3	落石、雪崩、土砂崩落の防護施設	○ 落石、雪崩、土砂崩落に対する防護施設が必要な場合	未然に防止するための必要な調査範囲											
				未然に防止するための必要な調査範囲											
	4	交通誘導員の配置	○ 交通誘導員の配置を指定する場合	事前・事後調査の区分											
				調査時期											
	5	有毒ガス及び酸素欠乏等の対策	○ 有毒ガス及び酸素欠乏対策として、換気設備が必要な場合	未然に防止するための必要な調査方法											
				未然に防止するための必要な調査範囲											
1	一般道の使用	○ 搬入経路、使用時間、使用時間帯等に制限がある場合	延べ人数	交通誘導警備員A	交通誘導警備員B	200人									
			配置時間	交通誘導警備員A	8時～17時まで（8時間）	交通誘導警備員B	8時～17時まで（8時間）								
5 工事用	1	○ 搬入、搬出路の使用内容及び使用後の処置が必要である場合	換気設備等の内容												
			換気設備等の内容												
			制限される工事用資機材の搬入経路												
			制限される使用期間												
			制限される使用時間帯												
			使用中・使用後の処置内容												



配置図 SCALE 1 : 300

履歴 _____ _____ _____ ver. 20221201	完成図作成 (受注者名) 日付 監理技術者 担当者	完成図承認 日付 監理者 担当者	製作日 ファイル名	代表設計者 日付 一級建築士 大原登録第311340号 中村 慎吾	設計者 日付 一級建築士 大原登録第311340号 中村 慎吾	業務名称 令和8年度 長泉町文化センター大規模改修工事 業務契約コード 108484-02 図面名称 配置図 [改修後]	図面番号 A-2 縮尺 1 : 300	管理建築士 一級建築士 大原登録第34009号 本村 雅昭
--	------------------------------------	---------------------------	--------------	---	---	---	------------------------------	--

注記)事項中の項目は※印または◎印の付いた項目(両方に印のある場合は◎を優先とする。)
及び仕様を適用し、「×」印又は「・」は適用しない。(項目:1、6、7、8、9、11、12、14)

1. 設計図書記入 共通事項

- ※ 床のレベルは平面図、平面詳細図による。
- ※ 屋外床のレベルは配置図、外構図による。
- ※ 異なる床の仕上げ及び壁の仕上げ区分は、平面図、平面詳細図による。
- ※ RD及び縦樋の位置は、平面図による。
- ※ 壁の種類は平面図、平面詳細図による。
- ※ 外壁の化粧目地・伸縮調整目地割付は、立面図による。
- ※ ガラスの種類・区分は建具表記載事項とし、補足の分類は姿図による。
- ・ 構造スリット位置は、構造図による。
- ・ 告示771号特定天井及び耐震天井の仕様は本仕上り表及び吊り天井の脱落対策仕様書による。

2. 主に使用される記号・略号

BM	ベンチマーク	H	高さ表示の頭記号	W	幅表示の頭記号
GL	基準地盤面(平均地盤面)	L	長さ表示の頭記号	S=1:*	縮尺
FL	基準床面(仕上げ面)	CH	天井高さ	D	奥行
SL	基準床躯体面(スラブ上面)	t	厚さ	r	半径
TP	東京湾中等潮位(参考資料内)	φ	直径	C	中心線
OP	大阪湾最低標準潮位	∅	間隔		

3. 記号・略号の室名・材料名等

DS	ダクトスペース(ダクト配管を行う)	ELV	エレベーター	SGP	配管用亜鉛メッキ鋼管
AD	エアダクト(躯体ダクト)	DW	小荷物専用エレベーター(ダムウエーター)	VP	硬質塩化ビニル管
PS	電気配管スペース			STK	構造用鋼管
EP	バイパススペース	ESC	エスカレーター	FB	フラットバー
SMD	排煙ダクトスペース	UB	ユニットバス	S	スチール
Expj	エキスパンションジョイント	SK	掃除用流し	PL	プレート(鋼板)
PC	プレキャストコンクリート	RD	ルーフドレイン	SUS	ステンレススチール
CB	コンクリートブロック			AL	アルミニウム
ALC	軽量気泡コンクリートパネル			BR	真チユウ
ECP	押出成形セメント板			TB	トイレブラス

4. 記号・略号の塗料名

SOP	合成樹脂調合ペイント	EP-T	合成樹脂エマルジョン模様塗料
GL	グリアッカー	UC	ウレタン樹脂ニス
FE	フタル酸樹脂エナメル	OS	オイルステイン
NAD	アクリル樹脂系非水分散形塗料	WP	木材保護塗料
DP	耐候性塗料(旧 2-FUE)	MEB	メスアルキド樹脂(マミン)エナメル焼付
EP-G	つや有合成樹脂エマルジョンペイント	AEB	アクリル樹脂エナメル焼付
EP	合成樹脂エマルジョンペイント	FCC	フッ素樹脂カーグラフィ
EP-Si	汚染除去型合成樹脂エマルジョンペイント	VP	塩化樹脂エナメル

5. 記号・略号の下地名

M	モルタル木コテ下地	LGS	軽量鉄骨壁・天井下地
Mコテ	モルタル金コテ下地	CB	コンクリートブロック

コンクリート系は下記6.の記載事項による

6. 型枠の加工及び組立(6.8.3)

a. コーンの穴理め ※ 面合せ仕上げ(意匠図による)
・ 面うち仕上げ

b. 躯体の増打ち ◎ 打放しコンクリート仕上げ面 ※ 20 ・
◎ 塗装仕上げ面 ※ 20 ・
◎ 仕上げ面 ※ 20 ・
◎ タイル張り面(外壁) ※ 0 ・
◎ モルタル塗面 ※ 0 ・
◎ 外壁内側(見え隠れ部とも) ※ 10 ・
◎ ボード等による仕上げ面(内壁) ※ 0 ・
◎ 内装壁紙直張り下地 ※ 10 ・
◎ 基礎・基礎梁等 ※ 0 ・

9. 構造体コンクリートの仕上り(6.2.5)

b. コンクリート表面の仕上り状態

型枠緊張材及びコーン穴の処理				
・ C塗装	打放し仕上げA種:化粧打ち放し又は塗装仕上げ面、壁紙張り面	せき板 ※ 表面加工品	・ B-C品 ※ 丸セパB型 ※ 既製モルタルコーン	・ モルタル充填
※ C化粧	打放し仕上げB種:仕上げ面 ※ 20	せき板 ※ B-C品	・ ※ 丸セパB型 ※ 既製モルタルコーン	・ モルタル充填
※ C打放	打放し仕上げC種:タイル張り面、モルタル塗面、EVビット内面	せき板 ※ B-C品	・ ※ 丸セパB型 ※ 既製モルタルコーン	・ モルタル充填
※ C打放	打放し仕上げC種:防水下地、基礎排水槽内面、	せき板 ※ B-C品	・ ※ 丸セパB型 ※ 既製モルタルコーン	・ モルタル充填
※ Cママ	その他打放しのまま	せき板 ※ B-C品	・ ※ 丸セパC型 防錆塗装、監理指針6.8.6(a)(3)	
※ C	コンクリート木コテ押え			
※ Cコテ	コンクリート金コテ押え:機械ごてを用いる場合も、必ず最終仕上げは金ごてで行うこと。監理指針15.3.3(i)			

15. 耐火及び遮音材料等指定リスト

【1時間耐火(間仕切壁)】

・ GB-F t21(下張)+GB-F t21(上張) 片面張 (C-100以上)	耐火構造:FP060NP-0189	【耐火被覆】
・ GB-F t12.5(下張)レンガ張り+GB-RH t9.5(上張) 両面張	耐火構造:FP060NP-0199	a. 種別及び使用箇所
・ GB-F t12.5(下張)+GB-RH t9.5(上張) 両面張 (≒455)	耐火構造:FP060NP-0259	1) 耐火材吹付け
・ GB-F t12.5(下張)+GB-F t12.5(上張) 両面張 (C-45以上)	耐火構造:FP060NP-0175	イ) 材料 ※ ロックウール吹付け
		ロ) 工法 ※ 乾式
		ハ) 仕上げ形状 ※ 吹放し仕上げ
		ニ) 色 ※ 原色
		ホ) 使用箇所
		イ) 所用性能 ※ 上記
		ロ) 耐火材吹付け、耐火板張り、耐火材巻付け等には点検可能な部分に適切な表示を行う。
		ハ) 材料、接着剤のホルムアルデヒドの発散量 ※ F☆☆☆☆

【114条区画】

- ・ 1時間耐火(間仕切壁)と同じ

【D-45(遮音)】

- ・ GB-F t12.5(下張)レンガ張り+GB-RH t9.5(上張) 両面張
- ・ C-65 ラナー75、≒303 GW:24kg/m³、t50 耐火構造:FP060NP-0200 遮音構造:SOI-0112

12. 内装軽量鉄骨天井下地及び壁下地の脱落防止及び耐震安全性

【天井仕様】(ホール及びホワイエ天井除く)

- ・ 天井:標準仕様書に規定する仕様とし、JIS規格品を使用する。
- ・ 天井ふところ3,000を超える場合は、図示による仕様又は鉄骨造ぶどう棚等より天井を吊る。(図示)
- ・ 天井内に設置する設備機器、配管・配線等と天井下地材との大地震動時の干渉(衝突)を無くする。
- ・ 天井下地が設備機器等の影響で、所定のピッチに吊ることが出来ない場合は監督員の指示による。

【鉄骨壁下地の仕様】

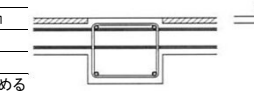
使用材料 ※ JIS規格品 無指定

- ・ 間仕切壁は原則5m以下での床版下と床版に架かる構造とし、標準仕様書に規定する仕様とする。
- ※ 65型スタッド:高さ4.0m以下
- ※ 90型スタッド:高さ4.0mを超え4.5m以下
- ※ 100型スタッド:高さ4.5mを超え5.0m以下
- ※ 5.0m以上の部分には、主要構造部と同等の下がり壁等(図示)を設ける。
- ※ 壁を貫通する設備配管等は、地震動時にも壁に加力を与えない構造とする。
- ・ 主に小部屋等簡易に設置する間仕切りは、床版と天井下地に標準仕様書に規定する仕様とする。
- ※ 当該間仕切り設置部分の天井下地には、補強のための斜め材(図示)を設置する。
- ※ 設置範囲は平面図による。
- ・ ランナー材とスタッドの取付は、標準仕様書及び建築工事監理指針に規定する仕様とする。
- 建築工事監理指針に規定する上部ランナーとスタッド天端の隙間は10mm以下とする。

7. 梁の増打ち

RC造で、柱と梁が同一面の場合は右図のように梁幅を30mm増打ちする。柱又は梁の主筋にD32以上の太径鉄筋を用いる場合は別途定める。

※ 適用する ・ 適用しない ・ 別途定める



13. 防火材料一覧表

せっこうボード t9.5 (GB-R t9.5)	QM-9828	繊維混入石膏板(エッジボード)	NM-9028
せっこうボード t12.5 (GB-R t12.5)	NM-8619	(FG)	
不燃積層せっこうボード t9.5 (GB-NC)	NM-0441	繊維強化セメント板(フレキシアルボード)	NM-8576
		ケイ酸カルシウム板	NM-8578
普通硬質せっこうボード t9.5 (GB-R-H)	NM-1908	ロックウール化粧吸音板(DR)	NM-8599
		塗料(塗料塗装/不燃材料)	NM-8585
ケーシングせっこうボード (GB-S)	QM-9826	複層模様吹付材	QM-9812
不燃ケーシングせっこうボード t12.5 (不GB-S)	NM-9639	複層模様吹付材(不燃)	NM-8572
		ロックウール吹付	NM-8601
繊維強化せっこうボード (GB-F)	NM-8615	グラスウール	NM-8605
化粧せっこうボード (GB-D)	QM-0524	木毛セメント板	QM-9701
不燃化粧せっこうボード (不GB-D)	NM-1864	木毛ハイライトセメント板(不燃)	NM-234~237
吸音用あなきせっこうボード (GB-P)	QM-9827	ビニルクロス	不燃認定品
		※ 壁装材料の認定番号は指定メーカーによる	

14. コンクリートの仕上りの平たんさ

種別	平たんさ	適用部位:柱・梁・壁	適用部位:床
a種	3mにつき7mm以下	化粧打ち放しコンクリート、塗装仕上げ、壁紙張り、接着剤によるセラミックタイル張り	合成樹脂塗床、ビニル系床材張り、コンクリート直均し仕上げ、フリーアクセスフロア(置き敷き式)
b種	3mにつき10mm以下	仕上げ面塗塗り	カーペット張り、防水下地、セルフレベリング材塗り
c種	1mにつき10mm以下	セメントモルタルによるセラミックタイル張り、モルタル塗り、胴縁下地	セラミックタイル張り、モルタル塗り、二重床
・	・	・	・
・	・	・	・

16. 特記事項

注記)下記事項は、図中記載がなくともすべて本工事に適用する。


【躯体工事】	・ 屋外下地石膏ボードのジョイント部はハネ等で段差の生じないように仕上げること。 ・ 塗装下地のせっこうボードの下地処理は、継目処理工法とする。 ・ せっこうボード張りの出隅コーナー部分は、標準仕様書に示すコーナー保護金物を用いた補強を行う。 ・ せっこうボード張りの入隅コーナー部分は、標準仕様書に示すジョイントテープを用いた補強を行う。 ・ C塗装の打放部分の見えがかり出隅はピン角とする。
【防水工事】	・ 屋外において異なる材料の取合部分及びジョイント部分の改修には、すべてシーリング(仕様書9.6.2)を充填すること。 ・ 新設天井材と既存天井ボードが取合う箇所には塩ビ製見切り目地を設けること。 ・ せっこうボードのGL工法は高さ3mまでとする。それを超える場合は全てGLS下地を用いる。 ・ 異なる下地に、GL工法による同一仕上げとする場合には、下地区分に応じて伸縮調整目地を設ける事。 ・ CH=2700以下の場合、壁面のせっこうボードは3×8又は3×9の1枚物を使用し、水平ジョイントは設けない。 ・ CH=2700を超える場合、水平ジョイントは位置・仕様を監理者と協議すること。 ・ ビニルシートは全て溶接工法とする。 ・ 床施工に先立ち、床レベルの測定を行い、3mにつき3mm以上の不陸がある場合には、下地レベル調整を行った上で仕上げを行うこと。 ・ 化粧ケイ酸板の目地処理はアルミ製ジョイナー処理とする。
【金属工事】	・ 屋外の鋼製部分は特記無制限溶融亜鉛メッキの上指定の仕上りを行うものとする。 ・ 異なる床仕上り材の取合部分には、ステンレス目地棒を取付ける。 ・ 異なる金属が取合う部分で電食の恐れがある場合は、防食処理を行う。 ・ LGS天井下地の撤去は原則野縁及び野縁までとし、吊りボルトは残置とし再利用とする。 ・ 新規にLGS天井下地を新設する場合の天井インサート金物は後打とする。 ・ 新規にLGS天井下地を新設する場合に天井ふところ高が1.5mを超える場合は、天井下地補強(公共建築改修工事標準仕様書6.6.4(8))を行うこと。 ・ 床下点検口はステンレス製、天井点検口はアルミ製とする
【左官工事】	・ CB等、亀裂の発生が予想される部分に、亀裂防止用ガラスクロス等の捨張を行う。
【塗装工事】	・ 壁面、天井面の塗装は特記無制限ロー仕上げとする。但しロックウール化粧吸音板に塗装を行う場合はシーラー処理の上吹付塗装とする。 ・ 外部の既設吹付又は塗装部に仕上げ塗料又は塗装を新設する場合には、既設塗膜の状況を把握し、下地面との密着が十分でない場合は該当部分の既存塗膜を除去すること。
【内装工事】	・ 内装材料は、F☆☆☆☆ものを使用する。 ・ 床のビニルタイル、ビニルシート、ゴムタイル等は竣工引渡時に再度樹脂ワックス仕上りを行う。
【その他】	・ タイル貼り床を撤去する場合はカッター入れを行い、タイル床仕上げ材を撤去すること。 ・ 既設壁、既設建具を撤去する場合はカッター入れを行い、壁、建具及び仕上げ材を撤去すること。 ・ 遮音が必要とされる間仕切り区画した部屋では、完成検査前に要求される性能が有る事を受注者が確認し監理者に報告する。 ・ 設備更新に伴い既設壁の部分撤去、新設が必要な箇所が出てきた場合は、図面に表記が無い場合も改修(変更対象外)を行うこと。(範囲が広範囲におよぶ場合は係員と協議)

外部仕上表

部 位	【既設】仕 上 ・ 仕 様	部 位	【改修】仕 上 ・ 仕 様
室外機設置	既設樹木伐採 タワフワク×5本、アオキ、シャガ	室外機設置	防音壁 化粧型枠コンクリート打放 撥水材塗布 天端 塗膜防水(X-2)
			アルミ製外壁汚れ防止金物
		床	コンクリート金網下地 塗膜防水(X-2)
		機械基礎	ベタ基礎 W1,160×L8,500×H150
			コンクリート金網下地 塗膜防水(X-2)
金属屋根	ルーフドレイン SUS製軒樋用金属製落し口	金属屋根	ルーフドレイン 改修ドレイン新設
	堅樋 SGP 一部撤去		堅樋 (内部)塩ビパイプ:VP 一部新設 (外部)塩ビパイプ:カラーVP 一部新設 SGP電触接手新設
外 壁	外壁改修① 3階南面機械室外壁(一部)及びアルミ製ケイ酸板撤去	外 壁	外壁改修① 撤去外壁部 新設 :コンクリート打放+可とう形外装薄塗材E アルミ製ケイ酸板 新設 :無着色陽極酸化塗装複合被膜(B-1種)
	外壁改修② 3階東外面壁ひび割れ部分補修(既存仕上げ/外壁薄塗材E)高圧水栓塗膜全面除去	外壁改修②	ひび割れ補修 :ウケツル材充填工法 外壁塗装改修 :下地調整塗材(C-2)+可とう形外装薄塗材E
	外壁改修③ 3階南外面壁塗装浮き部分補修(既存仕上げ/外壁薄塗材E)高圧水栓塗膜全面除去	外壁改修③	外壁塗装改修 :下地調整塗材(C-2)+可とう形外装薄塗材E

仕上材料名表示凡例(品名は全て同等以上とする)

表示名	標準仕様・寸法等及び材料名	表示名	標準仕様・寸法等及び材料名	表示名	標準仕様・寸法等及び材料名
床	ビニル床シート (サンケウストリューム)	廻縁	PVC 特記なき限り十手型	雑	アルミ製外壁汚れ防止金物 (白水興産機:レインカット)
	ビニル床タイル (東リマチヨ)				車椅子用WC入口新設ステンレス床見切り (機アスト:ステンレスジョイナー 20-656)
	タイルカーペット (サンケウ:NT700)	外壁	撥水材 (エスケー化研:セラミックF工法 カラークリア)		洗面台用補助手摺 (TOTO:樹脂被覆タイプ(T112CP55)、LIXIL (TOTO:樹脂被覆タイプ(T112CU22)、LIXIL (TOTO:樹脂被覆タイプ(T112CU2L))
					アース内L型補助手摺 (TOTO:樹脂被覆タイプ(T112CU2L))、LIXIL (ユニオン:HU-11)各SKIに1箇所
					SK掃除用具掛け (ユニオン:SNH-276-10-AFS-R)各SKIに4箇所
壁	ビニルクロス (サンケウ:リザーブシリーズ)	雑	トイレブラス (ナカ工業:クインP-SOFTマミン)		洗面台鏡 フロト照明付き鏡W350×H1,000 TOTO、LIXIL
	織物クロス (サンケウ:SHITSURAH織/織物壁紙SGP2123)		マンホール蓋 (福西鋳物:マンホールカバー-SF-L型)		車止めブロック (オーケー:OKPF100(基礎一体型)ブロック700)
	塗装下クロス (サンケウ:サンウォール)		SUS 防水防臭型、ホル固定、モルタル用 (福西鋳物:フロアマットSF-60FWH、75FWH型)		
			天井落下防止システム (日栄インテック:BBカットワイヤー、BBカットパイプ)		
			化粧珪藻土板t6 (アイカハイボード'不燃)		
			磁器質45角タイル(特注色)		
			(LIXIL:インテグレートベーシック)		
			塩ビ製出隅ジョイナー (創建:(37127)角型仕出隅13)		

 石本建築事務所 ISHIMOTO architectural & engineering firm, inc.	開設	完成図作成(受注者宛)	完成図承認	制作日	代表設計者	設計者	業務名称	業務契約No.	図面番号	管理建築士
		日付	日付	2025.6.6	一級建築士 大臣登録311349号	一級建築士 大臣登録311349号	令和8年度 長泉町文化センター大規模改修工事	108484-02	A-3	1級建築士 大臣登録第340068号 本村雅昭
		監理候補者	監理者	担当者	日付	中村慎吾	中村慎吾	担当者		

ver.20230301	監理候補者	監理者	担当者	日付	中村慎吾	中村慎吾	担当者	図面名称	仕上表1
--------------	-------	-----	-----	----	------	------	-----	------	------

階	室名	法規制等	床		巾木	壁		廻縁	天井		天井高	備考
			レベル	下地 仕上		下地	仕上		下地	仕上		
1	調整室		700	コア OA707(タイルカーペット)	木 60	LGS 有孔ケイカル板t8 EP (グラスウールt150, グラスウール)	PVC 【撤去】	LGS 岩綿吸音板t12(フック) (石膏ボードt9下地) 【撤去】		2,500		
1	談話コーナー		0 550 -50	M 御影石	石 200	C 大理石<H2,000 打放し補修>2,000 塗装下ガラスクロスMP	アルミ 【撤去】	LGS 岩綿吸音板t12 (石膏ボードt9下地) 【撤去】		2,700	【撤去】折上げ天井	
1	湯沸室		0 -15	コア ビニル床シート	PVC 60	C 100角陶器質タイル 耐水石膏ボードt12(GL)下地	PVC 【撤去】	LGS 化粧石膏ボードt9 【撤去】		2,500	【残置】吊戸棚(L1,350)	
2	第一会議室		0~ -30	コア タイルカーペット	木 60	LGS 難燃練付合板 H<2,050 石膏ボードt12 H>2,050(残置) 織物クロス H>2,050【撤去】	巻込み 【撤去】	LGS 織物クロス (石膏ボードt9下地) 【撤去】		2,700	【残置】窓側下り天井、下り壁	
2	第二会議室		0~ -30	コア フローリング	PVC 60	C 石膏ボードt12(GL)EP 石膏ボードt9+12 EP	PVC 【撤去】	LGS 岩綿吸音板t12 (石膏ボードt9下地) 【撤去】		2,700	【残置】窓側下り天井、下り壁 【残置】スライディングウォール、同レベル	
2	第三会議室		0~ -30	コア フローリング	PVC 60	C 石膏ボードt12(GL)EP 石膏ボードt9+12 EP	PVC 【撤去】	LGS 岩綿吸音板t12 (石膏ボードt9下地) 【撤去】		2,700	【残置】窓側下り天井、下り壁 【残置】スライディングウォール、同レベル	
2	調理実習室		0~ -15	コア ビニル床シート	床材立上 60	C 100角陶器質タイル 100角陶器質タイル (防水石膏ボードt12下地)	PVC 【撤去】	LGS 化粧石膏ボードt9 【撤去】		2,500	【残置】調理台、食器収納棚 【残置】フード	
2	和室		180 -15	木床組 畳敷	夕張寄 -	C 石膏ボードt12(GL)EP 石膏ボードt9+12 ビニルクロス貼	木 【残置】	LGS ビニルクロス (石膏ボードt9下地) 【撤去】		2,400	【新設】天井照明用スリット(木製)	
2	和室踏込み		0 -15	木床組 M 玄昌石	木 150	LGS ビニルクロス (石膏ボードt9+12 下地)	木 【残置】	LGS ビニルクロス (石膏ボードt9下地) 【撤去】		2,500		
2	編集室		60 -15	コア OA707(タイルカーペット)	PVC 60	外壁面 石膏ボードt12(GL)EP 石膏ボードt9+12 EP 打放し補修 EP	PVC 【撤去】	LGS 岩綿吸音板t12 (石膏ボードt9下地) 【撤去】		2,700		
2	廊下(5)		0 -15	コア ビニル床タイル	PVC 60	C 打放し補修 MP 石膏ボードt9+12 MP	PVC 【撤去】	LGS 岩綿吸音板t12 (石膏ボードt9下地) 【撤去】		2,450		
2	倉庫(5)		0 -15	コア ビニル床タイル【一部撤去】	PVC 60	C コン打放し【一部撤去】 CB化粧積【撤去】	PVC 【撤去】	LGS 化粧石膏ボードt9 【撤去】		2,500		
2	側廊(3)		1,100 1,085	コア タイルカーペット	木 60	C 塗装下ガラスクロスMP 石膏ボードt9+12 下地	PVC 【撤去】	LGS 岩綿吸音板t12 (石膏ボードt9下地) 【撤去】		2,400	【残置】天井間接照明ボックス 【一部撤去】柱型	
2	側廊(4)		1,100 1,085	コア タイルカーペット	木 60	C 塗装下ガラスクロスMP 石膏ボードt9+12 下地	PVC 【撤去】	LGS 岩綿吸音板t12 (石膏ボードt9下地) 【撤去】		2,400	【残置】天井間接照明ボックス	
B1	M-WC(1)		-10 -50	M 200角磁器質無軸タイル 和便器廻り【一部撤去】 汚垂石(御影石t20)【撤去】	-	C、CB 100角陶器質タイル H<2,000 モルタル金鍍EP H>2,000	PVC 【撤去】	LGS 岩綿吸音板t12 (石膏ボードt9下地) 【撤去】		2,400	【撤去】TB(トイレース) 【撤去】手洗いカウンター 【撤去】ライニング(小便器、SK)	
B1	F-WC(1)		-10 -50	M 200角磁器質無軸タイル 和便器廻り【一部撤去】	-	C、CB 100角陶器質タイル H<2,000 モルタル金鍍EP H>2,000	PVC 【撤去】	LGS 岩綿吸音板t12 (石膏ボードt9下地) 【撤去】		2,400	【撤去】TB(トイレース) 【撤去】手洗いカウンター	
B1	F/MWC(1)前室		0 -15	コア ビニル床タイル	PVC 60	C 打放し補修 EP	PVC 【撤去】	LGS 岩綿吸音板t12 (石膏ボードt9下地共) 【撤去】		2,400		
B1	車椅子用WC		0 -50	M 200角磁器質無軸タイル 【一部撤去】	-	C、CB 100角陶器質タイル H<2,000 モルタル金鍍EP H>2,000	PVC 【撤去】	LGS 岩綿吸音板t12 (石膏ボードt9下地) 【撤去】		2,400	【撤去】ライニング 【撤去】SUS製手摺 t1.5 34φ	
B1	M-WC(2)		-10 -50	M 200角磁器質無軸タイル 和便器廻り【一部撤去】 汚垂石(御影石t20)【撤去】	-	C、CB 100角陶器質タイル H<2,000 モルタル金鍍EP H>2,000	PVC 【撤去】	LGS 岩綿吸音板t12 (石膏ボードt9下地) 【撤去】		2,400	【撤去】TB(トイレース) 【撤去】手洗いカウンター 【撤去】ライニング(小便器、SK)	
B1	F-WC(2)		-10 -50	M 200角磁器質無軸タイル ビニル床シート(TB内)【撤去】 汚垂石(御影石t20)【撤去】	-	C、CB 100角陶器質タイル H<2,000 モルタル金鍍EP H>2,000	PVC 【撤去】	LGS 岩綿吸音板t12 (石膏ボードt9下地) 【撤去】		2,400	【撤去】TB(トイレース)、TB扉下SUS床見切り 【撤去】手洗いカウンター 【撤去】ライニング(小便器)	
B1	M-WC(3)		-10 -50	M 200角磁器質無軸タイル 和便器廻り【一部撤去】 汚垂石(御影石t20)【撤去】	-	C、CB 100角陶器質タイル H<2,000 モルタル金鍍EP H>2,000	PVC 【撤去】	LGS 岩綿吸音板t12 (石膏ボードt9下地) 【撤去】		2,400	【撤去】TB(トイレース) 【撤去】手洗いカウンター 【撤去】ライニング(小便器、SK)	
B1	F-WC(3)		-10 -50	M 200角磁器質無軸タイル 和便器廻り【一部撤去】	-	C、CB 100角陶器質タイル H<2,000 モルタル金鍍EP H>2,000	PVC 【撤去】	LGS 岩綿吸音板t12 (石膏ボードt9下地) 【撤去】		2,400	【撤去】TB(トイレース) 【撤去】手洗いカウンター	

階	室名	法規制等	床		巾木	壁		廻縁	天井		天井高	備考
			レベル	下地 仕上		下地	仕上		下地	仕上		
1	調整室		700		【既設】	【既設】		PVC 【新設】	LGS DRt12(フック) 【新設】	2,500		
1	談話コーナー		0 550 -50		【既設】	【既設】		PVC 【新設】	LGS DRt12 【新設】	2,700		
1	湯沸室		0 -15		【既設】	【既設】		PVC 【新設】	LGS GB-D t9.5 【新設】	2,500		
2	第一会議室		0~ -30		【既設】	LGS LGS 【既設】	難燃練付合板 H<2,050 GB-Rt9.5+12.5 H>2,050【既設】 織物クロス H>2,050【新設】	巻込み 【新設】	LGS 織物クロス (GB-R t9.5下地) 【新設】	2,700	【既設】窓側下り天井、下り壁	
2	第二会議室		0~ -30		【既設】	【既設】	既設のまま クラック補修+EP再塗装 (既設下り壁)	PVC 【新設】	LGS DRt12 【新設】	2,700	【既設】窓側下り天井、下り壁 【既設】スライディングウォール、同レベル	
2	第三会議室		0~ -30		【既設】	【既設】	既設のまま	PVC 【新設】	LGS DRt12 【新設】	2,700	【既設】窓側下り天井、下り壁 【既設】スライディングウォール、同レベル	
2	調理実習室		0~ -15		【既設】	【既設】	既設のまま	PVC 【新設】	LGS DRt12 【新設】	2,500	【既設】調理台、食器収納棚 【既設】フード	
2	和室		180 -15		【既設】	【既設】	既設のまま	木 【既設】	LGS 練付け合板t6敷目貼 (木棧下地) 【新設】	2,400	【新設】天井照明用スリット(木製)	
2	和室踏込み		0 -15		【既設】	【既設】	既設のまま	木 【既設】	LGS ビニルクロス (GB-R t9.5下地) 【新設】	2,500		
2	編集室		60 -15		【既設】	【既設】	既設のまま	PVC 【新設】	LGS DRt12 【新設】	2,700		
2	廊下(5)		0 -15		【既設】	【既設】	既設のまま	PVC 【新設】	LGS DRt12 【新設】	2,450		
2	倉庫(5)		0 -15	コア 【既設】	ビニル床タイル【一部新設】	PVC 60 LGS 【一部新設】	【既設】	【既設】	PVC LGS GB-D t9.5 【新設】	2,500		
2	側廊(3)		1,100 1,085		【既設】	【既設】	既設のまま	PVC 【新設】	LGS DRt12 【新設】	2,400	【既設】天井間接照明ボックス 【一部新設】柱型(既設壁同材)	
2	側廊(4)		1,100 1,085		【既設】	【既設】	既設のまま	PVC 【新設】	LGS DRt12 【新設】	2,400	【既設】天井間接照明ボックス	
B1	M-WC(1)		-10 -50	M ビニル床シート【新設】 (既設タイルの上、下地調整材)	-	【既設】	既設のまま	PVC 【新設】	LGS DRt12 【新設】	2,400	【新設】TB(トイレース)、和便器開口塞ぎ 【新設】手洗いカウンター、各種手摺 【新設】ライニング(小便器、SK)、汚垂タイル	
B1	F-WC(1)		-10 -50	M ビニル床シート【新設】 (既設タイルの上、下地調整材)	-	【既設】	既設のまま	PVC 【新設】	LGS DRt12 【新設】	2,400	【新設】TB(トイレース)、和便器開口塞ぎ 【新設】手洗いカウンター、各種手摺	
B1	F/MWC(1)前室		0 -15		【既設】	【既設】	既設のまま	PVC 【新設】	LGS DRt12 【新設】	2,400		
B1	車椅子用WC		0 -50	M ビニル床シート【新設】 (既設タイルの上、下地調整材)	-	C、CB 化粧ケイカル板t6.0【一部新設】 (GB-S t12.5(GL)下地)	【既設】	【既設】	PVC 【新設】	2,400	【新設】TB(トイレース)、和便器開口塞ぎ 【新設】手洗いカウンター、各種手摺 【新設】ライニング(小便器、SK)	
B1	M-WC(2)		-10 -50	M ビニル床シート【新設】 (既設タイルの上、下地調整材)	-	【既設】	既設のまま	PVC 【新設】	LGS DRt12 【新設】	2,400	【新設】TB(トイレース)、和便器開口塞ぎ 【新設】手洗いカウンター、各種手摺 【新設】ライニング(小便器、SK)	
B1	F-WC(2)		-10 -50	M ビニル床シート【新設】 (既設タイルの上、下地調整材)	-	【既設】	既設のまま	PVC 【新設】	LGS DRt12 【新設】	2,400	【新設】TB(トイレース)、和便器開口塞ぎ 【新設】手洗いカウンター、各種手摺 【新設】ライニング(小便器)	
B1	M-WC(3)		-10 -50	M ビニル床シート【新設】 (既設タイルの上、下地調整材)	-	【既設】	既設のまま	PVC 【新設】	LGS DRt12 【新設】	2,400	【新設】TB(トイレース)、和便器開口塞ぎ 【新設】手洗いカウンター、各種手摺 【新設】ライニング(小便器、SK)	
B1	F-WC(3)		-10 -50	M ビニル床シート【新設】 (既設タイルの上、下地調整材)	-	【既設】	既設のまま	PVC 【新設】	LGS DRt12 【新設】	2,400	【新設】TB(トイレース)、和便器開口塞ぎ 【新設】手洗いカウンター、各種手摺	






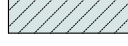
図面番	作成者	承認者	日付
			2025.6.6
監理者	○	○	
担当者	○	○	

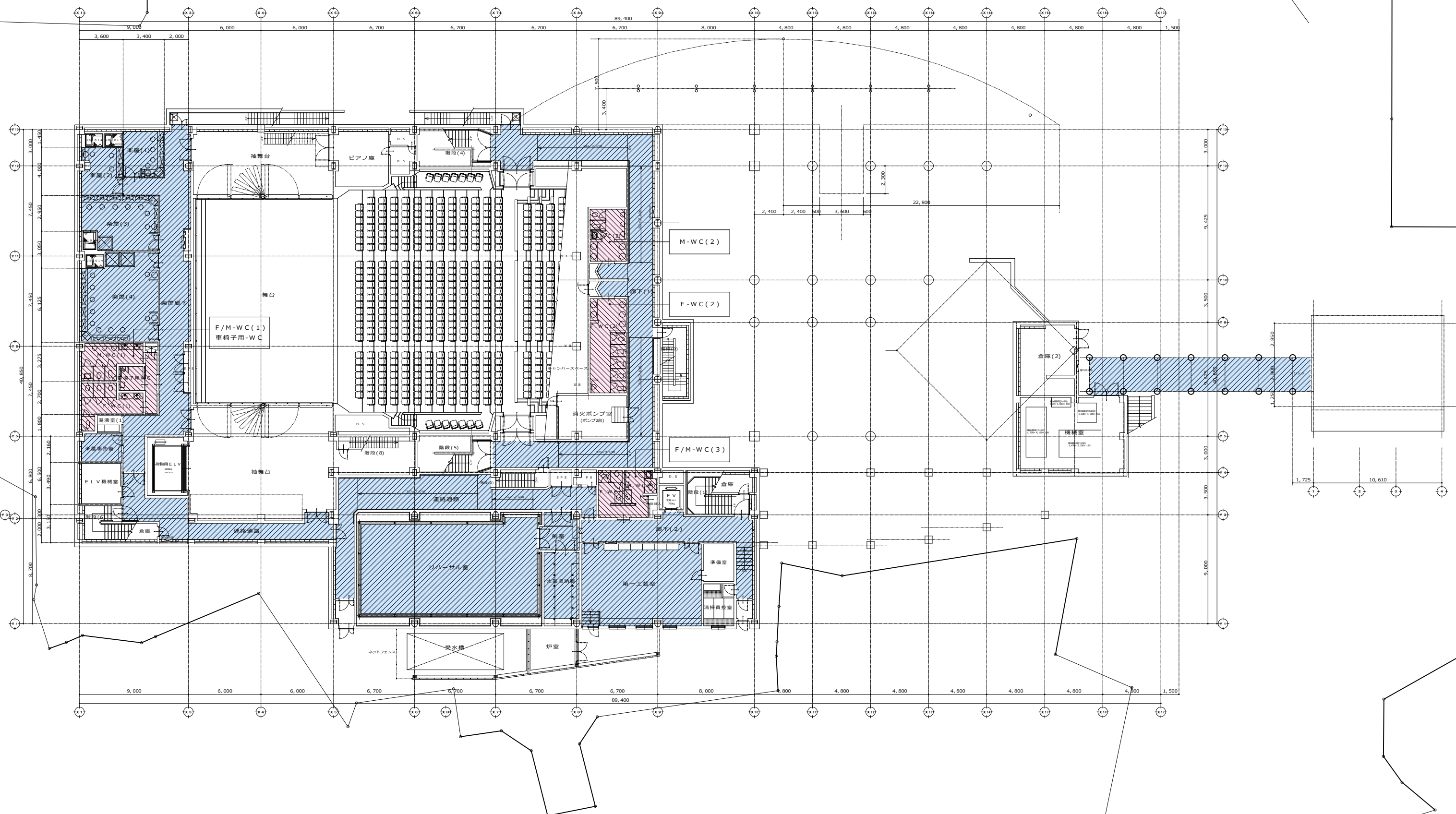
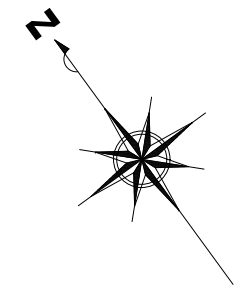
図面番	業務名称	図面番号	管理建築士
A-5	令和8年度 長泉町文化センター大規模改修工事	108484-02	1級建築士
	代表 設計者	設計者	業務契約
	大臣登録311349号	大臣登録311349号	大庄登録第340068号
	日付	日付	本村雅昭
	中村慎吾	中村慎吾	
	○	○	
	○	○	

仕上表3

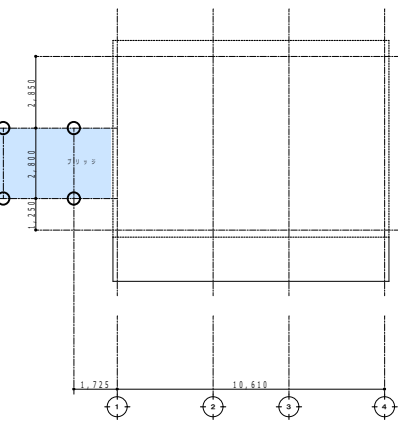
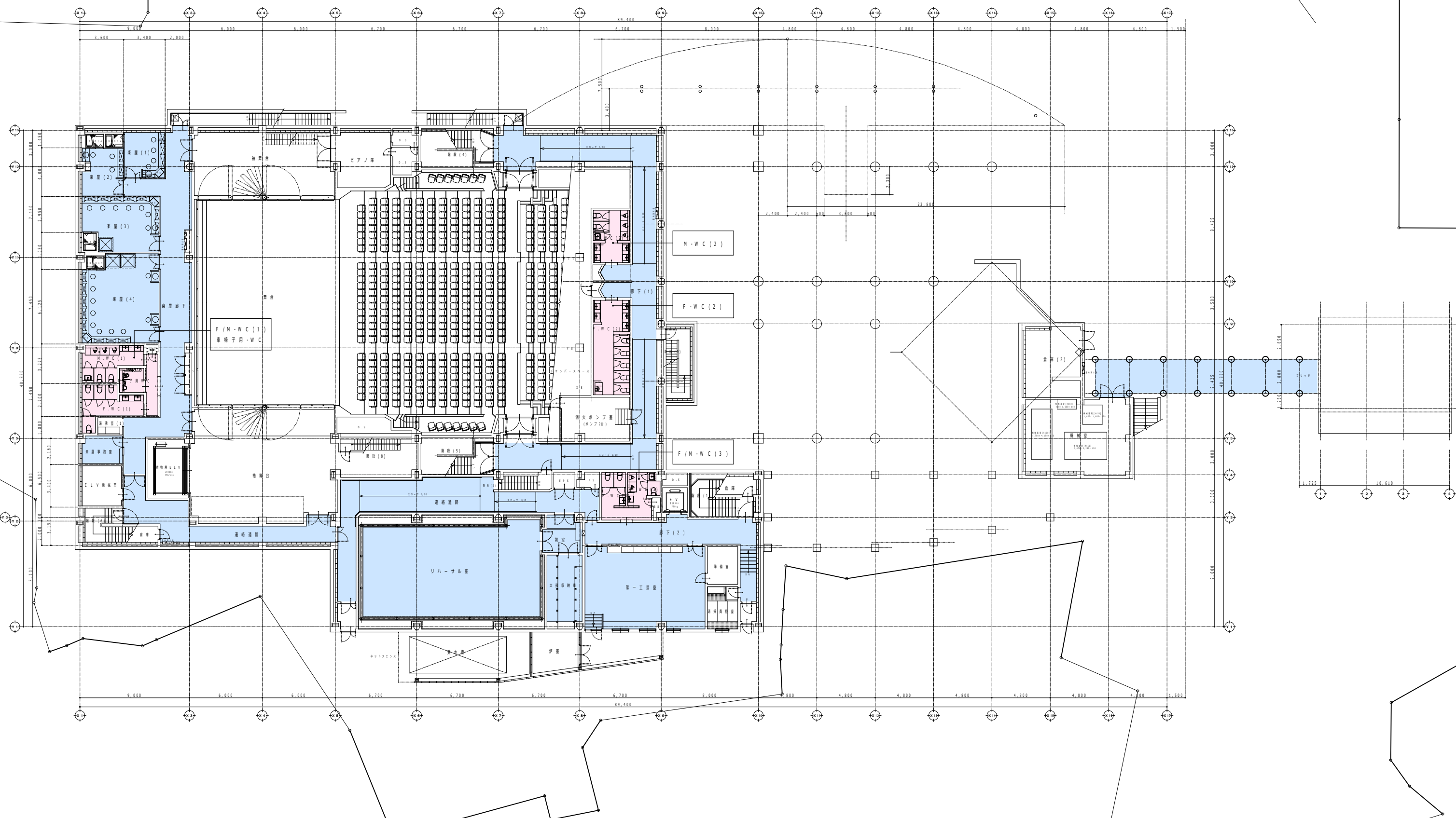
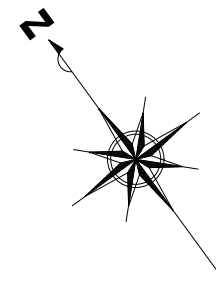
【既設】内部仕上表(3)		※法規制等の凡例は以下の通り 不:令112条 第9項 第1号等 一:令126条の2 第1項 第1号		三:令126条の2 第1項 第3号 ①:告示1436号 第4項へ(1) ②:告示1436号 第4項へ(2)		③:告示1436号 第4項へ(3) ④:告示1436号 第4項へ(4) ⑤:告示1436号 第4項へ(5)		※レベル欄:上段は仕上レベル、下段は構造躯体(入口基準) (増打ち分を除く)基準FLからのレベルを示す ※()内記号は、エレメント図番号を示す。		備考	
階	室名	法規制等	床 レベル 下地 仕上	巾木	壁 下地 仕上	廻縁	天井 下地 仕上	天井高	備	考	備考
1	M-WC(4)		390 M 200角磁器質無軸タイル 和便器廻り【一部撤去】 汚垂石(御影石t20)【撤去】	-	C、CB 100角陶器質タイル H<2.000 C、CB モルタル金鍍EP H>2.000	PVC 【撤去】	LGS 岩綿吸音板t12 (石膏ボードt9下地) 【撤去】	2,400	【撤去】TB(トイプース) 【撤去】手洗いカウンター 【撤去】ライニング(小便器、SK)、汚垂石		【新設】TB(トイプース)、和便器開口塞ぎ 【新設】手洗いカウンター、各種手摺 【新設】ライニング(小便器、SK)
1	F-WC(4)		590 M 200角磁器質無軸タイル ビニル床シート(TB内)【撤去】 汚垂石(御影石t20)【撤去】	-	C、CB 100角陶器質タイル H<2.000 C、CB モルタル金鍍EP H>2.000	PVC 【撤去】	LGS 岩綿吸音板t12 (石膏ボードt9下地) 【撤去】	2,400	【撤去】TB(トイプース)、TB扉下SUS床見切り 【撤去】手洗いカウンター 【撤去】ライニング(小便器)、汚垂石		【新設】TB(トイプース) 【新設】手洗いカウンター、各種手摺 【新設】ライニング(小便器、SK)
1	車椅子用WC		0 M 200角磁器質無軸タイル	-	M 100角陶器質タイル H<2.000 【一部撤去】 C、CB モルタル金鍍EP H>2.000	PVC 【撤去】	LGS 岩綿吸音板t12 【撤去】	2,400	【撤去】ライニング 【撤去】SUS製手摺 t1.5 34φ		
1	M-WC(5)		-10 M 御影石(J&P) 和便器廻り【一部撤去】 汚垂石(御影石t20)【撤去】	-	C、CB 100角陶器質タイル H<2.000 C、CB モルタル金鍍EP H>2.000	PVC 【撤去】	LGS 岩綿吸音板t12 (石膏ボードt9下地) 【撤去】	2,400	【撤去】TB(トイプース) 【撤去】手洗いカウンター 【撤去】ライニング(小便器)、汚垂石		【新設】TB(トイプース) 【新設】手洗いカウンター、各種手摺 【新設】ライニング(小便器)
1	F-WC(5)		-10 M 御影石(J&P) 和便器廻り【一部撤去】	-	C、CB 100角陶器質タイル H<2.000 C、CB モルタル金鍍EP H>2.000	PVC 【撤去】	LGS 岩綿吸音板t12 (石膏ボードt9下地) 【撤去】	2,400	【撤去】TB(トイプース) 【撤去】手洗いカウンター 【撤去】ライニング(SK)		【新設】TB(トイプース) 【新設】手洗いカウンター、各種手摺 【新設】ライニング(SK)
1	車椅子用WC		0 M 200角磁器質無軸タイル	-	C、CB 100角陶器質タイル H<2.000 【一部撤去】 C、CB モルタル金鍍EP H>2.000	PVC 【撤去】	LGS 岩綿吸音板t12 (石膏ボードt9下地) 【撤去】	2,400	【撤去】ライニング 【撤去】SUS製手摺 t1.5 34φ		
2	M-WC(6)		1,090 M 200角磁器質無軸タイル 和便器廻り【一部撤去】 汚垂石(御影石t20)【撤去】	-	C、CB 100角陶器質タイル H<2.000 C、CB モルタル金鍍EP H>2.000	PVC 【撤去】	LGS 岩綿吸音板t12 (石膏ボードt9下地) 【撤去】	2,400	【撤去】TB(トイプース) 【撤去】手洗いカウンター 【撤去】ライニング(小便器)		【新設】TB(トイプース) 【新設】手洗いカウンター、各種手摺 【新設】ライニング(小便器)
2	F-WC(6)		1,090 M 200角磁器質無軸タイル 【撤去】 防水押えコン【残置】	-	C、CB 100角陶器質タイル H<2.000 C、CB モルタル金鍍EP H>2.000	PVC 【撤去】	LGS 岩綿吸音板t12 (石膏ボードt9下地) 【撤去】	2,400	【撤去】TB(トイプース) 【撤去】手洗いカウンター、鏡 【撤去】ライニング(SK)		【新設】TB(トイプース) 【新設】手洗いカウンター、各種手摺 【新設】ライニング(SK)
2	M-WC(7)		0 M 200角磁器質無軸タイル 【撤去】 防水押えコン【残置】	-	C、CB 100角陶器質タイル H<2.000 C、CB モルタル金鍍EP H>2.000	PVC 【撤去】	LGS 岩綿吸音板t12 (石膏ボードt9下地) 【撤去】	2,400	【撤去】TB(トイプース) 【撤去】手洗いカウンター、鏡 【撤去】ライニング(小便器、SK)、汚垂石t20		【新設】TB(トイプース) 【新設】手洗いカウンター、各種手摺 【新設】ライニング(小便器、SK)、汚垂石
2	F-WC(7)		0 M 200角磁器質無軸タイル 【撤去】 防水押えコン【残置】	-	C、CB 100角陶器質タイル H<2.000 C、CB モルタル金鍍EP H>2.000	PVC 【撤去】	LGS 岩綿吸音板t12 (石膏ボードt9下地) 【撤去】	2,400	【撤去】TB(トイプース) 【撤去】手洗いカウンター、鏡		【新設】TB(トイプース) 【新設】手洗いカウンター、各種手摺 【新設】ライニング(SK)
■ 【ホール改修工事】											
・	ホール (下手側)		M 通路フローリング 客席ビニル床タイル	木 100	C 大理石 FGボードt8 EP (石膏ボードt21下地)	-	LGS 【撤去】 下手:FGボードt8(リブ) EP (石膏ボードt21下地)		【残置】カーテンボックス 【取外し】化粧柱(6箇所) 【残置】客席椅子(防塵養生)		【既設】カーテンボックス 【再取付】化粧柱(6箇所) 【新設】天井裏キャットウォーク
・	(上手側)		同上	木 100	同上		LGS 上手:FGボードt8(リブ) EP (石膏ボードt21下地)		【残置】客席椅子(防塵養生)		
・	(中央)		同上	-	-		LGS 中央:FGボードt8 EP (石膏ボードt21+t15下地)		【撤去】下手側キャットウォーク一部W500×L750×2か所 【残置】客席椅子(防塵養生)		
・	(後方)2階廊下天井含む		同上	スチール 100	LGS 鋼製ハンゲングタイル焼付塗装 (グラスウールボードt50、グラスウール)		LGS 【撤去】 後方:FGボードt8 EP (石膏ボードt21下地)		【残置】客席椅子(防塵養生)		
・	第1シーリングスポット室		0 -15 Cコナ 化繊カーペット	-	LGS (石膏ボードt12下地) 【一部撤去】 汚垂石(御影石t20)【撤去】		LGS (石膏ボードt12下地) 【一部撤去】 汚垂石(御影石t20)【撤去】	2,100	【取外し】ワイヤーメッシュ(2ヶ所) 【取外し】舞台照明用カバー(一部)		【再取付】ワイヤーメッシュ(2ヶ所) 【再取付】舞台照明用カバー(一部)
・	ホワイエ		M 200角磁器質無軸タイル	石 100	C 大理石 塗装下グラスクロスMP	-	LGS アルミ成形パネル【残置】 岩綿吸音板t12 (石膏ボードt9下地共)【撤去】	3,500	【新設】天井落下防止システム(新設天井)		

【改修】内部仕上表(3)		※法規制等の凡例は以下の通り 不:令112条 第9項 第1号等 一:令126条の2 第1項 第1号		三:令126条の2 第1項 第3号 ①:告示1436号 第4項へ(1) ②:告示1436号 第4項へ(2)		③:告示1436号 第4項へ(3) ④:告示1436号 第4項へ(4) ⑤:告示1436号 第4項へ(5)		※レベル欄:上段は仕上レベル、下段は構造躯体 (増打ち分を除く)基準FLからのレベルを示す ※()内記号は、エレメント図番号を示す。		備考	
階	室名	法規制等	床 レベル 下地 仕上	巾木	壁 下地 仕上	廻縁	天井 下地 仕上	天井高	備	考	備考
1	M-WC(4)		390 M ビニル床シート (既設タイルの上、下地調整材) 汚垂石【新設】	-	既設のまま	PVC 【新設】	LGS DRt12 (GB-R t9.5下地) 【新設】	2,400	【新設】TB(トイプース)、和便器開口塞ぎ 【新設】手洗いカウンター、各種手摺 【新設】ライニング(小便器、SK)		【新設】TB(トイプース)、和便器開口塞ぎ 【新設】手洗いカウンター、各種手摺 【新設】ライニング(小便器、SK)
1	F-WC(4)		590 M ビニル床シート (既設タイルの上、下地調整材) 汚垂石【新設】	-	既設のまま	PVC 【新設】	LGS DRt12 (GB-R t9.5下地) 【新設】	2,400	【撤去】TB(トイプース)、TB扉下SUS床見切り 【撤去】手洗いカウンター 【撤去】ライニング(小便器)、汚垂石		【新設】TB(トイプース) 【新設】手洗いカウンター、各種手摺 【新設】ライニング(小便器、SK)
1	車椅子用WC		0 M ビニル床シート【新設】 (既設タイルの上、下地調整材)	-	既設のまま 化粧タイルt6.0【一部新設】 (GB-S t12.5(GL)下地)	PVC 【新設】	LGS DRt12 (GB-R t9.5下地) 【新設】	2,400	【撤去】ライニング 【撤去】SUS製手摺 t1.5 34φ		
1	M-WC(5)		-10 M 御影石【既設】 御影石(J&P)【一部新設】 汚垂石【新設】	-	既設のまま	PVC 【新設】	LGS DRt12 (GB-R t9.5下地) 【新設】	2,400	【撤去】TB(トイプース) 【撤去】手洗いカウンター 【撤去】ライニング(小便器)、汚垂石		【新設】TB(トイプース) 【新設】手洗いカウンター、各種手摺 【新設】ライニング(小便器)
1	F-WC(5)		-10 M 御影石【既設】 御影石(J&P)【一部新設】	-	既設のまま	PVC 【新設】	LGS DRt12 (GB-R t9.5下地) 【新設】	2,400	【撤去】TB(トイプース) 【撤去】手洗いカウンター 【撤去】ライニング(SK)		【新設】TB(トイプース) 【新設】手洗いカウンター、各種手摺 【新設】ライニング(SK)
1	車椅子用WC		0 M ビニル床シート【新設】 (既設タイルの上、下地調整材)	-	既設のまま 化粧タイルt6.0【一部新設】 (GB-S t12.5(GL)下地)	PVC 【新設】	LGS DRt12 (GB-R t9.5下地) 【新設】	2,400	【撤去】ライニング 【撤去】SUS製手摺 t1.5 34φ		
2	M-WC(6)		1,090 M ビニル床シート (既設タイルの上、下地調整材) 汚垂石【新設】	-	既設のまま	PVC 【新設】	LGS DRt12 (GB-R t9.5下地) 【新設】	2,400	【撤去】TB(トイプース) 【撤去】手洗いカウンター 【撤去】ライニング(小便器)		【新設】TB(トイプース) 【新設】手洗いカウンター、各種手摺 【新設】ライニング(小便器)
2	F-WC(6)		1,090 M 【新設】 【新設】 防水押えコン【既設】	SUS HL 100 GL	LGS 化粧タイルt6.0 (GB-S t12.5下地) 【新設】	PVC 【新設】	LGS DRt12 (GB-R t9.5下地) 【新設】	2,400	【撤去】TB(トイプース) 【撤去】手洗いカウンター、鏡 【撤去】ライニング(SK)		【新設】TB(トイプース) 【新設】手洗いカウンター、各種手摺 【新設】ライニング(SK)
2	M-WC(7)		0 M 【新設】 【新設】 防水押えコン【既設】	SUS HL 100 GL	LGS 化粧タイルt6.0 (GB-S t12.5下地) 【新設】	PVC 【新設】	LGS DRt12 (GB-R t9.5下地) 【新設】	2,400	【撤去】TB(トイプース) 【撤去】手洗いカウンター、鏡 【撤去】ライニング(小便器、SK)、汚垂石t20		【新設】TB(トイプース) 【新設】手洗いカウンター、各種手摺 【新設】ライニング(小便器、SK)、汚垂石
2	F-WC(7)		0 M 【新設】 【新設】 防水押えコン【既設】	SUS HL 100 GL	LGS 化粧タイルt6.0 (GB-S t12.5下地) 【新設】	PVC 【新設】	LGS DRt12 (GB-R t9.5下地) 【新設】	2,400	【撤去】TB(トイプース) 【撤去】手洗いカウンター、鏡		【新設】TB(トイプース) 【新設】手洗いカウンター、各種手摺 【新設】ライニング(SK)
■ 【ホール改修工事】											
・	ホール (下手側)		既設のまま	【既設】	既設のまま	-	LGS 【新設】 下手:FG t8(リブ) EP (GB-R t21 下地) 天井落下防止システム共【新設】		【既設】カーテンボックス 【再取付】化粧柱(6箇所) 【残置】客席椅子(防塵養生)		【既設】カーテンボックス 【再取付】化粧柱(6箇所) 【新設】天井裏キャットウォーク
・	(上手側)		同上	【既設】	同上		既設のまま 天井落下防止システム 【新設】		【残置】客席椅子(防塵養生)		
・	(中央)		同上	【既設】	-		既設のまま 天井落下防止システム 【新設】		【撤去】下手側キャットウォーク一部W500×L750×2か所 【残置】客席椅子(防塵養生)		
・	(後方)2階廊下天井含む		同上	【既設】	既設のまま		LGS 【新設】 後方:FG t8 EP (GB-R t21 下地) 天井落下防止システム共【新設】		【残置】客席椅子(防塵養生)		
・	第1シーリングスポット室		既設のまま	-	LGS (GB-Rt12.5下地) 【一部新設】 汚垂石(御影石t20)【撤去】		LGS (GB-R t12下地) 【一部撤去】 汚垂石(御影石t20)【撤去】	2,100	【取外し】ワイヤーメッシュ(2ヶ所) 【取外し】舞台照明用カバー(一部)		【再取付】ワイヤーメッシュ(2ヶ所) 【再取付】舞台照明用カバー(一部)
・	ホワイエ		既設のまま	【既設】	既設のまま		LGS 【新設】 アルミ成形パネル【既設】 岩綿吸音板t12 (GB-R t9.5 下地共)【新設】	3,500	【新設】天井落下防止システム(新設天井)		

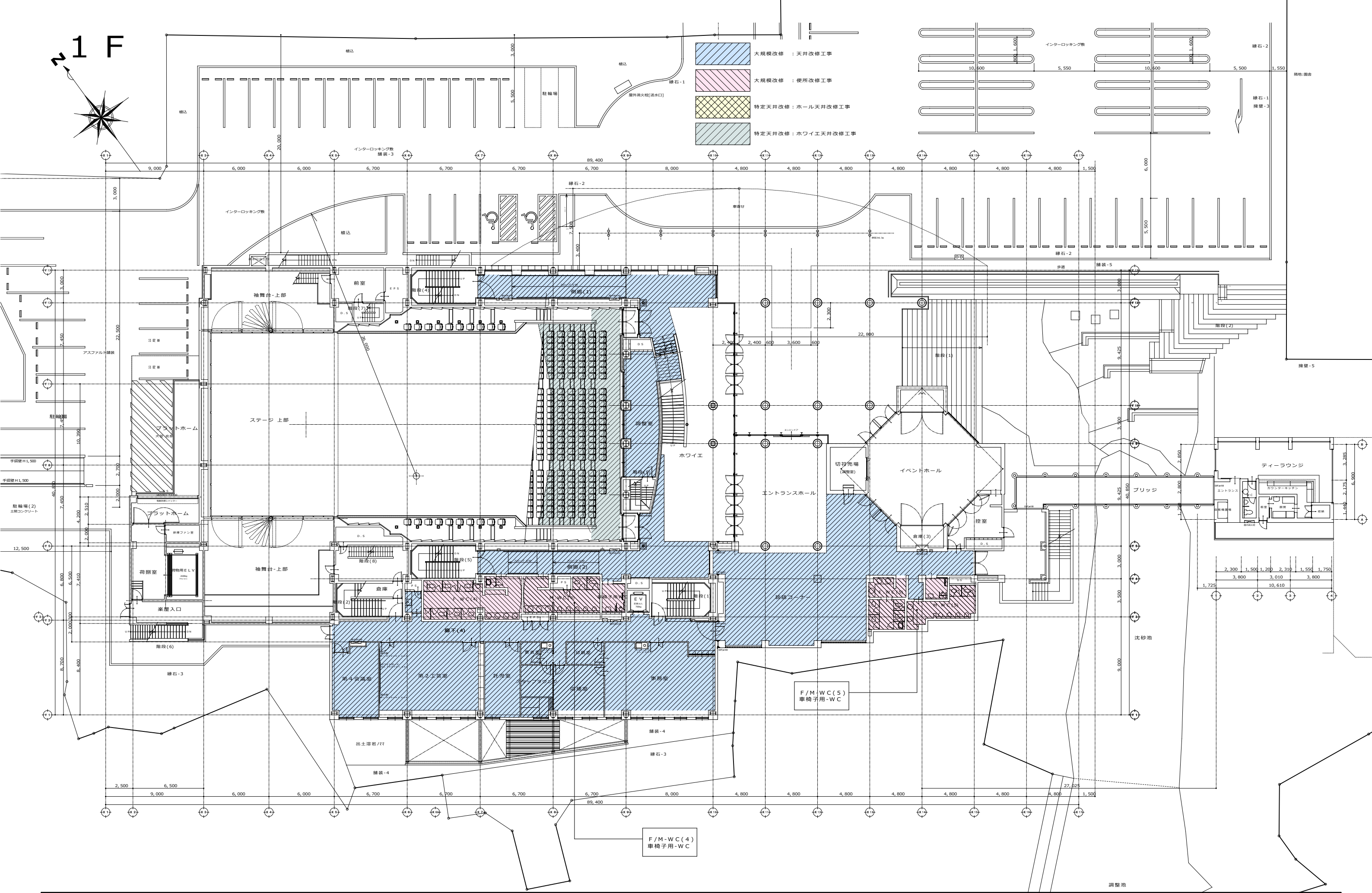
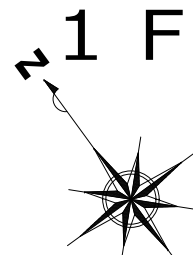
-  大規模改修 : 天井改修工事
-  大規模改修 : 便所改修工事
-  特定天井改修 : ホール天井改修工事
-  特定天井改修 : ホワイエ天井改修工事



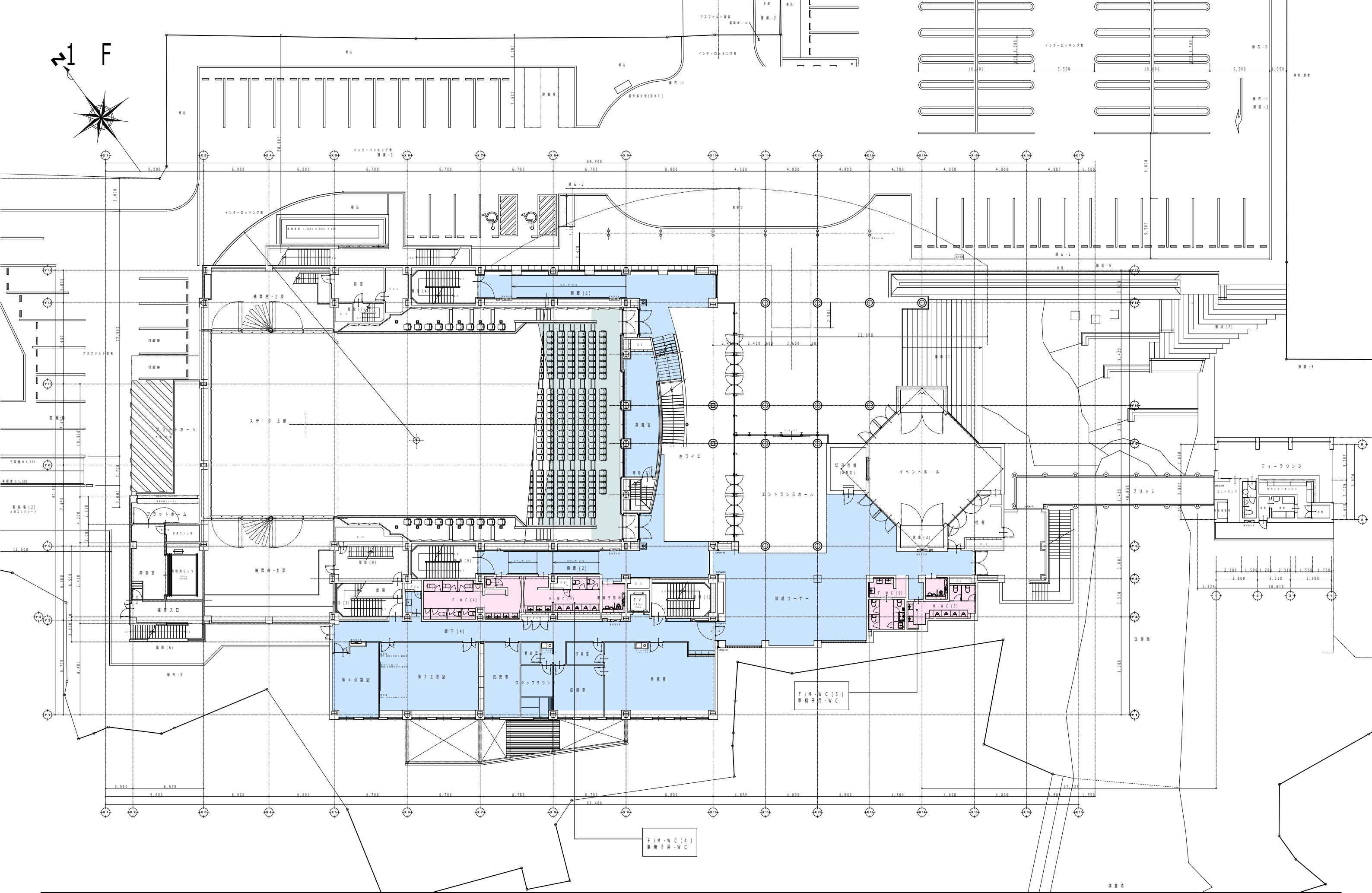
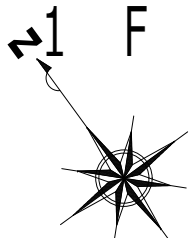
履歴 完成図作成 (受注者名) 日付 監理技術者 担当者	完成図承諾 日付 監理者 担当者	製作日 ファイル名	代表設計者 一級建築士 大田豊雄 311349号 中村 慎吾 日付	設計者 一級建築士 大田豊雄 311349号 中村 慎吾 担当者	工事名称 令和8年度 長泉町文化センター大規模改修工事 108484-02 図面名称 B 1 階 平面図 [改修前]	業務契約コード 108484-02 縮尺 1 : 150	図面番号 A-7	管理建築士 一級建築士 大田豊雄 340069号 本村 雅昭
--	---------------------------	--------------	---	--	--	---------------------------------------	-------------	---



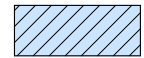


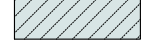
原案 設計 監理 監理 監理	完成図作成 (発行第6) 3月 監理技師 相澤 隆	完成図承認 3月 監理技師 相澤 隆	製作日 ファイル名	代表設計者 一級建築士 大塚 隆雄 3113498 監理技師 中村 慎吾 日付	設計者 一級建築士 大塚 隆雄 3113498 監理技師 中村 慎吾 日付	工事名 令和8年度 長岡市文化センター大規模改修工事 図面名称 B1階平面図 [改修後]	業務契約コード 108484-02 縮尺 1:150	図面番号 A-8	監理技師 一級建築士 大塚 隆雄 3410168 本村 肇
----------------------------	------------------------------------	-----------------------------	--------------	--	--	---	-------------------------------------	-------------	--

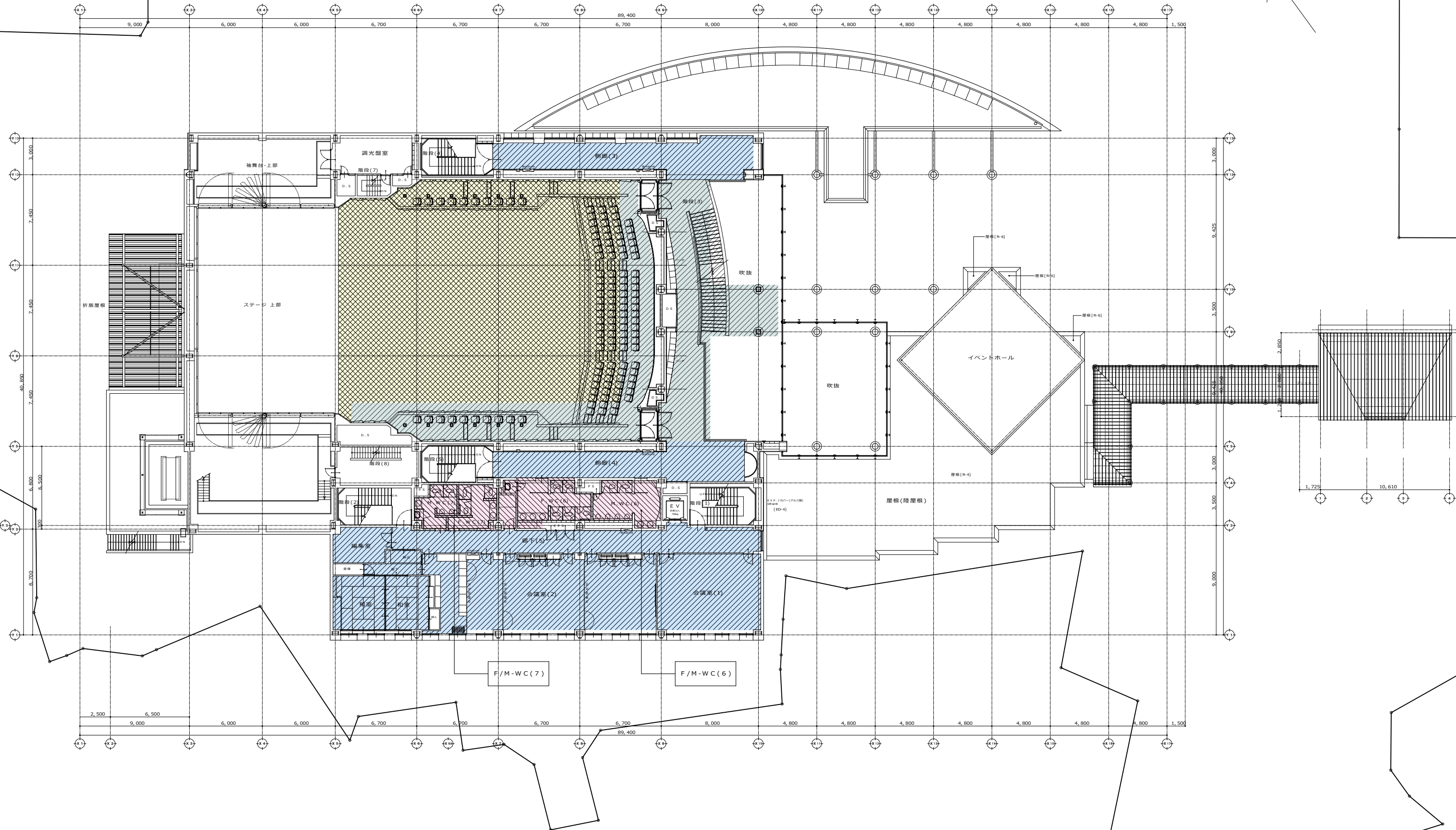
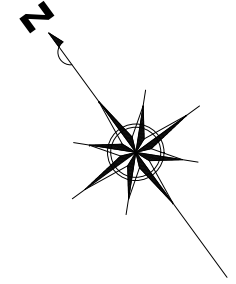


履歴 完成図作成 (受注者名) 日付 監理技術者 担当者	完成図承諾 日付 監理者 担当者	製作日 ファイル名	代表設計者 一級建築士 大田登録第311349号 中村 慎吾 日付	設計者 一級建築士 大田登録第311349号 中村 慎吾 担当者	工事名称 令和8年度 長泉町文化センター大規模改修工事 1階平面図 [改修前]	業務契約コード 108484-02 縮尺 1 : 150	図面番号 A-9	管理建築士 一級建築士 大田登録第340069号 本村 雅昭
--	---------------------------	--------------	---	--	---	---------------------------------------	-------------	---



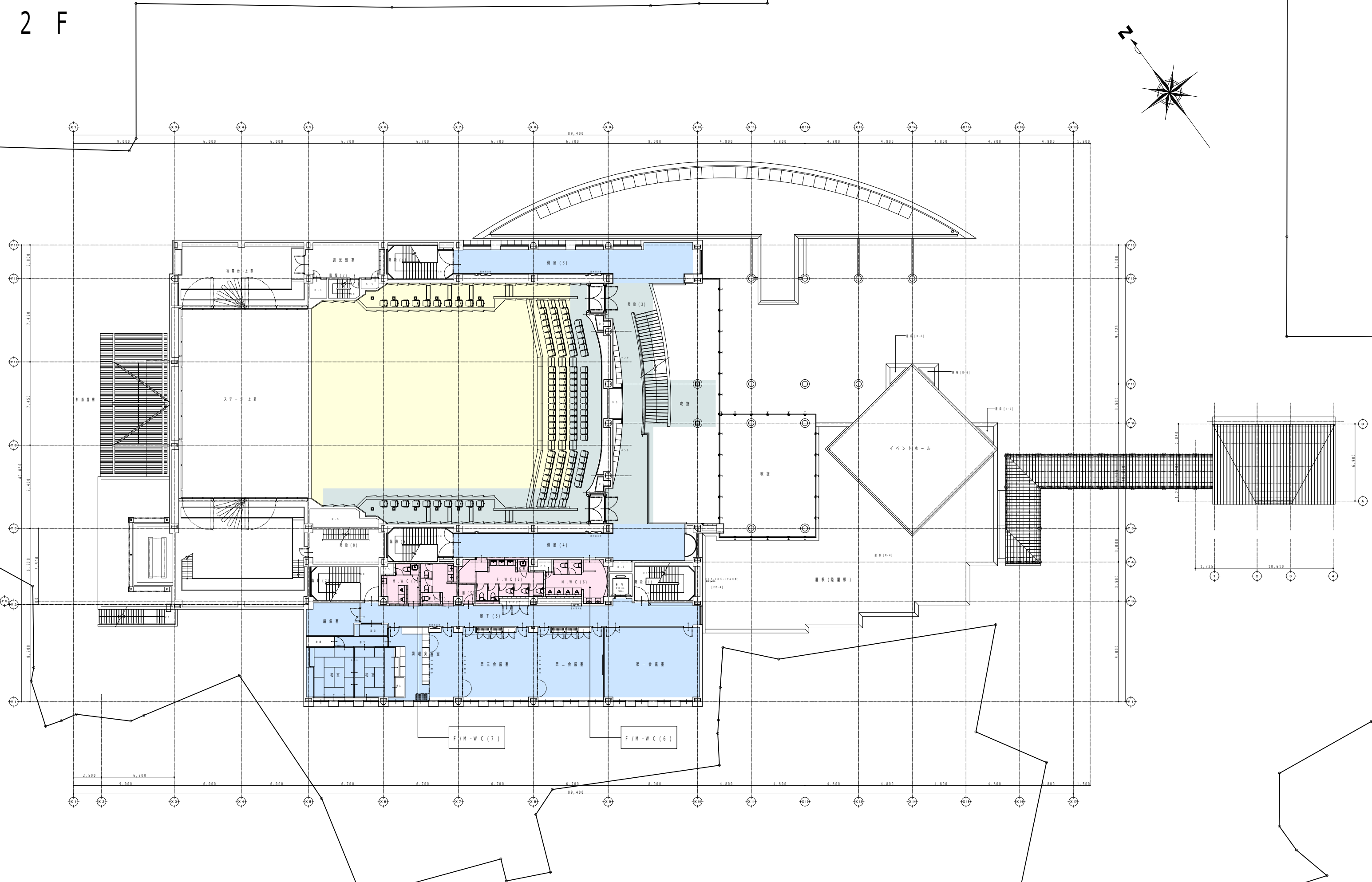
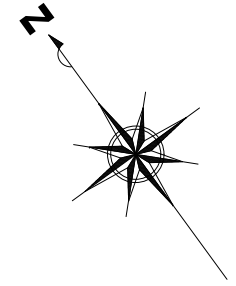
建築 完成図作成 (発行第6) 3月 監理技師 相澤 隆	完成図承認 監理技師 相澤 隆	製作日 ファイル名	代表設計者 一級建築士 大塚 謙三 3113498 日付	設計者 一級建築士 大塚 謙三 3113498 相澤 隆	工事名 令和8年度 長狭町文化センター大規模改修工事 1期平面図 [改修後]	事務受付コード 108484-02 縮尺 1:150	図面番号 A-10 管理職 一級建築士 大塚 謙三 3410049 本村 肇
--	-----------------------	--------------	---------------------------------------	---------------------------------------	--	-------------------------------------	---

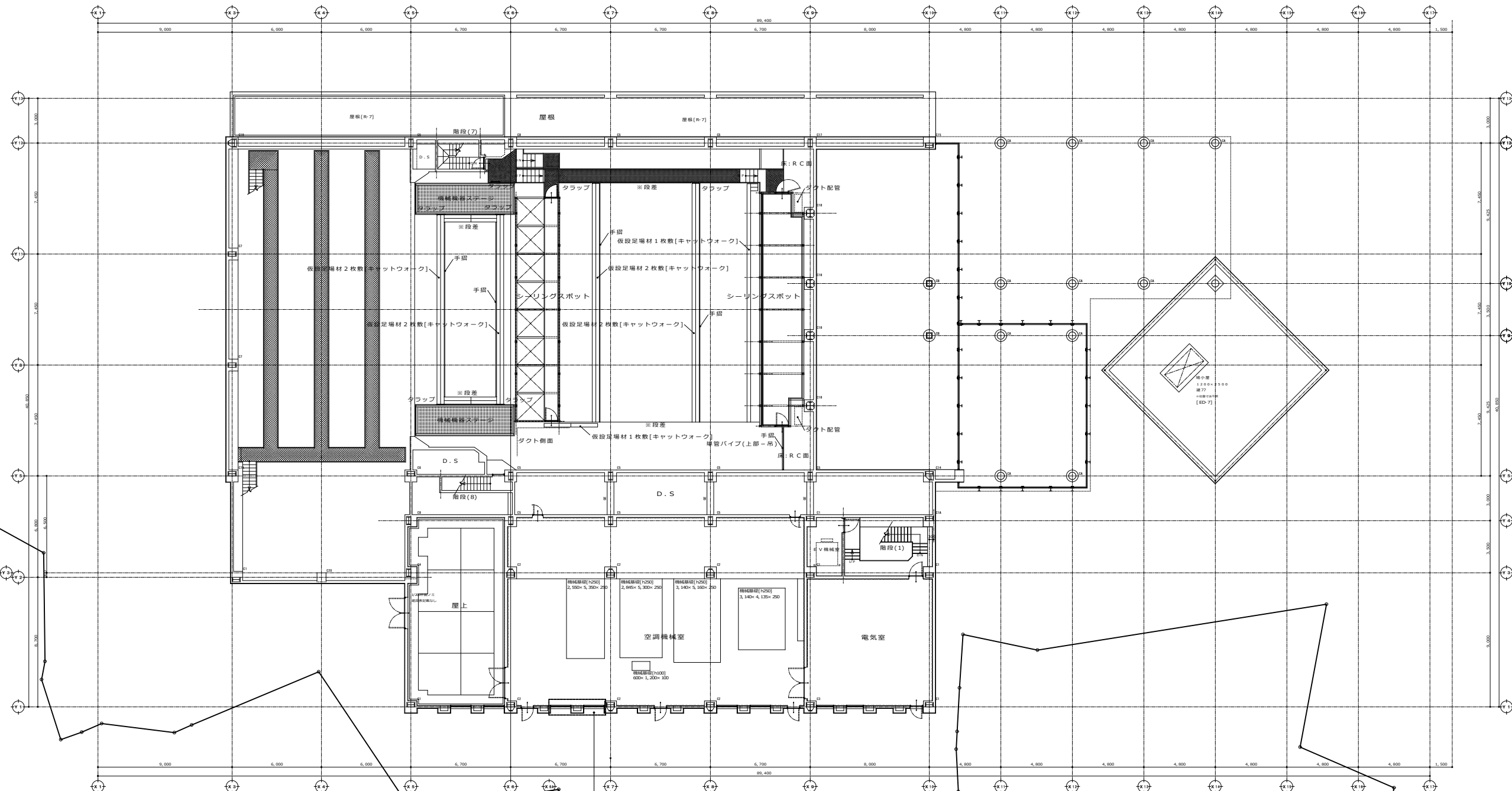
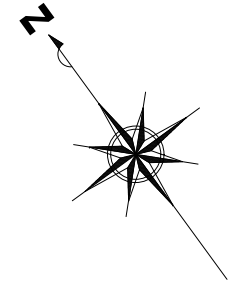
-  大規模改修 : 天井改修工事
-  大規模改修 : 便所改修工事
-  特定天井改修 : ホール天井改修工事
-  特定天井改修 : ホワイエ天井改修工事



履歴 _____ _____ _____ ver. 20221201	完成図作成 (受注者名) 日付 _____ 監理技術者 _____ 担当者 _____	完成図承諾 日付 _____ 監理者 _____ 担当者 _____	製作日 ファイル名 _____	代表設計者 日付 _____ 一級建築士 大匠登録第311349号 中村 慎吾	設計者 日付 _____ 一級建築士 大匠登録第311349号 中村 慎吾	工事名称 令和8年度 長泉町文化センター大規模改修工事 業務契約コード 108484-02 図面名称 2階平面図 [改修前]	縮尺 1 : 150	図面番号 A - 1 1	管理建築士 一級建築士 大匠登録第340069号 本村 雅昭
--	--	---	--------------------	---	---	---	---------------	-----------------	---

2 F

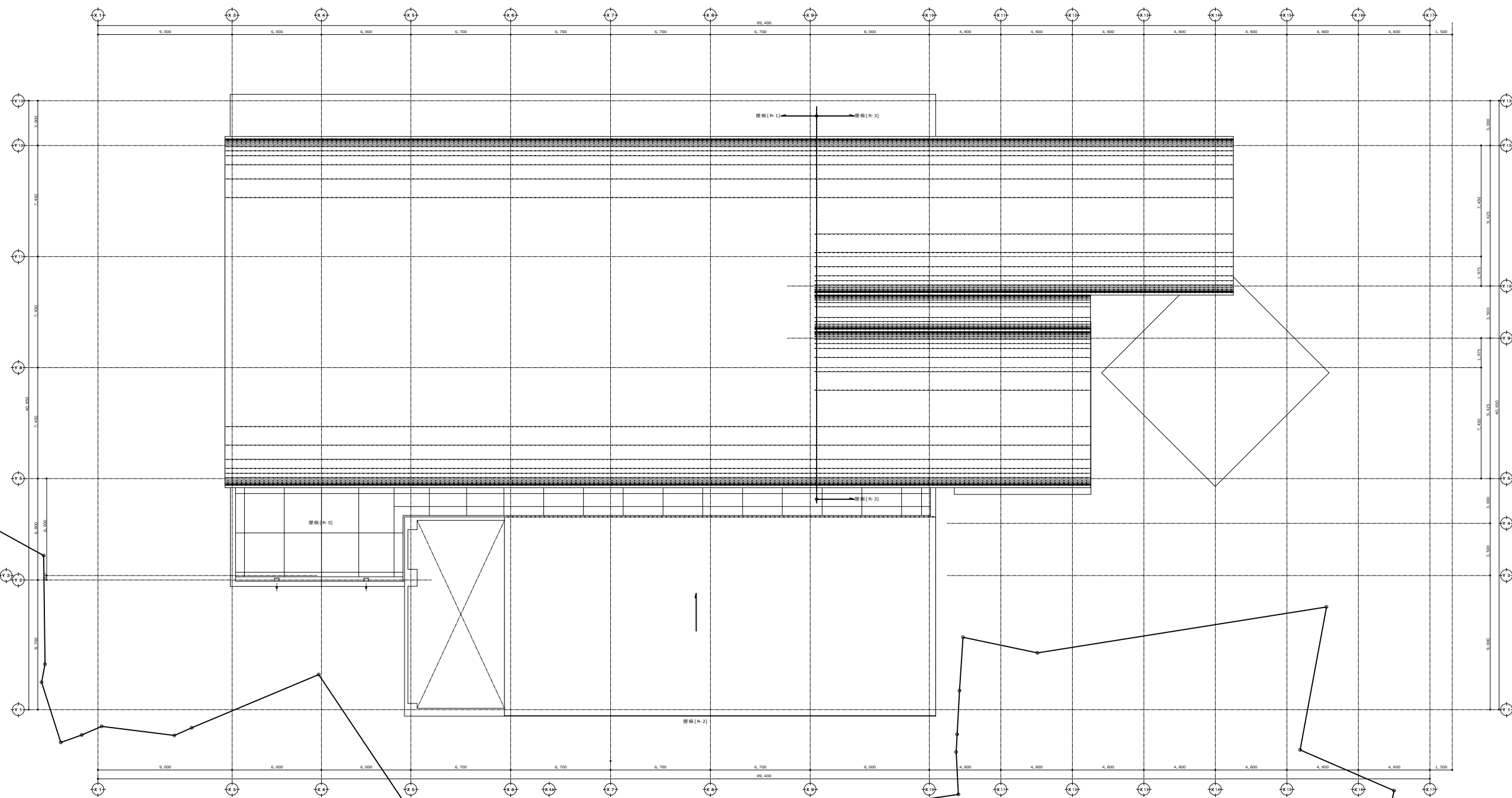
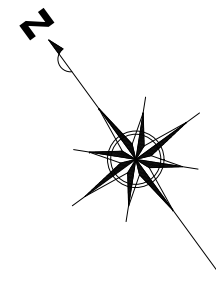


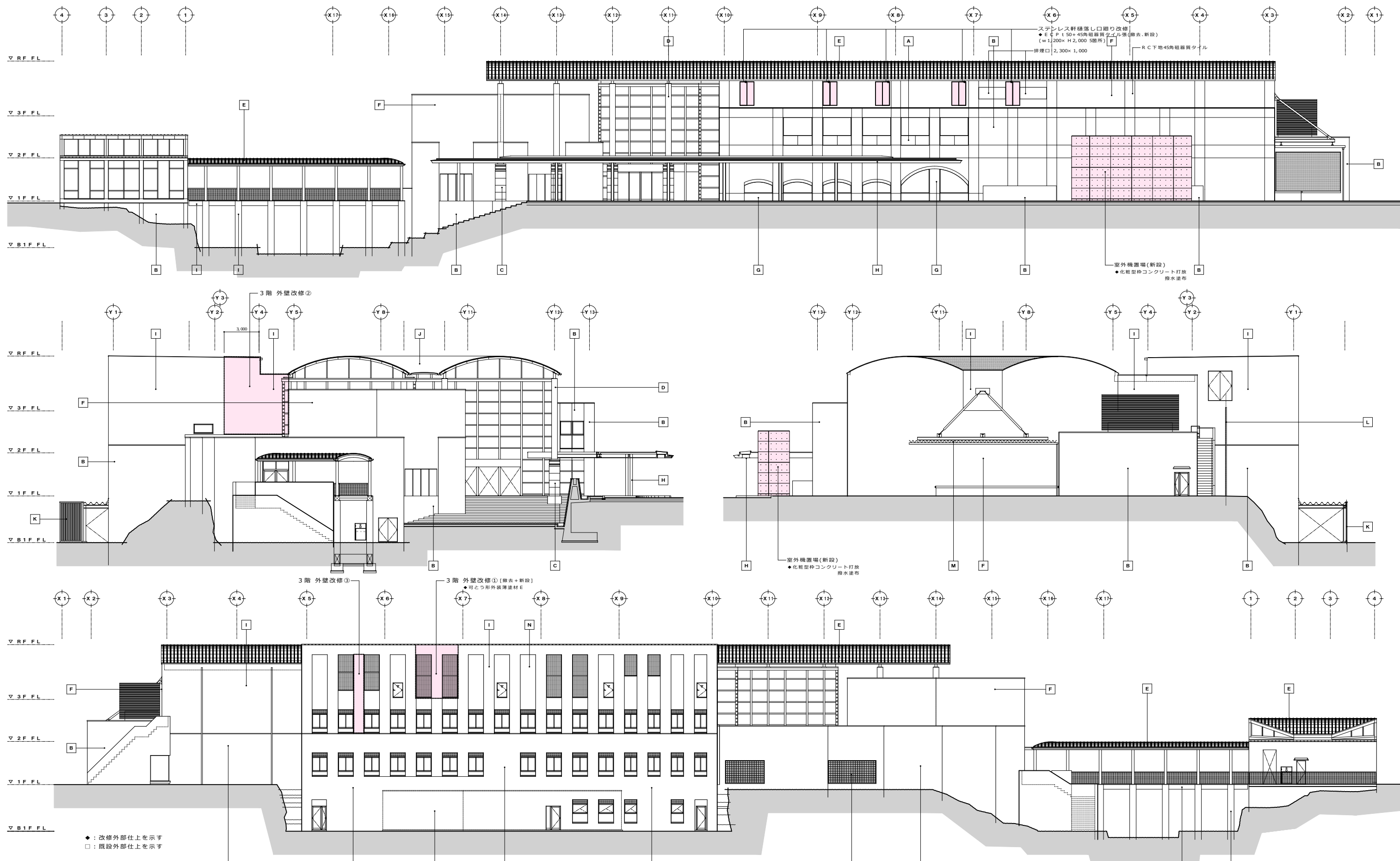


工事箇所
空調機械室
外壁改修工事

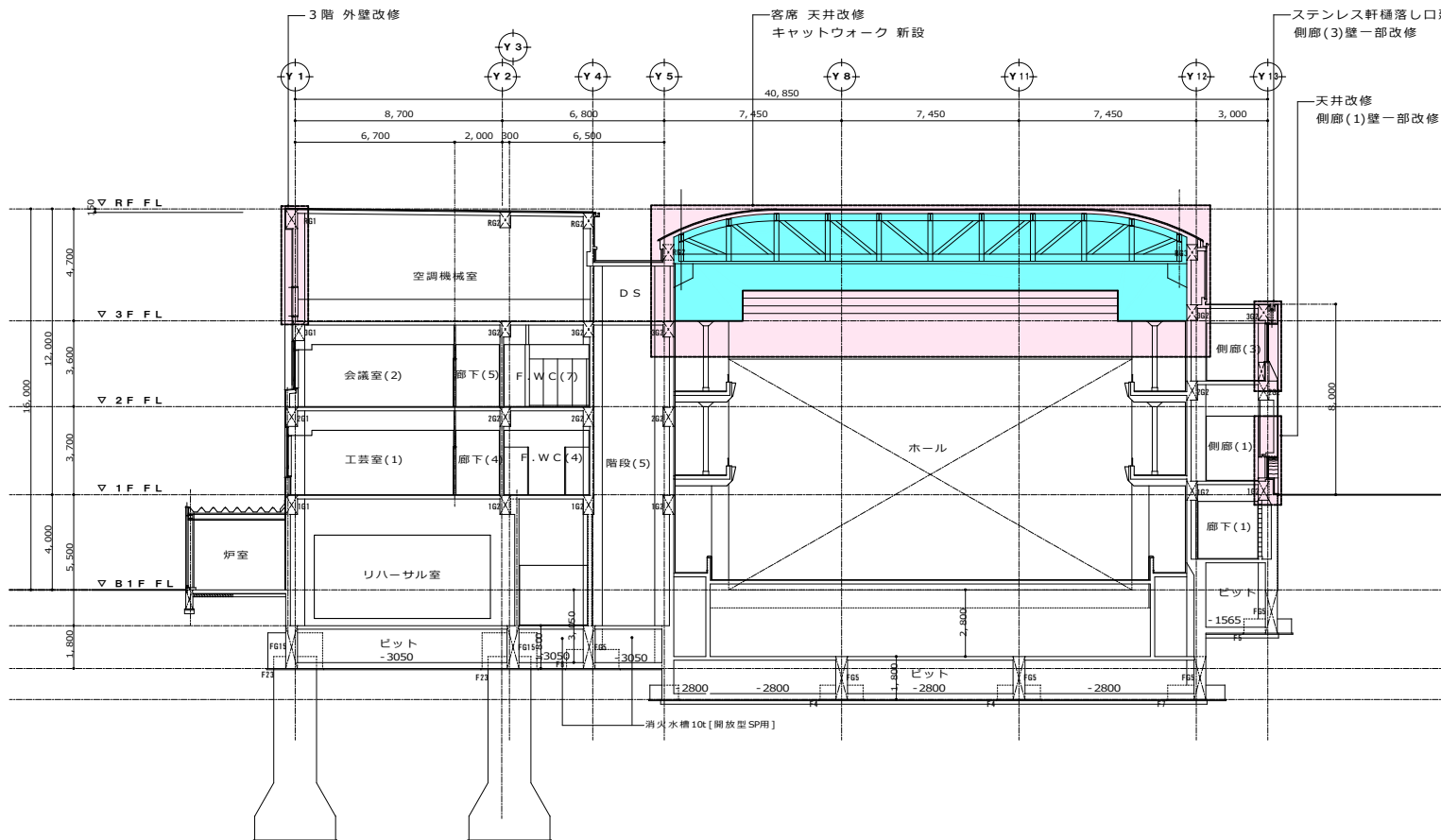
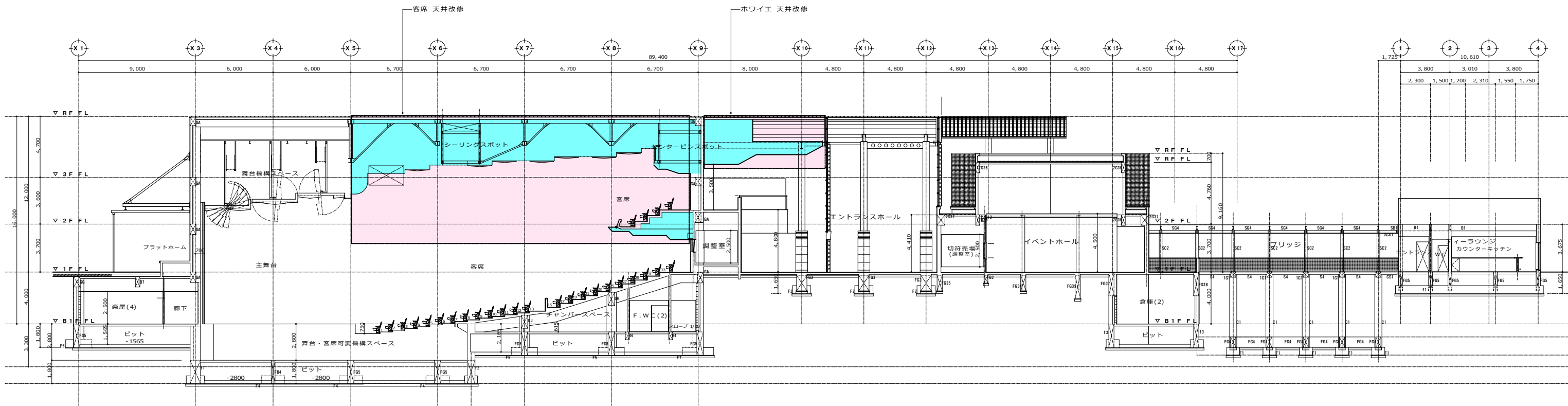
履歴 _____ _____ _____ ver-20221201	完成図作成 (受注者名) 日付 _____ 監理技術者 _____ 担当者 _____	完成図承諾 日付 _____ 監理者 _____ 担当者 _____	製作日 ファイル名 _____	代表設計者 日付 _____ 一級建築士 大田登録第311349号 中村 慎吾	設計者 日付 _____ 一級建築士 大田登録第311349号 中村 慎吾 担当者 林 恭平	業務名称 令和8年度 長泉町文化センター大規模改修工事 108484-02 図面名称 3階平面図 [改修前]	業務契約コード 108484-02 縮尺 1 : 150	図面番号 A-13	管理建築士 一級建築士 大田登録第34006号 本村 雅昭
---	--	---	--------------------	--	--	--	---------------------------------------	--------------	-------------------------------------

R F

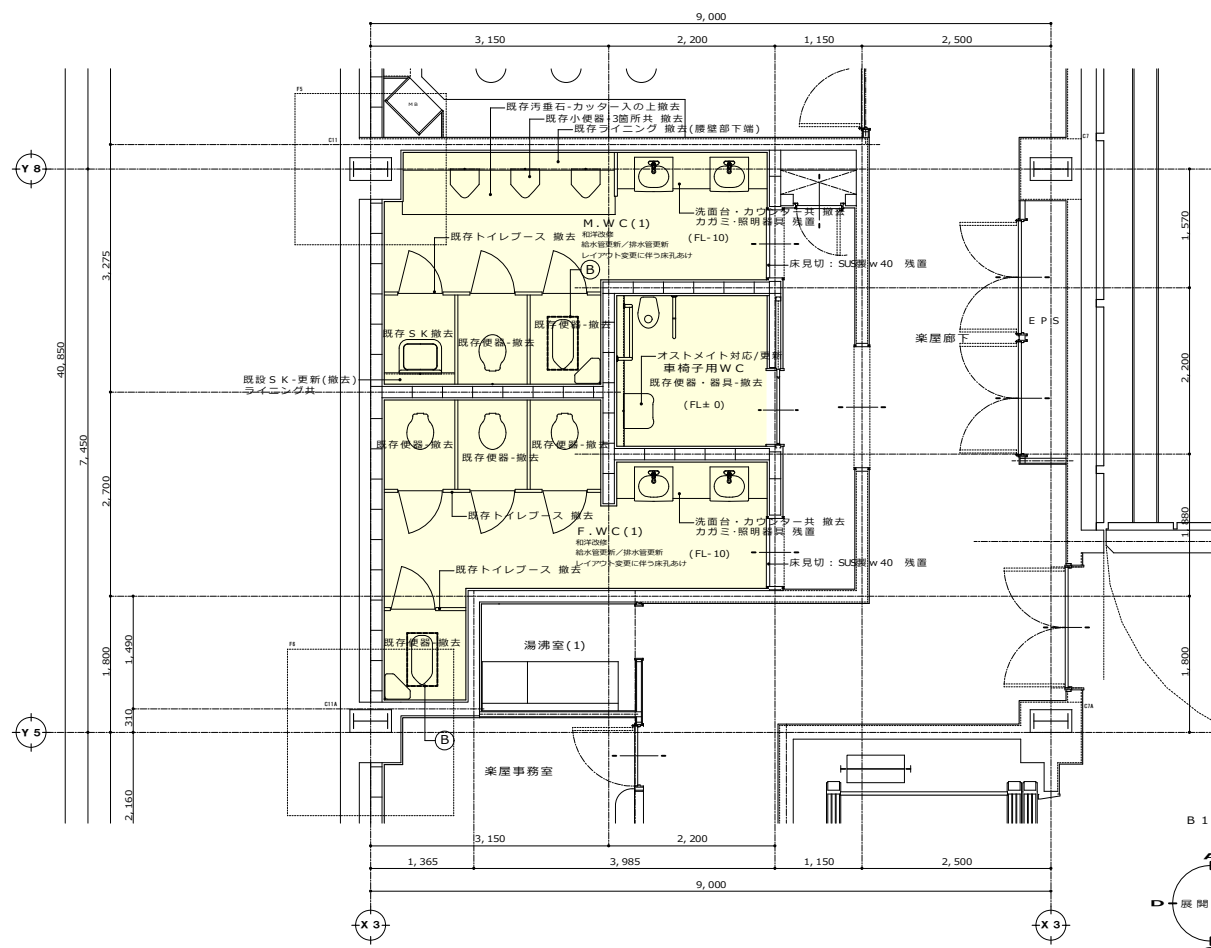




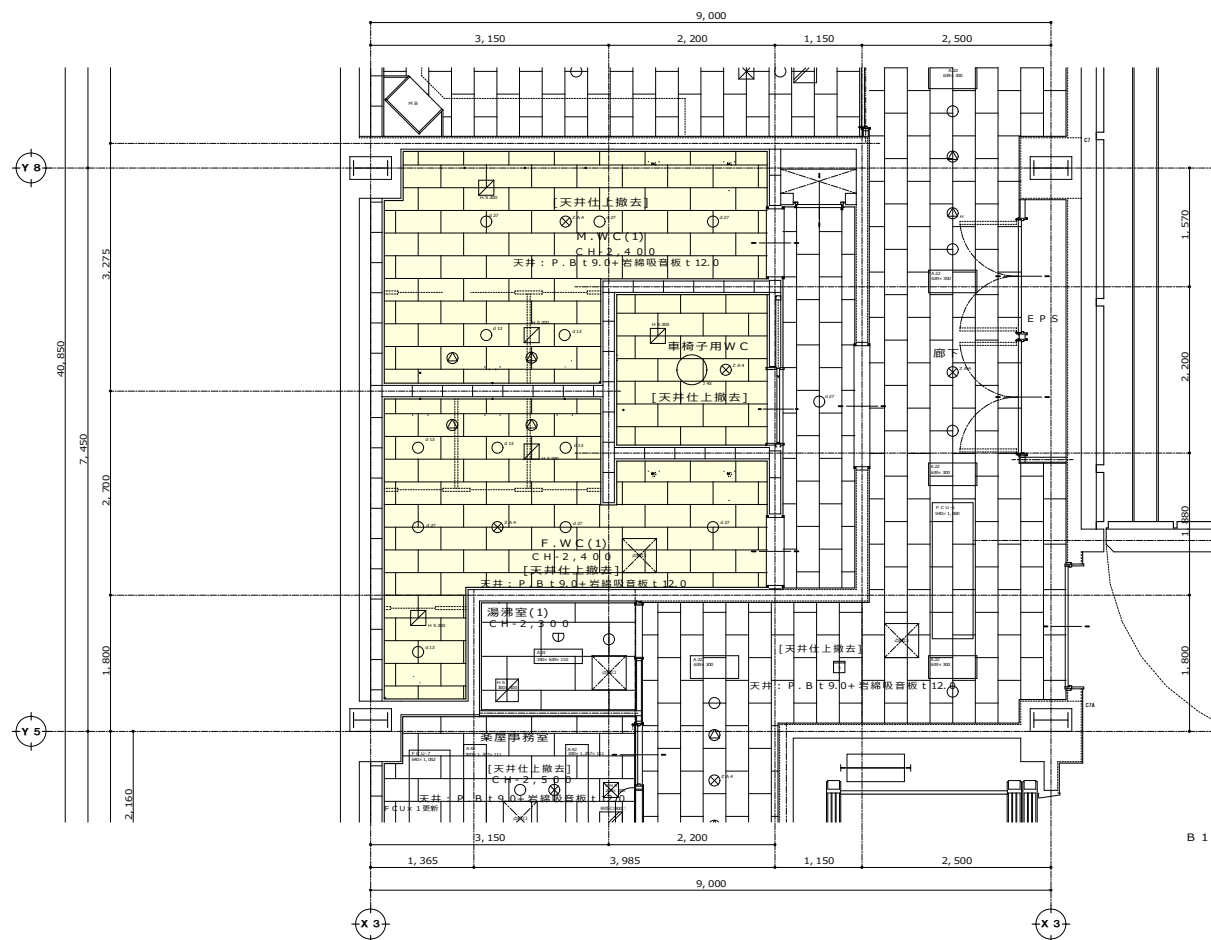
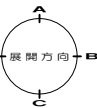
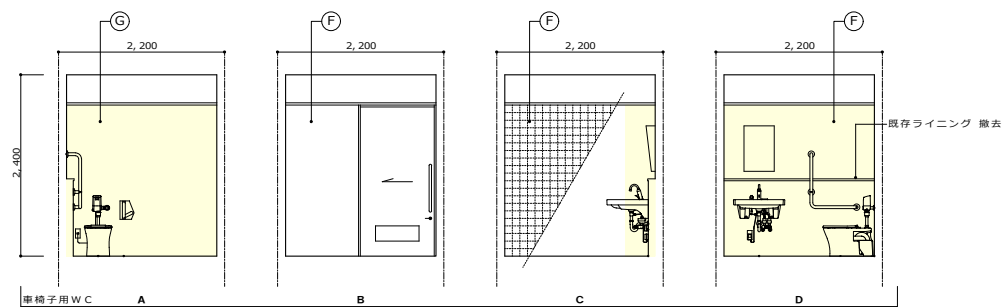
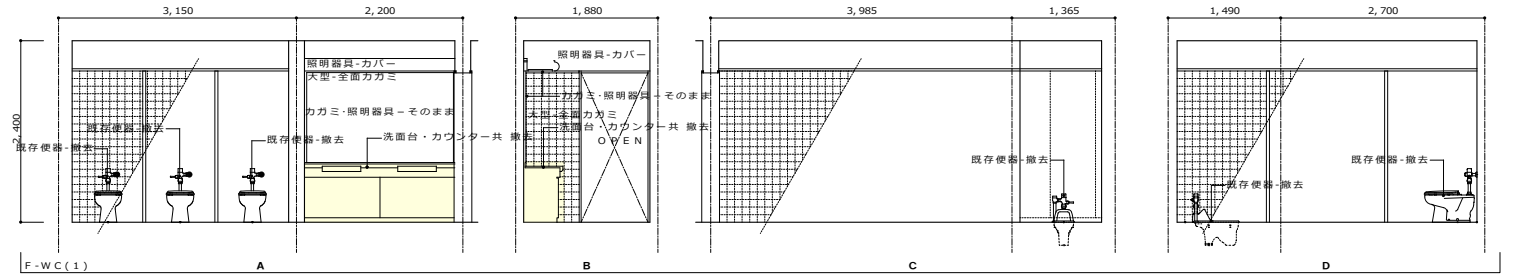
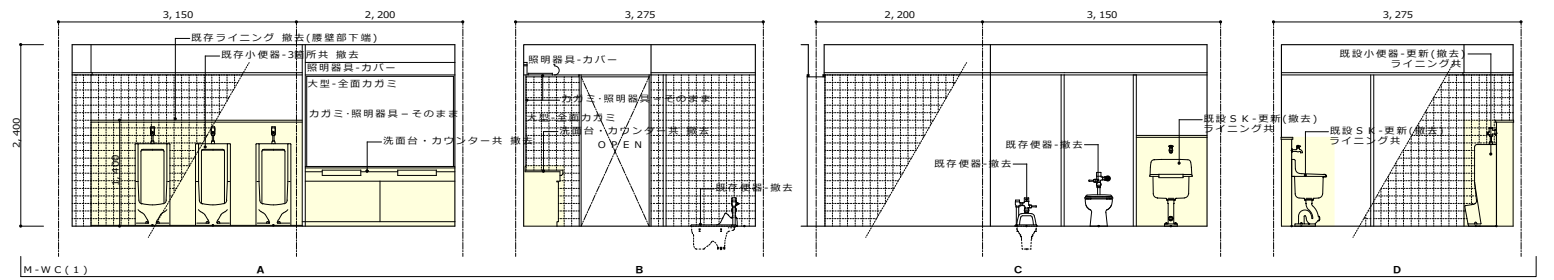
<p>◆: 改修外部仕上を示す □: 既設外部仕上を示す</p> <p>【凡例】</p>		<p>A アルミ折曲加工t1.0mm程度 フッ素樹脂焼付[リブ補強](目地:AL-FB00工)</p>	<p>F 磁器質タイルモザイク貼 扇輪45角[ラスタータイル・特面タイル・普通タイルの模倣貼]※1は下地:押出成形セメント板</p>	<p>K ALC版 吹付タイル[リブ付] 吹付タイルは2成分型ウレタンゴム吹付材とする。</p>	<p>3階外壁改修②</p>
<p>B 磁器質タイル貼 無軸 227×60</p>	<p>G 御影石 本磨き</p>	<p>L 雨樋:白ガス管+フッ素樹脂塗装</p>	<p>H キヤノピー:鉄骨加工+フッ素樹脂塗装[一部トップライト:強化硝子+飛散防止フィルム貼]</p>	<p>M キヤノピー②:フレームH鋼加工組立、屋根:折版(山型) フッ素樹脂塗装 ※詳細は構造図に依る</p>	<p>既存外装薄塗材E 高圧洗浄(全面撤去) 436.0㎡</p>
<p>C 御影石:[本磨→P]模倣貼 t30[乾式工法]</p>	<p>I 砂岩調コテ仕上(ABC商會:ワンダストーンさがんと同程度) (外装薄塗材E)</p>	<p>N 磁器質タイル貼 無軸 227×60[ヨコ貼]</p>	<p>J クラバ:SUS製PLt1.2折曲加工H仕上</p>	<p>O ガラスブロック 150角</p>	<p>外装材吹付 下地調整塗材(C-2)+可とう形外装薄塗材E 436.0㎡</p>
<p>D スチールパイプφ500程度 フッ素樹脂塗装</p>					<p>3階外壁改修③</p>
<p>E 屋根:SUS-PLt0.4[シーム溶接工法]</p>					<p>既存外装薄塗材E 高圧洗浄(全面撤去) 413.0㎡</p>
					<p>外装材吹付 下地調整塗材(C-2)+可とう形外装薄塗材E 413.0㎡</p>



B1F F/M-WC(1) [改修前(撤去)]



B1F F/M-WC(1) 平面図
SCALE 1:50



B1F F/M-WC(1) 天井伏図
SCALE 1:50

■各階(F/M-WC(1)~(4)、M-WC(6))トイレ [改修前] [改修後] 仕上表

符合	箇所	種別	現況・改修仕様
Ⓐ	床1	現況	200角組器質タイル貼
		改修	既設タイル部-下地処理の上ビニル床シート t.2.0貼新設
Ⓑ	床2	現況	200角組器質タイル貼 450×850程度撤去(下地モルタル・押スコン+防水層[1.2mm]、床スラブ共撤去)
		改修	和便器床開口裏面コンクリート新設及下地処理の上ビニル床シート t.2.0貼新設
Ⓒ	床3	現況	過去便器取替時: 200角組器質タイル貼の上ビニル床シート貼 見切金物共撤去
		改修	既設ビニル床シート t.2.0(見切金物共撤去、下地調整の上ビニル床シート t.2.0貼新設)
Ⓓ	床4	現況	300角影石(J&P)
		改修	既設のまま、和便器撤去部: 300角影石(J&P)新設
Ⓔ	巾木	現況	100角組器質タイル貼
		改修	水洗浄(既設部)/新設部: 既設同等仕上
Ⓕ	壁1	現況	100角組器質タイル貼 H<2,000 モルタル金コデ H>2,000
		改修	水洗浄(既設部)/新設部: 既設同等仕上(下地共)
Ⓖ	壁2	現況	100角組器質タイル貼 H<2,000 モルタル金コデ H>2,000
		改修	100角組器質タイル貼撤去、化粧タイル貼 t.6新設 (GB-St.12.5G工法下地共 H<2,000、既設のまま H>2,000)
Ⓗ	階縁	現況	硬質塩ビ 撤去
		改修	硬質塩ビ 新設
Ⓙ	天井	現況	LGS+石膏ボード t.9.0下地岩綿吸音板 t.12.0仕上 LGS下地共撤去
		改修	LGS+G-B-R t.9.5下地岩綿吸音板 t.12.0仕上 新設
①	トイレブース	現況	トイレブース 撤去(メラミン樹脂化粧板 t.38、H2,000)
		改修	トイレブース (緊急開放機構付ブース) 新設
②	便器1	現況	和便器-全撤去、洋便器(更新済便器除く)撤去(機械設備)
		改修	洋便器-新設(一部更新済便器等→清掃)(機械設備)
③	便器2	現況	小便器 ライニング壁・汚重石共 撤去
		改修	小便器 ライニング壁・汚重石共 新設
④	手洗カウンター	現況	洗面器 手洗カウンター共撤去 上部カガミ・照明器具等そのまま
		改修	ポワル一体型手洗カウンター 新設 上部カガミ・照明器具等 清掃
※	床-改修備考		床下地処理: カチオン系下地調整材 t.2.0 床材: サンツク清美レストリューム t.2.0(覆層シート)同等
※	手洗-改修備考		手洗: 抗菌樹脂製手洗 洗面台用手洗 小便器用手洗 プース内L型手洗

■ M.W.C(1) [CH2,400] FL-10
床: C金コデ+200角組器質タイル貼(無軸)
巾木: -
壁: 100角組器質タイル貼 H<2,000(既存のまま)
壁: モルタル金コデ E P 塗 H>2,000(既存のまま)
天井: P・B t.9.0+岩綿吸音板 t.12.0(LGS下地共撤去)

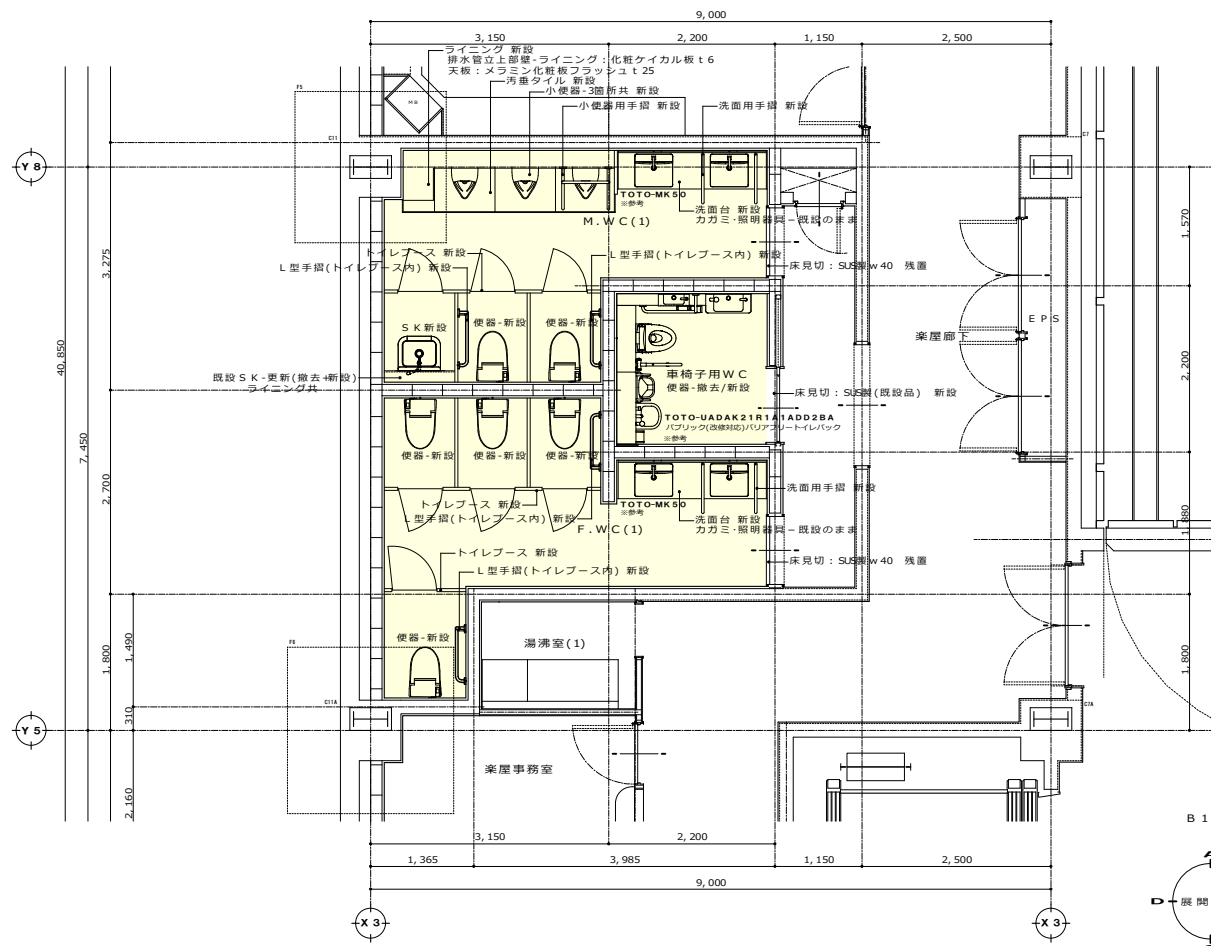
■ 車椅子用WC(1) [CH2,400] FL=0
床: C金コデ+200角組器質タイル貼(無軸)
巾木: -
壁: 100角組器質タイル貼 H<2,000(既存のまま)
壁: モルタル金コデ E P 塗 H>2,000(既存のまま)
天井: P・B t.9.0+岩綿吸音板 t.12.0(LGS下地共撤去)

■ F.W.C(1) [CH2,400] FL-10
床: C金コデ+200角組器質タイル貼(無軸)
巾木: -
壁: 100角組器質タイル貼 H<2,000(既存のまま)
壁: モルタル金コデ E P 塗 H>2,000(既存のまま)
天井: P・B t.9.0+岩綿吸音板 t.12.0(LGS下地共撤去)

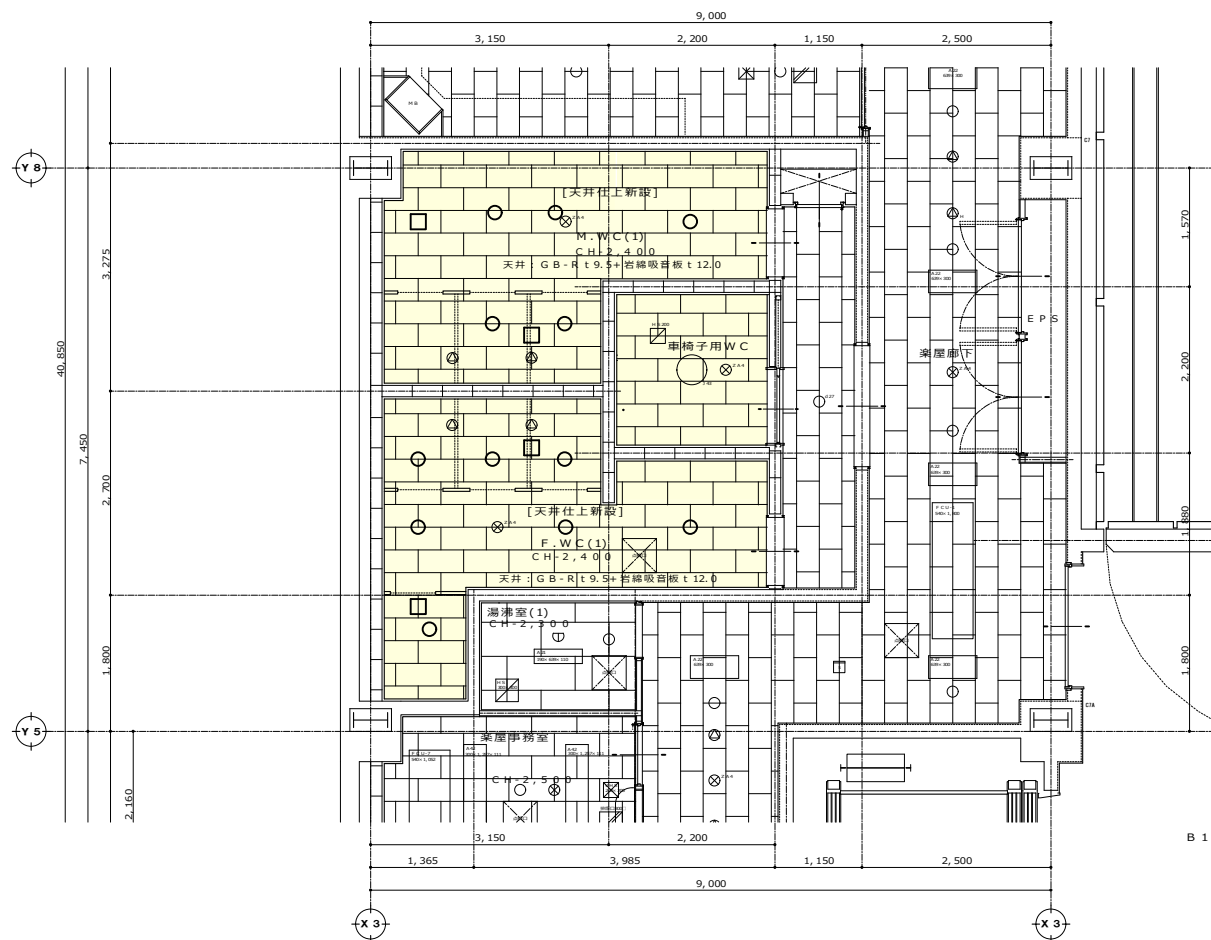
⊠: 天井点検口
アルミ製450角 撤去、新設

【撤去】既設ライニング
壁: C B t.100下地100角組器質タイル
壁台: SL6304 t.1.5mm工 H (L150×H25)

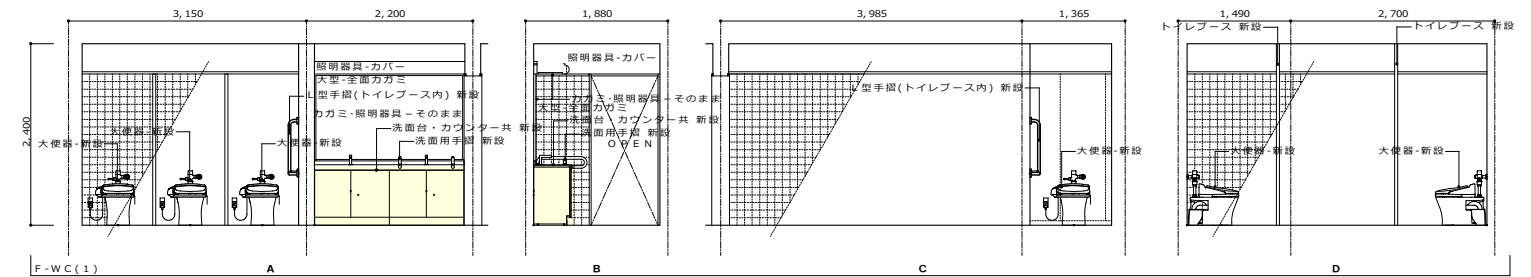
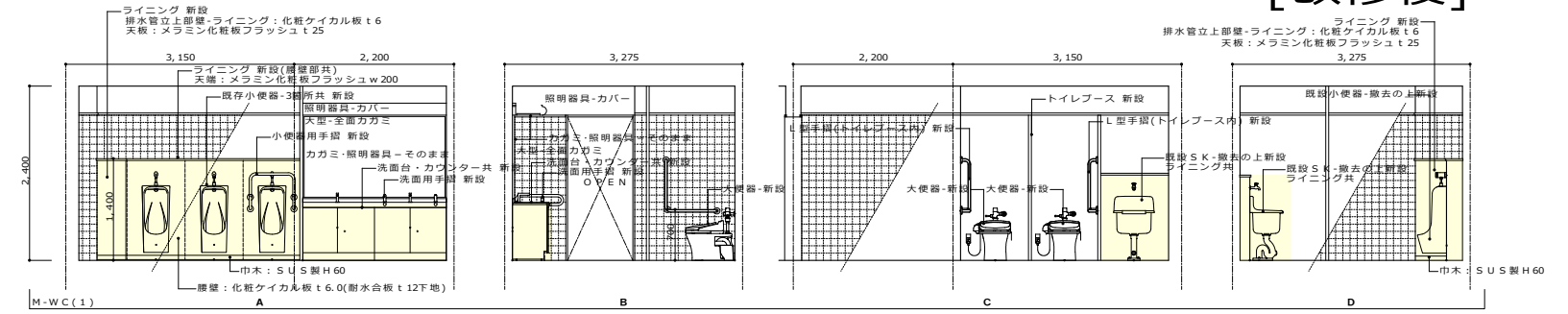
B1F F/M-WC(1) [改修後]



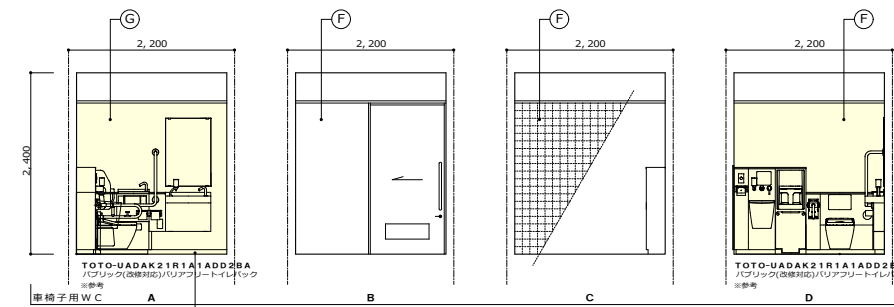
B1F F/M-WC(1) 平面図
SCALE 1:50



B1F F/M-WC(1) 天井伏図
SCALE 1:50



F-WC(1)



車椅子用WC

- M.W.C(1) [C H 2,400] FL-10
床: 既設床下地処理の上ビニル床シート t 2.0 新設
巾木: -
壁: 100角組器質タイル張 H < 2,000(既存のまま)
壁: モルタル金ゴテ E P 塗 H > 2,000(既存のまま)
天井: G B-R t 9.5+岩綿吸音板 t 12.0 (LGSF地新設)
- 車椅子用WC(1) [C H 2,400] FL=0
床: 既設床下地処理の上ビニル床シート t 2.0 新設
巾木: -
壁: 100角組器質タイル張 H < 2,000(既存のまま)
壁: モルタル金ゴテ E P 塗 H > 2,000(既存のまま)
天井: G B-R t 9.5+岩綿吸音板 t 12.0 (LGSF地新設)
- F.W.C(1) [C H 2,400] FL-10
床: 既設床下地処理の上ビニル床シート t 2.0 新設
巾木: -
壁: 100角組器質タイル張 H < 2,000(既存のまま)
壁: モルタル金ゴテ E P 塗 H > 2,000(既存のまま)
天井: G B-R t 9.5+岩綿吸音板 t 12.0 (LGSF地新設)

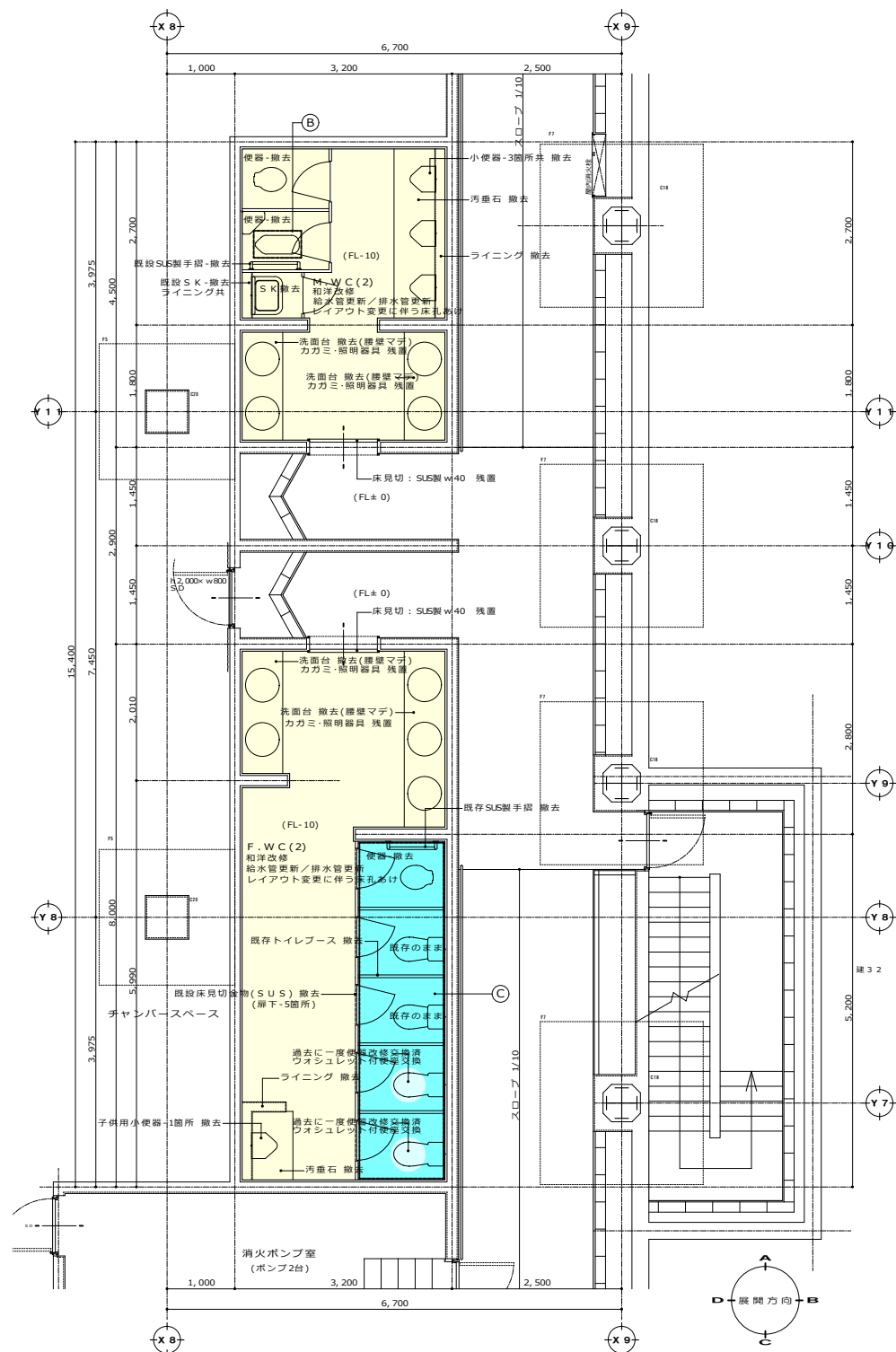
☒: 天井点検口
アルミ製450角 撤去 新設

※ 車椅子用WC/U S U S床見切り
(開アシスト ステンレスジョイント-20-656程度)

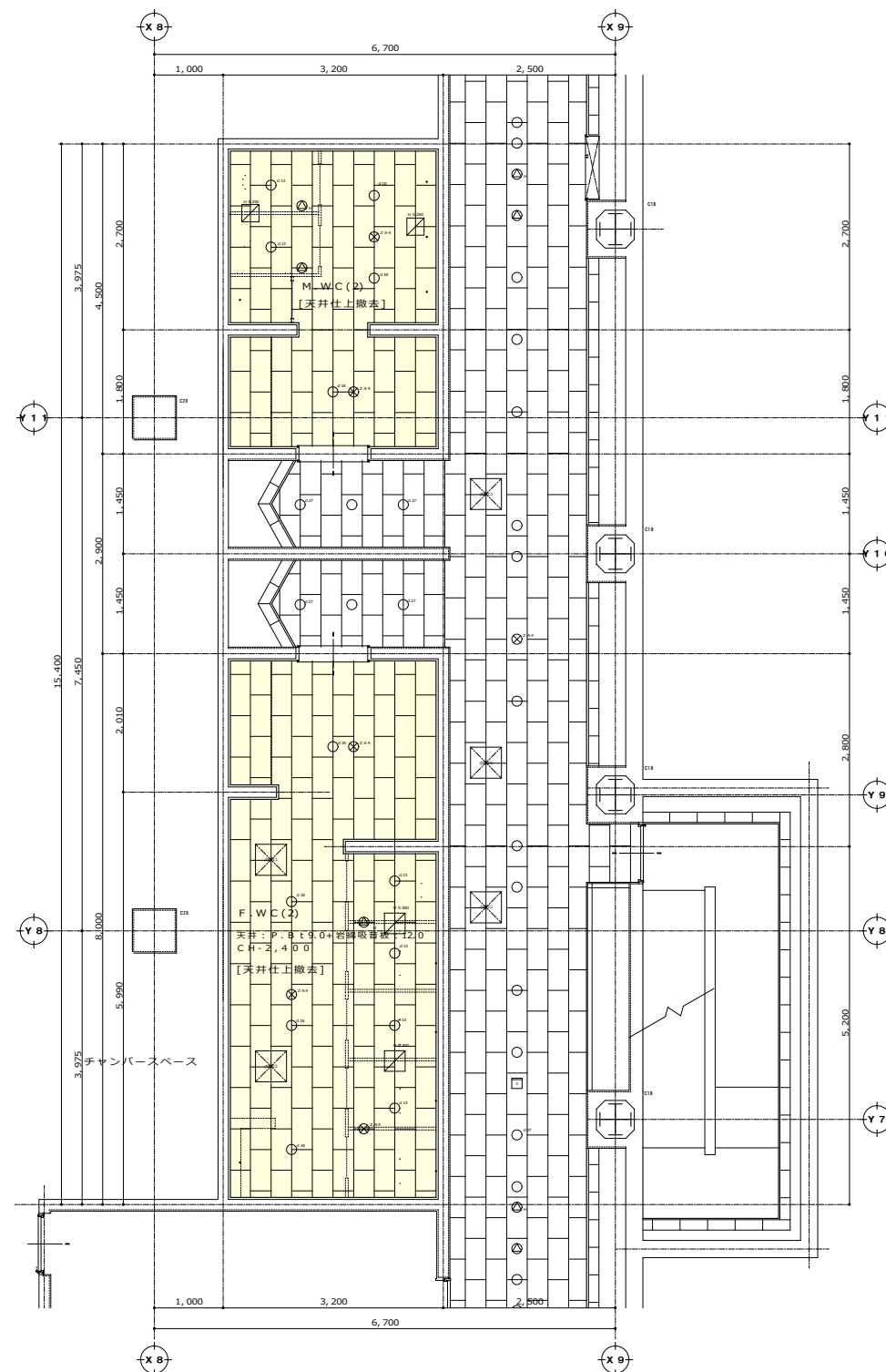
■各階(F/M-WC(1)~(4)、M-WC(6))トイレ [改修前] [改修後] 仕上表

符合	箇所	種別	現況・改修仕様
Ⓐ	床1	現況	200角組器質タイル貼
	床1	改修	既設タイル部-下地処理の上ビニル床シート t 2.0 新設
Ⓑ	床2	現況	200角組器質タイル貼 450×850程度撤去(下地モルタル・押スコン+防水層[1.2mm/L],床スラブ共撤去) (和便器周り)
	床2	改修	和便器床開口塞ぎコンクリート新設及下地処理の上ビニル床シート t 2.0 貼新設
Ⓒ	床3	現況	過去便器取替時: 200角組器質タイル貼の上ビニル床シート貼 見切り金物共撤去
	床3	改修	既設ビニル床シート t 2.0(見切り金物共撤去、下地調整の上ビニル床シート t 2.0 貼新設)
Ⓓ	床4	現況	300角影射(J & P)
	床4	改修	既設のまま、和便器撤去部: 300角影射(J & P)新設
Ⓔ	巾木	現況	100角組器質タイル貼
	巾木	改修	水洗浄(既設部)/新設部: 既設同等仕上
Ⓕ	壁1	現況	100角組器質タイル貼 H < 2,000 モルタル金ゴテ H > 2,000
	壁1	改修	水洗浄(既設部)/新設部: 既設同等仕上(下地共)
Ⓖ	壁2	現況	100角組器質タイル貼 H < 2,000 モルタル金ゴテ H > 2,000
	壁2	改修	100角組器質タイル貼撤去、化粧ケイカル板 t 6 新設 (GB-Sk 12.5G工法下地共 H < 2,000、既設のまま H > 2,000)
Ⓗ	階梯	現況	硬質塩ビ 撤去
	階梯	改修	硬質塩ビ 新設
Ⓘ	天井	現況	L G S +石膏ボード t 9.0 下地岩綿吸音板 t 12.0 仕上 LGSF地共撤去
	天井	改修	L G S + G B-R t 9.5 下地岩綿吸音板 t 12.0 仕上 新設
Ⓛ	トイレブース	現況	トイレブース 撤去(メラミン化粧板 t 38、H 2,000)
	トイレブース	改修	トイレブース (緊急開放機構付ブース) 新設
Ⓜ	便器1	現況	和便器-全撤去、洋便器(更新済便器除く)撤去(機械設備)
	便器1	改修	洋便器-新設(一部更新済便器等→清掃)(機械設備)
Ⓝ	便器2	現況	小便器 ライニング壁・汚垂石共 撤去
	便器2	改修	小便器 ライニング壁・汚垂石共 新設
Ⓟ	手洗カウンター	現況	洗面器 手洗カウンター共撤去 上部カガミ・照明器具等そのまま
	手洗カウンター	改修	ボウル一体型手洗カウンター新設 上部カガミ・照明器具等 清掃
※	床-改修 備考		床下地処理: カチオン系下地調整材 t 2.0 床材: サンツン清臭レストリューム t 2.0(覆層シート)同等
※	手洗-改修 備考		手洗: 抗菌樹脂製手洗 洗面台用手鏡 小便器用手鏡 プース内L型手鏡

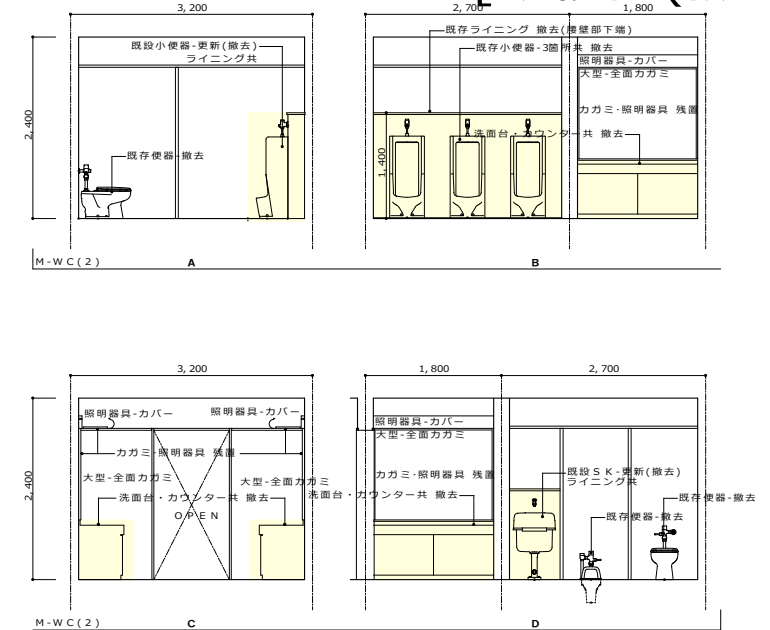
B 1 F F/M-WC(2) [改修前(撤去)]



B 1 F F/M-WC(2) 平面図
SCALE 1:50



B 1 F F/M-WC(2) 天井伏図
SCALE 1:50



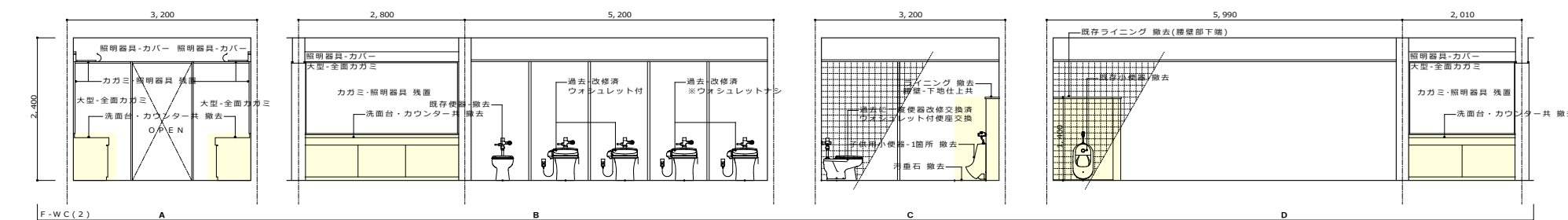
■ F/M-WC(2) [CH 2,400] FL-610
床: C金ゴテ+200角磁器質タイル貼(無輪)
巾木: -
壁: 100角磁器質タイル貼 H<2,000 (既存のまま)
壁: モルタル金ゴテ E P 塗 H>2,000 (既存のまま)
天井: P・B t 9.0+ 岩綿吸音板 t 12.0 (LGS下地共 撤去)

⊠: 天井点検口
アルミ製450角 撤去、新設

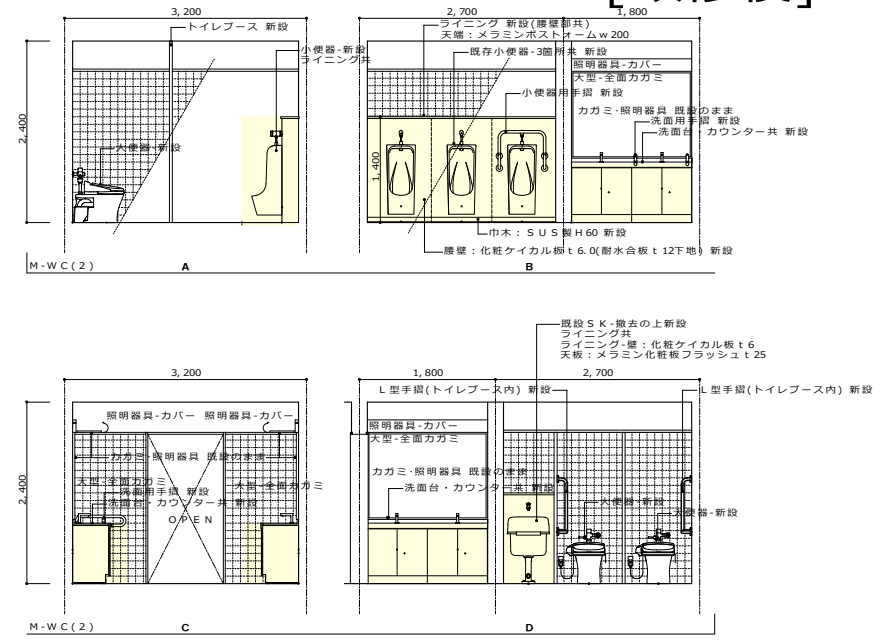
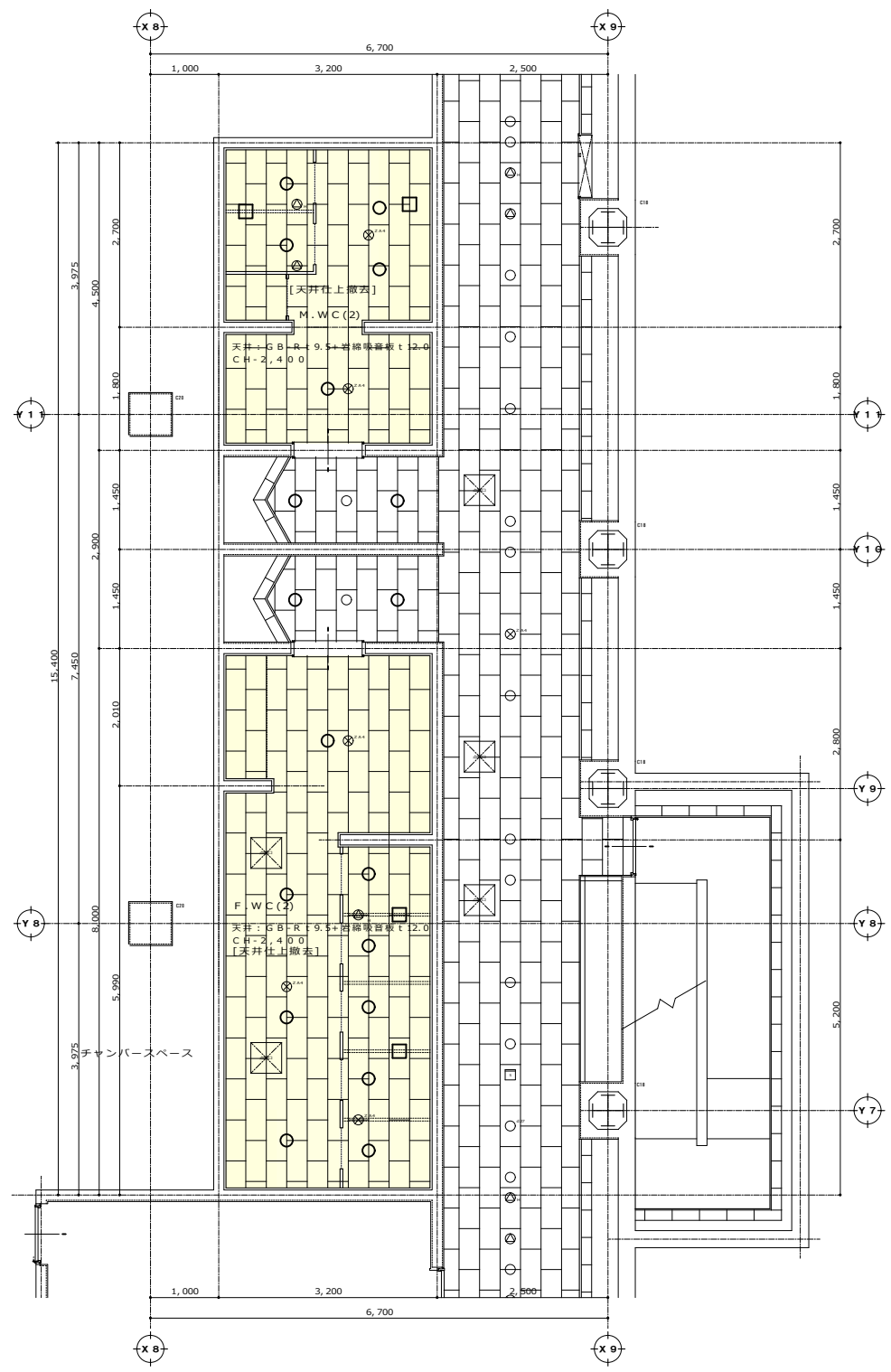
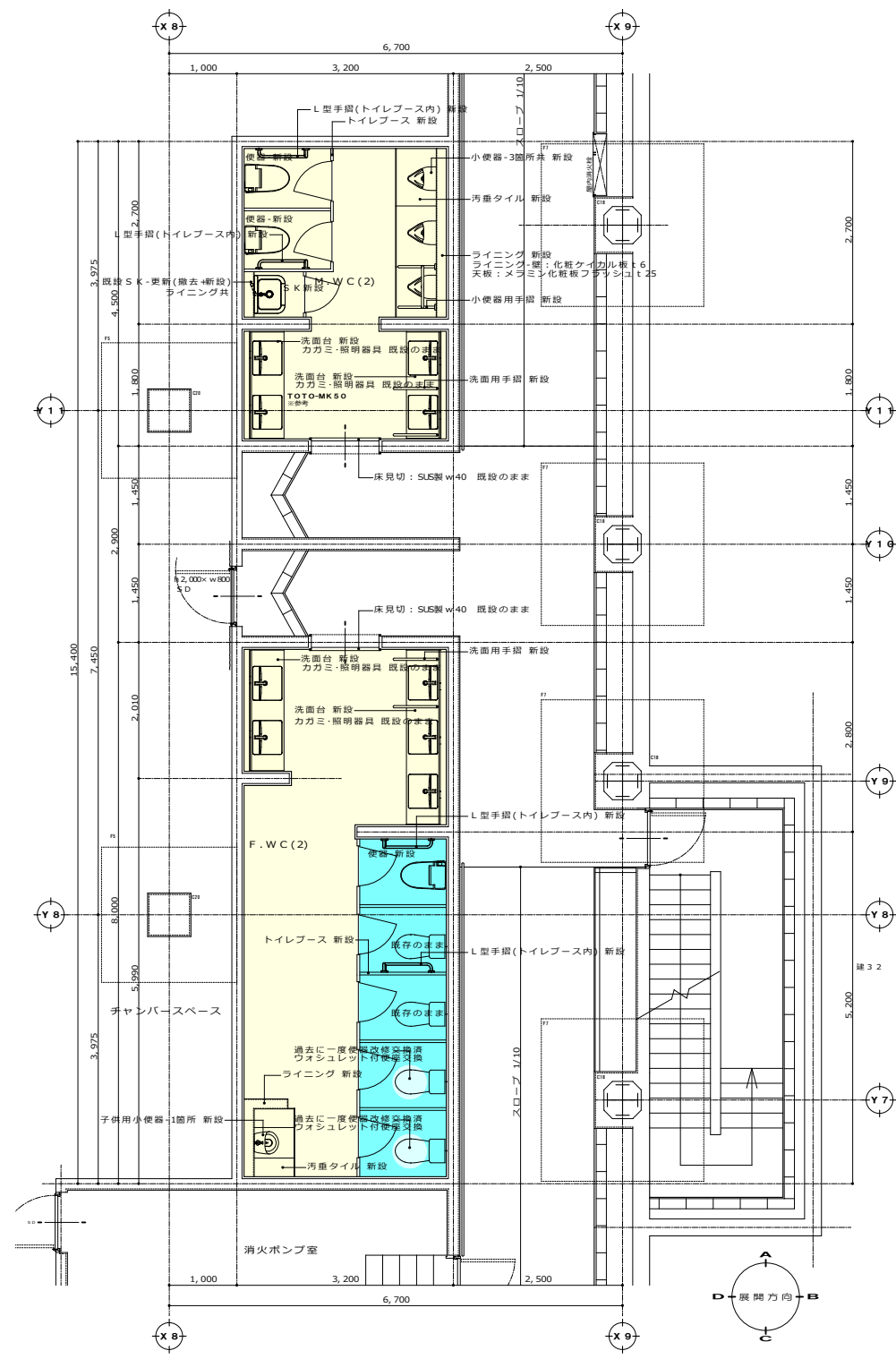
【撤去】 既設ライニング
壁: C B t 100F地100角磁器質タイル
面台: SLS304 t 1.5加工 H L (W150× H 25)

■各階(F/M-WC(1)~(4)、M-WC(6))トイレ [改修前] [改修後] 仕上表

符合	箇所	種別	現況・改修仕様
Ⓐ	床 1	現況	200角磁器質タイル貼
		改修	既設タイル部-下地処理の上ビニル床シート t 2.0貼新設
Ⓑ	床 2	現況	200角磁器質タイル貼 450×850程度撤去(下地モルタル・押スコン+防水層[1.2mm]・床スラブ共撤去) (和便器周り)
		改修	和便器床開口塞ぎコンクリート新設及下地処理の上ビニル床シート t 2.0貼新設
Ⓒ	床 3	現況	過去便器取替時: 200角磁器質タイル貼の上ビニル床シート貼 見切金物共撤去
		改修	既設ビニル床シート t 2.0(見切金物共)撤去、下地調整の上ビニル床シート t 2.0貼新設
Ⓓ	床 4	現況	300角磁器質(J & P)
		改修	既設のまま、和便器撤去部: 300角磁器質(J & P)新設
Ⓔ	巾木	現況	100角磁器質タイル貼
		改修	水洗浄(既設部)/新設部: 既設同等仕上
Ⓕ	壁 1	現況	100角磁器質タイル貼 H<2,000 モルタル金ゴテ H>2,000
		改修	水洗浄(既設部)/新設部: 既設同等仕上(下地共)
Ⓖ	壁 2	現況	100角磁器質タイル貼 H<2,000 モルタル金ゴテ H>2,000
		改修	100角磁器質タイル貼撤去、化粧タイル板 t 6新設 (CB-Sk 12.5G工法下地共 H<2,000、既設のまま H>2,000)
Ⓗ	階縁	現況	硬質塩ビ 撤去
		改修	硬質塩ビ 新設
①	天井	現況	LGS+石膏ボード t 9.0F地岩綿吸音板 t 12.0仕上 LGS下地共撤去
		改修	LGS+G B-R t 9.5F地岩綿吸音板 t 12.0仕上 新設
②	トイレブース	現況	トイレブース 撤去(メラミン樹脂化粧板 t 38、H 2,000)
		改修	トイレブース (緊急開放機構付ブース) 新設
③	便器 1	現況	和便器-全撤去、洋便器(更新洋便器除く)撤去(機械設備)
		改修	洋便器-新設(一部更新洋便器等→清掃)(機械設備)
④	便器 2	現況	小便器 ライニング壁・汚垂共 撤去
		改修	小便器 ライニング壁・汚垂共 新設
⑤	手洗カウンター	現況	洗面器 手洗カウンター共撤去 上部カガミ・照明器具等そのまま
		改修	ボウル一体型手洗カウンター 新設 上部カガミ・照明器具等 清掃
※	床-改修備考		床下地処理: カチオン系下地調整材 t 2.0 床材: サンツク清潔レストリウム t 2.0(覆膜シート)同等
※	手洗-改修備考		手洗: 抗菌樹脂化粧手洗 洗面台用手洗 小便器用手洗 プース内L型手洗



B 1 F F/M-WC(2) [改修後]

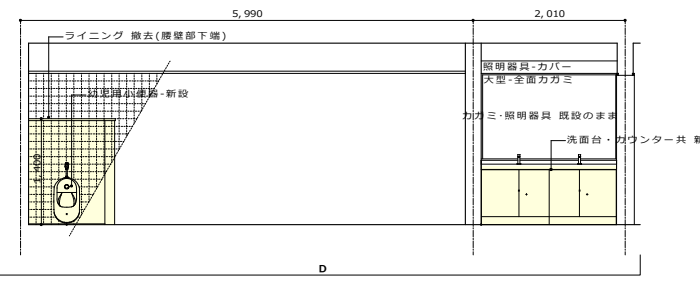
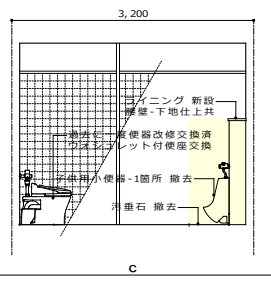
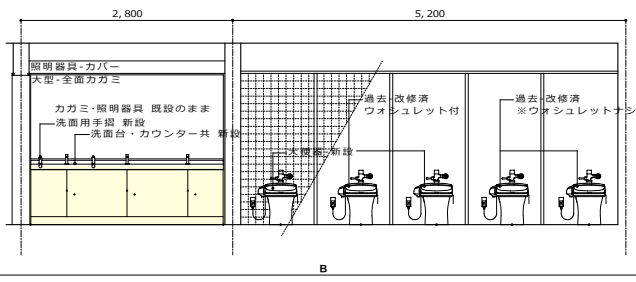
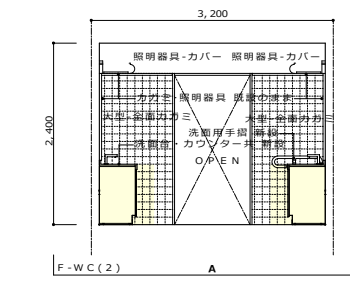


■ F/M-WC(2) [CH2,400] FL-610
 床: 既設タイル貼下地処理の上ビニル床シート t 2.0 新設
 巾木: 100角組器質タイル貼 H < 2,000 (既設のまま)
 壁: モルタル金ゴテ E P 塗 H > 2,000 (既設のまま)
 天井: G B-R t 9.5+若縁吸音板 t 12.0 (LGS下地新設)

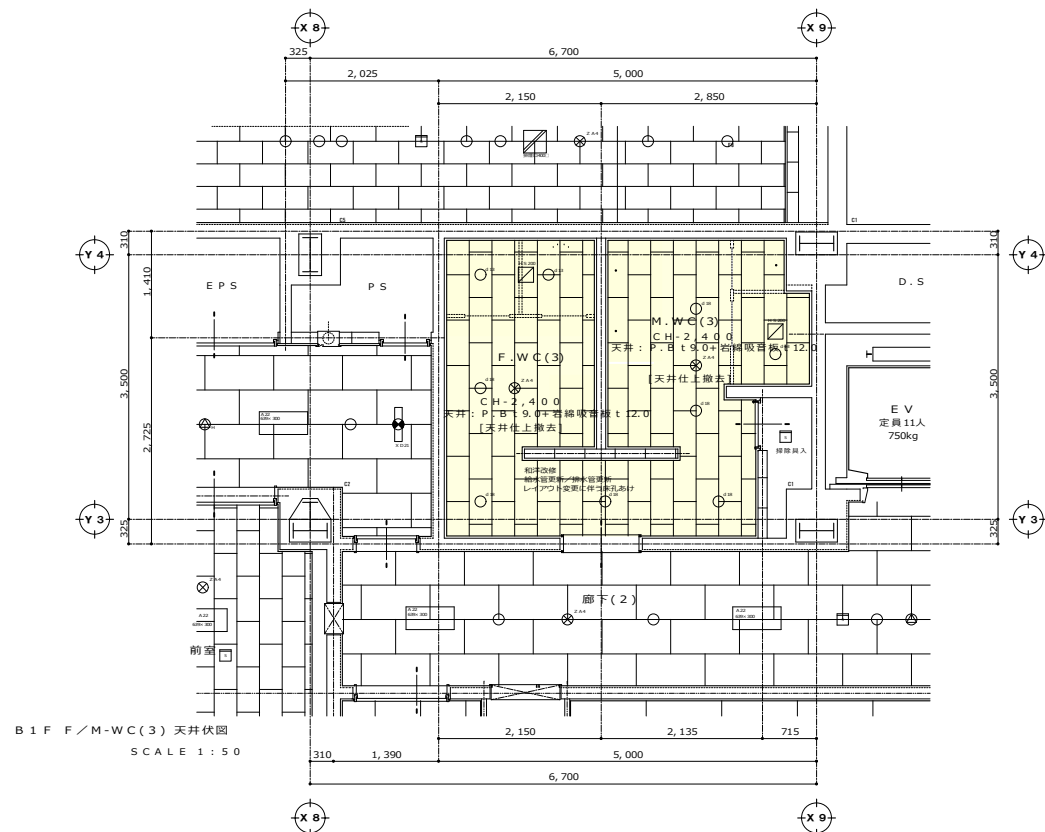
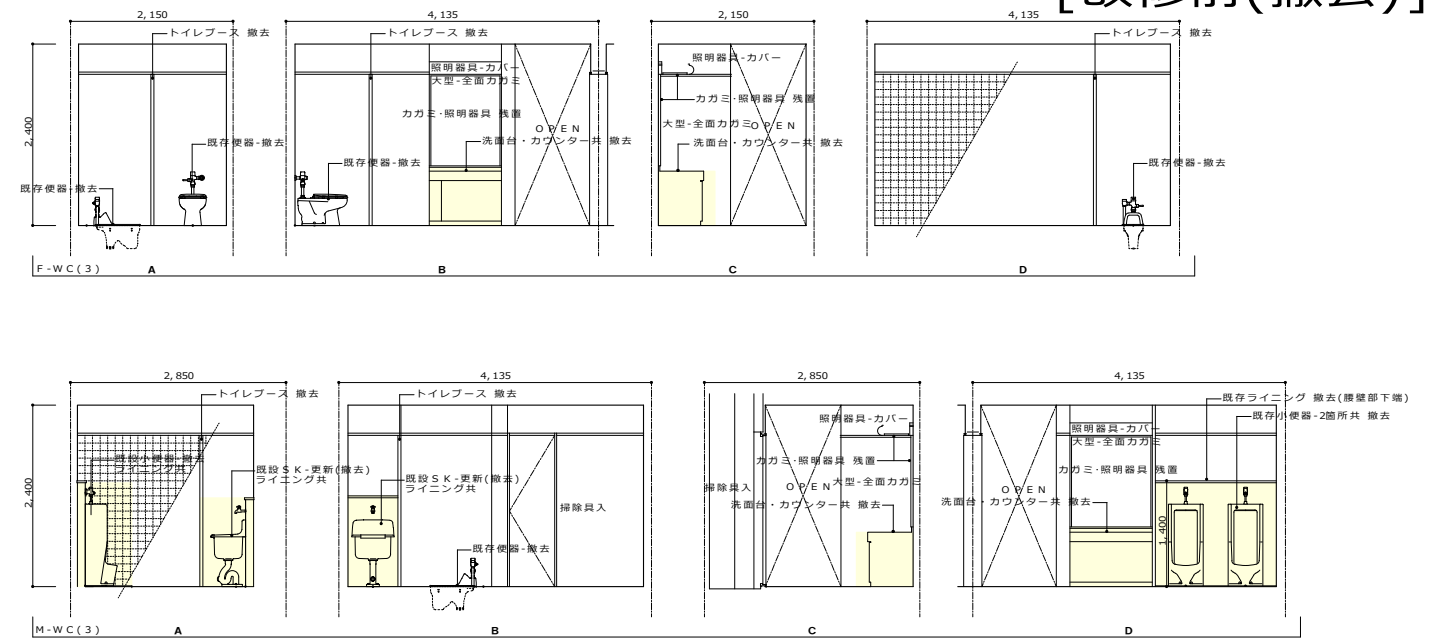
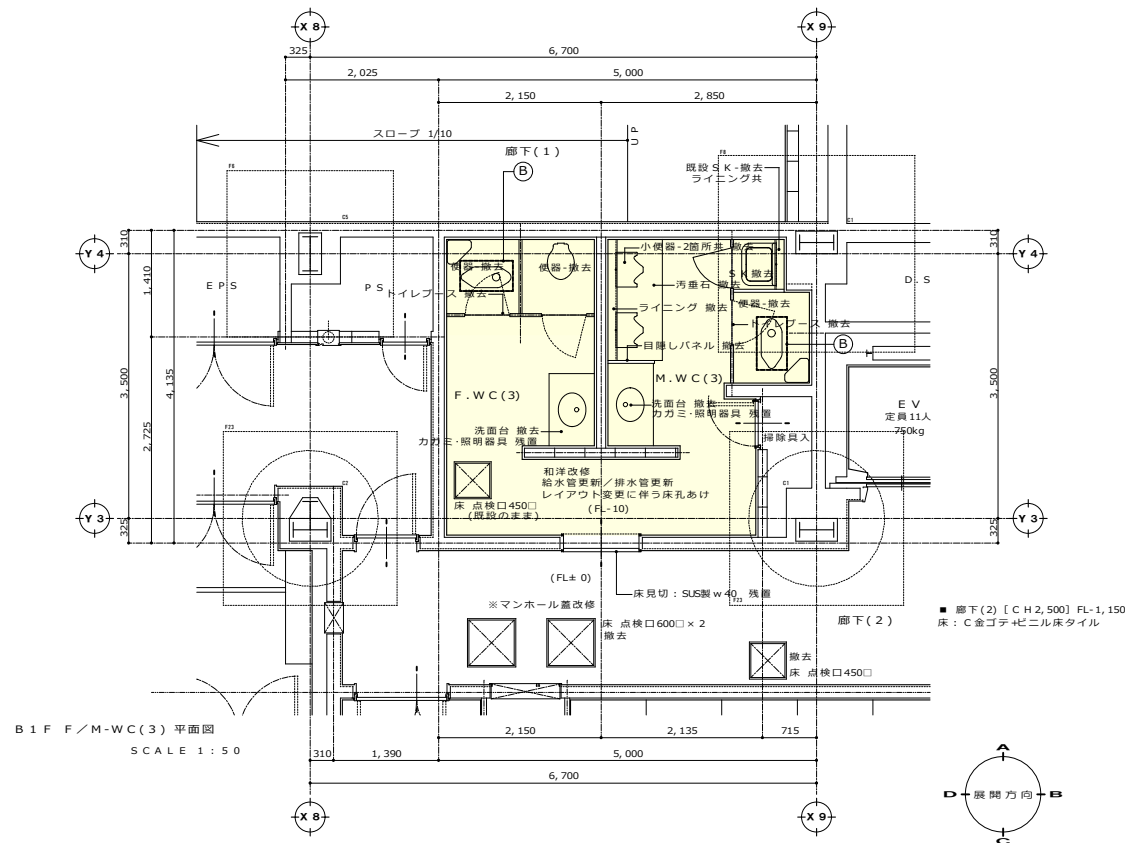
⊠: 天井点検口
 アルミ製450角 撤去、新設

■各階(F/M-WC(1)~(4)、M-WC(6))トイレ [改修前] [改修後] 仕上表

符合	箇所	種別	現況・改修仕様
Ⓐ	床1	現況	200角組器質タイル貼
		改修	既設タイル部-下地処理の上ビニル床シート t 2.0貼新設
Ⓑ	床2	現況	200角組器質タイル貼 450×850程度撤去(下地モルタル・押入コン+防水層[1.2mm/2]・床スラブ共撤去) (和便器周り)
		改修	和便器床開口塞ぎコンクリート新設及下地処理の上ビニル床シート t 2.0貼新設
Ⓒ	床3	現況	過去便器取替時: 200角組器質タイル貼の上ビニル床シート貼 見切金物共撤去
		改修	既設ビニル床シート t 2.0(見切金物共)撤去、下地調整の上ビニル床シート t 2.0貼新設
Ⓓ	床4	現況	300角影石(J & P)
		改修	既設のまま、和便器撤去部: 300角影石(J & P)新設
Ⓔ	巾木	現況	100角組器質タイル貼
		改修	水洗浄(既設部)/新設部: 既設同等仕上
Ⓕ	壁1	現況	100角組器質タイル貼 H < 2,000 モルタル金ゴテ H > 2,000
		改修	水洗浄(既設部)/新設部: 既設同等仕上(下地共)
Ⓖ	壁2	現況	100角組器質タイル貼 H < 2,000 モルタル金ゴテ H > 2,000
		改修	100角組器質タイル貼撤去、化粧タイル板 t 6新設 (GB-Sk 12.5sq工法下地共 H < 2,000、既設のまま H > 2,000)
Ⓗ	増縁	現況	硬質塩ビ 撤去
		改修	硬質塩ビ 新設
Ⓘ	天井	現況	L G S +石膏ボード t 9.0下地若縁吸音板 t 12.0仕上 LGS下地共撤去
		改修	L G S + G B-R t 9.5下地若縁吸音板 t 12.0仕上 新設
Ⓛ	トイレブース	現況	トイレブース 撤去(メラミン樹脂化粧板 t 38、H 2,000)
		改修	トイレブース (緊急開放機構付ブース) 新設
Ⓜ	便器1	現況	和便器-全撤去、洋便器(更新洋便器除く)撤去(機械設備)
		改修	洋便器-新設(一部更新洋便器等→清掃)(機械設備)
Ⓝ	便器2	現況	小便器 ライニング壁・汚垂石共 撤去
		改修	小便器 ライニング壁・汚垂石共 新設
Ⓟ	手洗カウンター	現況	洗面台 手洗カウンター共撤去 上部カガミ・照明器具等そのまま
		改修	ボウル一体型手洗カウンター新設 上部カガミ・照明器具等 清掃
※	床-改修備考		床下地処理: カチオン系下地調整材 t 2.0 床材: サンゴツ清業レストリューム t 2.0(複層シート)同等
※	手洗-改修備考		手洗: 抗菌樹脂電着手洗 洗面台用手洗 小便器用手洗 プース内L型手洗



B 1 F F/M-WC(3) [改修前(撤去)]



■ 各階(F/M-WC(1)~(4)、M-WC(6))トイレ [改修前] [改修後] 仕上表

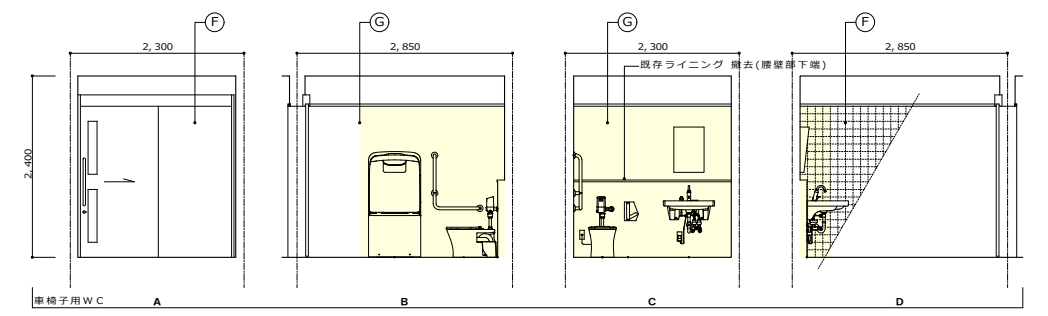
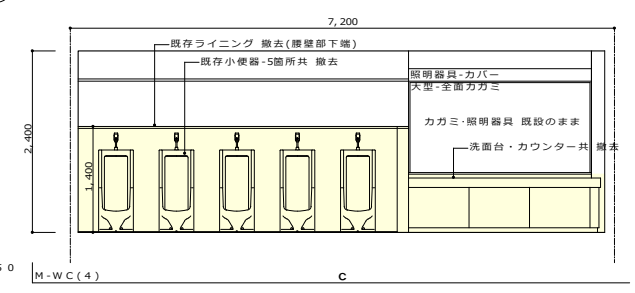
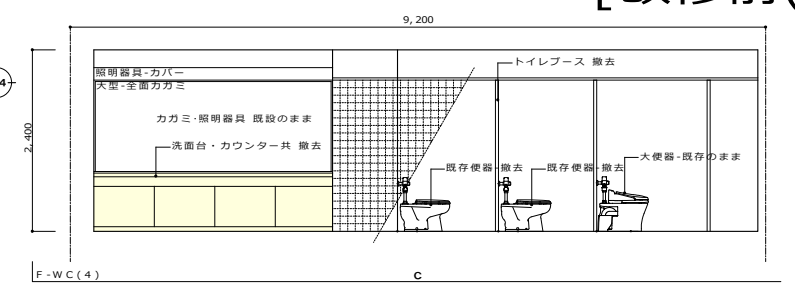
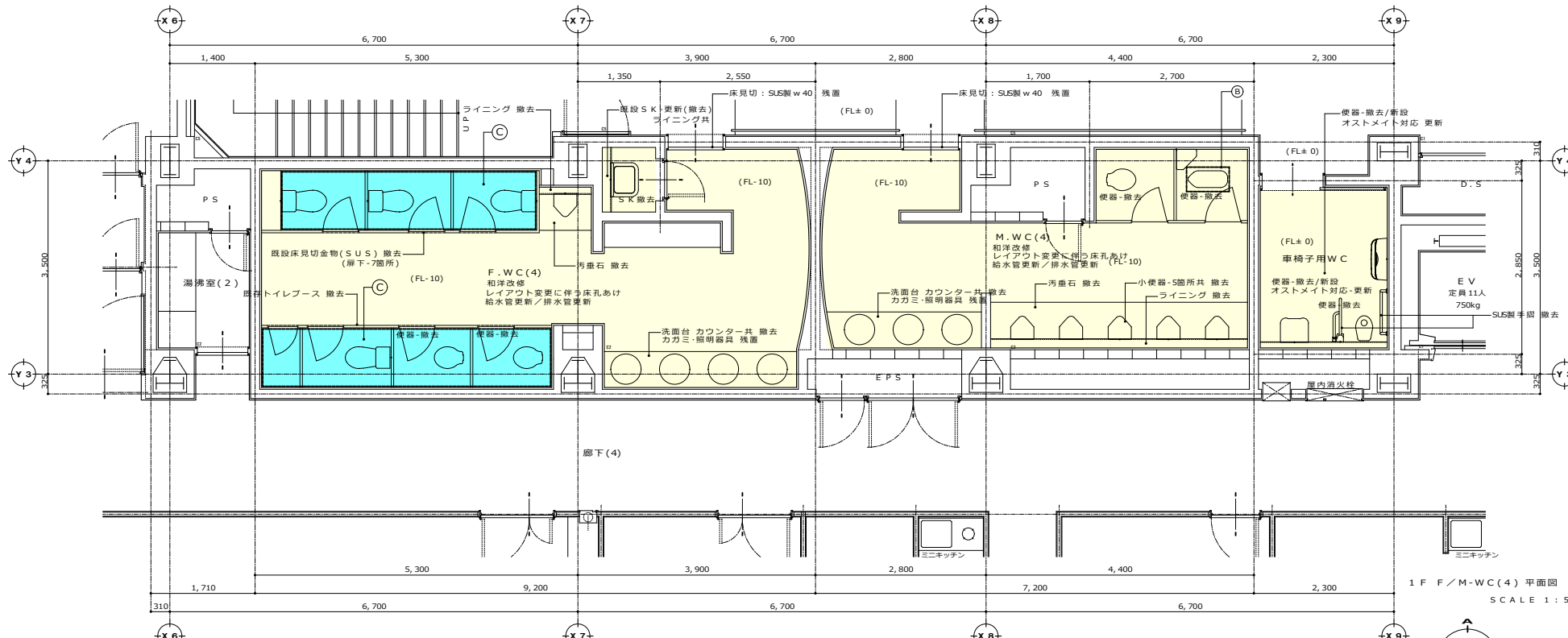
符合	箇所	種別	現況・改修仕様
Ⓐ	床 1	現況	200角磁器質タイル貼
		改修	既設タイル部-下地処理の上ビニル床シート t 2.0貼新設
Ⓑ	床 2	現況	200角磁器質タイル貼 450×850程度撤去(下地モルタル・押スコン+防水層[1.2mm/LI]・床スラブ共撤去)
		改修	和便器床開口裏面コンクリート新設及下地処理の上ビニル床シート t 2.0貼新設
Ⓒ	床 3	現況	過去便器取替時: 200角磁器質タイル貼の上ビニル床シート貼 見切金物共撤去
		改修	既設ビニル床シート t 2.0(見切金物共)撤去、下地調整の上ビニル床シート t 2.0貼新設
Ⓓ	床 4	現況	300角御影石 (J & P)
		改修	既設のまま、和便器撤去部: 300角御影石 (J & P) 新設
Ⓔ	巾木	現況	100角磁器質タイル貼
		改修	水洗浄(既設部)/新設部: 既設同等仕上
Ⓕ	壁 1	現況	100角磁器質タイル貼 H < 2,000 モルタル金ゴテ H > 2,000
		改修	水洗浄(既設部)/新設部: 既設同等仕上(下地共)
Ⓖ	壁 2	現況	100角磁器質タイル貼 H < 2,000 モルタル金ゴテ H > 2,000
		改修	100角磁器質タイル貼撤去、化粧タイル板 t 6新設 (GB-Sk 12.5SQ工法下地共 H < 2,000、既設のまま H > 2,000)
Ⓗ	階梯	現況	硬質塩ビ 撤去
		改修	硬質塩ビ 新設
Ⓙ	天井	現況	LGS+石膏ボード t 9.0下地岩綿吸音板 t 12.0仕上 LGS下地共撤去
		改修	LGS+G-B-R t 9.5下地岩綿吸音板 t 12.0仕上 新設
①	トイレブース	現況	トイレブース 撤去(メラミン樹脂化粧板 t 38、H 2,000)
		改修	トイレブース (緊急開放機構付ブース) 新設
②	便器 1	現況	和便器-全撤去、洋便器(更新済便器除く)撤去(機械設備)
		改修	洋便器-新設(一部更新済便器等→清掃)(機械設備)
③	便器 2	現況	小便器 ライニング壁・汚垂共 撤去
		改修	小便器 ライニング壁・汚垂タイル共 新設
④	手洗カウンター	現況	洗面器 手洗カウンター共撤去 上部カガミ・照明器具等そのまま
		改修	ポウル一体型手洗カウンター 新設 上部カガミ・照明器具等 清掃
※	床-改修備考		床下処理: カチオン系下地調整材 t 2.0
			床材: サンツン清美レストリューム t 2.0(覆層シート)同専
※	手洗-改修備考		手洗: 抗菌樹脂被覆手洗
			洗面台用手洗 小便器用手洗 プース内L型手洗

■ WC(3) [CH2,400] FL-1,160
床: C金ゴテ+200角磁器質タイル貼(無軸)
巾木: -
壁: 100角磁器質タイル貼 H < 2,000
壁: モルタル金ゴテ E P 塗 H > 2,000
天井: P、B t 9.0+岩綿吸音板 t 12.0 撤去

⊠: 天井点検口
アルミ製450角 撤去、新設

【撤去】既設ライニング
壁: C B t 100下地100角磁器質タイル
洗面台: SL6304 t 1.5mm工 H (W150×H25)

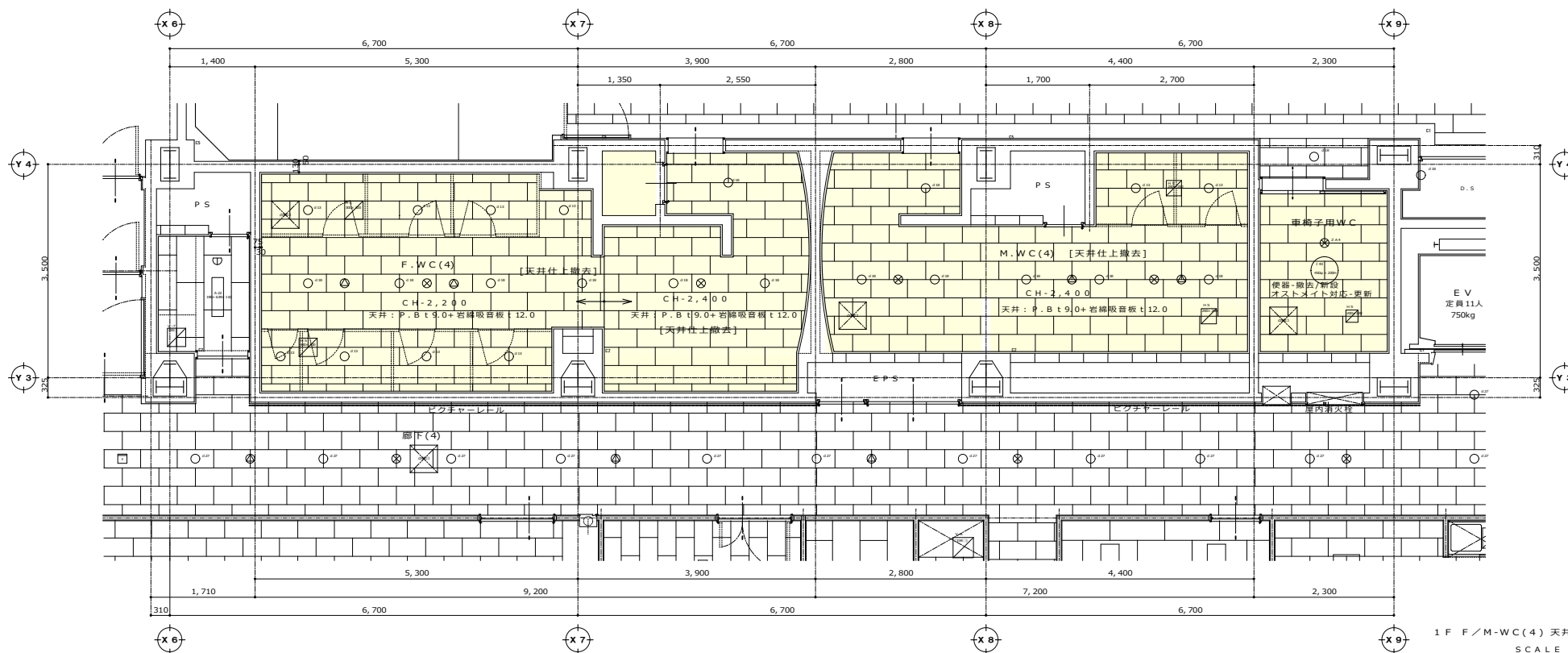
1 F F/M-WC(4) [改修前(撤去)]



- WC(4) [CH2,400/一部2,200] FL-10
床: アスファルト防水+押スコン+200角磁器質タイル貼
巾木: -
壁: 100角磁器質タイル張 H<2,000 (既設のまま)
壁: モルタル金ゴテ E P 塗 H>2,000 (既設のまま)
天井: P・B t 9.0+ 岩綿吸音板 t 12.0 (LGS下地共撤去)
- WC(4) [CH2,400/一部2,200] FL-10
床: アスファルト防水+押スコン+200角磁器質タイル貼
巾木: -
壁: 100角磁器質タイル張 H<2,000 (既設のまま)
壁: モルタル金ゴテ E P 塗 H>2,000 (既設のまま)
天井: P・B t 9.0+ 岩綿吸音板 t 12.0 (LGS下地共撤去)
- 車椅子用WC [CH2,400] FL±0
床: アスファルト防水+押スコン+200角磁器質タイル貼
巾木: -
壁: 100角磁器質タイル張 H<2,000 (既設のまま)
壁: モルタル金ゴテ E P 塗 H>2,000 (既設のまま)
天井: P・B t 9.0+ 岩綿吸音板 t 12.0 (LGS下地共撤去)

⊗: 天井点検口
アルミ製450角 撤去、新設

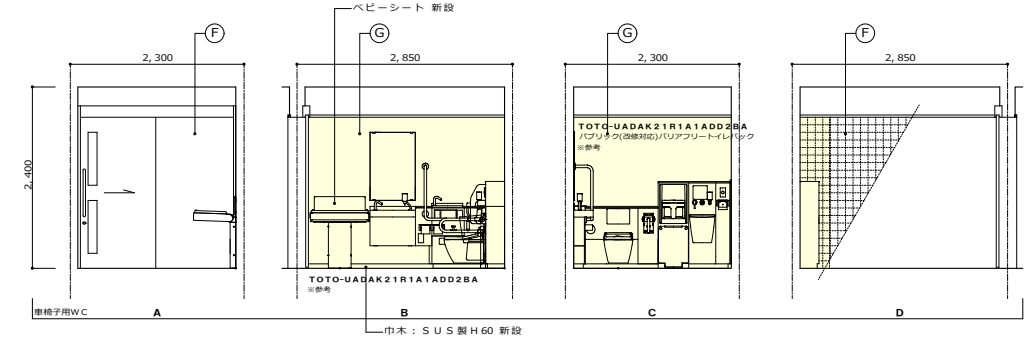
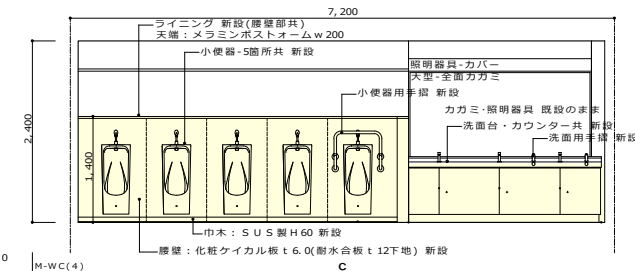
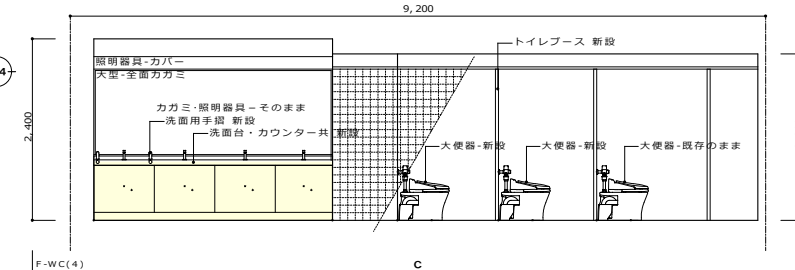
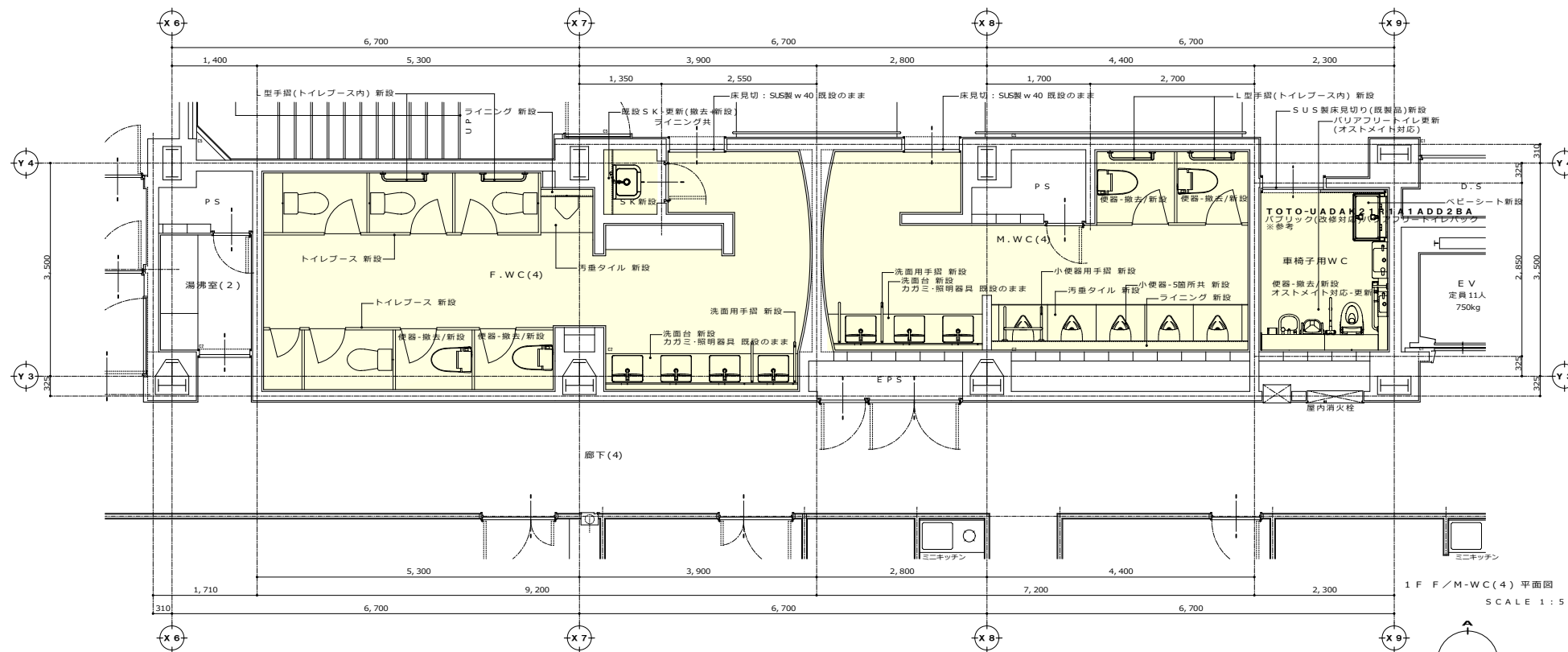
【撤去】 既設ライニング
壁: C B t 100下地100角磁器質タイル
面台: SUS304 t 1.5加工 H L (W 150×H 25)



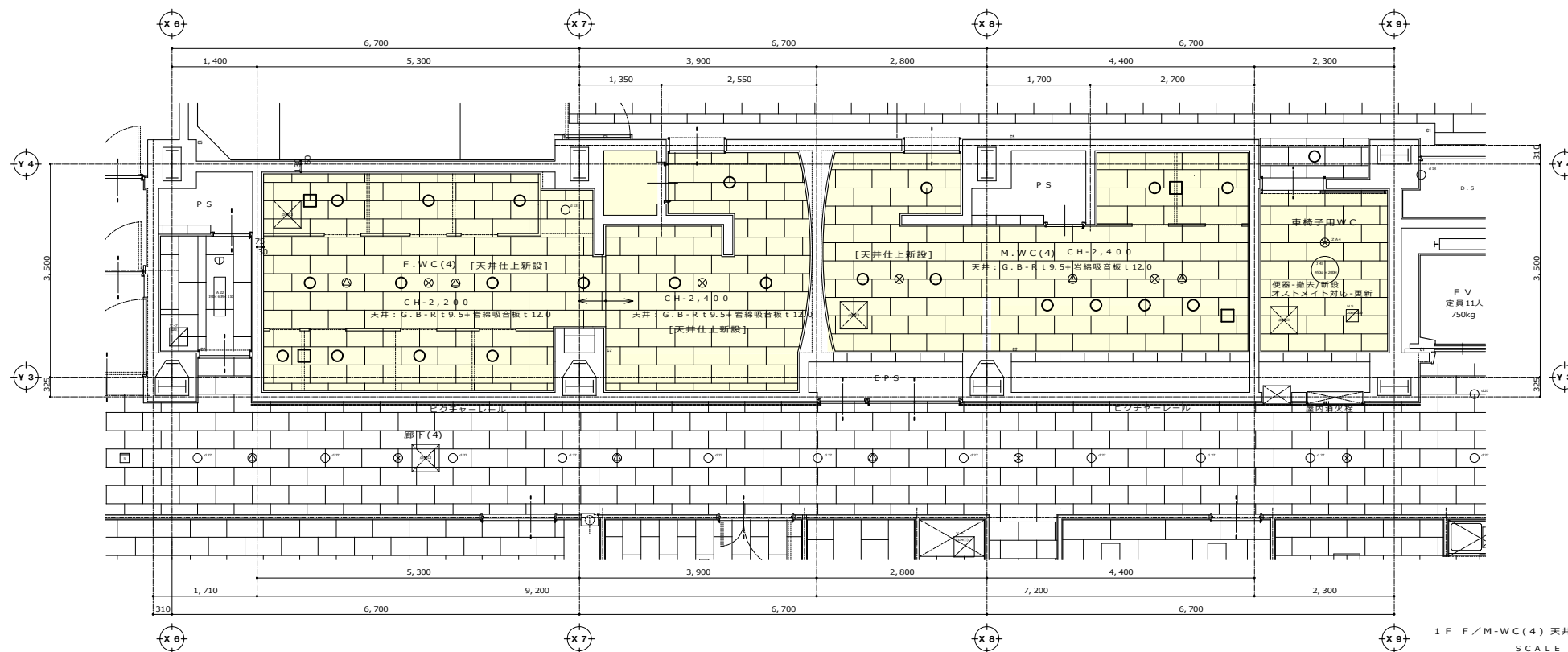
■ 各隔 (F/M-WC(1)~(4)、M-WC(6)) トイレ [改修前] [改修後] 仕上表

符合	箇所	種別	現況・改修仕様
Ⓐ	床 1	現況	200角磁器質タイル貼
Ⓐ	床 1	改修	既設タイル部-下地処理の上ビニル床シート t 2.0貼新設
Ⓑ	床 2	現況	200角磁器質タイル貼 450×850程度撤去(下地モルタル+押スコン+防水層[1.2mm/2],床スラブ共撤去)
Ⓑ	床 2	改修	和便器床開口蓋付コンクリート新設及下地処理の上ビニル床シート t 2.0貼新設
Ⓒ	床 3	現況	過去便器取替時: 200角磁器質タイル貼の上ビニル床シート貼 見切金物共撤去
Ⓒ	床 3	改修	既設ビニル床シート t 2.0(見切金物共)撤去、下地調整の上ビニル床シート t 2.0貼新設
Ⓓ	床 4	現況	300角御影石 (J & P)
Ⓓ	床 4	改修	既設のまま、和便器撤去部: 300角御影石 (J & P) 新設
Ⓔ	巾木	現況	100角磁器質タイル貼
Ⓔ	巾木	改修	水洗浄(既設部)/新設部: 既設同等仕上
Ⓕ	壁 1	現況	100角磁器質タイル貼 H<2,000 モルタル金ゴテ H>2,000
Ⓕ	壁 1	改修	水洗浄(既設部)/新設部: 既設同等仕上(下地共)
Ⓖ	壁 2	現況	100角磁器質タイル貼 H<2,000 モルタル金ゴテ H>2,000
Ⓖ	壁 2	改修	100角磁器質タイル貼撤去、化粧タイル板 t 6新設 (GB-Sk 12.5sq工下地共 H<2,000、既設のまま H>2,000)
Ⓗ	階梯	現況	硬質塩ビ 撤去
Ⓗ	階梯	改修	硬質塩ビ 新設
Ⓘ	天井	現況	LGS+石膏ボード t 9.0下地岩綿吸音板 t 12.0仕上 LGS下地共撤去
Ⓘ	天井	改修	LGS+G B-R t 9.5下地岩綿吸音板 t 12.0仕上 新設
Ⓛ	トイレブース	現況	トイレブース 撤去(メラミン樹脂化粧板 t 38、H 2,000)
Ⓛ	トイレブース	改修	トイレブース (緊急開放機構付ブース) 新設
Ⓜ	便器 1	現況	和便器-全撤去、洋便器(更新済便器除く)撤去(機械設備)
Ⓜ	便器 1	改修	洋便器-新設(一部更新済便器等→清掃)(機械設備)
Ⓝ	便器 2	現況	小便器 ライニング壁・汚垂石共 撤去
Ⓝ	便器 2	改修	小便器 ライニング壁・汚垂石共 新設
Ⓟ	手洗カウンター	現況	洗面器 手洗カウンター共撤去 上部カガミ・照明器具等そのまま
Ⓟ	手洗カウンター	改修	ポウル一体型手洗カウンター新設 上部カガミ・照明器具等 清掃
※	床-改修備考		床下地処理: カチオン系下地調整材 t 2.0 床材: サンツク清美レストリューム t 2.0(複層シート)同等
※	手洗-改修備考		手洗: 抗菌樹脂製手洗 洗面台手洗 小便器用手洗 プース内L型手洗

1 F F/M-WC(4) [改修後]

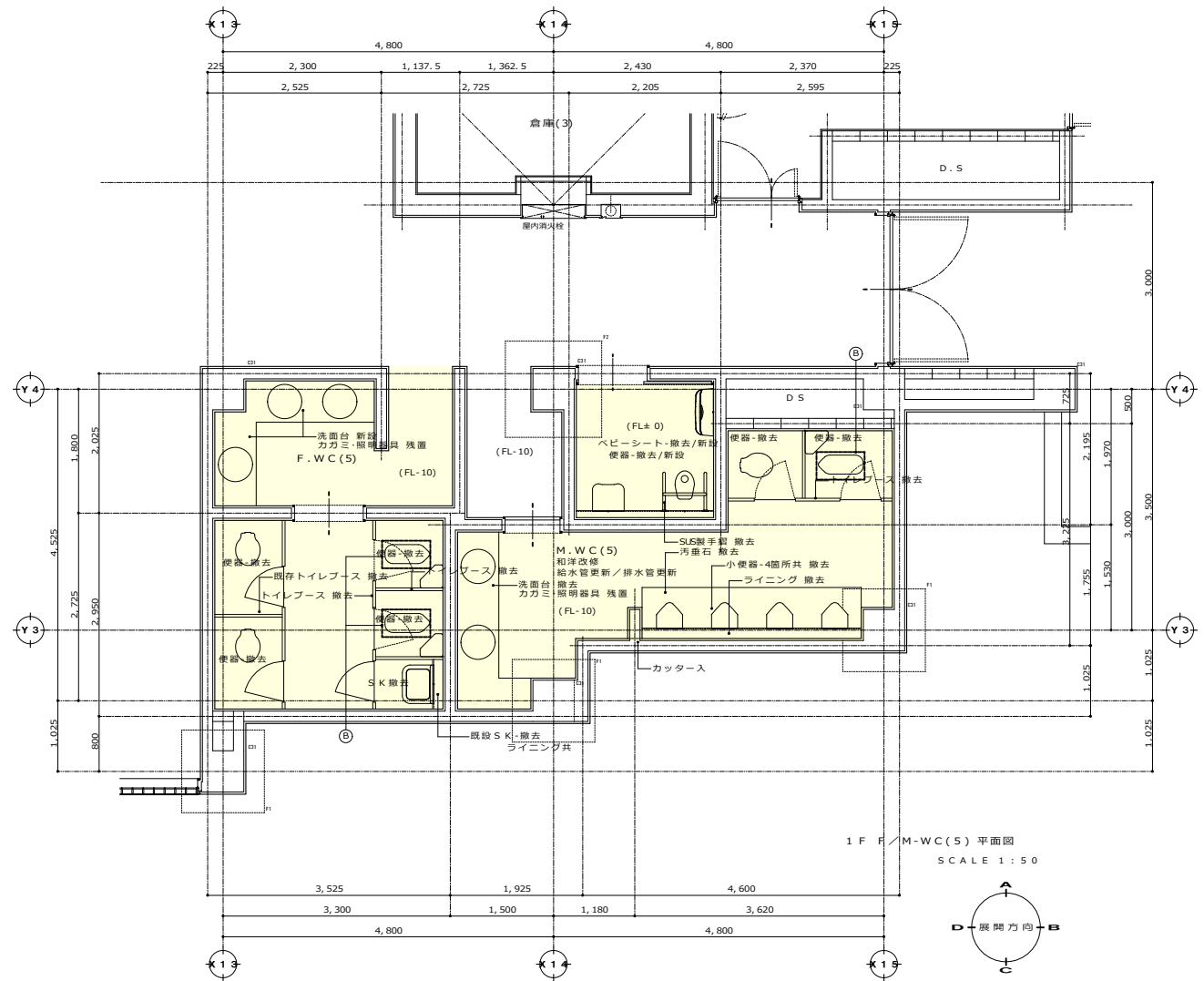


- WC(4) [CH2,400/一部2,200] FL±0
床: 既設タイル貼下地処理の上ビニル床シート t 2.0 新設
巾木: -
壁: 100角磁器質タイル張 H < 2,000 (既設のまま)
壁: モルタル金ゴテ E P 塗 H > 2,000 (既設のまま)
天井: G・B・R t 9.5+ 岩綿吸音板 t 12.0 (LGS下地共新設)
- 車椅子用WC [CH2,400] FL±0
床: 既設タイル貼下地処理の上ビニル床シート t 2.0 新設
巾木: -
壁: 100角磁器質タイル張 H < 2,000 (既設のまま)
壁: モルタル金ゴテ E P 塗 H > 2,000 (既設のまま)
天井: G・B・R t 9.5+ 岩綿吸音板 t 12.0 (LGS下地共新設)
- ⊗: 天井点検口
アルミ製450角 撤去、新設

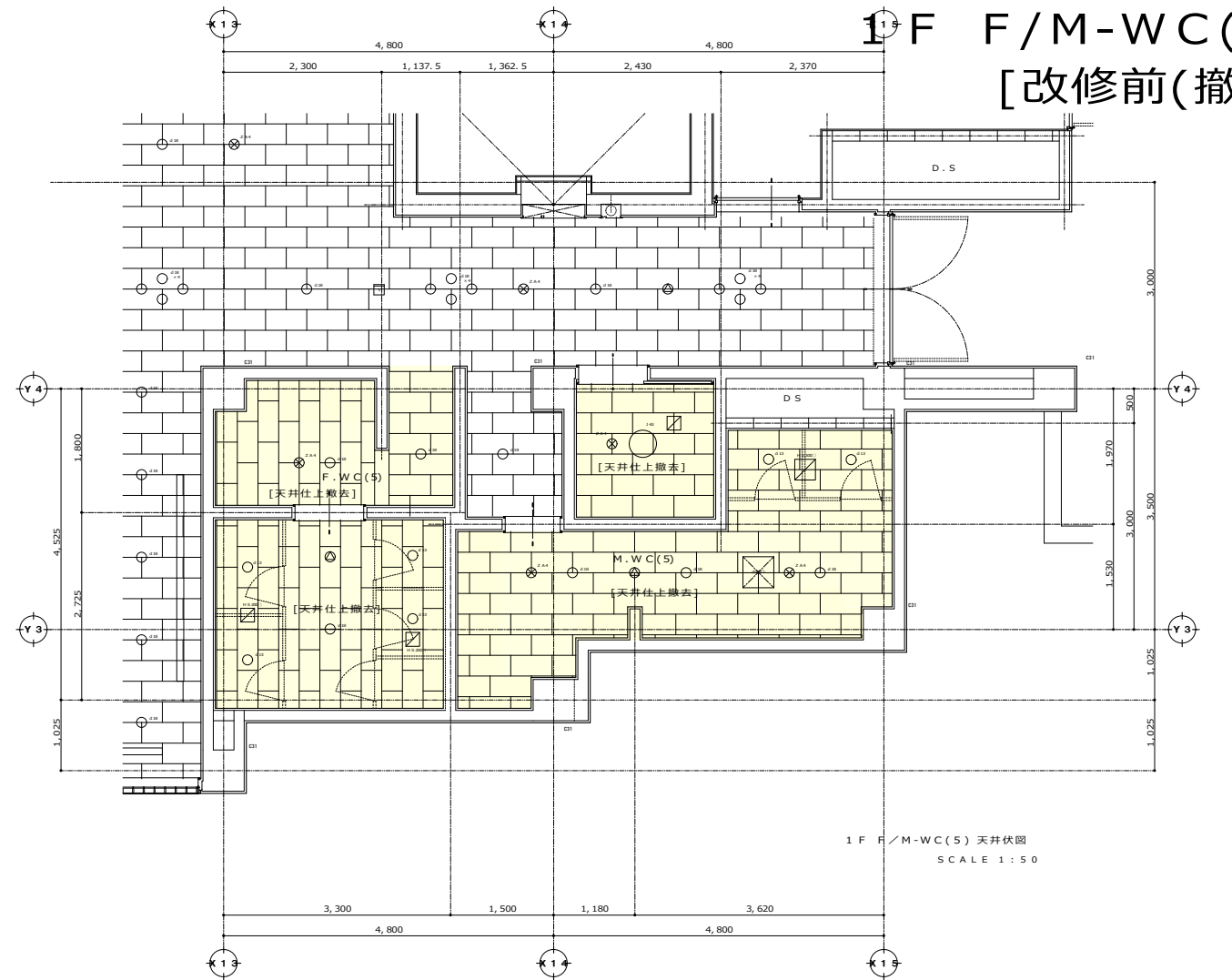


■ 各隔 (F/M-WC(1)~(4)、M-WC(6)) トイレ [改修前] [改修後] 仕上表

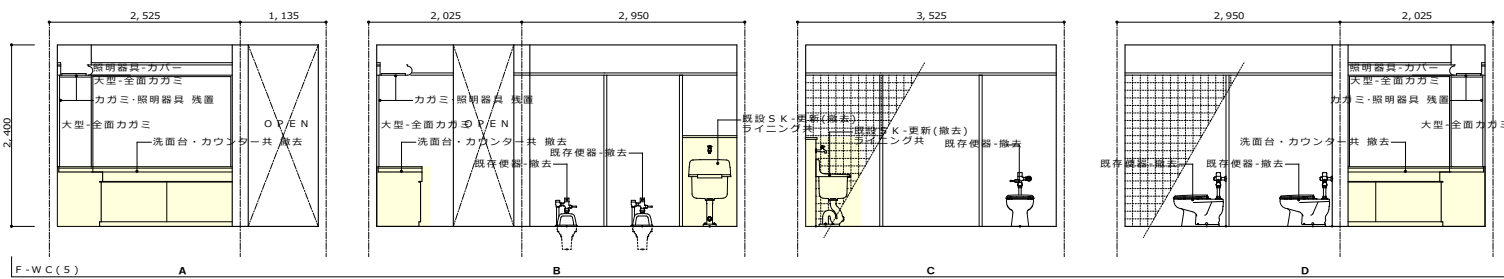
符合	箇所	種別	現況・改修仕様
Ⓐ	床 1	現況	200角磁器質タイル貼
	改修	既設タイル部-下地処理の上ビニル床シート t 2.0貼新設	
Ⓑ	床 2	現況	200角磁器質タイル貼 450×850程度撤去(下地モルタル・押スコン+防水層[1.2mm]、床スラブ共撤去)
	改修	和便器床開口塞ぎコンクリート新設及下地処理の上ビニル床シート t 2.0貼新設	
Ⓒ	床 3	現況	過去便器取替時: 200角磁器質タイル貼の上ビニル床シート貼 見切金物共撤去
	改修	既設ビニル床シート t 2.0(見切金物共)撤去、下地調整の上ビニル床シート t 2.0貼新設	
Ⓓ	床 4	現況	300角御影石 (J & P)
	改修	既設のまま、和便器撤去部: 300角御影石 (J & P) 新設	
Ⓔ	巾木	現況	100角磁器質タイル貼
	改修	水洗浄(既設部)/新設部: 既設同等仕上	
Ⓕ	壁 1	現況	100角磁器質タイル貼 H < 2,000 モルタル金ゴテ H > 2,000
	改修	水洗浄(既設部)/新設部: 既設同等仕上(下地共)	
Ⓖ	壁 2	現況	100角磁器質タイル貼 H < 2,000 モルタル金ゴテ H > 2,000
	改修	100角磁器質タイル貼撤去、化粧タイル貼 t 6新設 (GB-Sk 12.5sq工法下地共 H < 2,000、既設のまま H > 2,000)	
Ⓗ	階縁	現況	硬質塩ビ 撤去
	改修	硬質塩ビ 新設	
Ⓘ	天井	現況	LGS+石膏ボード t 9.0下地岩綿吸音板 t 12.0仕上 LGS下地共撤去
	改修	LGS+G・B・R t 9.5下地岩綿吸音板 t 12.0仕上 新設	
Ⓛ	トイレブース	現況	トイレブース 撤去(メラミン樹脂化粧板 t 38、H 2,000)
	改修	トイレブース (緊急開放機構付ブース) 新設	
Ⓜ	便器 1	現況	和便器-全撤去、洋便器(更新済便器除く)撤去(機械設備)
	改修	洋便器-新設(一部更新済便器等)清掃(機械設備)	
Ⓨ	便器 2	現況	小便器 ライニング壁・汚重共 撤去
	改修	小便器 ライニング壁・汚重共 新設	
Ⓩ	手洗カウンター	現況	洗面台 手洗カウンター共撤去 上部カガミ・照明器具等そのまま
	改修	ポウル一体型手洗カウンター新設 上部カガミ・照明器具等 清掃	
※	床-改修備考		床下処理: カチオン系下地調整材 t 2.0 床材: サンクン清美レストリューム t 2.0(複層シート)同等
※	手洗-改修備考		手洗: 抗菌樹脂製手洗 洗面台用手洗 小便器用手洗 プース内L型手洗



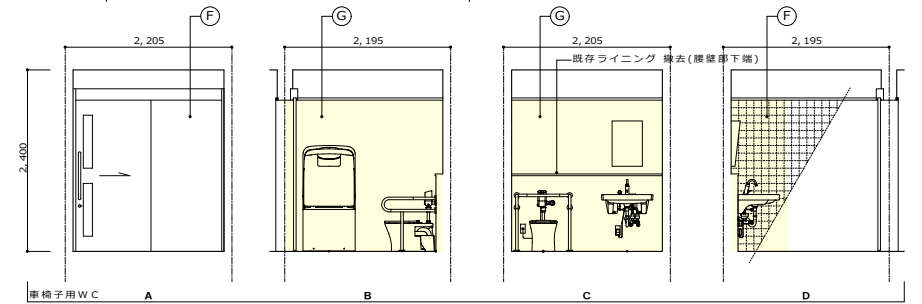
1F F/M-WC(5) 平面図
SCALE 1:50



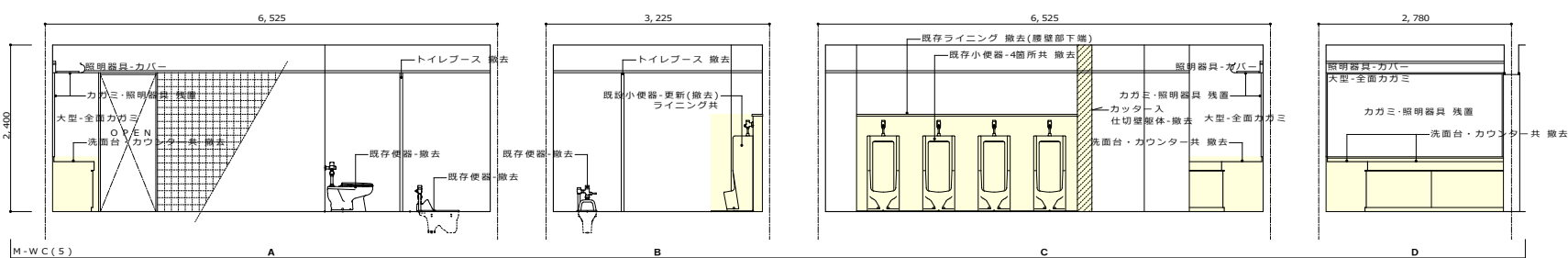
1F F/M-WC(5) 天井伏図
SCALE 1:50



F-WC(5) A B C D



車椅子用WC A B C D

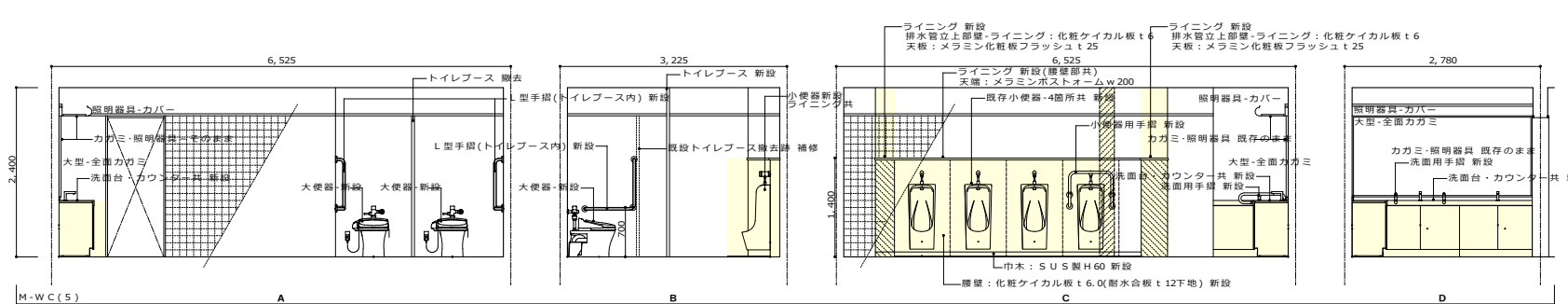
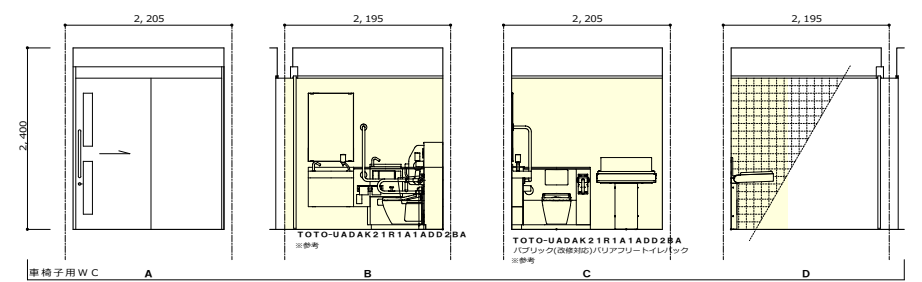
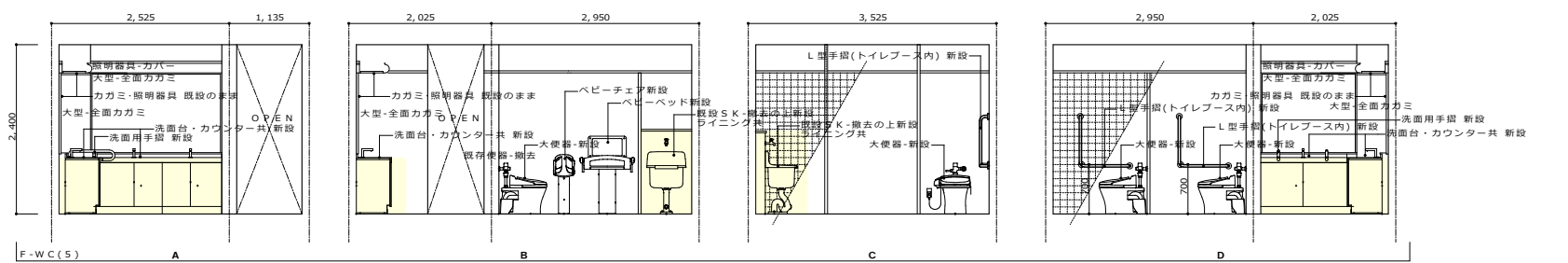
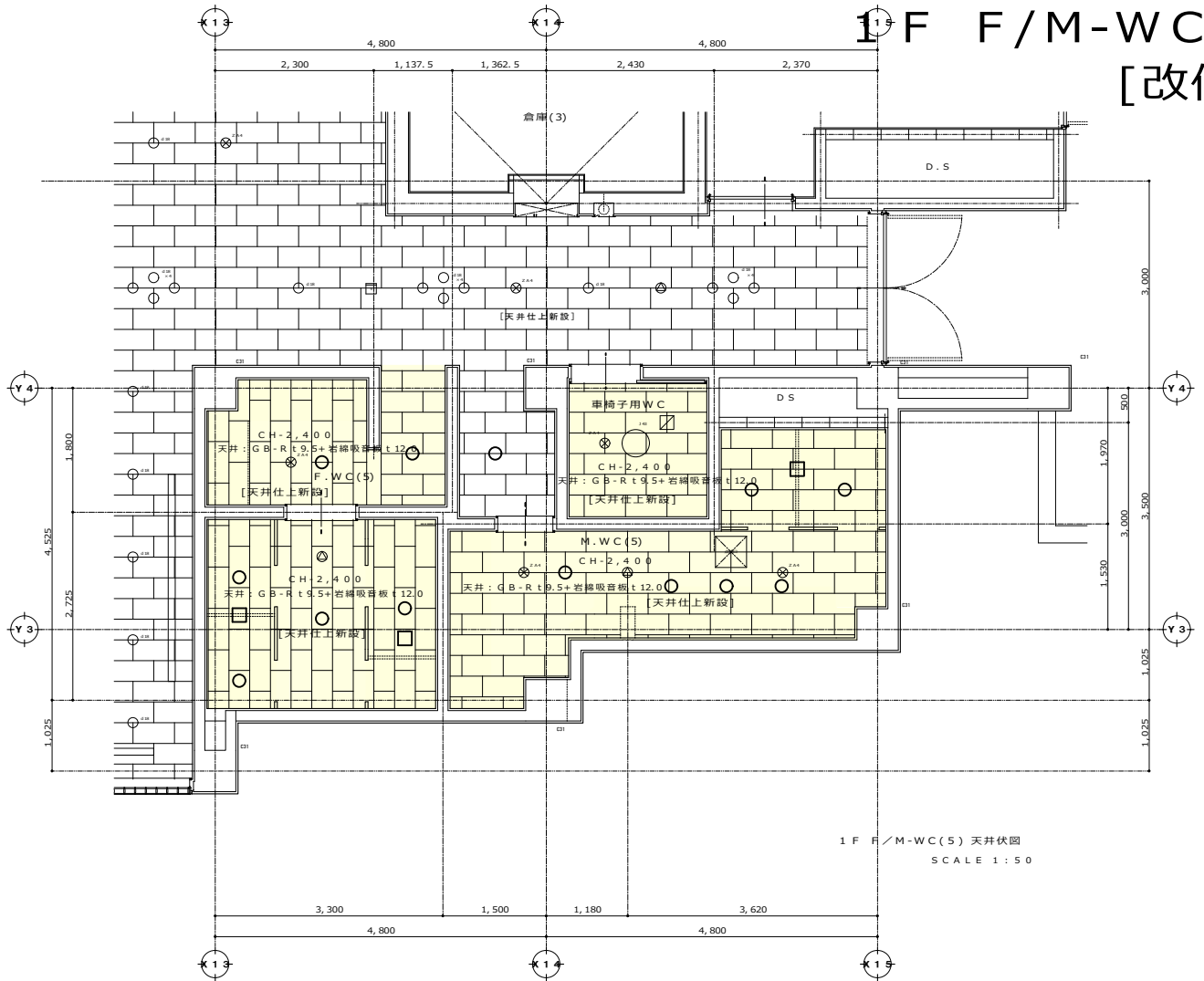
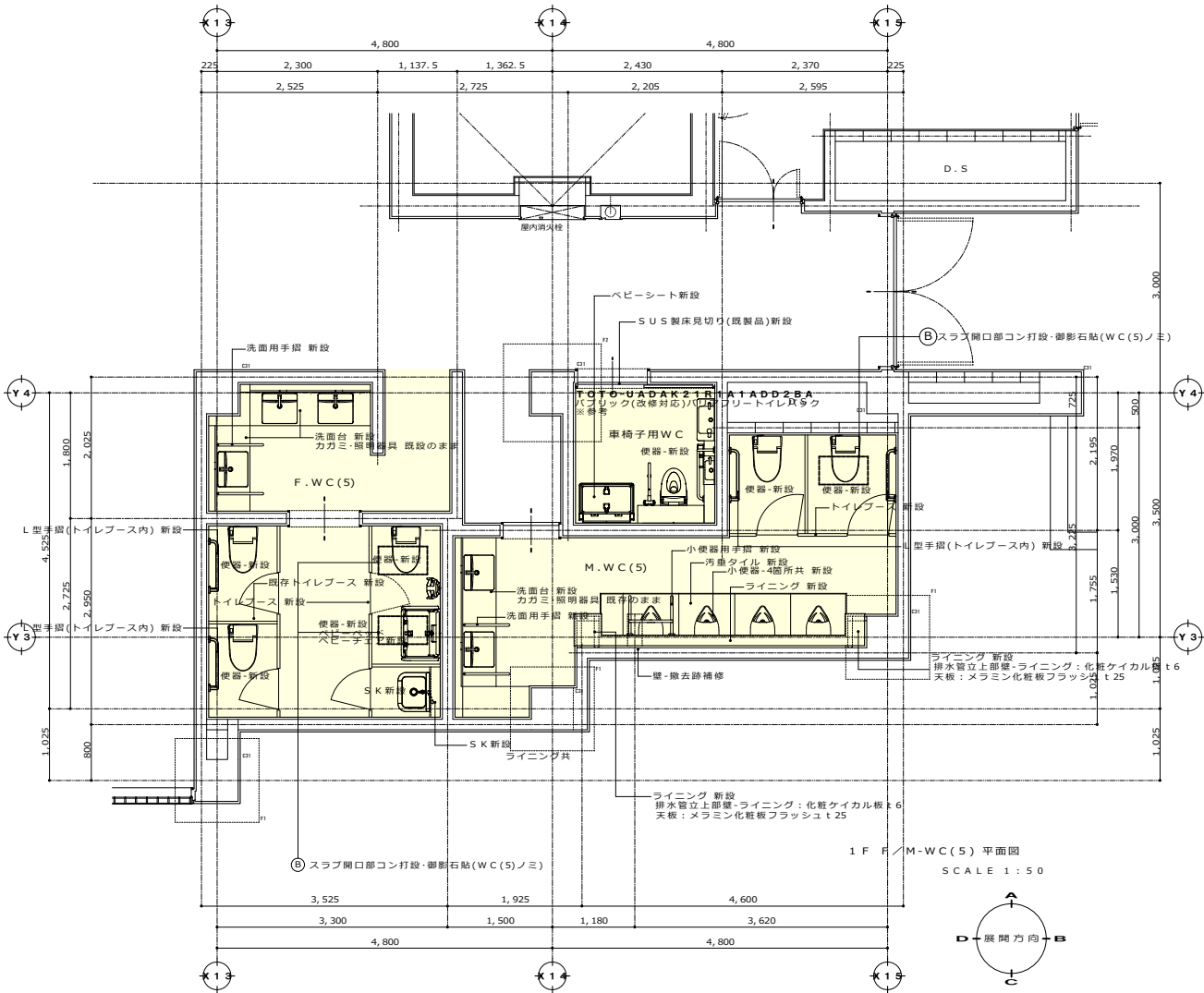


M-WC(5) A B C D

■各階トイレ【改修前】【改修後】仕上表

符合	箇所	種別	現況・改修仕様
①	床1	現況	200角磁器質タイル貼
		改修	既設タイル部・下地処理の上ビニル床シート t.2.0貼新設
②	床2	現況	200角磁器質タイル貼 450×850程度撤去(下地モルタル・押入コン+防水層[1.2mm]、床スラブ共撤去)
		改修	和便器床開口塞ぎコンクリート新設及下地処理の上ビニル床シート t.2.0貼新設
③	床3	現況	過去便器取替時: 200角磁器質タイル貼の上ビニル床シート貼 見切金物共撤去
		改修	既設ビニル床シート t.2.0(見切金物)撤去、下地調整の上ビニル床シート t.2.0貼新設
④	床4	現況	300角磁器質タイル貼 (J & P)
		改修	既設のまま、和便器撤去部: 300角磁器質タイル貼 (J & P) 新設
⑤	巾木	現況	100角磁器質タイル貼
		改修	水洗浄(既設部)/新設部: 既設同等仕上
⑥	壁1	現況	100角磁器質タイル貼 H < 2,000 モルタル金ゴテ H > 2,000
		改修	水洗浄(既設部)/新設部: 既設同等仕上(下地共)
⑦	壁2	現況	100角磁器質タイル貼 H < 2,000 モルタル金ゴテ H > 2,000
		改修	100角磁器質タイル貼撤去、化粧タイル板 t.6新設 (CB-Sk 12.5sq工法下地共 H < 2,000、既設のまま H > 2,000)
⑧	階梯	現況	硬質塩ビ 撤去
		改修	硬質塩ビ 新設
⑨	天井	現況	L.G.S+石膏ボード t.9.0下地岩綿吸音板 t.12.0仕上 LGS下地共撤去
		改修	L.G.S+G.B-R t.9.5下地岩綿吸音板 t.12.0仕上 新設
⑩	トイレブース	現況	トイレブース 撤去(メラミン樹脂化粧板 t.38、H.2,000)
		改修	トイレブース (緊急開放機構付ブース) 新設
⑪	便器1	現況	和便器-全撤去、洋便器(更新洋便器除く)撤去(機械設備)
		改修	洋便器-新設(一部更新洋便器等→清掃)(機械設備)
⑫	便器2	現況	小便器 ライニング壁・汚垂タイル共 撤去
		改修	小便器 ライニング壁・汚垂タイル共 新設
⑬	手洗カウンター	現況	洗面器 手洗カウンター共撤去 上部カガミ・照明器具等そのまま
		改修	ポウル一体型手洗カウンター 新設 上部カガミ・照明器具等 清掃
※	床-改修備考		床下地処理: カチオン系下地調整材 t.2.0 床材: サンツク清業レストリューム t.2.0(覆層シート)同等
※	手洗-改修備考		手洗: 抗菌樹脂製手洗 洗面台用手洗 小便器用手洗 プース内L型手洗

- F.W.C(5) [CH2,400]
床: C.木ゴテ+300角磁器質タイル t.30
巾木: -
壁: 100角磁器質タイル貼 H < 2,000 (既設のまま)
壁: モルタル金ゴテ E.P塗 H > 2,000 (既設のまま)
天井: P.B t.9.0+岩綿吸音板 t.12.0 (LGS下地共撤去)
 - M.W.C(5) [CH2,400]
床: C.木ゴテ+300角磁器質タイル t.30
巾木: -
壁: 100角磁器質タイル貼 H < 2,000 (既設のまま)
壁: モルタル金ゴテ E.P塗 H > 2,000 (既設のまま)
天井: P.B t.9.0+岩綿吸音板 t.12.0 (LGS下地共撤去)
 - 車椅子用WC [CH2,400] FL+0
床: アスファルト防水+押入コン+200角磁器質タイル貼
巾木: -
壁: 100角磁器質タイル貼 H < 2,000 (既設のまま)
壁: モルタル金ゴテ E.P塗 H > 2,000 (既設のまま)
天井: P.B t.9.0+岩綿吸音板 t.12.0 (LGS下地共撤去)
- ☒: 天井点検口
アルミ製450角 撤去、新設
- 【撤去】既設ライニング
壁: C.B t.100下地100角磁器質タイル
床台: SLS304 t.1.580 I.H.L (W150×H25)

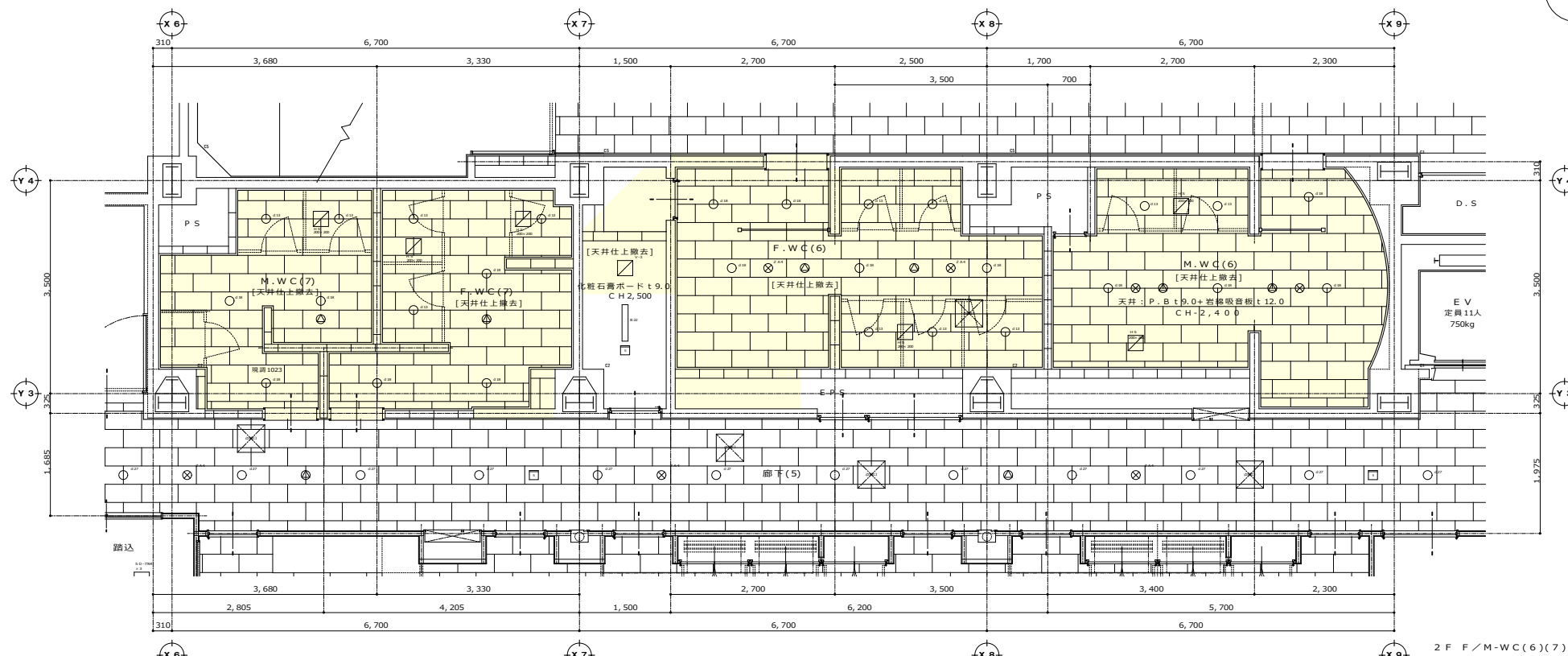
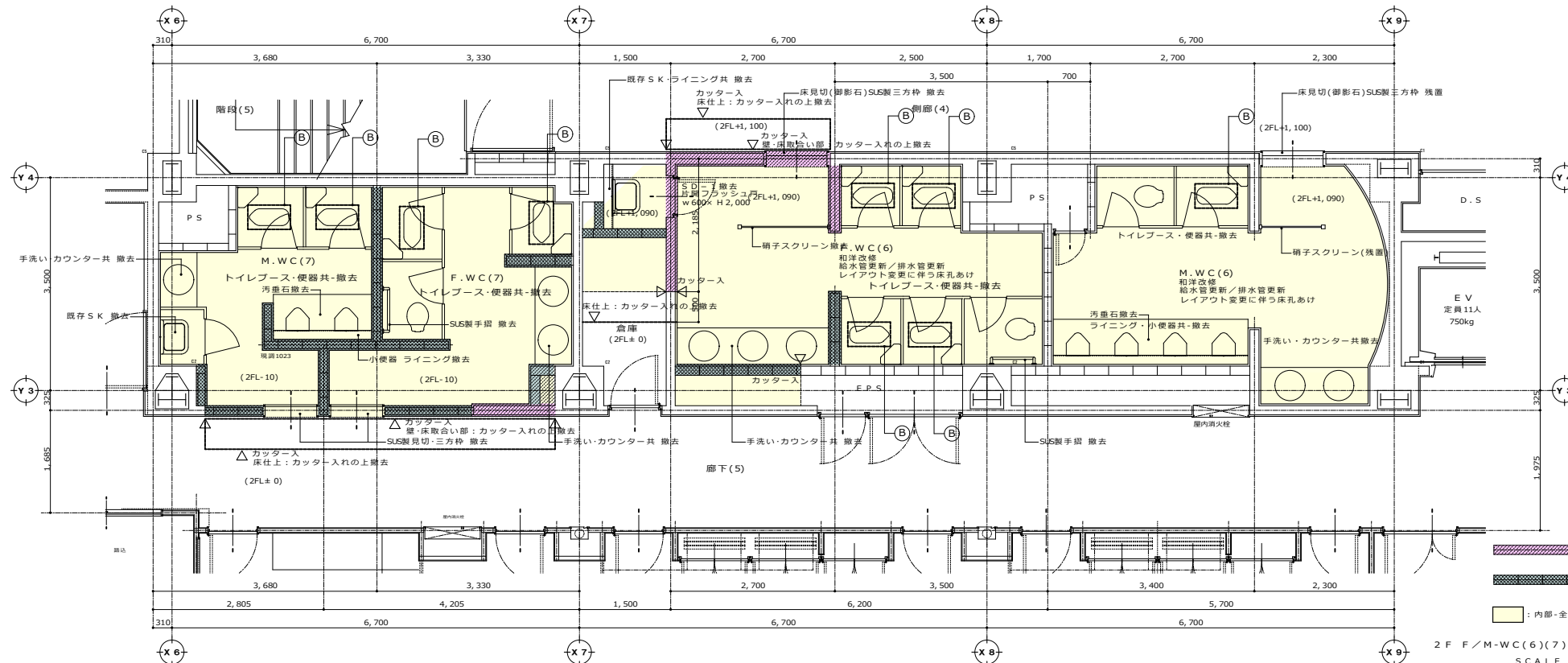


■各階トイレ【改修前】【改修後】仕上表

符合	箇所	種別	現況・改修仕様
①	床1	現況	200角磁器質タイル貼
②	床2	改修	既設タイル部・下地処理の上ビニル床シート t 2.0貼新設
③	床3	現況	200角磁器質タイル貼 450×850程度撤去(下地モルタル・押スコン+防水層[1.2mm厚]・床スラブ共撤去)
④	床4	改修	和便器床開口蓋付コンクリート新設及下地処理の上ビニル床シート t 2.0貼新設
⑤	床5	現況	過去便器取替時: 200角磁器質タイル貼の上ビニル床シート貼 見切金物共撤去
⑥	床6	改修	既設ビニル床シート t 2.0(見切金物共)撤去・下地調整の上ビニル床シート t 2.0貼新設
⑦	巾木	現況	300角御影石(J & P)
⑧	巾木	改修	既設のまま・和便器撤去部: 300角御影石(J & P)新設
⑨	壁1	現況	100角磁器質タイル貼
⑩	壁2	改修	水洗浄(既設部)/新設部: 既設同等仕上
⑪	壁3	現況	100角磁器質タイル貼 H < 2,000 モルタル金ゴテ H > 2,000
⑫	壁4	改修	水洗浄(既設部)/新設部: 既設同等仕上(下地共)
⑬	壁5	現況	100角磁器質タイル貼 H < 2,000 モルタル金ゴテ H > 2,000
⑭	壁6	改修	100角磁器質タイル貼撤去・化粧ケイカル板 t 6新設(GB-Sk 12.5Q工法下地共 H < 2,000. 既設のまま H > 2,000)
⑮	天井	現況	硬質塩ビ 撤去
⑯	天井	改修	硬質塩ビ 新設
⑰	天井	現況	LGS+石膏ボード t 9.0下地岩綿吸音板 t 12.0仕上 LGS下地共撤去
⑱	天井	改修	LGS+G-B-R t 9.5下地岩綿吸音板 t 12.0仕上 新設
⑲	トイレブース	現況	トイレブース 撤去(メラミン樹脂化粧板 t 3B, H > 2,000)
⑳	トイレブース	改修	トイレブース (緊急開放機構付ブース) 新設
㉑	便器1	現況	和便器-全撤去・洋便器(更新洋便器除く)撤去(機械設備)
㉒	便器1	改修	洋便器-新設(一部更新洋便器等→清掃)(機械設備)
㉓	便器2	現況	小便器 ライニング壁・汚垂共 撤去
㉔	便器2	改修	小便器 ライニング壁・汚垂共 新設
㉕	手洗カウンター	現況	洗面器 手洗カウンター共撤去 上部カガミ・照明器具等そのまま
㉖	手洗カウンター	改修	ボウル一体型手洗カウンター 新設 上部カガミ・照明器具等 清掃
※	床-改修備考		床下地処理: カチオン系下地調整材 t 2.0 床材: サンツク清業レストリューム t 2.0(覆層シート)同等
※	手洗-改修備考		手洗: 抗菌樹脂製手洗 洗面台用手洗 小便器用手洗 プース内L型手洗

- F.WC(5) [CH 2,400]
床: C.木ゴテ+300角御影石 t 30
巾木: .
壁: 100角磁器質タイル貼 H < 2,000 (既設のまま)
壁: モルタル金ゴテ E P塗 H > 2,000 (既設のまま)
天井: G-B-R t 9.5+岩綿吸音板 t 12.0(LGS下地共新設)
 - M.WC(5) [CH 2,400]
床: C.木ゴテ+300角御影石 t 30
巾木: .
壁: 100角磁器質タイル貼 H < 2,000 (既設のまま)
壁: モルタル金ゴテ E P塗 H > 2,000 (既設のまま)
天井: G-B-R t 9.5+岩綿吸音板 t 12.0(LGS下地共新設)
 - 車椅子用WC [CH 2,400] FL# 0
床: 既設タイル下地処理の上ビニル床シート t 2.0貼新設
巾木: .
壁: 100角磁器質タイル貼 H < 2,000 (既設のまま)
壁: モルタル金ゴテ E P塗 H > 2,000 (既設のまま)
天井: G-B-R t 9.5+岩綿吸音板 t 12.0(LGS下地共新設)
- ☒ 天井点検口
アルミ製450角 撤去・新設

2F F/M-WC(6)(7) [改修前(撤去)]



R.C壁 t120撤去 (F.L.+2,700マデ)
C.B壁 t120撤去
内部-全面改修(壁一部撤去)範囲

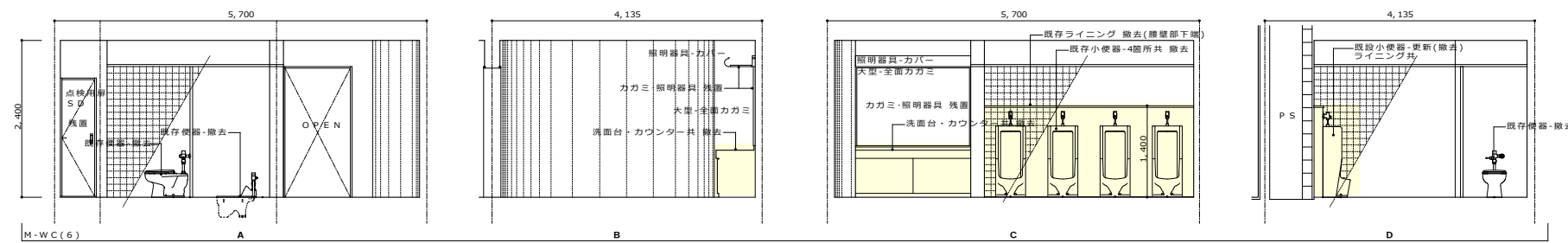
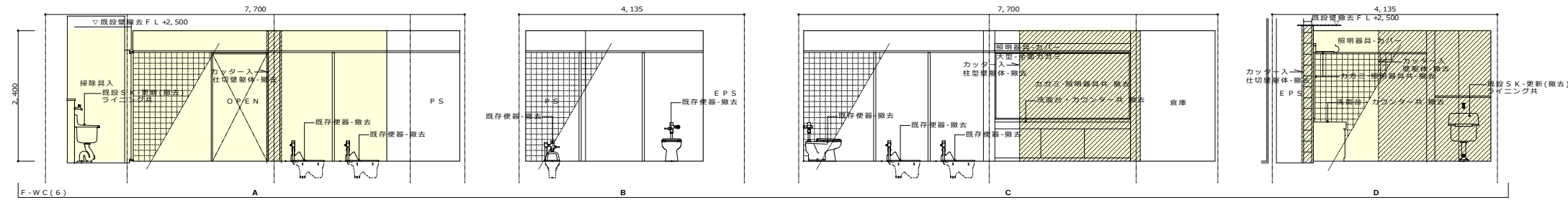
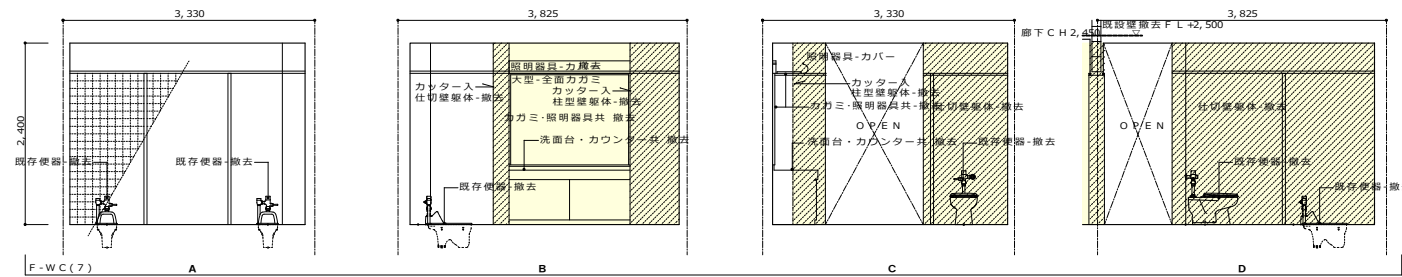
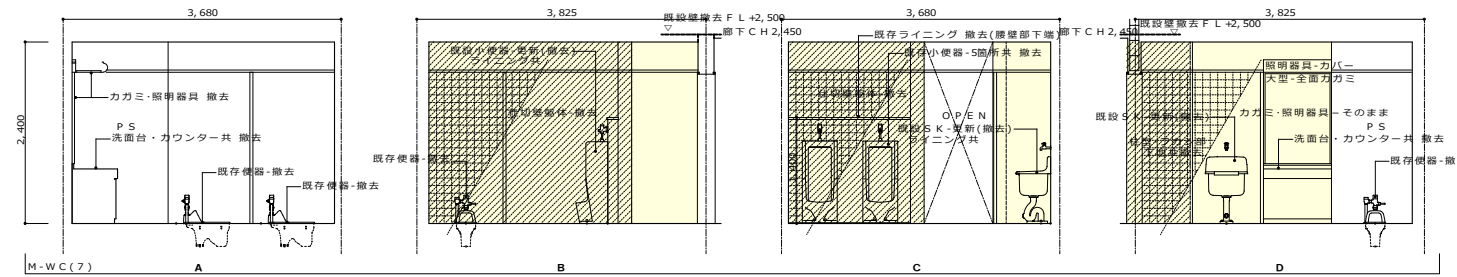
北
D 展開方向
C

- F.WC(6) [CH2,400] FL+1,090
床: (アスファルト防水+押スコン残置)+200角磁器質タイル貼 (撤去)
巾木: -
壁: 100角磁器質タイル張 H<2,000 (既設のまま)
壁: モルタル金ゴテ E.P塗 H>2,000 (既設のまま)
天井: P.B t 9.0+岩綿吸音板 t 12.0 (LGS下地共撤去)
※ トイレブース (撤去)
 - M.WC(6) [CH2,400] FL+1,090
床: (アスファルト防水+押スコン残置)+200角磁器質タイル貼 既設のまま
巾木: -
壁: 100角磁器質タイル張 H<2,000 (既設のまま)
壁: モルタル金ゴテ E.P塗 H>2,000 (既設のまま)
天井: P.B t 9.0+岩綿吸音板 t 12.0 (LGS下地共撤去)
※ トイレブース (撤去)
 - 倉庫 [CH2,500] FL±0
床: C金ゴテ+ビニル床タイル(一部撤去)
巾木: 塩ビ(一部撤去)
壁: コンクリート、コンクリートブロック表し(一部撤去)
天井: 化粧石膏ボード t 9.0(撤去)
 - F/M-WC(7) [CH2,400/一部2,200] FL-10
床: (アスファルト防水+押スコン残置)+200角磁器質タイル貼 (撤去)
巾木: -
壁: 100角磁器質タイル張 H<2,000 (撤去)
壁: モルタル金ゴテ E.P塗 H>2,000 (撤去)
天井: P.B t 9.0+岩綿吸音板 t 12.0 (LGS下地共撤去)
- ⊗ : 天井点検口
アルミ製450角 撤去、新設

■ 各階(F/M-WC(1)~(4)、M-WC(6))トイレ [改修前] [改修後] 仕上表

符合	箇所	種別	現況・改修仕様
Ⓐ	床1	現況	200角磁器質タイル貼
		改修	既設タイル部-下地処理の上ビニル床シート t 2.0貼新設
Ⓑ	床2	現況	200角磁器質タイル貼 450×850程度撤去(下地モルタル、押スコン+防水層[1.2mm/2]、床スラブ共撤去) (和便器周り)
		改修	和便器床開口塞ぎコンクリート新設及下地処理の上ビニル床シート t 2.0貼新設
Ⓒ	床3	現況	過去便器取替時: 200角磁器質タイル貼の上ビニル床シート貼 見切金物共撤去
		改修	既設ビニル床シート t 2.0(見切金物共)撤去、下地調整の上ビニル床シート t 2.0貼新設
Ⓓ	床4	現況	300角御影石(J&P)
		改修	既設のまま、和便器撤去部: 300角御影石(J&P)新設
Ⓔ	巾木	現況	100角磁器質タイル貼
		改修	水洗浄(既設部)/新設部: 既設同等仕上
Ⓕ	壁1	現況	100角磁器質タイル貼 H<2,000 モルタル金ゴテ H>2,000
		改修	水洗浄(既設部)/新設部: 既設同等仕上(下地共)
Ⓖ	壁2	現況	100角磁器質タイル貼 H<2,000 モルタル金ゴテ H>2,000
		改修	100角磁器質タイル貼撤去、化粧タイル板 t 6新設 (GB-Sk 12.5G工法下地共H<2,000、既設のままH>2,000)
Ⓗ	階縁	現況	硬質塩ビ 撤去
		改修	硬質塩ビ 新設
Ⓙ	天井	現況	L.G.S+石膏ボード t 9.0下地岩綿吸音板 t 12.0仕上 LGS下地共撤去
		改修	L.G.S+G.B-R t 9.5下地岩綿吸音板 t 12.0仕上 新設
①	トイレブース	現況	トイレブース 撤去(メラミン樹脂化粧板 t 38、H2,000)
		改修	トイレブース (緊急開放機構付ブース) 新設
②	便器1	現況	和便器-全撤去、洋便器(更新済便器除く)撤去(機械設備)
		改修	洋便器-新設(一部更新済便器等→清掃)(機械設備)
③	便器2	現況	小便器 ライニング壁・汚垂石共 撤去
		改修	小便器 ライニング壁・汚垂石共 新設
④	手洗カウンター	現況	洗面器 手洗カウンター共撤去 上部カガミ・照明器具等そのまま
		改修	ボウル一体型手洗カウンター新設 上部カガミ・照明器具等 清掃
※	床-改修備考		床下地処理: カチオン系下地調整材 t 2.0 床材: サンゴ清浄レステリュウム t 2.0(覆層シート)同等
※	手洗-改修備考		手洗: 抗菌樹脂被覆手洗 洗面台用手洗 小便器用手洗 プース内L型手洗

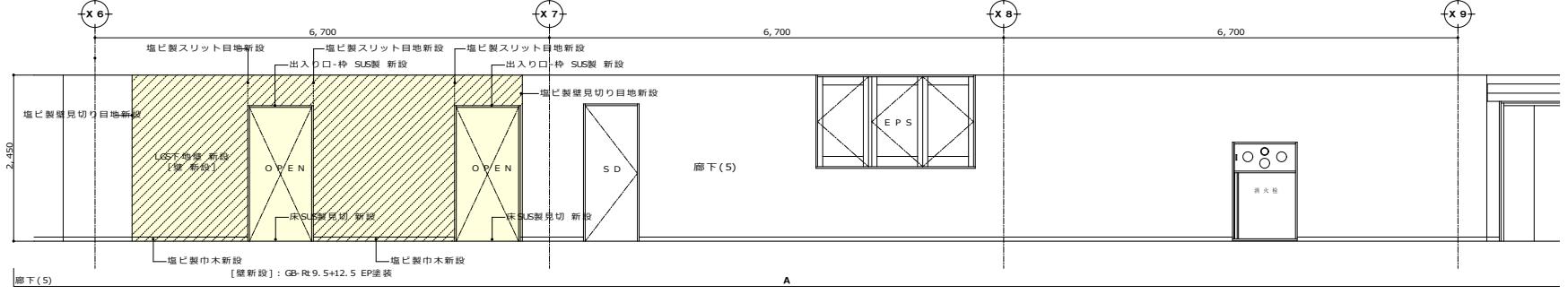
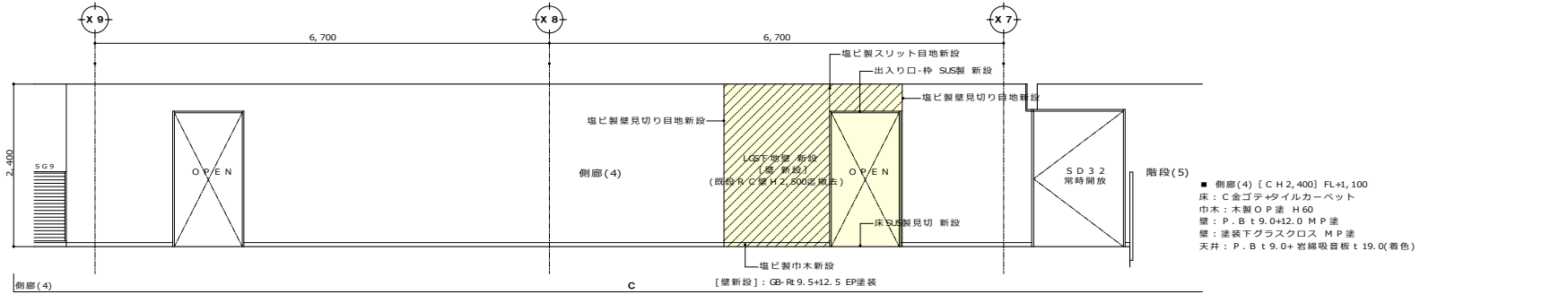
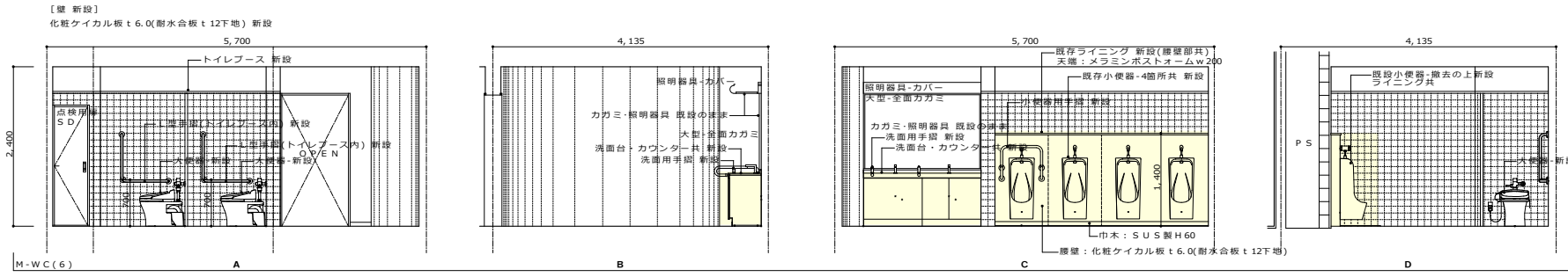
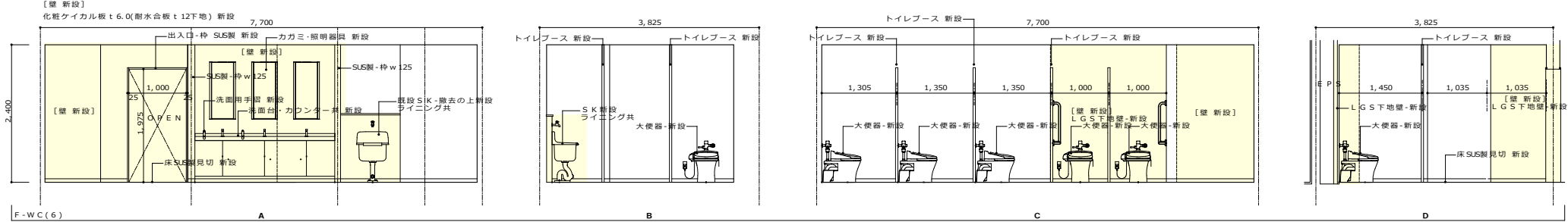
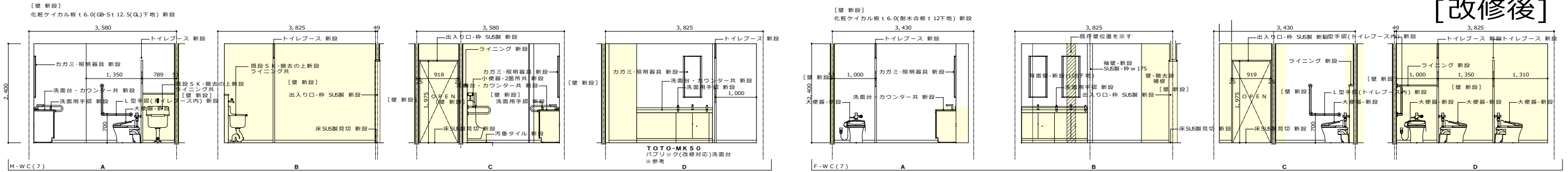
2 F F/M-WC(6)(7) [改修前(撤去)]



■各階(F/M-WC(1)~(4)、M-WC(6))トイレ[改修前][改修後]仕上表

符合	箇所	種別	現況・改修仕様
Ⓐ	床 1	現況	200角磁器質タイル貼
		改修	既設タイル部-下地処理の上ビニル床シート t 2.0貼新設
Ⓑ	床 2	現況	200角磁器質タイル貼 450×850程度撤去(下地モルタル・押スコン+防水層[1.2mm]、床スラブ共撤去)
		改修	和便器床開口蓋部コンクリート新設及下地処理の上ビニル床シート t 2.0貼新設
Ⓒ	床 3	現況	過去便器取替時: 200角磁器質タイル貼の上ビニル床シート貼 見切金物共撤去
		改修	既設ビニル床シート t 2.0(見切金物共)撤去、下地調整の上ビニル床シート t 2.0貼新設
Ⓓ	床 4	現況	300角御影石(J & P)
		改修	既設のまま、和便器撤去部: 300角御影石(J & P)新設
Ⓔ	巾木	現況	100角磁器質タイル貼
		改修	水洗浄(既設部)/新設部: 既設同等仕上
Ⓕ	壁 1	現況	100角磁器質タイル貼 H < 2,000 モルタル金コデ H > 2,000
		改修	水洗浄(既設タイル部)/新設部: 既設同等仕上(下地共)
Ⓖ	壁 2	現況	100角磁器質タイル貼 H < 2,000 モルタル金コデ H > 2,000
		改修	100角磁器質タイル貼撤去、化粧タイル板 t 6新設 (GB-Sk 12.5G 工法下地共 H < 2,000、既設のまま H > 2,000)
Ⓗ	階梯	現況	硬質塩ビ
		改修	硬質塩ビ 新設
Ⓙ	天井	現況	L G S +石膏ボード t 9.0下地岩綿吸音板 t 12.0仕上
		改修	L G S +G B-R t 9.5下地岩綿吸音板 t 12.0仕上 新設
①	トイレブース	現況	トイレブース 撤去(メラミン樹脂化粧板 t 38. H 2,000)
		改修	トイレブース (緊急開放機構付ブース) 新設
②	便器 1	現況	和便器-全撤去、洋便器(更新済便器除く)撤去(機械設備)
		改修	洋便器-新設(一部更新済便器等→清掃)(機械設備)
③	便器 2	現況	小便器 ライニング壁・汚垂共 撤去
		改修	小便器 ライニング壁・汚垂共 新設
④	手洗カウンター	現況	洗面器 手洗カウンター共撤去 上部カガミ・照明器具等そのまま
		改修	ポウル一体型手洗カウンター新設 上部カガミ・照明器具等 清掃
※	床-改修備考		床下地処理: カチオン系下地調整材 t 2.0 床材: サンツン清業レストリュウム t 2.0(覆層シート)同等
※	手洗-改修備考		手洗: 抗菌樹脂被膜手洗 洗面台用手洗 小便器用手洗 プース内 L 型手洗

2F F/M-WC(6)(7) [改修後]

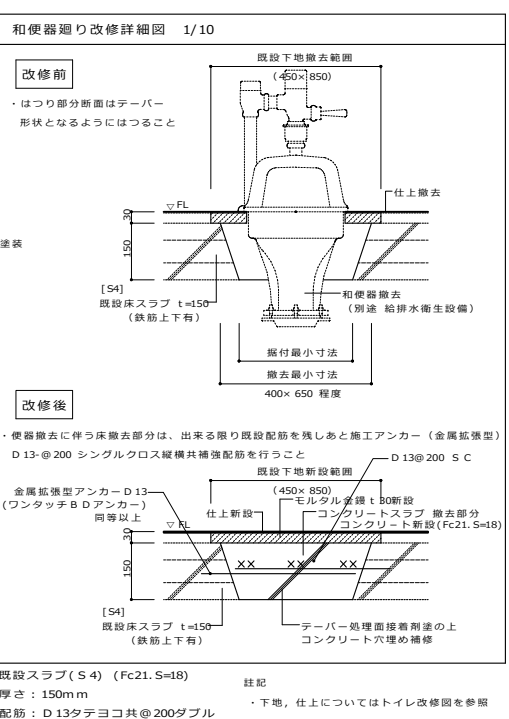
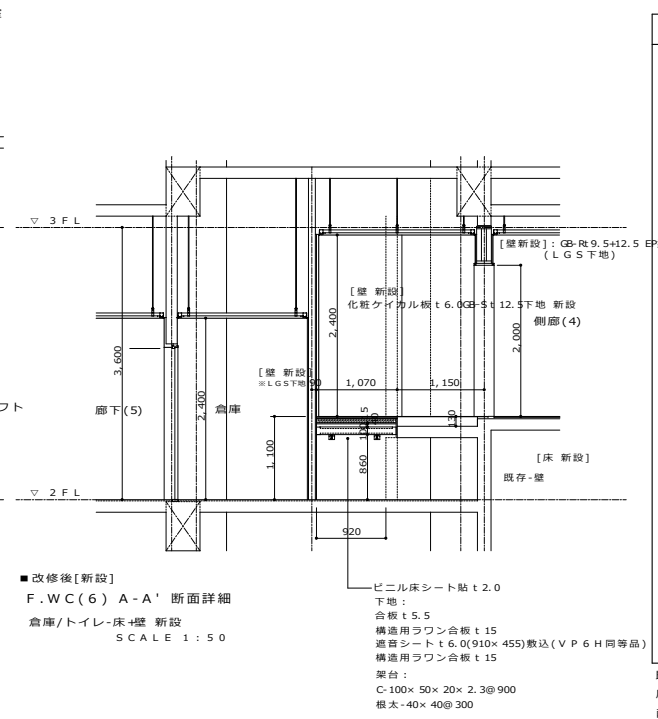
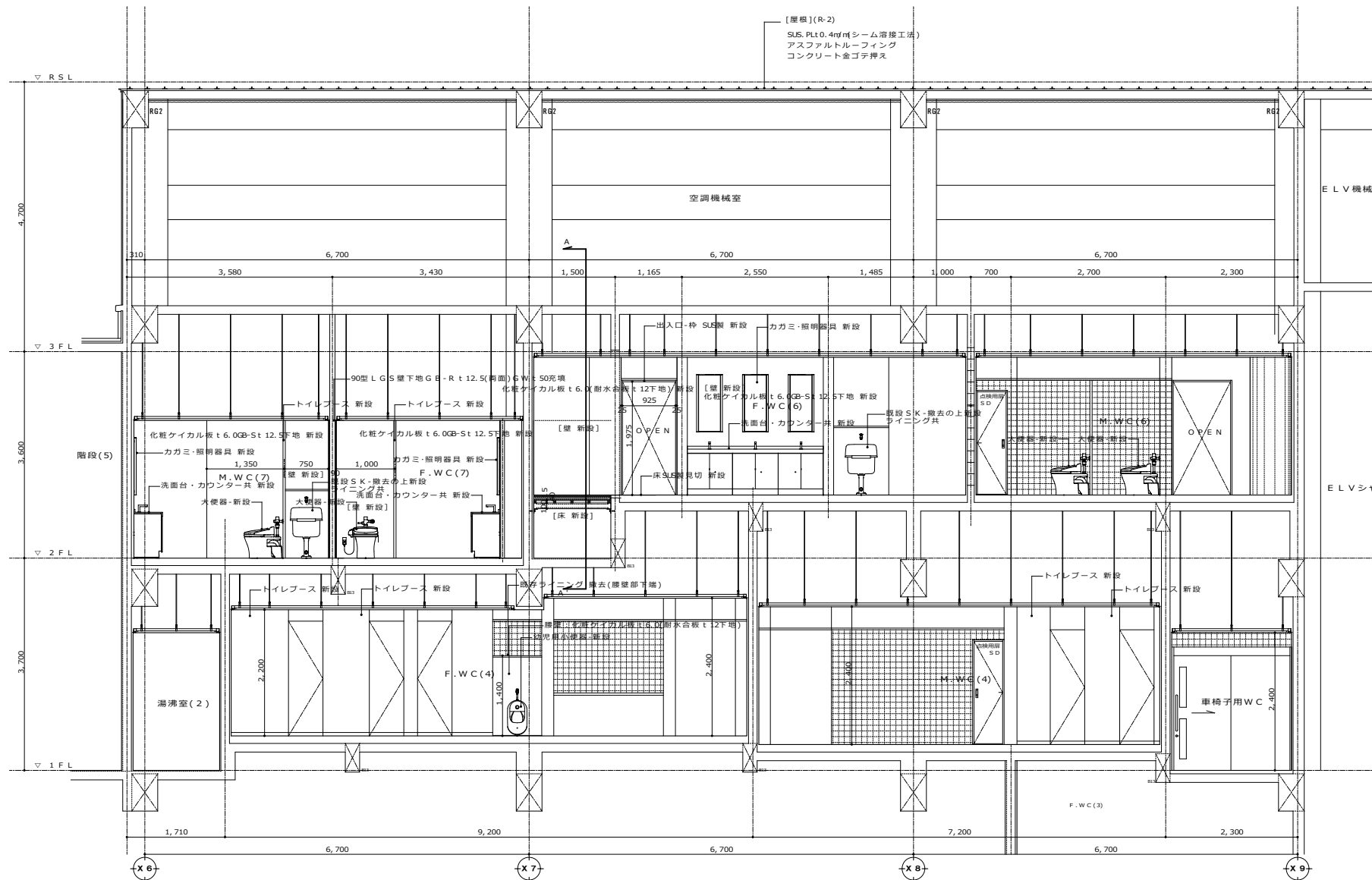


■各階(F/M-WC(1)~(4)、M-WC(6))トイレ [改修前] [改修後] 仕上表

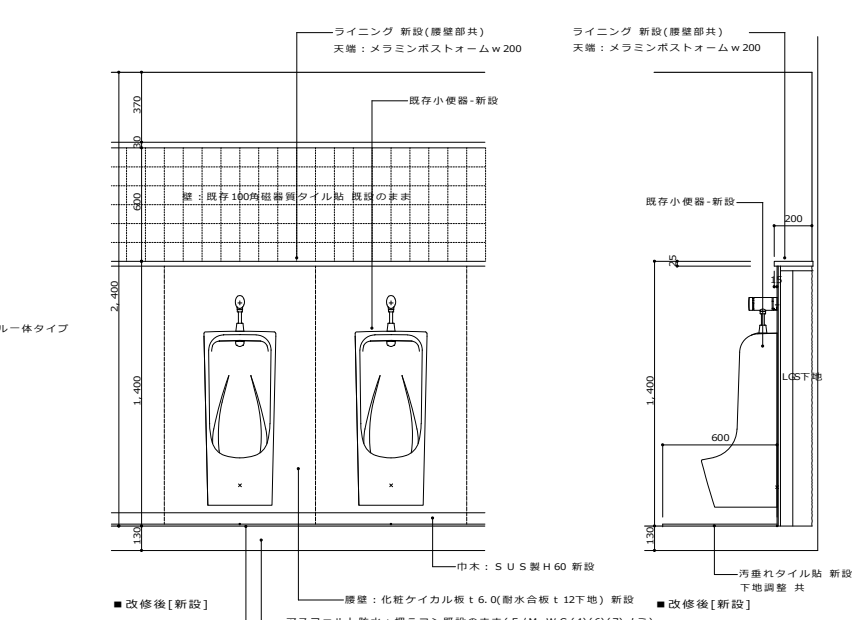
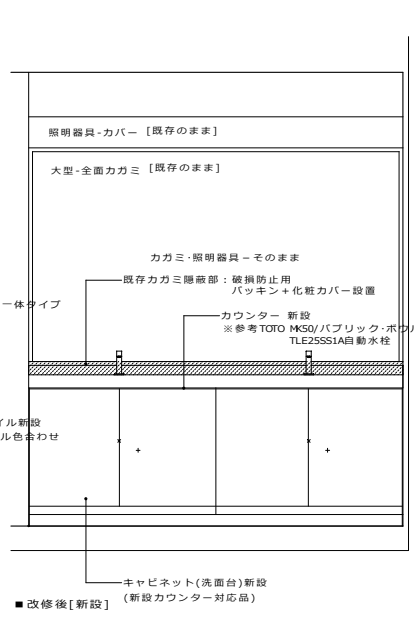
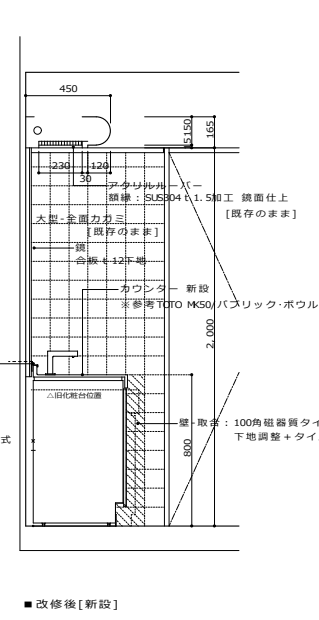
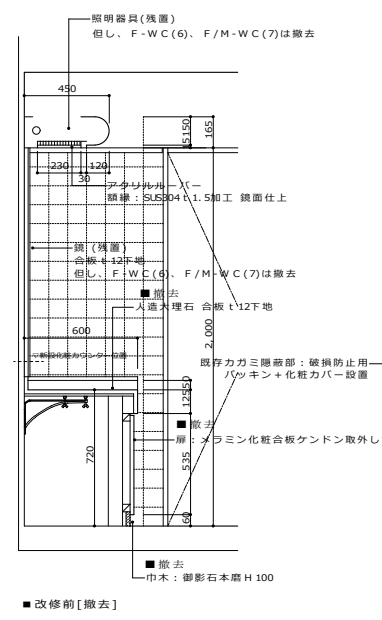
符合	箇所	種別	現況・改修仕様
Ⓐ	床 1	現況	200角磁器質タイル貼
		改修	既設タイル部-下地処理の上ビニル床シート t 2.0貼新設
Ⓑ	床 2 (和便器周り)	現況	200角磁器質タイル貼 450×850程度撤去(下地モルタル・押スコン+防水層[1.2mm]、床スラブ共撤去)
		改修	和便器床開口塞ぎコンクリート新設及下地処理の上ビニル床シート t 2.0貼新設
Ⓒ	床 3	現況	過去便器取替時: 200角磁器質タイル貼の上ビニル床シート貼 見切金物共撤去
		改修	既設ビニル床シート t 2.0(見切金物共)撤去、下地調整の上ビニル床シート t 2.0貼新設
Ⓓ	床 4	現況	300角御影石(J & P)
		改修	既設のまま、和便器撤去部: 300角御影石(J & P)新設
Ⓔ	巾木	現況	100角磁器質タイル貼
		改修	水洗浄(既設部)/新設部: 既設同等仕上
Ⓕ	壁 1	現況	100角磁器質タイル貼 H < 2,000 モルタル金ゴテ H > 2,000
		改修	水洗浄(既設部)/新設部: 既設同等仕上(下地共)
Ⓖ	壁 2	現況	100角磁器質タイル貼 H < 2,000 モルタル金ゴテ H > 2,000
		改修	100角磁器質タイル貼撤去、化粧タイル板 t 6新設 (GB-St 12.5Q工法下地共 H < 2,000、既設のまま H > 2,000)
Ⓗ	階梯	現況	硬質塩ビ 撤去
		改修	硬質塩ビ 新設
Ⓘ	天井	現況	L G S +石膏ボード t 9.0下地岩綿吸音板 t 12.0仕上 LGS下地共撤去
		改修	L G S + G B - R t 9.5下地岩綿吸音板 t 12.0仕上 新設
Ⓛ	トイレブース	現況	トイレブース 撤去(メラミン樹脂化粧板 t 38、H 2,000)
		改修	トイレブース (緊急開放機構付ブース) 新設
Ⓜ	便器 1	現況	和便器-全撤去、洋便器(更新済便器除く)撤去(機械設備)
		改修	洋便器-新設(一部更新済便器等→清掃)(機械設備)
Ⓝ	便器 2	現況	小便器 ライニング壁・汚重共 撤去
		改修	小便器 ライニング壁・汚重共 新設
Ⓟ	手洗カウンター	現況	洗面器 手洗カウンター共撤去 上部カガミ・照明器具等そのまま
		改修	ポウル一体型手洗カウンター新設 上部カガミ・照明器具等 清掃
※	床-改修備考		床下地処理: カチオン系下地調整材 t 2.0 床材: サンツ清美レストリューム t 2.0(覆層シート)同等
※	手洗-改修備考		手洗: 抗菌樹脂電着手洗 洗面台用手鏡 小便器用手鏡 プース内L型手鏡

断面-詳細等

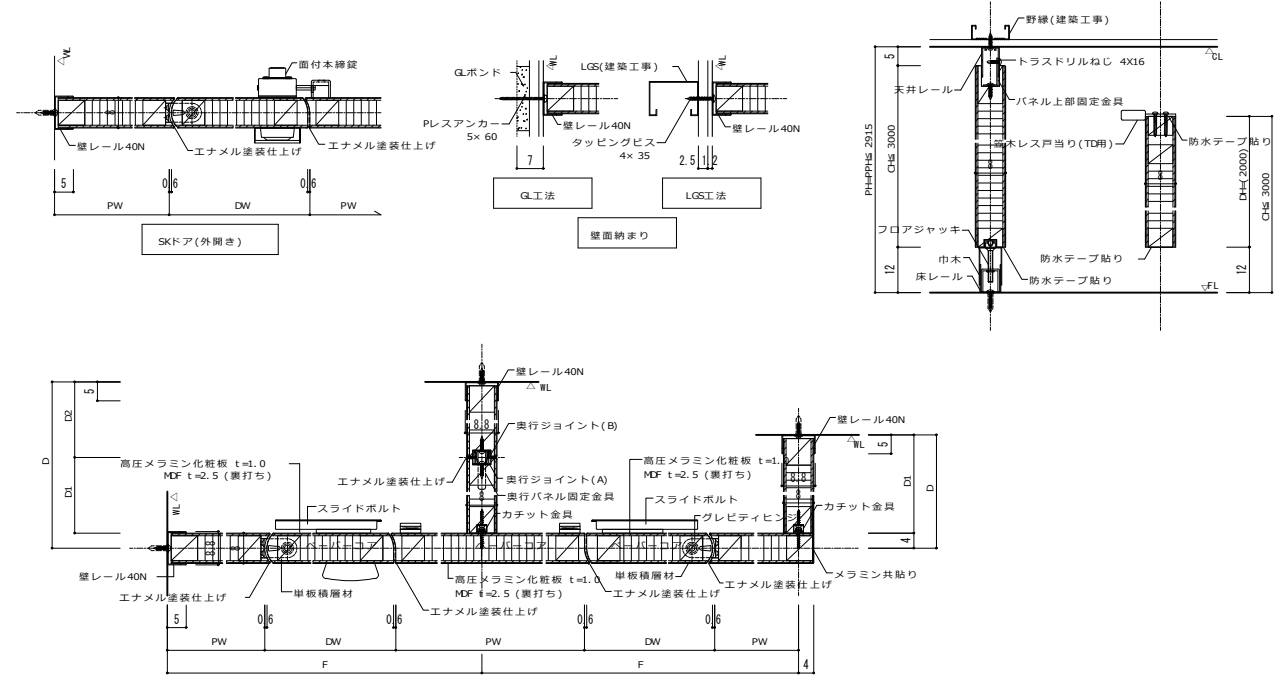
[改修後]



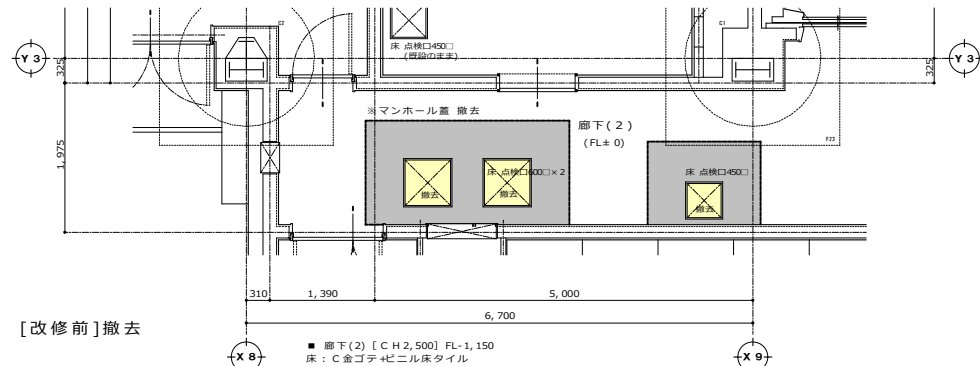
部位	現況 SCALE 1:10	改修 SCALE 1:10
天井	現況 LGS+石膏ボード t.9.0下地岩綿吸音板 t.12.0上 LGS下地共撤去 現況 塩ビ製廻縁 撤去	改修 LGS+GB-R t.9.5下地岩綿吸音板 t.12.0上 新設 改修 塩ビ製廻縁 新設
壁	現況 100角磁器質タイル貼 H<2,000 モルタル金コデH>2,000	改修 水洗浄(既設部)/新設部: 既設同等仕上げ(下地共) 100角磁器質タイル R.C.C.B下地 [GL工後] GB-R t.12.5 +化粧ケイカル板 LGS下地 GB-R t.12.5 +化粧ケイカル板
床	現況 現況のまま F/M-W.C(4)(6)(7)ノミ 200角磁器質タイル貼 t.10 押入コンクリート t.60 保護モルタル アスファルト防水 均しモルタル	改修 床-改修備考 床材: 御影石(F/M-W.C(5)ノミ)既存のまま 床材: ビニルシート t.2.0 新設 床下処理: カチオン系下地調整材 t.20 現況 床仕上げ 既存のまま



項目	撤去			新設			備考
	建築	機械設備	電気設備	建築	機械設備	電気設備	
内装仕上げ材	○			○			
衛生陶器、給排水管		○		○			
同上電気配管、配線			○			○	
和便器撤去に伴う床開口塞ぎ	○						
設備配管撤去に伴う床、壁開口塞ぎ		○	○				
新設設備開口（コア抜き等）				○		○	
床下点検口	○			○			
換気設備等機械設備		○		○			
照明器具等電気設備			○			○	
天井設備設置に伴う開口補強				○			
天井点検口	○			○			
手洗いカウンター	○	○					衛生陶器、設備機器は機械設備
ボウル一体型手洗いカウンター				○	○	○	設備類、電源等は機械、電気設備
手摺	○			○	(○)		多目的トイレ内新設は機械設備
ライニング	○			○	(○)		多目的トイレ内新設は機械設備
汚垂石	○						
汚垂タイル				○			
鏡	○			○	(○)		多目的トイレ内新設は機械設備
トイレブース	○			○			
同上内ペーパーホルダー		○		○			
多目的トイレユニット				○			ライニング、鏡、手摺含む
ペーパーシート、ペーパーチェア		○		○			

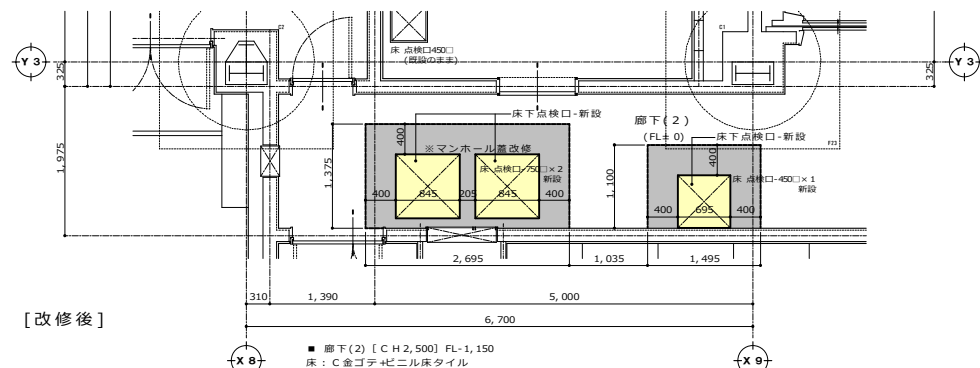


■ B1階 廊下 床点検口ハッチ+マンホール蓋改修詳細図



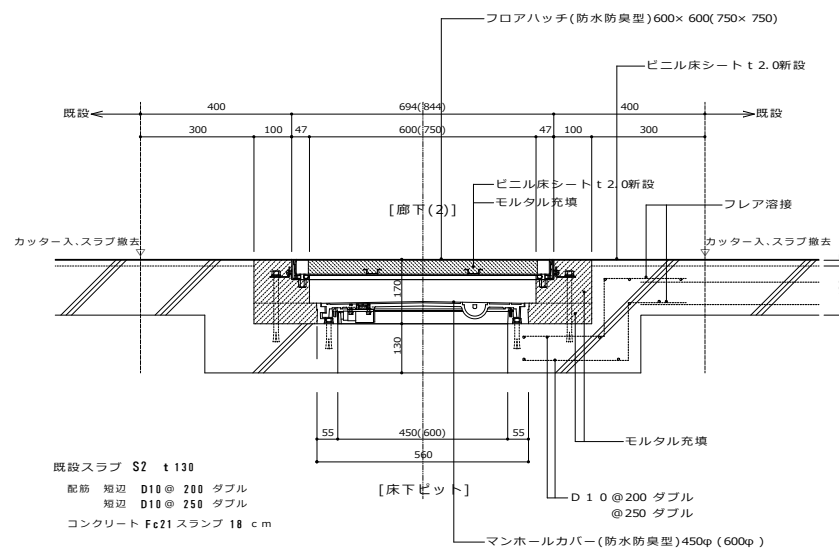
B1階 廊下 床点検口ハッチ+マンホール蓋 平面詳細図

SCALE 1:50



B1階 廊下 床点検口ハッチ+マンホール蓋 平面詳細図

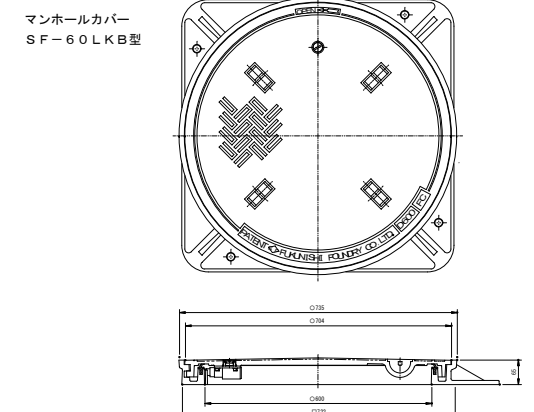
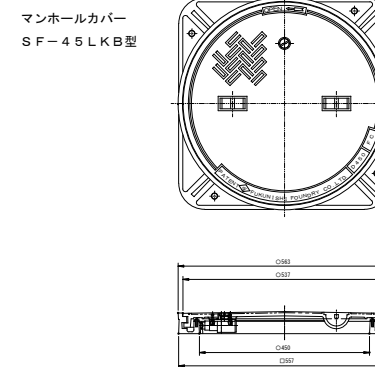
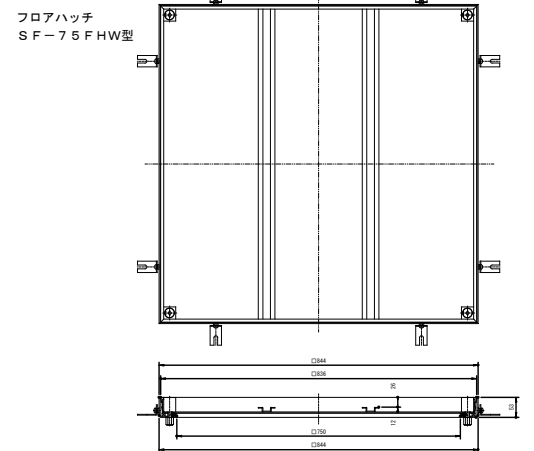
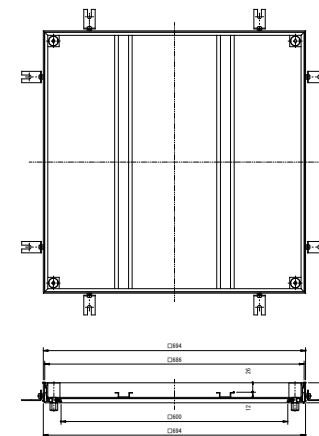
SCALE 1:50



B1階 廊下 床点検口ハッチ+マンホール蓋 断面詳細図

SCALE 1:10

【参考】 同等以上
 フロアハッチ SF-60FHW型
 フロアハッチ: 福西鋳物(SF-75FH型) (SF-60FH型)
 マンホールカバー: 福西鋳物(SF-L60) (SF-L45V型)
 SCALE 1:10



室名	連絡通路 CH=2,500 ~2,300
天井	化粧石膏ボード t 9.0 LGS下地共 撤去
廻縁	塩ビ製 撤去

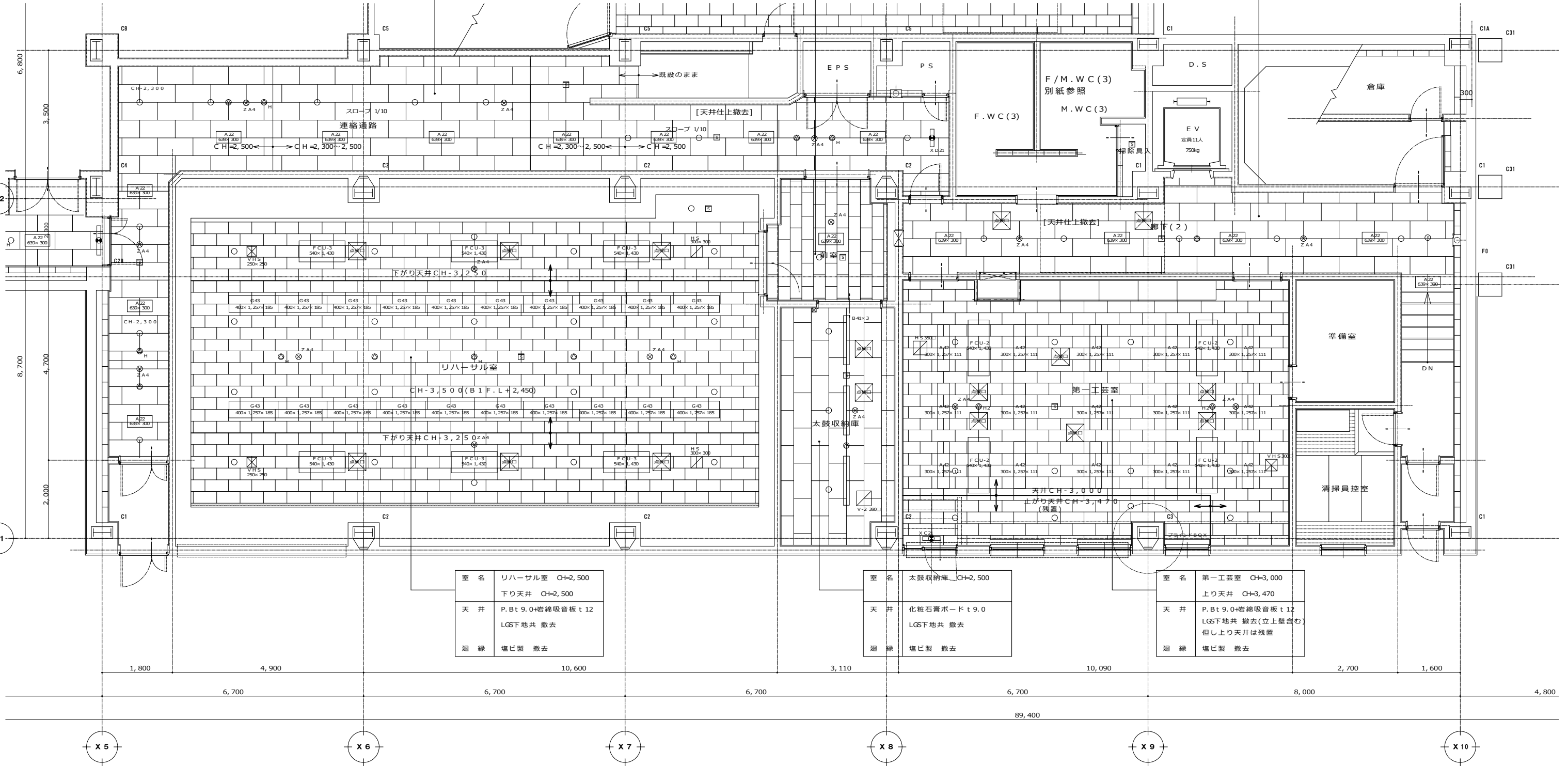
室名	前室 CH=3,500
天井	P.B.t 9.0+岩綿吸音板 t 12 LGS下地共 撤去
廻縁	塩ビ製 撤去

室名	廊下(2) CH=3,500
天井	化粧石膏ボード t 9.0 LGS下地共 撤去
廻縁	塩ビ製 撤去

室名	リハーサル室 CH=2,500 下り天井 CH=2,500
天井	P.B.t 9.0+岩綿吸音板 t 12 LGS下地共 撤去
廻縁	塩ビ製 撤去

室名	太鼓収納庫 CH=2,500
天井	化粧石膏ボード t 9.0 LGS下地共 撤去
廻縁	塩ビ製 撤去

室名	第一芸室 CH=3,000 上り天井 CH=3,470
天井	P.B.t 9.0+岩綿吸音板 t 12 LGS下地共 撤去(立上壁含む) 但し上り天井は残置
廻縁	塩ビ製 撤去



室名	連絡通路 CH=2,500
天井	GB-D t9.5 LGS下地共 新設
廻縁	塩ビ製 新設

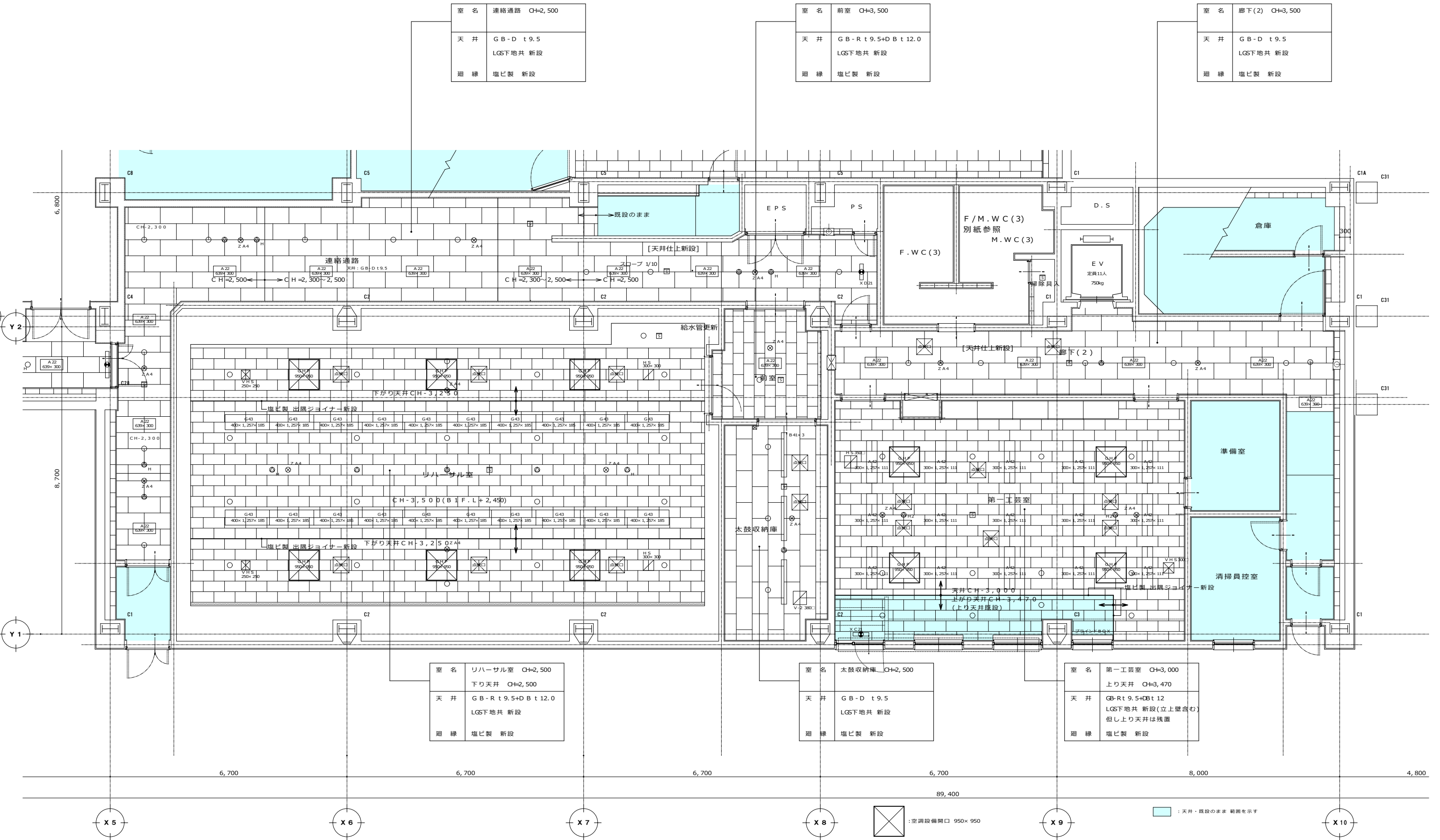
室名	前室 CH=3,500
天井	GB-R t9.5+DB t12.0 LGS下地共 新設
廻縁	塩ビ製 新設

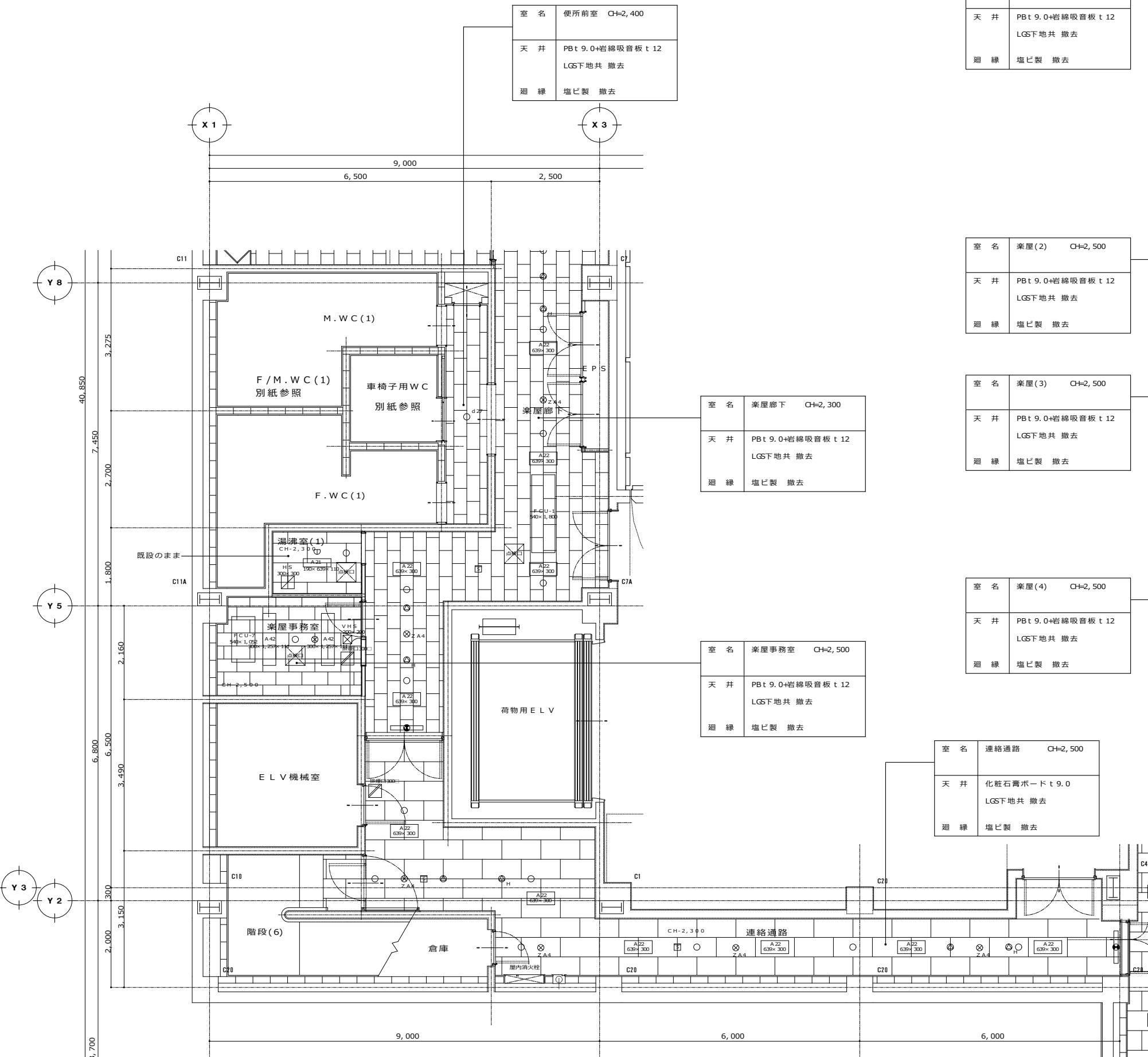
室名	廊下(2) CH=3,500
天井	GB-D t9.5 LGS下地共 新設
廻縁	塩ビ製 新設

室名	リハーサル室 CH=2,500 下り天井 CH=2,500
天井	GB-R t9.5+DB t12.0 LGS下地共 新設
廻縁	塩ビ製 新設

室名	太鼓収納庫 CH=2,500
天井	GB-D t9.5 LGS下地共 新設
廻縁	塩ビ製 新設

室名	第一芸室 CH=3,000 上り天井 CH=3,470
天井	GB-R t9.5+DB t12 LGS下地共 新設(立上壁含む) 但し上り天井は残置
廻縁	塩ビ製 新設





室名	便所前室 CH=2,400
天井	PBt 9.0+岩綿吸音板 t 12 LGST地共 撤去
廻縁	塩ビ製 撤去

室名	楽屋廊下 CH=2,300
天井	PBt 9.0+岩綿吸音板 t 12 LGST地共 撤去
廻縁	塩ビ製 撤去

室名	楽屋事務室 CH=2,500
天井	PBt 9.0+岩綿吸音板 t 12 LGST地共 撤去
廻縁	塩ビ製 撤去

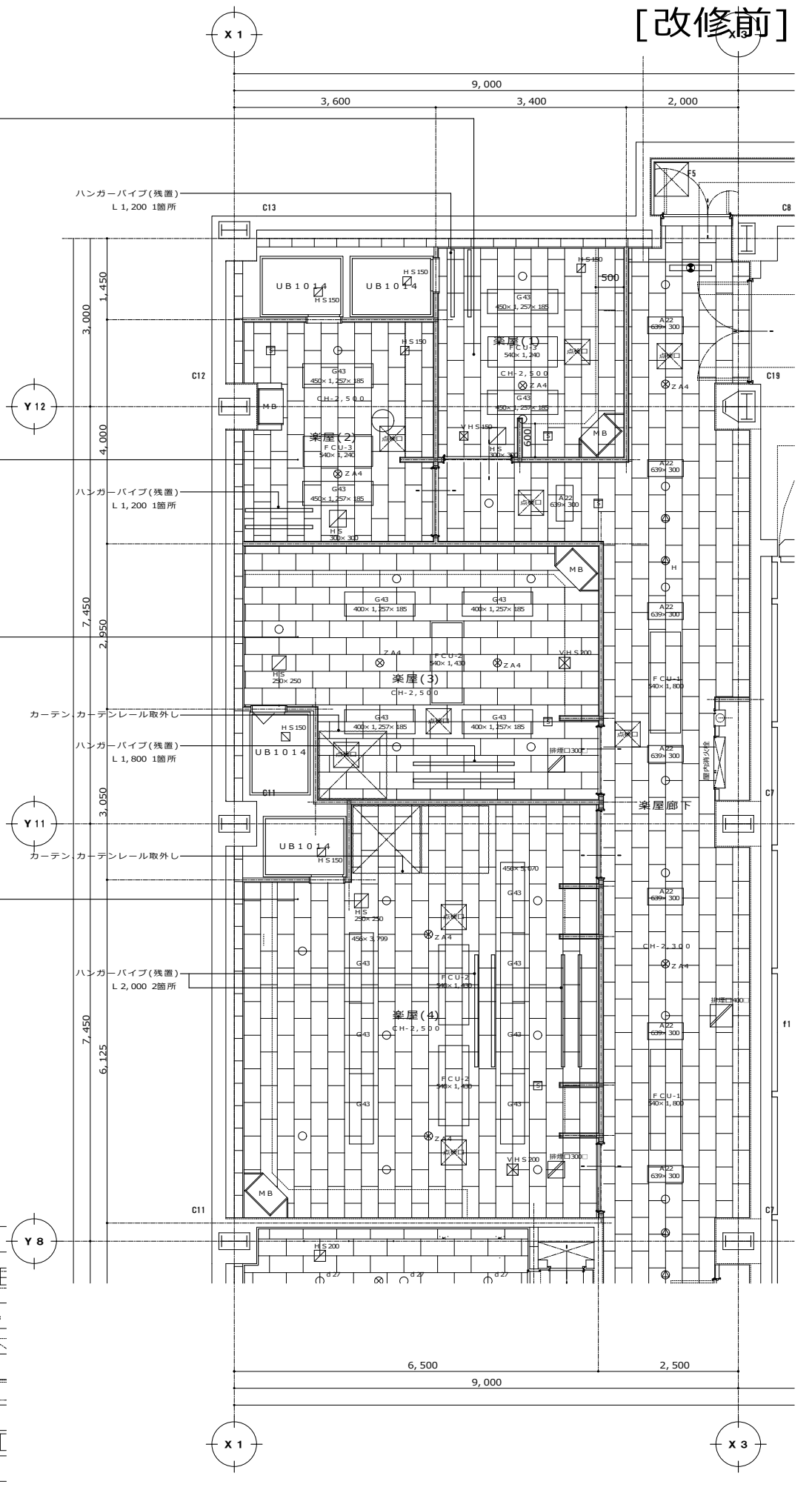
室名	楽屋(1) CH=2,500
天井	PBt 9.0+岩綿吸音板 t 12 LGST地共 撤去
廻縁	塩ビ製 撤去

室名	楽屋(2) CH=2,500
天井	PBt 9.0+岩綿吸音板 t 12 LGST地共 撤去
廻縁	塩ビ製 撤去

室名	楽屋(3) CH=2,500
天井	PBt 9.0+岩綿吸音板 t 12 LGST地共 撤去
廻縁	塩ビ製 撤去

室名	楽屋(4) CH=2,500
天井	PBt 9.0+岩綿吸音板 t 12 LGST地共 撤去
廻縁	塩ビ製 撤去

室名	連絡通路 CH=2,500
天井	化粧石膏ボード t 9.0 LGST地共 撤去
廻縁	塩ビ製 撤去



室名	便所前室 CH=2,400
天井	GB-R t 9.5+DR t 12.0 LGST地共 新設
廻縁	塩ビ製 新設

室名	楽屋(1) CH=2,500
天井	GB-R t 9.5+DR t 12.0 LGST地共 新設
廻縁	塩ビ製 新設

室名	楽屋(2) CH=2,500
天井	GB-R t 9.5+DR t 12.0 LGST地共 新設
廻縁	塩ビ製 新設

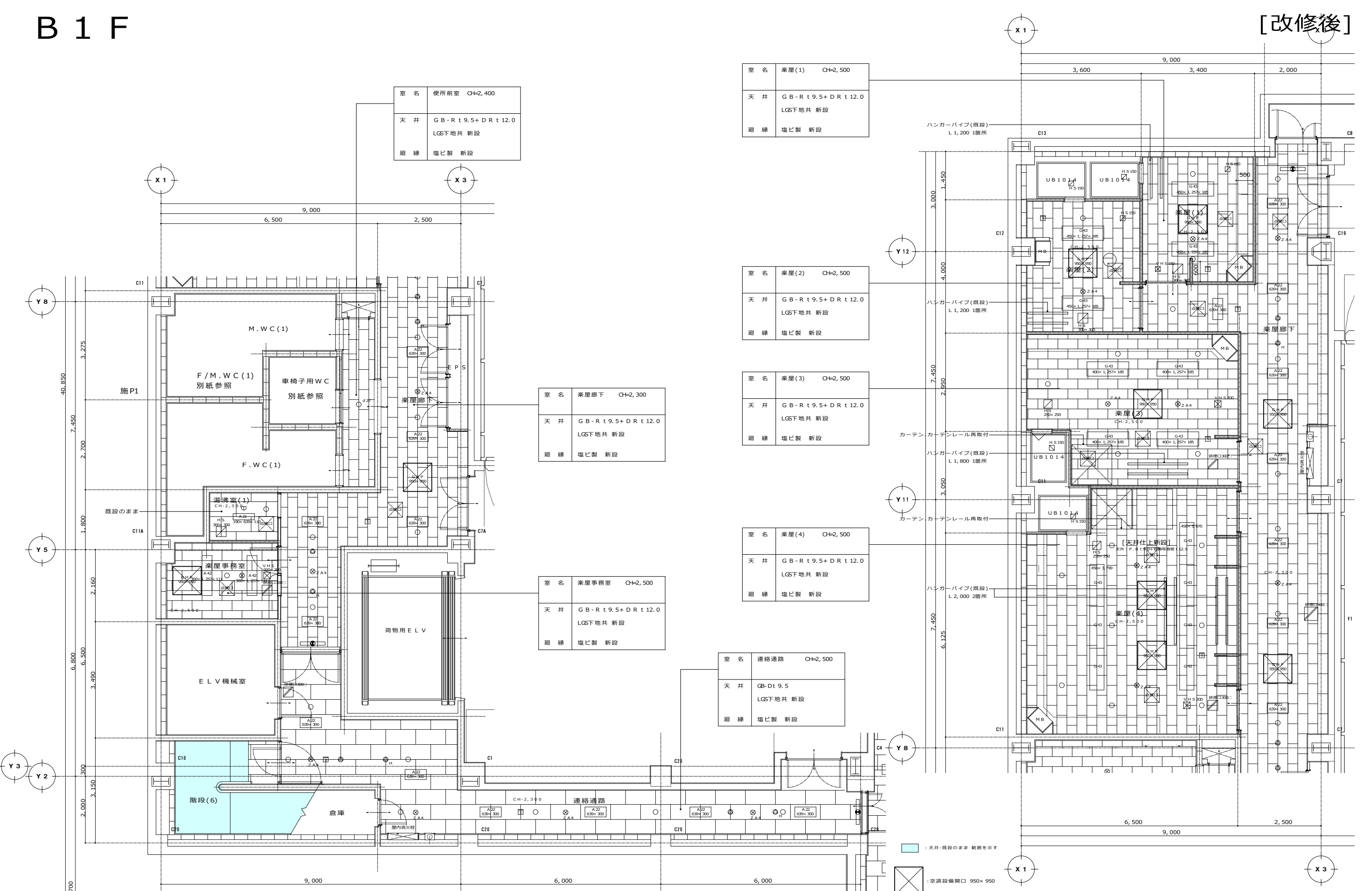
室名	楽屋(3) CH=2,500
天井	GB-R t 9.5+DR t 12.0 LGST地共 新設
廻縁	塩ビ製 新設

室名	楽屋(4) CH=2,500
天井	GB-R t 9.5+DR t 12.0 LGST地共 新設
廻縁	塩ビ製 新設

室名	連絡通路 CH=2,500
天井	GB-D t 9.5 LGST地共 新設
廻縁	塩ビ製 新設

室名	楽屋廊下 CH=2,300
天井	GB-R t 9.5+DR t 12.0 LGST地共 新設
廻縁	塩ビ製 新設

室名	楽屋事務室 CH=2,500
天井	GB-R t 9.5+DR t 12.0 LGST地共 新設
廻縁	塩ビ製 新設



■ : 天井・既設のまま 範囲を示す

□ : 空調設備開口 950×950